

兼松資料叢書（大正編） 5

日豪間通信

大正期シドニー来状 第V卷

神戸大学 経済経営研究所

2008

日豪間通信

大正期シドニ来状

第V卷

神戸大学経済経営研究所



大正12年3月の豪州兼松（F.Kanematsu（Australia）Ltd.）の第1回株主総会後に開催された晩餐会記念写真。テーブル奥側に北村寅之助、Coss、守田治平、広戸茂吉など豪州兼松重役の姿が見える。



大正12年4月に開設された豪州兼松メルボルン支店。開設当初は谷口三樹三郎店員（後年に兼松株式会社の社長に就任）が一人で赴任していた。

## 凡 例

一、本書は『兼松史料』のうち、神戸本店とシドニー支店の重役の間でかわされた書簡（日豪間通信）から、大正年間に豪州兼松（旧シドニー支店）の重役が神戸本店重役に宛てた書簡（シドニー来状）の翻刻である。ただし特に重要な内容の場合は、私信や雑多な資料も採集した。第V巻には大正一一年及び同一二年の書簡を収録した。

二、「日豪間通信」は日々の取引や商況を記述した業務書簡であり、書簡の記事は原則的に全点記載した。しかし重役や店員の個人的な事柄も稀に含まれており、個人情報（病気名や家庭事情など）を余りに詳細に記述しているものは、プライバシー保護の観点から翻刻を割愛し、その内容を要約するに留めた。ただし加工した部分は僅少であり、その分量は書簡全体の1%未満にすぎない。記事の選択は本研究所の「兼松資料研究会」の検討を経たうえで決定した。

三、資料原文で「」や（ ）は使用されているので、記事の中略や後略など編集作業で加工した箇所は「」の記号で明示した。

四、資料にはカスレなどで判読できない箇所がある。とりわけ英単語は筆跡が乱雑で判読が困難である事例が多い。判読不可能であった場合は、邦字は□□で、英字のときは……で示した。

五、原文で使用されている漢字は、本書ではおおむね当用漢字に変換した。しかし戦前期の書簡であるため

に、平かなとカタカナが著しく混在するほか、「記憶（記憶）」「倚頼（依頼）」「成蹟（成績）」「丁子（調子）」などの当て字も頻出する。また同一の固有名詞にも関わらず、記事によって複数の表記がなされる誤謬もあり、地名では「ブリスバン（ブリスベン）」「アルゼンタイン（アルゼンチン）」といった現在と異なる表現も散見される。通常の資料書では、それらは（ママ）と添書されるものの、本書ではその数は膨大であるので個々に注記せず、文意が著しく誤解されかねない部分にのみ（ママ）と添書した。

六、史料は藤村が翻刻し、本学文学部の森田竜雄氏によって原文と照合確認の校正を受けた。

七、各事項の索引は、最終巻に添付する。

（藤村 聡）

## 解 説

### 1 本巻史料の収録期間について

本巻は大正一一年及び同一二年に豪州兼松の重役が神戸本店に送った書簡をおさめた。前巻の第IV巻では大正八〜九年の書簡を収録したのち、本巻の大正一一年一〇月までが空白になっているが、これは当該期間の史料が残っていないためである。ただし豪州兼松重役が神戸本店に送った「シドニー来状」は空白であっても、神戸本店重役が豪州兼松に宛てた「神戸発状」は同期間も存在するので、今後の研究でその空白を埋めることは充分に可能である。

兼松シドニー支店は、大正一一（一九二二）年に現地法人に改組し、F. Kanematsu (Australia) Ltd. となった。多くの史料では、日本の兼松神戸本店と対比する形で「豪州兼松」「豪社」と称されており、本巻でも書簡の差出地を「シドニー支店」から「豪社」に改めた。また本巻の書簡は専ら豪社取締役の守田治平が執筆している。書き手にはそれぞれ癖があり、とりわけ守田治平の場合は固有名詞の省略が甚だしく、なかでも「全豪銀行」である“Bank of Australia”は“Bank of Aust'ria”や“Bk of Austria”と省略されているので読解にあたっては注意が必要である。

## 2 シドニー支店（豪州兼松）の人員規模

本章では豪州兼松の人員規模やその構成上の特色を整理してきた。  
きたい。

まず日豪の兼松全体における人員配置を表1にまとめた。ここで見るように明治三〇（一八九七）年には神戸本店二〇名、シドニー支店は五名（同年はまだ東京支店は未開設）であり、またシドニー支店は五名の日本人以外に小売部門の売り子女性など六名の豪人従業員を雇用していた。神戸本店が中国貿易や蚕糸取引に積極的に乗り出した明治三四年は兼松全体で四一名の従業員が在勤し、神戸本店二七名、東京支店五名、シドニー支店四名であった。しかし同年には放漫経営と恐慌によって破産寸前に追い込まれ、横浜正金銀行の緊急融資で辛うじて危機を脱することに成功し、中国貿易や蚕糸取引から撤退して本来の日豪貿易に回帰した。経営建直しの一環で人員も半減され、その後も従業員は少数に留められて大正元年でも総人員数は二七名という規模であった。第一次世界大戦の勃発後に人員は顕著に増加傾向になり、大正一四

表1 本支店別の在勤者数 (単位：人)

	合計	神戸本店	東京支店	豪州	その他
1897 (明治30) 年	25	20		5 (6)	
1901 ( 〃 34)	41	27	5	4 (3)	5
1909 (大正元)	27	17	4	6 (6)	
1915 ( 〃 4)	56	35	9	11 (10)	1
1925 ( 〃 14)	115	72	19	17 (23)	7
1932 (昭和7)	139	92	21	22 (30)	4

- ・日本人の男女在勤者総人数を表示している
- ・「その他」は徴兵・休職・関連会社への出向・長期海外出張中などである。
- ・豪州のカッコは豪人従業員であり、各年の「合計」には加算していない。  
昭和7年の豪人数は不明なので翌年の豪人数を記載した。



年は総人員一―五名のうち豪州兼松は一七名、そして昭和七年の豪州兼松は二二名という人員配分であった。このように明治―大正期には総人員の約二〇%、昭和期には若干低下して一五%程度が豪州に配属されていた。

シドニー支店開設以来の豪州在勤者数が表2である（日本人に限定し、豪人従業員は含んでいない）。表中の「異動者数」はその年の日本からの赴任者、あるいはシドニー支店から日本に帰国した人数の合計であり、その内訳として日本からの転任者である「赴任者」と、豪州から日本に帰国した「離任者」を提示した。「在勤者」はその年のシドニー支店に在勤した最大人数で、具体的には前年の実数とその年の赴任者数を加算した数値である。カッコで示した実数は在勤者数からその年の離任者を控除した人数で、年末時点での在勤者数を意味している。表2によれば、明治二三年のシドニー支店の在勤者は三名にすぎず、明治期を通じて人員数は微増か横這いであり、大正初年まで一〇名を越えることはなかった。第一次大戦による好景気の影響が明確になった大正四年から人員数は増加に転じ、昭和初年には二〇名、同七年には三〇名に達した。人員の拡大と共に異動者数も増大になり、昭和期には毎年三割程度の人員が入れ替わり、昭和一二年頃には在勤者数三〇名に対して異動者数はその半分に及び、日豪間の人員交代が活発であったことを語る。

豪州駐在員の性格をさらに詳細に観察すべく、表3に各年のシドニー支店在勤者の在豪年数を整理した。本表は各年の在勤者が合計何年間在豪したかという数値を示し、同一人物が複数の年にカウントされているので注意が必要である。例えば北村寅之助は支店開設の明治二三年から逝去した昭和五年までの各年の「永住」に含まれる。明治期のシドニー支店は北村寅之助・大西金次郎・守田治平・広戸茂吉といった永住者タ

表2 シドニー支店（豪州兼松）の在勤者数

（単位：人）

年	在勤者(実数)	異動者数	赴任者	離任者
1890 (明治23) 年	3 (3)	3	3	
1891 ( 〃 24)	5 (5)	2	2	
1892 ( 〃 25)	5 (5)			
1893 ( 〃 26)	5 (4)	1		1
1894 ( 〃 27)	4 (4)			
1895 ( 〃 28)	4 (4)			
1896 ( 〃 29)	4 (4)			
1897 ( 〃 30)	5 (4)	2	1	1
1898 ( 〃 31)	6 (4)	4	2	2
1899 ( 〃 32)	4 (4)			
1900 ( 〃 33)	4 (4)			
1901 ( 〃 34)	4 (3)	1		1
1902 ( 〃 35)	4 (3)	2	1	1
1903 ( 〃 36)	4 (4)	1	1	
1904 ( 〃 37)	4 (3)	1		1
1905 ( 〃 38)	3 (3)			
1906 ( 〃 39)	3 (3)			
1907 ( 〃 40)	5 (5)	2	2	
1908 ( 〃 41)	6 (6)	1	1	
1909 ( 〃 42)	6 (6)			
1910 ( 〃 43)	7 (6)	2	1	1
1911 ( 〃 44)	7 (6)	2	1	1
1912 (大正元)	6 (6)			
1913 ( 〃 2)	6 (6)			
1914 ( 〃 3)	7 (7)	1	1	
1915 ( 〃 4)	12 (10)	7	5	2
1916 ( 〃 5)	10 (10)			
1917 ( 〃 6)	14 (13)	5	4	1
1918 ( 〃 7)	14 (11)	4	1	3
1919 ( 〃 8)	12 (12)	1	1	
1920 ( 〃 9)	13 (12)	2	1	1
1921 ( 〃 10)	16 (14)	6	4	2
1922 ( 〃 11)	16 (13)	5	2	3
1923 ( 〃 12)	16 (15)	4	3	1
1924 ( 〃 13)	18 (17)	4	3	1
1925 ( 〃 14)	19 (18)	3	2	1
1926 (昭和元)	18 (17)	1		1
1927 ( 〃 2)	21 (19)	6	4	2
1928 ( 〃 3)	23 (22)	5	4	1
1929 ( 〃 4)	27 (26)	6	5	1
1930 ( 〃 5)	28 (21)	10	3	7
1931 ( 〃 6)	29 (24)	12	7	5
1932 ( 〃 7)	30 (24)	12	6	6
1933 ( 〃 8)	31 (28)	10	7	3
1934 ( 〃 9)	34 (29)	11	6	5
1935 ( 〃 10)	33 (31)	6	4	2
1936 ( 〃 11)	35 (26)	13	4	9
1937 ( 〃 12)	36 (30)	16	10	6
1938 ( 〃 13)	32 (29)	5	2	3
1939 ( 〃 14)	34 (28)	11	5	6

イブの在勤者が支店運営の中核となり、日本の神戸本店から派遣された駐在員は少数にすぎない。しかし大正期には日本から勤者一九名のうち、永住者型の者は三名（北村寅之助・守田治平・広戸茂吉）しかおらず、日本から赴任した豪一〇年以上の「長期」駐在員が八名、在豪一～四年の短期駐在員が一名、五～九年の中期駐在員が七名という構成であった。

駐在員の適切な在豪年数は経営者にとって重要な問題の一つであり、そうした事情は本巻の収録記事でも語られている。豪社取締役の守田治平が執筆した大正一二年五月一九日付の取三七号信によれば、同時期の神戸本店輸出部は駐在員の在豪期間を短縮するかわりに赴任者を増加させ、出来るだけ多くの人員に在豪経験を積ませることを望んでいた。それに対しては豪社の守田治平は一年や二年の短期駐在では得るところは少なく、ある程度の期間は在豪して知識や経験を積むことが必要であると主張し、多数の従業員を擁して短期に駐在員を交代させる「新陳代謝方針」であった三井物産ですら、近年は業務の中核を担

表3 駐在員の在勤年数内訳 (単位：人)

年	合計	永住	長期	1～4年	5～9年
1890 (明治23)年	3	2		1	
1895 (〃 28)	4	4			
1900 (〃 33)	4	3			1
1905 (〃 38)	3	3			
1910 (〃 43)	7	4		1	2
1915 (大正4)	12	4	1	3	4
1920 (〃 9)	13	4	4	4	1
1925 (〃 14)	19	3	8	1	7
1930 (昭和5)	28	2	8	7	11
1935 (〃 10)	33	1	7	7	17

う者は何れも豪州に長期在勤していると説明する。その観点から、豪州兼松で羊毛部門を担当する某店員の  
場合、ここ一年で日本に帰国させることは兼松にとっても本人にとっても不適切であり、今しばらくは豪州  
でみっちり訓練させる方針だと伝えた。大正期を通じて駐在員の適切な在豪期間をめぐって試行模索が繰  
り返され、おそらく徐々に在豪五、九年が適切な駐在年限と認識されるようになり、やがて表3で見るよう  
に大正・昭和期には中期駐在員が主流になったと推測される。

また昭和期には短期駐在員の急増も注目される。それまで短期駐在員は断続的な存在にすぎず、特に大正  
末年から昭和初年にかけて一旦は完全に断絶したものの昭和四年から復活し、昭和期の短期駐在員は合計二  
〇名を数える。病気でやむなく帰国して短期渡豪になったケースを除けば、短期駐在員の大部分は羊毛研究  
や豪州視察、あるいは豪州兼松の重役との緊急協議が目的であった。例えば神戸本店輸入部で羊毛取引を担  
当していた店員F T 「当時三三歳」は昭和五（一九三〇）年に豪州転勤を命じられ、在豪三年後、昭和七年  
に神戸本店輸入部に復任した。同人の渡豪は豪州現地における羊毛知識や技能の習得が主目的であり、当初  
から羊毛研究が修了次第に速やかな帰国が予定されていた。また神戸本店庶務部長兼会計部長代理「四四歳」  
も昭和一〇年に短期予定で渡豪し、その理由は重役候補者にもかかわらず海外に勤務した経験がなく、海外  
に関する知識を獲得させるためであった。現地情報取得や実地研修目的の短期（一部の中期も含めて）渡豪  
者が本来的に活動する場所は日本国内であり、彼らが豪州兼松の中核になることは当初から期待されてい  
ない。それは明治・大正期の短期駐在員も同様であった。

上記から豪州駐在員の構成を概観すると、明治期は永住者型の在勤者が支店運営の主体になったのち、大

正期以降は駐在員数が増すと共にその在豪期間は多様化し、昭和期は永住者型の駐在員は新たに創出されずに減少した一方で、豪州兼松の中核たるべき長期駐在員、日豪間の情報共有を目的にした短期駐在員、そしてその中間形態と言うべき中期駐在員の三層構造になっていったと理解される。

〔豪州駐在員については、詳しくは拙稿「戦前期兼松の豪州支店在勤者」(『国民経済雑誌』第一九七卷六号 二〇〇八年) 参照〕

### 3 大正一〇〜一二年の概要

本章では参考までに記事が欠落している期間を含めて、大正一〇〜一二年の主要な出来事を概観したい。

大正一〇(一九二一)年は第一次世界大戦の反動不況が未だに続いており、兼松でも債権の回収や滞貨の売り抜けに腐心した。しかし企業倒産が相次いだ経済界一般に比較すれば、兼松の経営にさしたる波瀾はなく、大正一〇年は従業員の昇給は基本的に見送られたものの低給者には増俸が実施され、さらに年末には重役を含めて全従業員に賞与金を配与した。また同年には資本金を百万円増資して三百万円とすることが決定された。大正二年に合資会社になったときの資本金は三〇万円であり、同五年に六〇万円、そして大正七年に株式会社で改組した際の資本金は二百万円であった。さらに店内には多額の遊資が生じ、そのうち約八〇万円で帝国政府公債・南満州鉄道社債・フランス国債などを購入するなど財務基盤は堅固であった。

大正一一年に兼松シドニー支店は F. Kanematsu (Australia) Ltd. と現地法人に改組した。シドニー支店を現地法人化する案は大正中期から検討されたものの、当時は戦時中で豪州政府が外国会社の現地法人化を認めない方針であったので頓挫した。しかし大戦が終結して豪州政府の方針が変わり、またシドニー支店の難件であったヒュース係争事案や戦時の繁忙な業務も一段落したことで、大正一〇年に豪州に出張した藤井松四郎取締役は在豪総領事と意見を交換したうえで、再び現地法人化を試みることになった。そして翌一年に前田卯之助取締役が豪州に赴いて関係者と協議しつつ申請書類を作成提出し、それが認められて同年四月にシドニー支店は現地法人への改組が実現した。F. Kanematsu (Australia) Ltd. は、神戸本店を頂点にした日本の兼松と対比して「豪州兼松」「豪社」と諸史料で称された。豪州兼松はシドニー本店とメルボルン支店（大正一二年設置）で構成され、昭和一三年にはブリスベン支店も開設し、豪州以外にも昭和一二年には豪州兼松の分社としてニュージーランドに N.Z. 兼松 [F. Kanematsu (N.Z.) Pty., Ltd.]、オークランド本社とウエリントン支店」を展開した。

大正一一年の兼松全体の経営事項としては、内外製瓶所の開業がある。内外製瓶所は輸出用小瓶を兼松の監督下で製造する別会社であり、従来から取引関係があった製瓶会社の「関松」と共同事業の形態で七千円を出資し、輸出用ガラス器を生産してそれなりの利益を兼松にもたらした。このほか同年七月には取引先が多い大阪に一部屋の事務室を賃貸して詰所を設置し、神戸から毎朝店員一名が赴いて神戸本店と取引先間の連絡などを担当することになった（大阪詰所は昭和二年に大阪出張所に拡充された）。

貿易業務関係では、神戸本店の藤井取締役の北米出張が目目される。兼松は明治中期から豪州小麦の輸入

に着手して大正一〇年には四万二千トンを取り扱っており、それは日本の小麦輸入総量の約四割に相当したといわれる。しかし早魃や価格変動によって豪州小麦の輸入は不安定になるため、新たな小麦供給地を開拓すべくアメリカやカナダの小麦生産事情を調査することが検討された。そこで大正一一年六月に藤井取締役は大口の顧客である日清製粉会社の技師を同行し、まずシアトルに上陸し、その後ポートランドやバンクーバーを視察して八月に帰国した。その視察の成果を踏まえて、兼松は間もなく北米から大量の小麦輸入の開始に成功している。

豪州兼松の特記事項では、支店開設直後から在勤した大西金次郎取締役が停年退職した。大西は明治二四（一八九一）年にシドニー支店で現地採用されて以来、三二年の長きにわたってシドニー支店輸入部長として活躍した。神戸本店でも前田取締役が健康不良を理由に停年前の退任を申し出て、後任人事が整うまでという条件で慰留され、大正一四年に退店した。すでに神戸本店では古立直吉・入江金三郎・四方素といった古参重役が相次いで引退しており、大正後期には人員の交代が目立つ。

続いて大正一二年を概観しよう。大正一二年の懸案事項の一つは、金融環境の悪化であった。これは前一年から顕在化した問題であり、具体的には兼松のメインバンクで、輸出入商品の決済を大きく依存してきた横浜正金銀行が信用状発行に難色を示し、また同行が提供する為替レートが外国銀行のロンドン廻りのレートよりも著しく不利であることが判明したという二点であった。商品代金を決済する信用状は円滑な貿易業務に不可欠であったが、大正一一年一月に神戸本店は豪州兼松から正金銀行シドニー支店が信用状の発行を渋り、今後の羊毛購入資金の手当に関して早急に正金銀行と交渉する必要があるという電信を受け

取った。このとき豪州全体が貿易構造の変調から金融梗塞にあり、それを受けて正金銀行シドニー支店も貸付資金の供給難に陥り、本巻所載の取二三号信後記によれば、正金銀行シドニー支店長が自ら資金を求めてシドニーやメルボルンの各銀行を訪問するなど羊毛資金の確保に奔走している。兼松にとつては正に青天の霹靂であり、早速に神戸本店は正金銀行と接触し、これからの予定額を説明して了承を得た。この騒動の背景の一つは、正金銀行シドニー支店長が武内和吉から松島泰夫に交代し、豪傑肌であった武内前支店長に比較して、松島新支店長は謹厳緻密な純銀行家という両者の性格的な相違も影響したと神戸本店の藤井取締役は推測する。歴代の正金銀行シドニー支店長の営業方針や個性については、忌憚のない打明け話が正一二年の取二九号信に収録されている。

為替レートの問題は端的には兼松が羊毛や小麦等の輸入に際し、正金銀行と倫敦（ロンドン）廻りの外国銀行のいずれを利用するかという問題であった。大正四年に正金銀行がシドニーに進出した後には、為替取組額の大部分を占める羊毛取引には、全豪銀行やユニオン銀行の倫敦廻り為替と正金銀行の円為替を併用し、やがて専ら親銀行である正金銀行に依存するようになった。しかし神戸本店が調査したところ、大正八年以前は両者には不利有利の差がほとんどなかったのに対し、近年は正金銀行が提供する為替レートは外国銀行の倫敦廻り為替よりも常に一・五%以上も不利益になっていることが判明した。三井物産をはじめとする他社との競争が不利になりかねないため、兼松の神戸本店は正金銀行神戸支店に善処を申し入れたが、正金銀行はシドニーで交渉するように回答し、兼松と正金銀行の両シドニー支店間で会合が催された。しかし交渉は難航し、兼松は正金銀行と外国銀行の併用を検討すると共に、外国銀行も全豪銀行やユニオン銀行ばかり



でなく、新たにナショナル銀行との取引も考慮するにいたっている。

また大正一二年五月には「日本羊毛輸入同業会」が結成された。これは兼松や三井など旧来からの豪州羊毛輸入業者以外に、新規に羊毛輸入に参入する企業も登場したので、海運業者や銀行との交渉及び羊毛の安定的供給を目的に、兼松・三井物産・大倉組・高島屋・三菱・日綿の六社で結成された。

しかし何と言っても大正一二年の最大の出来事は関東大震災の発生である。地震発生時の瞬間を神戸本店で執務していた藤井取締役は『兼松商店史料』で次のように語る。

十二年九月一日午前、伊藤町本店重役室に於て重役部長会議を開き居りしが、正午少し前頃、神戸には珍らしき強度の地震あり、室の天井に取付けた電燈のシャンデリアが相当振動したので驚いて一般営業所の方を見ると、一時全員総立ちとなった。

激震後に東京横浜方面への通信は杜絶して、大地震があったらしいという漠然とした情報しか入らず、神戸本店では東の空を望んで心配するばかりであったという。翌二日未明からメディアで関東大震災の詳報が届き、直ちに神戸本店は二日夜に被災者の救済と被害状況の把握のために陸海両路で店員を上京させた。また兼松の東京支店長が神戸に特派した店員が信州上田で発した電報が神戸本店にもたらされ、同人は七日に神戸に到着して被害を報告した。豪州でも三日早朝には新聞朝刊で震災発生が伝えられ、豪州国民から多大の同情と義捐金が寄せられたことは九月一四日発の取四三号信で記述されている。

丸ビルにあった兼松の東京支店は焼失や人的被害を免れたものの、横浜荷揚所に駐在していた兼松の従業員一名の死亡が確認された。南アフリカ貿易で兼松と深い関係があり、『日豪間通信』にも度々その名前が現れた古谷駒平も横浜森村組を往訪中に地震に遭い、死亡している。また横浜港で荷揚げ中であった丹後丸の豪州羊毛のトップ製品の大部分が罹災し、その補償金を広東保険会社と交渉する必要に迫られたほか、取引先各社の被害も甚大で、兼松が大量の羊毛を納入していた東京モスリン・東洋モスリン・東京毛織・上毛モスリン・栗原紡績・日本フェルト・日本原毛の被害は深刻であり、数社の工場は壊滅の有様であった。これら取引関係の債権の相当部分は不良債権と化して、大正一二年末の時点で兼松が抱える震災手形は七三万八五〇〇円、震災後新手形が一九万八千円など合計一一八万九九〇〇円に達し、翌一三年以降に兼松はそれらの回収に苦慮することになった。

(藤村 聡)

大正一一年 シドニー来状

取二三号信

大正一一年一〇月二〇日

丹後丸便

守田治平発

.....

三

貴信／前田重役御提議／前田重役御退任／新年昇給案／歳末給与及イースターギフ  
ト／北米視察／大西シドニー重役満齢／御前部長

取二三号信後記

大正一一年一〇月二六日

丹後丸便

守田治平発

.....

二

シドニー株券振替／濠洲金融難／救済策／聯邦選挙／帰朝者／貴信

取二四号信

大正一一年一〇月三〇日

錫蘭丸便

守田治平発

.....

二〇

前田取締役／奨励会規約／McEJone／総会／兼松商店史／濠洲業蹟予想ト経費／広  
東割戻シ／羊毛運賃／YSB ガ C Form Credit／無為替卜店内為替率取極メ／濠洲ヨ  
リノ輸出品／日濠間利息勘定／濠洲内地送金料／濠洲会社無配当ノ利害／シドニー  
半期仮決算／浴巾会社／金融難ト羊毛相場／御礼／天長節

取二五号信

大正一一年一二月二三日

吉野丸便

守田治平発

.....

三五

貴信／上半期仮決算／今期一ケ年予想／シドニー半期／奨励会規約／浴巾会社／浴  
巾会社欠損計上案／入営者ニ対スル待遇／金融難／Bank of Australia L/C／小麦  
／倫敦向ケ先約／YSBト羊毛資金／YSB将来ノ方針／対K／小麦

取二六号信

大正一一年一二月九一一日

長野丸便

守田治平発

.....

五〇

貴信／工業会对羊毛運賃／商店史料／シドニー仮決算／シドニー改築／小麦ト金融  
／Bk of Australia／倫敦廻リ／シドニー株式振替／Private Code ヲ英文／Text  
Code ノ注意／本支店間通信モ英文／モスリン会社見習／羊毛運賃／市長マカロン

取二七号信

大正一一年一二月二〇日

安芸丸便

守田治平発

.....

六二

日本浴巾会社経営者／シドニー勤務／Y S B 決心／小麦特別扱／買為替相場ノ開キ  
／シドニー在勤手当／「メルボルン」出張員ト支店／人事／Whiddon Top/Hughes Top  
／ヒュース勝訴／大坂商品陳列所／羊／聯邦選拵／英米 Cross Rate

# 大正一二年 シドニー来状

取二八号信	大正一二年一月五日	まどらす丸便	守田治平発	七三
	年末給与ト増給ノ日粉火災保険ノ羊毛運賃ノ貴信ノ谷口店員			
取二八号信(続)	大正一二年一月二五日	丹後丸便	守田治平発	七七
	貴信ノ御前部長ノシドニー外人ノ馬匹ノマグリツチ氏			
取二九号信	大正一二年二月一四日	長野丸便	守田治平発	八一
	貴信ノ前田重役ノシドニー昇給辞令ノ広戸君ノ奨励会総会ト規約改正ノ金田君ノタオル積後レノ中井出張員ノ羊毛運賃ノ記念事業積金ノ濠洲会社成蹟ノ新入者 Walter Lace Taylorノ濠日間正金銀行為替率ニ就テノNational Bank of AustriaノBk of Austriaノ金融依然逼迫ノ輸入先約ノ大坂モス注作品ト延積金融ノ件			
取三〇号信	大正一二年二月二二日	吉野丸便	守田治平発	一〇五
	貴信ノ正金銀行交渉ノ最近ノYSB Paper Rate 復旧ノParth L/C 宛ノ羊毛運賃協定書ノ当店輸入部ノ得意先業蹟ノ羊毛紡織ノヴィクトリア小麦ノ小麦收穫ノExchangeノ日本ヨリ倫敦向 T/T 売ノ貴店試算表ノ奨励会届書ノ領事館照会ノ濠洲聯合内閣ノJ. B. Sutor 氏ノBig Monthノ先物約定注意			
取三一号信	大正一二年三月九日	秋田丸便	守田治平発	一〇六

貴信／秋田丸／北村取締役／日濠間ト倫敦廻リノ差／店内無為替為替率取極メ／羊毛運賃協定／山下汽船ト羊毛／日本棉花ト羊毛見込

取三二号信

大正一二年三月一六日

セント・アルバンス号便 守田治平発

..... 二四

シドニー事ム所移転ト不動産／大坂モス注文羊毛ト金融／為替率取極メ／Storage  
／Vict' Wheat／倫敦向ケ T/T 売／Bk of Austria／保険／益田店員及旅費規定／  
他店人事／運賃協定ト「ノイル」／日毛注文品ト船積差函

取三三号信

大正一二年三月二三日

安芸丸便 守田治平発

..... 一三六

干天／大毛注文羊毛／Whitdon Bros／新設毛織会社／西濠用 D.C. L/C／NYK特  
別割戻シ／政府羊毛ト山下汽船

取三四号信

大正一二年四月一四日

イースタン号便 守田治平発

..... 一四二

貴信／シドニー店員／北村取締役／人事／貴店決算／シドニー決算／CosS／毛斯紡  
注文宛メルボルン買附品口仙／為替先約

取三五号信

大正一二年四月二六日

丹後丸便 守田治平発

..... 一四八

シドニー第一回定時総会／外人店員イースター給与／Mr CosS／シドニー第一回決  
算報告／金融緩和／敬義丸坐礁ト将来ノ安全策／For Future Business／Insure  
Profit／早魃ト小麦相場／輸入モ打撃／店内無為替 firm exchange／大毛ニ関スル  
正金ノ感情／貴信

取三六号信

大正一二年五月九日

長野丸便

守田治平発

.....

一五六

貴信／奨励会／シドニー決算書／正金銀行更迭／日本浴巾会社／日本毛織悶着／貴店決算／中井出張員／溝渕／井垣／X rate Exchange／旱魃漸ク破ル／Wheat／送金  
ト Bk of Austria／輸入部人線

取三七号信

大正一二年五月一九日

アラフラ号便

守田治平発

.....

一六六

降雨／クインスランド選挙／クインスランド税関／人繰リ

号外信

大正一二年五月二一日

守田治平発

.....

一七二

シドニー在勤者俸給及手当支給額改正案

取三八号信

大正一二年五月二四日

吉野丸便

守田治平発

.....

一七六

北村取締役／奨励会規約訳文／メルボルン支店新事務所／プリズベン羊毛競市／本船帰朝者／Y S B 提議羊毛資金為替率先約ノ件

号外信

大正一二年六月二六日

守田治平発

.....

一八五

奨励会規約訳文ノ件

取三九号信

大正一二年六月二八日

安芸丸便

守田治平発

.....

一八九

貴信／北村取締役／羊毛／濠洲旱魃／従務員俸給表／外人店員／中元昇給案／敬義丸災害小麦／Exchange／倫敦廻リ為替愈々羊毛ニ及ブ／守田メルボルン出張／

Lincoln Mills / Geelong Mills / 小麦 / ブリスベン出張 / 溝湖

取四〇号信

大正一二年七月一三日

イースタン号便 守田治平発

..... 二〇一

倫敦廻り為替取組 / X rate 動揺 / 英国金利 / 濠洲旱魃 / シドニー不動産 / 奨励会  
規約 / 委任状 / シドニー記念事業 / 羊毛 / 小麦 / タロー / Cotton Grey Sheeting

取四一号信

大正一二年七月三一日

丹後丸便 守田治平発

..... 二一〇

貴信 / 北村取締役 / 前田取締役 / 第八回定時総会 / 第二記念事業 / 東亜製粉貸金 /  
新株払込 / 中元昇給 / 中元給与 / シドニー会社利益処分 / シドニー会社取締役 / 退  
職者慰勞 / 日毛苦情解決 / NZ Swift ト三井 / 広東保険問題 / シドニー人繰案

取四二号信

大正一二年八月一五日

あらふら号便 守田治平発

..... 二一四

貴信 / D/C Yen Bill Credit / 羊毛為替先約ノ件

取四三号信

大正一二年九月一四日

セント・アルバンス号便 守田治平発

..... 二二二

貴信 / 日本ノ大震災 / 丹後丸保険 / 銀行ノ態度ト財界 / 羊毛為替先約 / YEN BILL  
ト D.C. L/C / 小麦保険 / Swift NZ 代理店 / 人事 / 凶報 / 奨励会総会ト第一次奨  
励 / 濠洲在勤者支給額 / Melbourne Branch Office / 中井店員 / 広戸夫人 / OFFICES  
TO LET / シドニー外人

取四四号信

大正一二年九月二〇日

安芸丸便 守田治平発

..... 二二六

震災 / 羊毛注文ト L/C / 正金過振中止ト利息 / Exchange 高下 / Swift N.Z. / Aus-



Australian Bulk Wheat / 九月末半期仮決算予想 / 所得税減率 / 外人店員定限年令 / ブリスベン羊毛 / 大毛先約為替 / 雜件

取四五号信

大正一二年九月二四日

ガンジス丸便

守田治平発

.....

二五六

貴信 / シドニー円為替先約 / 日毛前季注文 / 奨励会規約英訳 / 丹後丸荷物震災保険

取四六号信

大正一二年一〇月一〇日

マドラス丸便

守田治平発

.....

二六二

丹後丸横浜揚貨物保険 / YSB 為替先約ノ件 (羊毛以外ニ対シ実行) / 為替ト小麦 / 新麦作柄 / 北村 / 大地震実況 / ブリスベン・シドニー間電話

取四七号信

大正一二年一二月二日

丹後丸便

守田治平発

.....

二七一

貴信 / 東京横浜罹災地方 / 正金トノ関係ト当店ノ被害 / 丹後丸被害保険 / 保険率引下ゲ / 井垣店員 / 又復金融難予想 / 為替相場却テ向上 / 人事再記 / 金融ト D.C.I.C

取四八号信

大正一二年一二月一七日

アラフラ号便

守田治平発

.....

二八二

貴信 / 関東方面被害実況 / 得意先損害 / 丹後丸保険 / モラトリアムト利息 / 北村重役 / 東京支店員 / 人事 / 日毛出張員 / 浴巾会社 / 金融逼迫トナシヨナル銀行取引開始 / YSB D.C. / YSB Sydney / 為替逆潮 X rate 暴落 / 当店入用資金予想 / メルボルン支店 / 木材照会

取四九号信

大正一二年一二月二二日

吉野丸便

守田治平発

.....

二九四

貴信 / 丹後丸保険問題 / 貴地金融ト信用状 / 為替乱調ト日濠相場ノ開キ / YSB SYD-

NEY/Australian Bk of Commerce / 半季仮決算 / 当店 EXPt No2 a/c / モラトリアム利息 / 人事 / Our Mutual Understanding and Confidence / トムソン未亡人 / 為替愈々乱調 / Gsy Wool 40 1/2 % / ンス Record Price

取五〇号信 大正一二年一二月一〇日 三島丸便 守田治平発 ..... 三〇五

貴信 / 北村取締役安着 / 前田取締役 / 安キ丸便 / 日毛送金案 / Exchange Rate Cr  
↳ Paper ノ差

取五一号信 大正一二年一二月一五日 セント・アルバンス号便 守田治平発 ..... 三一一

金融及信用状難 / Wool Payment / 政府関係羊毛 / 日毛ニテ相場先約希望? / 大坂モス長期前貸 / 為替相場ノ開キニヨル取組法変更 / 為替相場益々乱調 / 人事紹介 / 戦時中政府買上ゲ / 英濠間為替

取五二号信 大正一二年一二月二三日 安芸丸便 守田治平発 ..... 三三二

藤井重役 / 前田重役 / 第二次奨励 / シドニー会社持株登記 / 年末給与 / シドニー下給外人増給 / 南阿問題 / L / C 発行杜絶 / L / C 超過額過振り特別扱ヒ / 送金  
£21,000 / 英国ヨリ金貨輸入 / Y S B 金利引上ゲ 7 % / London 廻リ L / C

大正11年

シドニー来状



取二三号信 大正11年10月20日 丹後丸便

豪社守田治平↓神戸及東京取締役

拝啓

北村取締役ハ今午後発列車ニテ「ブリスベン」へ御出張相成候ニ付、御閲覽ヲ願ヒオク便宜上、  
早目ニ書キ始メ申候

貴信

8/21日附前記及9/11日附130号前田重役御認状  
並ニ9/11附藤井重役御認北米調査御報告書

ハ何レモ丹後丸便ニテ十月十日入手、拝誦致候

右御来状ニ対シテハ北村重役御執筆ノ筈ニ御座候ヘトモ、未ダ其機ヲ得ラレズ、且ツ今便ニハ

間ニ合ヒ申マジクト存シラレ候ニ付、北村重役ニ代リ左ニ御受ケ申上候次第ニ有之、尚其以上ハ北村重役ヨリ直接御通信可申上候

前田重役御提議

事項ハ前田重役ニ於テ深ク御考慮ヲ重ネラレタル結晶物ナル事ハ、容易ニ首肯シ得ル次第ニシテ、

第一、有価証券帳簿価格ノ調節案ハ何レモ賛成ニシテ、浴巾会社評価格ヲモ直ニ拾五万円ニ減少致サレ候事、頗ル機宜ニ適シタル御処置ニシテ全ク御同意ニ有之、而カモ帝國政府英貨債其他幸ニシテ好収益ヲ得ラレ候モノト相殺シテ、稅務署側ノ注意ヲモ避クル御仕向ケモ、誠ニ結構ト存候

其他ノ御提案ハ大体ニ於テ異議ヲ申出ベキ物有之候共思考致サレズ、何レモ賛成ニ御座候而シテ第八、定款變更案中

(A) 公告新聞ノ變更各員賛同

(F. K. (Aust.) Ltd. 決算報告モ同時ニ公告シ、説明ヲ要セズシテ、シドニーニ姉妹会社アル事ヲ世間ニ知ラシムル御計画ナル事モ守田ヨリ口頭報告致候)

(B) ノ重役持株モ一千株一律ニ賛同

(C) シドニー支店ノ存廢

(D) 一株ノ金額ノ増大

(E) 一人ノ持株ノ制限率縮少

(F) 定款第廿六条ノ遠キ将来

等ニ就テハ事何レモ将来ニ属スルモノナレバ、急ギ決定ノ限リニ非ズトシテ、各員充分ノ御考慮ヲ与ヘラレ候由承知仕候

但シ記念事業計画案ニ就テハ勿論異議アルベキ筈ナク大賛成ニ御座候ヘトモ、商店トシテハ当分業蹟ノ樂觀予想ヲ許サズ、否寧ロ悲觀財料ノミ多キ傾向ナルニ、纏リタル金額ヲ要スル事業トシテ可成ダケ早く之レガ実現ヲ希望致シ居リ候モノニ「シドニー」建物改築案アリ\*、続イテ「シドニー」及「日本」ノ未払込資金充実ニ努メザル可カラズ、今ヨリ此記念事業ニ要スベキ財力ノ蓄積ニ着手シ、其実行機ノ早カラン事ヲ期スルハ頗ル同感ニ候ヘトモ、而カモ特ニ急ギ候要モ無之哉ニ思考致サレ候

〔\*印欄外書込〕

東京支店新築案

以上ハ北村取締役ニ於テ貴狀御熟読後、守田ヨリ貴地滞在中見聞シタル要点ヲ御報告致候時ニ於テ拝聴致候御意向ヲ其俛相認メ候物ニ御座候

## 前田重役御退任

此御提案ニ関シテハ、当方幹部ノ会合ニ依テ意見ノ交換ヲスベク北村重役ノ御意向ナリシモ、於事實何レモ事務多端ノタメ好機ヲ得ル事困難ニシテ、而モ御前君急ニ離濠ノ事共相成候折柄、守田トシテハ帰濠後、第一ノ週末手隙ノ時ヲ利用シ、小池・御前・片桐・井垣四君ヲ便宜上私宅へ御会合願フ事トシ、前田重役御提議ニ就テノ神戸ニ於ケル会議ノ模様及其他一般重要事項ニ関シ守田ノ見聞シタル処ヲ報告シ、各自ノ意見ヲ交換致シ候実況ハ勿論御前君御存知ノ如クニ有之、自然御帰神ノ上ハ御聴取ノ事ト存候ヘトモ、何レモ日本ニ於ケル幹部会議ノ結果ト同意見ニシテ、如前述北村重役御意向モ同一ニシテ、内外重役及幹部意見一致セルモノト解シ候

問題ガ商店トシテ最モ重大ナル事ハ申ス迄モ無之、守田錦地発足当時ハ藤井・林両重役間ニ御協議ヲ重ネラレ居リ候時代ニシテ、何等具体的ノ報告乃至協議財料ヲ齎シ帰り得可キ立場ニハ非リシモ、筆者ノ見聞シ得タル範圍ニ於テ北村重役始メ各部長ヘノ御報告モ致シ、前記部長会合ノ時ノ時間ノ大部分ハ結局此重要問題ニ要シタル実状ニ御座候

而シテ北村重役始メ部長衆議ノ一決セル処ハ、筆者ガ日本幹部ノ意見ト認メシモノト全然一致セルモノニシテ

第一、前田重役ガ従来ノ通り引続キ重任ヲ承諾サル、事ヲ希望シテ歇マズ

第二、乍併来年改選期ヲ機トシ、是非共常務ヲ離レラル、事ニ前田重役ノ御決心ヲ翻シ得ザ



新年昇給案

ルニ於テハ、吾人ハ現任重役諸賢ニ信任シテ御師導ヲ願フ事ニ於テ從來ト変リナキハ  
今ニ確メノ要モ無之候ヘトモ、而カモ名実共ニ商店ノ柱石トシテ、内ニハ上下挙テ其  
徳ヲ慕ヒ、外ニハ商店ノ名声ト共ニ抔ク其重キヲナサル、前田重役ガ近キ将来ニ於テ  
商店ト絶縁ノ形ト相成候事ハ到底忍ビ得ザル処ニ有之、将来ニ於テモ日常務以外、前  
田重役独特長所ノ發揮ヲ願フベキ重要事項モ多ク可有之筈ニ有之、直接間接従務員ノ  
修養師導等ニ就テモ亦絶ヘズ御高配ヲ願ヒ度ク、則チ適當ナル形ニ於テ名実共ニ商店  
ノ後見役トシテ永久ニ商店ト密接ナル關係ヲ保タレ候様、御協議御熟慮被下度切望ニ  
御座候

此問題ガ具体的ニ決定致候事ハ、明年北村重役御帰朝ノ時ヲ待タザル可カラズ候ヘトモ、此際  
北村重役ノ御意志ノアル処ヲ上伸致オキ候様ニトノ命ニ従ヒ執筆致候次第ニ御座候、重テ充分  
ノ御考慮ヲ煩シ度ク上希候

ニ就テモ北村重役ヨリ御受ケ可申上処ニ御座候ヘトモ、大体ニ於テ異議無之候間、御立案賛成  
トノ御回答ニ御座候

歳末給与及イ  
スターギフト

ニ就テノ御来旨敬承致候

歳末給与額モ異議無之候、但シ取締役振当額ニ就テハ後便得貴意可申候

今後ハ「シドニー」外人ニ対シテモ貴地同様ニ回給与ト改メ、貴地ニテモ其振当八年末ニ重キヲ措キ、内外ヲ通ジテ年末60又ハ65%、中元40又ハ35%位ノ振合ヒモ妥当ト存候

北米視察

藤井重役ノ御詳報ニ接シ、充分ニ了解致候

Wood Boxter & Co ナル者ガ藤井重役ノ御眼鏡ニ叶ヒ候事ナレバ、此兩人ヲ試用シテ北米方面ノ小麦取引開始ノ御決議ニモ北村重役御同意ニ御座候

大西シドニー重役  
満齡

退任ニ就テハ当方ノ都合上、結局守田帰任ノ時迄日勤致シ、於事實、輸入部長トシテノ事務ハ小池新任部長ニ譲リ、銀行手形署名等、北村重役御不在中ニ於ケル日務ノ洪滞ヲ避クルタメト且ツ輸入部担当事項ノ引継ギ等ヲモ最モ完全ナラシムル意味トヲ兼ネ居リシ次第ナリシガ、本月十七日ヲ以テ当店従務一同（女・子供ヲ除キ）会合ヲ催シ、正式ニ退任式ヲ挙行致候

北村取締役御挨拶ニ続テ、守田ハ日濠両社重役及従業員ニ代リ記念品贈呈ノ挨拶アリ、Cos・小池・ガントン諸氏ノ挨拶及感想談アリ、殊ニCos君ハ外人ノ先輩トシテ「当商店ガ従業員

功勞者ノ勞ニ酬ユルニ其形ニ於テ他ニ例ヲ見ザル完全ナルモノアリ、精神的ニハ亦温情ノ如何ニ深厚ナルモノアルカヲ具體的ニ表示スル最好機會ニシテ、後進者ハ大ニ腦裡ニ納メ、商店ノタメ献身の努力スベキモノナリ」トノ意味ヲ強メ、ガントン君トシテハ当店從務員ガ上下ノ差別ナク全然商店本位ニシテ執務時間等ハ念頭ニナク、而カモ人心ノ統一ト誰レモガ愉快氣ナルハ世間ノ定評ニシテ、他ヨリハ殆ド羨望ノ的ト成リ居レリ等ノ感想談ハ、此場合頗ル有意味ナリシ事ヲ感ゼシメ候

大西氏トシテハ告別ノ感慨無量ナリシハ申ス迄モ無之候ヘトモ、商店ノ好遇ニ對シテハ徹頭徹尾感謝ノ意ヲ表シ、又記念品モ大満足ニ受納致サレ候

株金ニ對スル支払金ハ貴店金融状態ヨリシテモ可成送金ヲ希望セラレ、又大西氏自身モ同様ニ付キ、松島Y S B支店長ヘ交渉ノ結果、其内弍萬圓ハ定期預金トシテ六ヶ月間ハ手ヲ附ケザル了解ノ下ニ特ニ承引致シクレ候ノミナラズ、相場モ $2\frac{1}{2}\%$ ノ好率トシ、定期預金率モ特別扱ト致シクレ候ナド大ニ好意ヲ表シクレ候ニ付、直ニ電報申上候処、早速御電送ニ預リ奉謝候株金 ¥265,000 トシテ御送金入手致候ヘトモ、如何ニシテ此金額ガ表レ候カ未ダニ不明ニ候ヘトモ、結局、日本及シドニー持株価格ヲ合計シタルモノヨリ、日本ニ於ケル大西氏借越殘金ヲ差引キタル額ヲ御振替被下候物ト想像罷在候

慰勞金ハ先般前田重役御來濠ノ節ノ御打合せニ從ヒ ¥500 ト致シ、如左相成候

日本ノ新旧株合計払込額	¥ 218, 750
電送金率 @2/1 3/8	£ 25, 771. 9. 8
Sydney 会社株金	<u>3, 125. 0. 0</u>
	£ 28, 896. 9. 8
外ニ特別慰勞金	<u>500. 0. 0</u>
	<u>£ 29, 396. 9. 8</u>

ト相成候

御前部長

三ヶ月繰上げ当地出發ノ御希望ハ、NZ方面視察モ済ミシ頃ナルヲ幸ヒトシテノ御提案ト存候、  
 当方トシテモ輸入部ハ既ニ片桐君ニ引継ギ(NZへ出發ノ時) 済ノ形トモ相成リ居リ候ニ付、  
 御来旨ニ従ヒ、本船丹後丸ニテ帰朝ノ事ト速決致候

同君約五ヶ年半ノ間ニ濠洲ノ事情ヲ殆ド完全ニ吞ミ込マレ候事ハ吾人ノ疑ナキ処ニシテ、帰朝  
 ノ上ハ抜キ方面ニ於テ必ズヤ多大ノ貢獻スル処アルベキヲ期待致シ居リ候

御前部長ノ貴地早着ハ広戸部長モ亦一ヶ月繰上げ、一月出發ト早メラレ候御腹案ナランカトモ  
 想像罷在候次第ニシテ、二・三月ノ頃ハ羊毛買付モ最高潮期ニ可達、出来得ベクンバ一月發ニ

繰り上ゲ願へ候ハゞ、誠ニ好都合ナリト北村取締役ノ御希望ニ御座候間、宜敷御高配願上候  
(ツゞク)

大正十一(一九三二)年

一一

取二三号信後記 大正11年10月26日 丹後丸便

豪社守田治平↓神戸及東京取締役

追啓、今状前記七葉ハ便宜上「ブリスベン」御出張中ノ北村取締役ヨリ御附郵願フ事ト致シ候  
ヘトモ、今状ハ北村重役御不在中ニ認メ候俟ニテ発郵致候ニ付、若シ訂正ヲ要スルモノモ有之  
候ハ、後便追テ得貴意可申候

シドニー株券振替

大西氏引退ノ結果、大西氏ヨリ左ノ如ク株ノ譲リ渡シヲ為シタルノ通知ニ接シタルタメ、会社  
ハ是レヲ承認シタル形トシテ聯邦大蔵省ヘ届ケ出デオキ候、未ダ其受ケ書接手致サズ候ヘトモ、  
「マカロン」氏ノ意見トシテモ当局ニ異議アルベシトモ思ハレズ、筆者トシテモ同感ニ御座候

小池・シドニー 一三〇〇株

片桐・ 七五〇株

江戸・神戸 一五〇〇株

藤井・々 六四五〇株

則チ小池・片桐・江戸三株主ニ対シテハ實際ノ数字ヲ表シ、大西氏正味持株ニシテ奨励会所有ニ属スルモノ六二五〇株及亀山店員供託二〇〇株、合計6,450ヲ藤井重役名義ト改メ候  
従来ノ割合ハ シドニー 六五〇〇〇 日本 三五〇〇〇株ナリシガ

右ノ結果 々 五七〇五〇 々 四二九五〇株

ニシテ、「シドニー」側ハ漸ク過半数ヲ示ムル立場ト相成リ候

御前君持株一二五〇株ニ対シテハ後日単ニ住所ヲ日本へ移シタルノ届出デニ留メ、名義書キ換ヘヲ致サ、ル考ヘニ御座候、如此ニシテ漸次当局ノ意向ヲ窺ヒツ、實際ノ名義ニ振り戻シ候様  
実行ニ努メ可ク候

新株券発行ノ時ニ要スル印紙税ハ敢テ重大ナラズ、株券一枚ニ対スル最高5/1(一千£以上)ニシテ、如今回四枚発行ノ場合ハ合計16/1ト相成候

然ルニ Stamp on Transfer of Shares ハ£10毎ニ9ペンスニ付キ、今回ノ払込額五千£ノ譲  
り渡シニハ £18/18/0ヲ要ツ、如何ニモ過重ニ付キ、之レガ節約方法ナキモノニヤト研究中  
ニ御座候

ニ就テハ、前便御前君ヨリ詳報申上候外ニ其後ノ電報ニ依テ、大体御存知ノ如クニ御座候ヘトモ、其後モ一向進展ヲ見ルニ至ラズ、屢々松島Y S B支配人ト会见致候時ハ、幸ヒ御帰朝ノ御前君ヨリ当地ノ実状ヲ貴方ヘ御報告願フ意味ニ於テ同君ト共ニ会谈ヲ続ケ居候間、自然成行ノ詳細ハ同君ヨリ御聴取り被下度候、其原因ノ主ナルモノハ

昨年末以来、濠洲ヨリノ輸出超過額激増ノ結果、現ニ倫敦ニ固定セル資金ハ六千万£ノ多キニ達シ居ルニ拘ラズ、英国ヨリノ輸入ハ遅々トシテ進マズ、且ツ濠洲内地ニ於テモ亦公債応募ニ余義ナクサレ、資金ノ固定セルモノモ少カラズト云フニアリ

濠洲銀行ハ何レモ今季羊毛及小麦ニ対スル巨額ノ輸出為替ヲ買フタメニ資金争奪ノ有様ニ御座候、然レトモ現ニ当地Y S Bガ苦悶致シ居リ候程ニ内地銀行モ行詰リ居リ候意味ニハ無之、各内地銀行ハ何レモ常得意ニ迷惑ヲ来サル様相当ノ準備金ハ用意シアル事勿論ナレトモ、而カモ不充分ナルハ明カナル立場ナレバ、此際外国為替銀行タルY S Bガ如何ニ好率ヲ餌ニ齷齪致候トモ、自分ヲ犠牲ニ供シテ迄モ之レヲ援助スル者ハ無之、結局Y S Bガ最モ苦境ニ陥リ居リ候ハ乍遺憾当然ノ成行ニ御座候

依テ松島氏ハ遂ニ意ヲ決シテ、自ラ「メルボルン」へ出陣致候事ハ其当時電報申上候如クニ有之、「シドニー」ニ於ケル大銀行ノ多クハ其本店乃至幹部ヲ「メルボルン」ニ置クモノ多キタメ、其根本ニ立チ入りテ實際ノ立場ヲ出来ル限り研究スルト同時ニ金策ニ努力スル覚悟ナリシ



モ、「メルボルン」ニ於ケル逼迫状態ハ寧ロ「シドニー」ヨリモ一層甚シキモノニシテ、此際松島氏トシテハ自家ノ利害問題ヲ別視シ、常得意ノ迷惑ヲ救フタメニ羊毛為替ヲY S B支店開設前ノ状態ニテ引受ケ方交渉致候ヘトモ、各銀行何レモ彼等自身ノ常得意ヲ満足セシムル事サヘモ疑ハシク苦心ノ折柄ナレバ、此提議サヘモ乍残念引受ケ難シトノ不成蹟ニテ、止ムナク歸市セラレシ如クニ候

前是松島氏ヨリ十一月入用額ハ何トカ成ル見込ナレトモ、其後ハ全然見当ガ附カヌトノ話ナリシタメ、其趣十月十二日發電御報申上オキ候ヘトモ、其後ノ形勢ハ逆戻リト相成リ、十一月分モ保証シ難ク相成リ、今日ニテハ漸ク拾五萬鎊ハ準備整ヒタリ、今後モ努力ヲ續ケ弗々拾ヒ集ムル物ニ依テ、十一月分ハ賄ヒ得ル見込ナレトモ確約ハ致シ難シトノ立場ニシテ、悲觀致候ヘバ限リモ無御座候間、此種ノ變動ハ一々貴方ヘ電報申上ゲズ、Y S Bヘ対シテハ何トシテモ当店入用額丈ケハ工面シテ貰ハネバ成ラヌトノ一点張りニテ凭レ掛リ居リ候現状ニ御座候

若シ日本行羊毛取扱業者ノ全部ガ総テY S Bヲ通シテ為替取組ムモノナレバ、金融不出来ノタメニ注文品買輸不可能トナルカ、或ハ最後ノ救済策トシテ米國・印度又ハ香港何レカ便利ノ場所ヨリ金貨ヲ輸入スルガタメニ、為替率が非常ニ割高（一割位ノ響キアランカトノ事也）ト相成候トモ、一列平等ニテ止ムヲ得ズ候ヘトモ、茲ニ最モ厄介ナルハ三井ニ有之、彼レハ従来相当ノ金額ヲ全濠銀行ヲ通シテ倫敦廻リノ信用状ヲ利用スルノ立場ニアリ（五十萬鎊トカ聞キ及ビ候）、全濠銀行トシテモ常得意ノ事ナレバ、日本商社ナレバトテ謝絶スル筈モ無之、夫レガ

為メ結局当店其他ノ羊毛業者ハ、手ヲ空シクシテ三井ノ一手ニ任スノ外ナキ最モ馬鹿氣夕悲境ニ陥ル次第二シテ、筆者トシテハ此重大ナル要点ヲ力説致シ候ノミナラズ、松島氏モ克ク了解致シ居リ候ニ付キ、三井ガ活動シ得ル程度ニ劣ラザル様、兼松ノタメニハ特別ノ取計ヒヲナス事ニ研究怠ラザル事ヲ誓ヒ居リ候ヘトモ、悲觀致セバ限リモ無之、又今ハ其機ノ熟セルヲ思ヒ、去ル廿三日筆者ハ帰濠挨拶ヲ主眼ノ如クニシテ Bank of Austria 支配人ヲ訪ヒ、可然態ニ於テ羊毛為替問題ヲ持チ出シ候処、此金融硬塞ノ際ナレバ「メルボルン」幹部へ照会ノ必要アレトモ、年来ノ歴史モアル事トテ最善ヲ尽ストノ返答ニ付キ、松島支配人ニモ其成行ヲ報告協議ノ結果ハ、寧口松島氏ヨリ其方法ノ成功ヲ祈ルトイフ依頼ヲ受クル態度ニ於テ充分ノ了解ヲ得、全濠銀行ヘハ十一月積トシテ取敢ヘズ五万£ヲ申込ミ、今ハ其回答ヲ待チ合セ居ル立場ニ御座候、若シ全濠銀行ニテ都合ヨク引受ケケレ候ハ、今後モ金融状態ノ如何ニ拘ラズ、幾分ヅ、カハ全濠銀行ヘ分譲ノ義務ヲ生ジ候事モ松島支配人モ充分了解致シ居リ、又商徳義上、斯クアルベキ筈ニ候ヘトモ、寧口此際此方面ノ再開拓ヲ為シ得バ、将来ノタメニモ好都合ナル可シト思考致候意味モ有之、是非共、是レガ成功ニ努力ノ覚悟ニ御座候

但シ内地銀行中デハ此全濠銀行ガ最モ苦シキモノ、一ナルガ如クニ候、而シテ他ノ銀行ニモ探リヲ入レ候ヘトモ、so far 対人ニハ成ラザル有様ニ候事ガ、頗ル不安ノ思ヒヲ加ヘ候次第二御座候

ノ一トシテ唯一ノ方法ハ此際聯邦銀行ヲシテ紙幣ヲ発行セシムルニアリ、政府当局者及各大銀行頭株ハ目下「メルボルン」ニ会議進行中ニシテ、其経過ハ極秘ニ附セラル、如ク杳トシテ知ル能ハズ候ヘトモ、其要求額ハ五百万£ナルガ如ク新聞紙ニ伝ヘラレ候、其額比較的小ナルガ如クニ候ヘトモ、是レガ廻転スルモノナレバ、是レ丈ケニテモ実施ヲ見ルニ至ラバ一時ノ救済策トシテハ足レルガ如クニ候

尚NSW州ノ小麦大減収ハ免レザル可ク、反之羊毛相場ノ漸騰ハ資金ノ増額ヲ要スル事トモ可相成候ヘトモ、又必ズシモ銀行ノ全部ガ全ク資金不十分ナルモノナリトハ断定シ難ク、羊毛・小麦等ノ重要品ノ出廻リガ今一層明確トナラバ、或ハ却テ資金ノ余裕ヲ生ズルモノナキヲ難期、我等ノ立場トシテモ余リニ大事ヲ取りタルタメニ、却テ注文ヲ取損ジ候如キ事モアラバ虻蜂取ラスニ付、愚念ノ如クニハ候ヘトモ、「金融状態ハ進展ナケレトモ、注文引受ニハ躊躇セザル事可然」旨ヲ加電御注意申上置候儀ニ御座候

ハ愈々十二月十六日ト決シ、「ヒュース」及反対レーバー党首領ノ政綱演説有之候ニ付、其概要切抜キヲ加封致シ候

於大体頗ル平凡ナルガ如クニ候ヘトモ、所得税減率ハ耳寄りニ御座候

帰朝者

本船ニテハ又多数ノ日本人アリ、OSKハ愈々出張員引キ揚ゲノ事ニ成リ、酒崎君夫婦、約三年半此地ニアリシ岡出張員、田井君、「ニューカレドニア」詰ナリシ増田屋ノ椋原君、領事館書記生柴田君ト店ノ御前君ニ候

貴信

九月十五日付 131 前記前田重役御認め状の次便写

〃 〃 本記藤井重役 〃 〃

九月二十日付藤井重役御認め重役及部長席宛ノ写

等ハ何レモ「セイロン」丸ニテ本紙ヨリモ早ク本月十九日着

九月廿五日付 132 「セイロン」丸便前田重役御認状

〃 〃 132 付前田重役御認め奨励会規約改正案

〃 〃 藤井重役御認め状

等モ亦同時ニ接手致シ候、折シモ北村重役「ブリスベン」へ御出發前日夕刻ナリシタメ、早速御披見後、御留守中ノ間ニ我々ニテ研究協議致シオキ候様ニトノ御申残シ有之候以上ノ時間ヲ余サ、リシ次第ニ付キ、後便御受可申上候

「マレイ」丸便北村取締役一封ハ本月廿四日入手致候ヘトモ、北村重役御不在ニ付キ其俣保存致居候ヘトモ、其内容ノ大部分ハ如前述既着写ニテ拝誦致候モノト期待罷在候

余ハ不日出帆ノ錫蘭丸便ニ譲リ申候ヘトモ、或ハ同船ノ方貴地早着カトモ存居リ候

守田儀以御高庇家族一同無恙帰任仕候間、乍憚御休神被下度候、追テ一々御挨拶状差上ケ可ク心掛ケニハ御座候ヘトモ、当地着以来、寧日ナキ有様ニシテ到底私信等執筆ノ余暇無之、不悪御諒承被下度、乍失礼今状末ヲ借りテ不取敢御詫申上候

拝具

取二四号信 大正11年10月30日 NYK臨時船錫蘭丸便

豪社守田治平↓神戸及東京取締役

拝啓

貴状御受ケノミハ去ル廿七日発丹後丸便ヲ以テ申上オキ候ヘトモ、其後北村取締役「ブリスベン」ヨリ御帰店相成候ニ付、貴方へ御回答可申上事項ニ就テ御意見ヲ伺ヒ、以今便間ニ合ヒ候ダケ執筆致候ニ付、其他ハ次便ト相成候

本船ハ「シドニー」及「ブリスベン」ヨリ羊毛ヲ積取り貴地へ直航致候事トテ、或ハ却テ丹後丸ヨリモ貴地へ早着致候哉ニ期待罷在リ候

前田取締役

常務解任御申出ノ件ニ関シ、九月廿五日附藤井取締役状敬誦致候

本件ニ関スル北村取締役ノ御意見ハ、前便丹後丸便ニテ其根本的ノモノヲ既ニ上申致候如クニ

有之、商店ノタメ且ツ互ノ為メニ最モ満足ナル解決ヲ見ルニ至リ候様、各位ノ御賢慮ヲ煩シタク御願申上候儀ニ御座候

最近前田取締役ヨリ御提出相成候覚書ハ、已ニ前田取締役ニ於テ充分御深慮ノ結果ニ外ナラザル可ク候ヘバ、北村取締役トシテモ此際此御提議ニ対シ異議ヲ申出デラレ候事ハ、寧口前田取締役ニ対シ好意ト敬意ヲ表スル所以ニ非ズトノ御見地ヨリ、結局、藤井取締役ガ分解的ニ示サレ候モノ、内ノ「イ」ニ御同意申上ル事ニ決シ候

則チ前田取締役覚書ノ(一)(二)(三)ヲ追認シ

(四)ハ前田取締役御趣意ヲ体シ、之レヲ実行スル事ニ同意シ

(六)ニ対スル最後ノ決定ハ北村取締役御帰朝ノ上、貴方取締役諸賢ト協議ヲ重ネラレタル上ニ於テ最モ満足ナル方法ニ於テ取極メノ事ト可相成候

何レ北村取締役ヨリ直接貴意ヲ得ラレ候事ト存候ヘトモ、貴方ノ御都合モ有之可キ儀ニ候ヘバ右御回答ノミ取敢ヘズ上伸仕候条、何卒宜敷御賢慮ヲ煩シ度ク奉願上候

尚貴状回覽ニ接シ候当方各部長ニ於テモ、之レガ意見ノ交換ヲ致候結果ハ御前部長御存知ノ如ク、結局、北村取締役御意見ト全然同一ニ御座候間、御参考迄ニ申加ヘ候

改正案トシテ前田取締役御入念ノ説明ト共ニ克ク主義ノ貫徹ト公平ヲ重ンゼラレ、一層本規約ヲシテ時世ニ適スルモノタラシメ、益々理想ニ近カラシムルモノニ改メラレ候、貴案ニ対シ全然賛同ノ意ヲ表シ候ト同時ニ深ク感謝ノ意ヲ呈シ候

愈々該改正案ニ依テ、新タニ規約書ノ印刷ニ付セラレタル時ニ於テ、是レヲ翻訳シ外人株主ニモ配付致シ、尚其他ノ故參從務員ニ対シテモ、此世界無比トモ誇リ可得理想的の制度ノ内容ヲ了解セシムル仕向ケト可致候

但シ翻訳ノ際ハ特ニ第拾八条中(六)ノ説明ヲ明ラカニシ、外人ノ諒解容易ナル様ニ意ヲ用ヒ可申候

McErlone

氏ノ持株ニ対スル御注意モ拝承致候、而シテ可成速カナル時機ニ於テ同氏ノ Director 並ニ株主名義ヲ返上スル事ニ就テモ、亦北村取締役ノ御意向ヲ伺ヒ度キ筆者ノ腹案モ有之候ニ付キ、聯邦官憲ノ意志ヲモ確メツ、可成早キ機会ニ於テ最初ノ計画ヲ実行シ得ル様注意可仕候

総会

ハ藤井取締役御意見ノ如ク明年一月ニ於テ現在規約ニ依ル総会ヲ開キ、改正ノ手續キヲ完了願ヒオキ候ヲ以テ適當ナル可シト存ジラレ候ニ付、可然御配慮被下度御願申上候



兼松商店史

ノ編纂ガ如何ニ吾人ノ渴望シテ歇マザルモノナルカハ今ニ贅言ノ要モ無御座候ヘトモ、是レガ容易ノ業ニ非ル事モ亦思ハザル可カラズ、此大事業ニ対スル最モ適任者トシテハ一ニ前田重役ヲ挙グルノ外ナク、前以テ其御辛勞ニ対シ深ク感謝ノ意ヲ表シ候ト同時ニ、其御成功ハ期シテ疑ハザルモノニ御座候

当方面關係事項ニ就テモ既ニ大体御調査済ノ事ニ属シ、今更史料蒐集ノ手ヲ延サル、要モ可無之哉ニ存候ヘトモ、若シ御用モ御座候ハ、御介意ナク御申附ケ被下度、仮令日夜忙殺ノ間ナリトモ、我等心身ノ及ブ限リノ勞ヲ厭ハザル事申ス迄モ無御座候

濠洲業蹟予想ト  
經費

ニ關聯シテ「シドニー」在勤手当問題ニ就テノ御来意ニ対シテハ、此機會ニ於テ具体的各從務員實際ノ生活費ヲ取調べ候上ニテ、北村取締役ノ御考慮ヲ願ヒ、貴方へ御挨拶可申上準備中ニ有之、自然後便ト相成候段、不悪御承引被下度願上候

広東割戻シ

ハ必ズ貴方へ御振替申上候事ニ確定承知致候、恰カモ其時機ニアルモノ七・八・九、三ヶ月ニ

対シ、今便Y S B為替券ヲ會計部宛トシテ御送申上候

貴方ヨリハ小額ヅ、テモ多大ノ苦勞ヲナシツ、当方へ送金相成候時ニ、此割戻シ金ヲ銀行為替ト致シ候事、如何ニモ矛盾ノ如クニ候ヘトモ、当方帳簿体裁上イヤ々々ナガラ従来通りニ致シ候、同時ニ当地ヨリ振替へ候輸出電報料モ今後三ヶ月毎ト改メ候御来旨拝承致候

### 羊毛運賃

ハ工業理事會ノ議論沸騰ニテ次回ニ持越シト成り、結局、船會社ガ暫時現状維持トナリシ由、物事ハ理屈通りニノミハ行カヌ物ニ候

仄聞スル処ニ依レバ、山下汽船ノ当地出張員米田ノ如キハ「羊毛位好運賃ノモノハナク、五千屯級船ニテモ式千俵位ノ羊毛ガアレバ結構ナリ」ナド申シ居リ候由、自然彼レト懇意ノ日毛永井氏ノ如キハ屢々此種ノ寧口不謹身ナル情報ヲモ虎ノ子ヲ得タルガ如ク本社へノ報告ヘモ大書致シ居リ候事ナキニシモ非ズ、近来此筆法ノ連中ガ少カラズ、益々世ノ中ヲ複雑ナラシメ候

### YSBガC Form Credit

ニ対シCr Rateヲ(羊毛ニ限り)当店ダケニ呉レル事ト相成候事ハ既報ノ如クニ候ヘトモ、其後高嶋屋ニ対シ新信用状発行要求アリシニ対シ、是非共、旧信用状残高ヲ使用セシムル事ニ押シ付ケル關係上、止ムナク高嶋屋モ此均霑ニ浴セシムル事トナリタレバ了承アリタシト松島

氏ヨリノ内報有之候、羊毛關係ニテハ常ニ結局平等扱トナルノ外ナク、又日毛ニ対スル言質モアリ、可成足下ヲ明カニ致シオキ候方却テ活動ニ便ナルベク候

無為替ト店內為替  
率取極メ

日本ヨリ輸入ノ商売ガ Exchange ヲ Firm ニセザレバ成立セズ、又ハ Firm ニスレバ商談ガ進マセ易イト云フ場合少カラザル事ハ既ニ御存知ノ如クニシテ、直ニ Firm トシテ商談取極メノ要アル時ハ当地 Y S B ニテ先約スルヲ例ト致シ居り候

然ルニ現今ノ状態トシテハ可成ダケ多クノ無為替交換ヲ奨励スル要アリ、又小額ノ約束ヲ一々銀行へ持込ム事ノ余り感服セザル点モアリ、最近我々協議ノ結果、如左立案ヲ致シ候

一、無為替ハ原則トシテ従来ノ通り積荷船出帆當時ノ Y S B 相場ニ因ル

一、然レトモ其内或商品ニ対シ Rate ヲ Firm ト致シオク必要アル場合ニハ、其都度当輸入部ヨリ注文ヲ発スル際其率ヲ通知シ、其特定品ニ対シテハ貴方ヨリノ「インボイス」ハ同船出帆當時ノ相場ニ拘ラズ、商談成立當時ニ定メタル率ニテ「シドニー」へ附ケ出ス事而シテ其取極メ率ハ当地 Y S B ニテ先約シクレル物ヲ標準トス

如斯ニスレバ、一見貴店ガ相場變動ノ Risk ヲ持タル、態ト相成リ、又於事實 Risk ヲ負フ事ト相成リ候ヘトモ、元来当店ノ無為替組織ハ輸出入共ニ船ノ出帆當時ノ相場ト相成リ居り候ニ

付、其時迄ノ相場ノ變動ニ対シテハ常ニ Risk ヲ負ヒ居リ候モノニシテ、今回立案ノ如ク其一部ノ率ヲ早くヨリ取極メオキ候共、貴店為替 a/c ノ Risk ノ程度ニハ異状ナキモノト存候

此問題ニ就テ、或ハ当地ヨリノ輸出無為替額ト結び付ケンカトモ考究致候ヘトモ、結局前記ノ案ガ最モ簡單ニシテ、結果ハ同一ナルベシトノ結論ニ達シ申候

濠洲ヨリノ輸出品

ニ対シテモ同様ノ方法ニテ無為替分ニ対シ、其時ノ相場ニテ店内約束ノ態ト致シオキ候ハ、勿論貴店輸入部ノ要求ニ添フモノト存候（為替相場變動得意負担ノ場合ハ別ナレトモ）、依テ今後貴方ヨリノ御注文品ニシテ為替相場先約ヲ要スル旨ノ御來電アリタル時ハ、予ジメ当方ノ金融状態ヨリシテ無為替資金額ノ当リヲ付ケ、金融可能ト認メタル範圍ヲ店内約束トシテ、余上額ニ対シ当地 Y S B トノ先約ヲ致シ、其必要ナキ小口無為替品ハ從來ノ通り積荷船出帆當時ノ成行相場ヨリ換算ノ事ト可致候

右ノ案ニ対シテハ又貴方ニ御異論ナキヲ難期候ニ付、当方協議会合ノ時ハ特ニ御前君モ同席シ、貴地ニ於テ必要ニ応ジ、説明申上ル事ニ願ヒオキ候

今便小池君ヨリハ輸入部トシテ立場ヨリ詳報御打合せ申上候ト同時ニ、臨暗ニテ御同意ノ否哉

ヲ御一報願フ事ト相成リ居リ候

### 日濠間利息勘定

兼テヨリノ御打合セニ基キ、去ル四月一日ニ溯リ日濠両店間ノ利息勘定書ヲ作製シ、過日出帆丹後丸便ニテ御送申上オキ候ニ付、御檢算被下度候、今後ハ従来ノ貸借対照表ニ利息ヲ附記スルノ案ニ有之、既発利息勘定表モ同一ノ形式ト相成リ居リ候

日本ヨリノ無為替輸入額ニ対シテハ、便宜上、貴伝票ガ当地ヘ到着記帳サレタル日ヨリ起算致シ候ニ付、60 days a/sノ換算ニナルモノニ対シテハ、六十日間ノ利息ヲ余分ニ貴店ノ貸方ニ加ヘアリ候、同時ニ当輸入部ニテハ同期間ノ「インボイス」面ヨリ 60 days ト D/D 率ノ差ヲ算出シ、其金額ヲ貴方ヘ振り替ヘル事ト相成リ居リ候

### 濠洲内地送金料

「メルボルン」其他ノ州ニテ輸入品ニ対シ入金セルモノハ、可成同地ヨリノ輸出勘定ニテ双殺シ、内地送金料ヲ節約シ、従来ハ結局当輸入部ガ其余恵ヲ蒙リ居リシガ、今後ハ各部ノ立場ヲ可成明瞭ナラシムル意味モ含マレ、店內利息勘定ノ如ク輸入品ヘモ此 Interstate Exchange ヲ規定ノ通り負担セシムル事ヲ原則ト致シ、輸出品ヘハ如従前此費用ヲ附ケ出シ、其差益有之候ハ、是レヲ利息 a/c ノ如ク General Exchange a/c ナル新課目ノ下ニ集ムル事ト致候

濠洲会社無配当ノ  
利害

NSW州所得税法ニテハ配当金分配前ノ利益額ニ $\frac{2}{6}$ ペンズ per £1ヲ会社ニ課税シ、個人ハ夫レ以上配当「欄外に「納税?」と書込あり」ノ義務ナキニツキ、配当金ヲ如何ニ長ク積立テシ後ニ処分スルトモ、何等ノ利害問題ヲ生ゼズ頗ル明瞭ニ候

然レトモ聯邦所得税法ハ全ク其立場ヲ異ニ致シ候、聯邦税法ハ会社ノ積立金及繰越利益金ニ対シテハ£1ニ付キ $\frac{2}{8}$ ペンズヲ会社ニ課ス事ハ動カス可カラズ

配当金ヲ処分シタル場合、会社ハ此配当金ニハ何等ノ課税ヲモ受ケザル代リニ受配当者個人ガ納税ノ義務アル事当然ニ御座候

依テ商店ノ立場トシテハ、会社ト個人ノ利害ヲ一ツトシテ研究スルノ要アリ

今試ニ左ノ二例ヲ引証致候

Coss ノ場合ロニハ Property Rate about  $11\frac{1}{2}$  ペンズ per £1 ニシテ、之レニ会社ノ

Dividend 10% £300 ヲ加フレバ約  $16\frac{1}{2}$  ペンズ per £1 トナル

此 Dividend £300 ガ既ニ会社ノ積立金トシテ  $\frac{2}{8}$  ペンズ per £1 ノ課税ヲ受ケ居ルモノナレバ、税務署ハ  $16\frac{1}{2}$  ペンズ per £300 ヲ allow スル事トナル

則チ会社ニテ  $\frac{2}{8}$  ペンズ支払タルモノニ対シ  $16\frac{1}{2}$  ペンズノ割戻シヲ受ケ其差  $15\frac{1}{2}$

ペンス per £1 ハ 稅務署ノ余徳トナル

沢辺株主ノ如ク尙收入少ナキモノハ £40 ノ 配当ヲ受ケタル時ノ Tax Rate ハ  $8\frac{1}{4}$  ペン  
スニシテ、此場合ハ  $8\frac{1}{4}$  ペンスダケ £40 ニ 対シ allow サレ 23  $\frac{3}{4}$  ペンス per £1 ノ  
損トナル

我々トシテハ会社株主ノ利害ヲ共通トシテ打算スレトモ稅務署ノ見地ハ別ニシテ、最初積立金  
トシテ会社ガ  $2/6$  ペンス per £1 納稅シタレバトテ、其全額ヲ其後ノ配当ヲ受ケタルモノ  
ニ割リ引キスレバ、株主ハ却テ不当ノ利益ヲ得ル事トナル也トノ意見ナルガ如シ

〔欄外書込〕

但シ個人收入ニ對スル納稅率ガ  $2/8$  ペンス per £1 又ハ其以上ノ時ハ  $2/8$  ペンス  
per £1 ヲ 配当又ハ分与金額ヨリ控除ス

所得稅ノ負擔額ヨリシテ、一度積立金トシタルモノヲ配当ニ割リ當テ候事ノ不利ナルハ明瞭ニ  
シテ、而カモ是レニ伴フ手数モ少カラザル模様ニ御座候

而シテ年々積立テタル金額ヲ一時ニ何カノ形ニ於テ分配シ、未払込金払込用ニ宛ツル事トスレ  
バ、所得稅通進率モ夫レダケ増大スル訳ニ御座候

依テ守田ハ左ノ如キ提案ヲ致シ度ク候

一、会社ノ業績ガ一割乃至以上ノ配当ヲ為シ得ル時ハ、之レヲ適度ニ配当ス

一、但シ此配当金ハ他日払込金ニ要スルモノナレバ、全然会社ニテ保管シ、無利息ニテ会社ハ此保管金ヲ流用スル事、払込資本金ニ於ケルト異ラズ

一、株主ハ此配当金ニ対シ、各自所得税ヲ支払フ

一、此払込用保留金ガ其目的ニ宛テラル、以前ニ退社スル者ニ対シテハ、是レヲ積立金ト認メテ計算ノ事

トシテ会社及株主間ニ特別内規ヲ設ケオキ候ハ、比較的簡單ニ貴方ノ御主意ニ添フモノナルベキカト愚考罷在リ候

但シ先般無配当懸念説有之候如ク申上候ハ全ク其当時ノ誤解ニシテ、其後勿論氷解致シ問題外ニ有之、右ノ所説ハ所得税關係ニ外ナラズ候

ハ数字ハ整ヒ居リ候ヘトモ、何分筆者留守中ノ事ニモアリ、一通リ得心ノ上ニ致シ度ク存居候間ニ、遂ニ今便ニモ間ニ合ハヌ事ト相成リ候ヘトモ、次便ニハ無相違御送附申上ベク候間、不

シドニー半期  
飯決算



悪御了承被下度願上候

浴巾会社

ニ就テハ重テ御詳報ニ接シ、曙光ノ遠キヲ憂ヘシメ候ヘトモ、北村取締役御意見トシテハ元來此種ノ工業ガ着々其成績ヲ顯著ナラシムル事ヲ期待スルハ、寧口余リニ多キヲ望ムモノナリトモ可得申、殊ニ当店ガ日本ヨリ輸出スル「タオル」ノ品位統一ヲ期スルタメニ生ジタル性質ノモノニモ有之、不幸ニシテ殆ド会社成立以來、不況時代ニ遭遇致シ候タメニシテ、未ダ必ズシモ当地ヘノ輸入見込ナシト悲觀スベキ立場ニモナク、否近來少數ヅ、ナガラモ新商談モ成立致シ、又目先キ必ズシモ悲觀スベキニ非ルベシトノ当事者（当方輸入部）予測ニモ有之、御來示ノ如ク半永久的ノ覚悟ヲ以テ之レガ維持方ニ御賛同ニ御座候

經營者トシテノ新適任者ヲ得ル事ノ困難ナル事ハ誠ニ御尤ニ有之、御苦心ノ存スル処ト御察シ申上候ヘトモ、萬事可然御配慮被下度御願申上候

金融難ト羊毛相場

金融逼迫ハ濠洲一般のナルニ、而カモ他国買入ハ相場ノ暴騰ニモ拘ラズ、羊毛多數買続ケ居ル御不審ト共ニ貴地正金ヘノ交渉参考ノタメ当方ノ意見御照会ノ貴電ニ接シ、誠ニ御尤ノ次第ニ御座候、恰モ丹後丸便ニテ貴電ニ対スル御返事ノ大体ヲ尽シ居リ候ヘトモ、此際、以電報当方

ノ立場ヲ明カニ御報申上候要アリト存候ニ付、頗ル長電ト相成候ヘトモ、三十日夕發御回答申上候

金融逼迫ト羊毛相場ノ關係ハ早クヨリ北村取締役モ御心附キニテ、諸方面ノ御研究ヲ重ネラレ候事ハ前便相認メ候如クニ有之、金融逼迫ハ事実ニシテ樂觀ヲ許サ、ルト同時ニ徒ラニ悲觀シテ商機ヲ失スルガ如キハ愚ノ極ニ付キ、羊毛注文獲得ニハ御遠慮ナキ様、而カモ相場目先キ下落ノ見込無之事ハ重テ輸出部ヨリモ電報申上候如クニ候

今日迄ノ立場ハ丹後丸及三十日發電ニテ要ヲ尽シ居リ候ニ付キ、茲ニ贅セズ候ヘトモ、正金銀行ニテハ結局三十日夕ニ到リ、又漸クニシテ新資金ヲ得タルタメ、十一月当店用式拾六万£ヲ保証シ得ル事ト相成候ニ付、是レガ信用狀發行ノ事ヲ日本正金へ電報ノ答ニ御座候、而シテ當分信用狀ハ十一月分ハ十一月限り有効ト其時限りノ物ト為シ、「信用狀ガアルノニ何故<sup>Why</sup>」ヲ買ハヌカ」ト兎角理屈押シノ通怙ナル日本人ノ攻撃ヲ防グタメニ外ナラザレバ、其点ハ悪カラズトノ断リ御座候、但シ十一月入用額ニ対シ当店へハ保証シタルモ、他店へ対スル迄ノ準備未ダ整ハザルニ付、何事モ他へハ洩スベカラズトノ注意アリシ程ニ御座候

結局、是レヨリ十一月二入り、十二月入金ヲ作ルベク Hand to mouth ノ現状ニツキ、十二月分ハ保証出来ヌ立場ニ候ヘトモ、何トカ相成候事ト筆者トシテハ正直ノ処、夫レ迄ニハ悲觀シ居ラズ候ヘトモ、附カズ離レズ松島氏トハ各日毎ニ接近ヲ保チ居リ候

松島氏ハ第一兼松ノ困ラヌ様ニトノ頭ナルハ聊カモ疑ヒナク、若シ夫レニテモ行キ詰リ候ヘバ

全く不可抗力ト諦ムルノ外ナケレトモ、假令不可抗力ニテモ諦ラメラレヌ次第二付キ、此際徹頭徹尾YSB本位トセル兼松ヲ究境ニ陥入ル、ガ如キ事ナキ様、特別ノ尽力方、正金総務部ヨリ可然形ニ於テ松島氏ヘ一電願ヘナバ、又大ニ効力ヲ増ス次第ト存候ニ付、其旨加電致シオキ候、而シテ三井ノ如ク両天ヲ掛ケ居リシモノガ、今ハ最モ有利ノ立場ニアル事実ヲ附ケ加ヘ、正金ヘ御交渉資料ノ一二提供致シオキ候

御礼

北村取締役預金ヲ利廻リヨキ川崎造船所社債ニ御振り替ヘ被下候由、前田取締役御厚志ニ対シ北村取締役ヨリ御礼申上候

天長節

本日ハ依例午前ハ領事館ニテ遙拝式アリ、夜ハ鈴木総領事ノ招待ニテ日本人ノ大部分ハ「ホテルオーストラリア」ニ集マリ、立食の饗応アリ、祝盃ヲ挙グル事ト成リ居レリ  
元来当地大臣其他官憲ノ一部ト日本人ノ一部ニテ正式晚餐会希望ナリシモ、案外費用超過ノタメ其計画ハ来年ニ延バシタル由ニ候、序ヲ以テ特ニ前田取締役ヘ御報申上候、鈴木領事方ニテハ一ヶ月程前又一子ヲ挙ゲラレ、益々繁昌御芽出度キ事ニ御座候

安田氏方ニテモ男子安産、御母子共ニ御健全ノ由電報被下候御親切ニ対シ、北村取締役ヨリ御  
礼申上候

右

取二五号信 大正11年11月23日 吉野丸便

豪社守田治平↓神戸及東京取締役

拝啓

貴信

133 付九月29 / 30 附前田取締役御認メ (及 133 十月三十一日着)

134 十月三日附藤井取締役御認メ (仮決算書同封)

十一月六日吉野丸便ニテ着

135 十月十九日附ガングズ丸便十一月十八日着

136 十月廿三日附Stアルバンス便十一月廿二日着

外ニ林取締役ヨリ北村取締役宛十月九日附吉野丸便等、何レモ拝誦致候

大正十一(一九二二)年

三五

## 上半期仮決算

九月末日終了六ヶ月間ノ成績ヲ帳簿外ニ行ハレシモノ拜見致候、純益七拾五萬円弱ハ此六ヶ月ニ属サ、ルモノ廿五萬乃至三十万円ヲ含ミ候由ナレトモ、貴方御予想ヨリハ幾分良好ノ結果ト相成候事、御同慶ノ次第二御座候、且ツ南阿・南米關係切捨債権回収額ノ四万七千余円モ一助ト相成リ居リ候事ト御尽力奉謝候

## 今期一ケ年予想

ト共ニ之レガ処分案ニ就テハ北村取締役ニ於テモ別段御異議無之候ヘトモ、前便ニモ上伸致シオキ候如ク、記念事業ヨリハ先ニ東京支店及シドニー新築用資金積立ヲ実行致シ度キ希望ニ御座候間、重テ御考慮御願申上候

## シドニー半期

仮決算モ今便同封致候如クニ有之、大体ニ於テ之レ亦予テノ胸算ヨリハ幾分良好ニ有之、此分ナレバ今期全年度成績モ輸入商売引続キ不振ノ時トシテハ、先ヅ以テ我慢セネバナラヌ丈ケノ程度ニハ達シ可得キヤニ期待罷在候ヘトモ、貴方ヨリノ羊毛注文未ダ予期ノ如ク進展シ来ラザルニハ弗々不安ノ念ヲ覺ヘ申候

奨励会規約

改正案中第八條第一号積立金並ニ繰越益金ノ扣除率ニ関シ、林取締役ノ御異議アリシモ、結局御再考ノ結果、原案通り15%ガ至当ナルベシトノ事ニ落チ付キ候由拝承致候、此種ノ規定ハ必ズシモ公平ノ十全ハ難期、止ムヲ得ザル次第ト存候

浴巾会社

総会御列席ヲ機トシ、前田重役御自身徹底的ニ調査御研究ノ結果、逐一御詳報ニ預リ御高配深ク奉謝候

西田ノ態度ガ嫌氣深々ナルハ明カニシテ、殆ンド無用ノ長物ナルガ如キハ遺憾ノ儀ニ候、仰セノ如ク幸ニ自発的ニ引退ヲ申出候ハ、好都合ニ御座候ヘトモ、然ラザレバ自然同一ノ結果ト相成リ候様御仕向ケノ要モ可有之、常務ニ当ラシメヌ様ナ事ニ相成候ト共ニ從テ新経営適任者ヲ依嘱シ得ル機ノ早カラン事ヲ祈リ居リ候

晒工場担当佐々木ニ対シテハ貴店ノ懐ヨリ式百円ノ一封ヲ贈ラレ候事、適當ノ御処置ト存候

タオルノ現況及前途ニ就テハ毎度小池部長ヨリ以部状上伸致シ、又近来ノ電報ニテモ御存知ノ如ク依然華々敷進展ヲ見ルニ至ラザルハ遺憾ニシテ、必ズシモ樂觀ヲ許サズ候ヘトモ、而カモ前途ハ一概ニ悲觀スベキニモ無之、幾分回春ノ機運ニ有之候トモ可得申最善ノ努力ヲ續ケ居リ候次第ニシテ、今はレヲ放棄スベキモノニ非ル事ハ、大体貴方ノ御意向モ同一ト存ジ居リ候次

第二有之、幸ニ新經營者ニ依テ革進セラル、事トモ相成候ハ、一層当方当局モ活動ニ便ヲ得ル次第二シテ、切ニ此意味ニ於ケル御成功ヲ祈リ居リ候立場ニ御座候

原料見込買入案トシテ 20 式百円ナラバ、safe risk ナルベシトノ御説ハ北村取締役モ頗ル同感ナル事ハ先般前田取締役御出張ノ時ニモ話頭ニ上リ候程ニ有之、過般モ 200 擲乃至以下ナラバ原料見込買入可然意味ヲ發電シタルモ、遂ニ其機ヲ失シ候事遺憾ニ御座候

浴巾会社欠損計  
上案

次ノ決算ニ於テハ稅務署ノ認ムル程度ニ於テ、切り下ゲベキモノハ充分ニ切り下ゲ、損失ハ損失トシテ計上ノ事当然ニシテ、北村重役御同感ニ御座候

入營者ニ対スル  
待遇

最近御協議ノ結果ハ、勤務ノ如何ニ拘ラズ、無給休職ヲ原則トシ給与上ノ内規ヲ作ラズ、臨機ノ手心ヲ用イラル、事ニ決定致サレ候由賛成ニ御座候

猶十二月末ナリシ入營期ガ一月十日ニ変更ノ結果、見習員ニシテ店員トナルモノハ店員ノ資格ニテ入營ノ事ニ御協議決定拜承致候



(以下廿四日朝認)

1922-23 年季ノ羊毛及小麦輸出用資金不充分ノタメ、一般ノ金融大逼迫ヲ來シ居リ候現状ハ既ニ弊信及電報ニテ御存知ノ如クニ有之、是レガ応救策トシテ其成功ヲ祈リ居リシ濠洲ノ臨時紙幣増發ノ協議ハ極ク秘密裡ニ繼續セラレ、遂ニ具体的ニ其結果發表ナシニ今日ニ及ビ候ヘトモ、探聞致候処ニヨレバ

英國ニ於ケル担保ヲ宛テニ紙幣發行ハセザル事ニ決シ

濠洲内地ニアル金貨又ハ有価担保ニ対シ、紙幣ヲ聯邦銀行ガ發行スル事ト成レリ

金貨ヲ担保トスル位ナレバ紙幣發行ヲ頼ムノ要ナキガ如クニ思ハレ候ヘトモ、銀行ノ立場トシテハ準備金貨ヲ手放シ候事ハ重大事ニシテ、又一度此金貨ガ他銀行ノ手ニ移ル時ハ之レガ回収中々ト容易ナラザル由ニシテ、此度ノ取極メハ紙幣増發ノタメニ要スル金貨ハ担保トシテ聯邦銀行ガ預リオクモノナレバ、何時ニテモ紙幣ト交換シクル、ノ特權ヲ得シ意味ニ外ナラズ候此範圍ニテハ格別有難味ノ多クヲ期待難致候ヘトモ、或ハ其以外ニ何カノ形ニ於テ大銀行間ニ特種ノ諒解相附キ候カノ如クニモ推察致サレ候

何レニシテモ一部銀行家ノ意見トシテハ、今年度ノ羊毛・小麦資金調達ノ目安ハ立ちタル様ニ御座候ヘトモ、而カモ各銀行ハ依然トシテ引き締メ方針ニ出テ居リ、容易ニ氣ヲ緩サザル如クニ候ト同時ニ、一時ハ確カニ幾分緩和サレタル氣分ヲ感じ候事モ事實ニ御座候

臨時ニ紙幣増發ヲ致候トテモ、結局ハ各銀行ヘ舞ヒ戻リ来ルモノナルベク、一時ノ応急策トシテ紙幣ヲ發行スル事ニ夫レ程ノ杞憂モ要セザルベシトハ前便ニモ言及致オキ候処ニ御座候ヘトモ、銀行家トシテハ常ニ預金ニ対スル充分ノ準備金ヲ保留シオクノ要アリ、後日紙幣ガ銀行ヘ持歸ラル、モノトシテモ、必ズシモ各々元ノ巢ヘ歸ルモノトハ限ラズ、又金廻リガ楽トナラバ自然一般ノ投資又ハ贅費力ヲモ助長スベキニ付、濠洲内ノ事ナレバ帳面上ノ貸借ニテ差支ナカルベシト申ス様ニ輕視ハ難成由ニ候

何レニシテモ銀行トシテハ濠洲ハ何レモ安楽ナ境遇ヲ經来リ候タメ、經營振リノ幼稚ナル点少カラザルモ事實ニ有之候間、常ニ万全策以上ノ用心ヲナシツ、モ、尚相当ノ成績ヲ挙ゲ得ル立場ニツキ、夫レ以上ハ強テ競争ヲ試ムルトカ研究勉強スルナドノ程度ハ頗ル少キガ如クニ見受ケラレ候、我等ガ当然ト思テ交渉致候事モ、此用心堅固主義ノ度ガ過ギ候タメニ徹底致サ、ル事多キ次第ニ御座候

Bank of Austria-  
Lia L/C

前便會計部状ニモ概報致シオキ候如ク、重テ懇談、交渉ノ結果、十二月積羊毛為替資金トシテLondon 払五萬£引受ケノ承諾ヲ得候ニ付、此趣ヲY S B松島氏ヘ報告シ、之レニ対スル信用状發行方ヲ神戸正金ヘ依頼スル發電ト相成候

其当時 Bk of Austria 支配人ニ対シテハ十二月後ノ相談モ持チカケシモ、此際はレ以上ハ何

トモ申サレズ、此五万 $\text{£}$ 丈ケニテモ特別ノ考慮ヲ加ヘシモノナリトノ意味ヲ強メラレ居リ候  
Y S Bハ未ダ十二月分モ保証シ得ザリシ立場ナリシガ、而カモ筆者トシテハ最後迄行キ詰リ候  
ガ如キ事アルベカラズトノ感ハ強カリシ儀ニモ有之、且ツ将来ノ関係モ有之候事トテ Bk of  
Austria へ対シテモ歎願的態度ニハ全然出デズシテ、同行ガ年来ノ希望ニシテ、又当店トシ  
テ適當ノ機会ニ於テ、幾分タリトモ輸出為替ヲ分与シタキ意志ナリシモノガ、茲ニ其機ノ熟シ  
タルモノト思考スルニ付キ、大ニ考慮ノ要アル可シト寧ロ半恩惠的態度ヲ離レザル程度ニ於テ、  
此際是非承引アリタシ位ノ交渉振リニテ予防線ハ張りオキ候ヘトモ、而カモ後日金融常態ニ復  
シ候時ニ於テモ、幾分ノ分ケ前ハ与ヘネバナラヌ義務アル事勿論ニ候ノミナラズ、当店トシテ  
ハ三井其他ニ対スル対応策トシテモ、此倫敦廻リ利用便利ヲ握リオクノ要有之候ニ付、将来ノ  
Bk of Austria ト縁ガ連ル事ト相成候事ニ就テモ、充分松島 Y S B 支配人ノ諒解ヲ得オキ候  
次第ニ御座候

但シ今日ノ場合ニテモ、愈々 Bk of Austria ガ承引スル事ト決シ候ヘバ、松島氏トシテモ一  
面夫レダケノ「シドニー」Y S Bノ仕事ガ減少スル事ノ明カニナリシヲ残り惜シク思ハレ候モ  
人情ノ然ラシムル処ニ有之候ハ、今後 Y S Bノ資金調達容易ト相成候時ハ自然他銀行取組ミ  
ハ喜バザル傾向ヲ免レザル事モ予ジメ覚悟ノ要アリ、此間デリケートノ立場ニ置カル、事モ可  
生儀ト期待罷在候

## 小麦

取引ニハ正金銀行日本向ケ為替相場ニテハ競争出来ザル理由ニ依リ、Bk of Austria L/Cノ一部乃至全部ヲ小麦用宛トスル様ノ御希望御来电ニ接シ候ニ付キ、早速全濠銀行へ交渉、漸ク同意ヲ得候ニ付、此旨折返シ御回答申上オキ候

右五萬£ニ対スルL/Cハ当地Y S Bヲ経テ Bk of Austria 宛ノ入電有之

一般商品用トシテ London 60 days 払

三月三十一日迄有効

ノ由承知致候

其後幸ニシテ成立セル小麦ノ六千五百屯口及其後ノ商談中ノ大口、何レモ倫敦廻リ為替ニ限ルトノ御来意ニ有之候ニ付、Bk of Austria へ交渉致候ヘトモ、未ダ既約額ヲ増加スベキ立場ニ非ルノミナラズ、生憎ニモ支配人「ノーマン」氏ハ定時休暇ニテ尚ホ二週間計リ不在ノタメ、夫レ以上ノ交渉不如意ト相成候ニ付、乍遺憾其趣御返答申上オキ候ヘトモ、尚不日重テ交渉ヲ続ケ候事勿論ニ有之、其結果ヲ電報可申上候

此問題ニ就テハY S Bノ諒解ヲ得ルノ必要否義務有之候立場ナルハ、貴方ニテモ充分御了解ノ事ト存候、而カモY S Bハ当方予算ニ基キ十二月分迄ハ充分ノ資金ヲ用意致シクレ候物ガ過半ダブ付ク様ナ生憎ノ破目ト相成候時ニ於テオヤ、尚更Y S Bヲ出シ抜ク事ハ全然難成候ニ付、小麦注文主ヨリ倫敦廻リ条件付キノ照会アリ、是レニ対シY S Bガ倫敦廻リト同様又ハ有利ト

ナルベキ方法ヲ講ジ得ラル、ヤ、然ラザレバ不本意ナガラモ、倫敦廻リ為替取組ミニ極力尽力スルノ外ナキ立場ナリト長時間ニ渉リ松島支配人ト談合致候処、結局

金融逼迫ノ時ニ当リ無理ヤリニ算段シタル資金ナレバ、此際利益（Y S Bトシテノ）問題ハ度外視シ、欠損ト成ラザル程度ノ相場ギリ々々ナレトモ、而カモ目下ノ状態ニテハ倫敦廻リ相場ニ比シテハ不利（割悪）ナルヲ免レザルヲ憾トスレトモ致シ方ナシ夫レガ為メニ（K）ガ商機ヲ失スル様ナレバ、Y S Bトシテハ倫敦廻リニサレテモ止ムヲ得ズト云フノ外ナキ立場ニシテ、又L/C発行方ニ就テハ「シドニー」Y S Bヨリ神戸へ發電指図スル事ニモ異議ナシ、然レトモ日英間ノ為替ハ是非日本ノ正金銀行ノ手ヲ經テ貰フ様ニ願ヒタシ

尚ホ羊毛準備資金過剩ト成リシ結果、目下ノ予算ニテハ遊金ノ態ト成リ居ルモノ（尤モ十二月ヨリ一月ヘカケ羊毛用ガ非常ノ巨額ヲ要スル事トモナラバ、忽チ違算ヲ生ズベキモ、先ヅ大變動ナキモノトシテ）ノ内、五万位ハ一・二月用トシテ此頃ノ相場ニテ先約引受ケルダケノ勉強ヲスル事ニハ躊躇セザルベシ、則チ一ヶ月毎ニ $\frac{1}{8}$ ペンズ落ちノ例ヲ此場合ニ限り用ヒザル意味ニシテ、仮令今日先約セントセバ、今日ノ率 D/D 2 $\frac{1}{2}$ ニテ来年一・二月積五萬 $\text{£}$ 迄引受ケルト云フ訳ニ有之、貴方ニテハ自然先約ハ現在相場

ヨリモ割ガ悪クナル御採算ナリシナルベク、此特別方法ハ二月積ニ対シ、従来ヨリハ $\frac{3}{8}$ ペンス有利トナル立場ニ改リ候次第ニ御座候

## 倫敦向ケ先約

御来旨ニ候ヘトモ、当地銀行ハ相場ノ先約ハ全然ニ致サ、ル規定ト相成リ居リ、明日ノ分ニテモ今日取極メ候自由無之様ニ相成リ居リ候間、之レハ全然成行相場ニ任セ候外無御座候

右ノ成行ヲ可成詳細ニ昨夜電報申上、貴方ノ御意向ヲ伺ヒ出オキ候

Y S Bガ十二月分準備金過多ト相成候タメ、可成 Bk of Austria L/C 使用ハ一月ニ廻シテ貫ヒタシトノ松島氏希望ハ無理カラヌ処ニ有之、Bk of A'ria ノ取極メハ十二月ニ候ヘトモ、十二月末「まどらす」ニ小麦商談成立すれば其一部此小麦ニ使用シ、残額ハ一月ト致シ候様ニモ取計ヒ候ハ、Bk of A'ria モ異議ナカルベシカトノ腹案ナリシモ、小麦トシテ一月積ハ全然不出来ノ如ク、結局五萬 $\text{£}$ 全部ハ二月迄使用延期ノ運命ト相成候目下ノ状況ニ有之、Bk of A'ria ガ如此延期ヲ承諾スベキカ?、其上ニ二月・三月用トシテ尚大額ヲ要スル事ト相成候ハ、二・三月ニハ一時ニ金額膨大致シ候事モ、亦 Bk of A'ria ノ引受ケ如何ニ対シ樂觀ヲ許サ、ル立場ニ御座候

(以上不取敢P Oメール締切二間ニ合スベクメ切り、以下今船追便ヘツゞク)

Y S Bト羊毛資金

当地正金銀行ガ我々ノ予想額ヲ基礎トシテ殆ド金利問題ヲ度外視シ、銀行トシテノ利益ノ如何モ考慮外トシテ、何デモ彼デモ資金ノ調達ニ全力ヲ傾注シタル結果、十二月分迄ニ対シテハ全部完成、続イテ一月分ニ向ヒ努力ヲ注ギ居リ候事ハ如前述ニ有之

当店ニ対シテハ十一月廿六万£、十二月三十三四万£ノ用意整ヒタルニ対シ、当店トシテハ貴方ヨリノ送金貳萬£ヲ含ミ、約參萬五千£ヲ無為替ト致シ候結果

十一月中「マレー」「アラフラ」及吉野丸

合計僅ニ拾貳萬貳千£ニシテ

今後今月末ヨリ来月初ヘカケテ積出スベキ長野丸及十二月積全部ニ対シテハ羊毛七千俵二十一万£位ト仮定シテモ、十一・十二月ヲ通シテ二十万£位ノ過剩ト成ル立場ニ候ヘトモ

Y S Bニ対シテハ十二月ノ過剩金約拾四五万£位ナランカ成レトモ、幸ニシテ羊毛買付意ノ如クンバ大ニ此過上額ヲ輕減シ得ルヤモ難計、又斯クアルベキヲ望ミツ、努力シ居ル次第ナリト説明致シオキ候

貴店ノ予算数字トシテ羊毛六千俵@£30ト採算致サレ候事ハ、決シテ不当ナラズト当店ニ於テモ同感ナリシタメ、其数字ニ依テY S Bヲ促シ居リタル儀ニ候ヘトモ、貴方ヨリノ羊毛注文モ期待セル如クテキキバキ致サズ、当地買付モ亦意ノ如クナラザリシ等ノ関係ヨリシテ、非常ノ減少ト相成候事遺憾ニ御座候、乍併正金松島氏トシテモ我等ノ説明ト過去ノ經驗ニヨリ是等ノ事情ヲ諒解致シ候ニ付、当店予算数字ノ影響如何ヲ強テ責メントスル態度ハ無御座、資金調達必要上、正金ノ立場トシテ杞憂致候点ハ今季ニ於テ果シテ一般ノ期待セル如ク、日本行総計拾五萬俵内外ナルモノガ実顕サル、モノナルヤ否ニ御座候

十一月宛ノ金ガ十二月ニ繰リ越サレ、十二月分一月ニ移リ候位ノ金利ハ此頃ノ場合意トスルニ非レトモ、今後モ金融状態決シテ安心ナラザル時ニ於テ、一月・二月其後ニ対シ続々資金ノ掻キ集メニ突進スベキモノナリヤ、則チ *so far* (ヘK)ノミナラズ、一般ノ買送り大減少ノ実況ナレトモ、夫レ等ハ今後続々補充サレ、結極最後ニハ予期ノ数字ニ達スベキ見込ヲ立テ得ベキヤ否

ト云フニアリ、誠ニ当然ノ次第ニシテ、又当店トシテモ之レヲ知り度キ希望ハ同一ニ御座候、勿論毛織会社対人ノ事ニ付キ、具体的立案ノ財料ヲ得ラル、事ノ不可能ナルハ我等ノ詳知スル処ニ候ヘトモ、拾月中旬ニ予算ヲ立テラレタル時代ニ比シ、今日ニテハ貴方ニテモ予想ヲ作ラル、ニ一層便利多カルベキ頃ト存ジ、右ノ事情ヲ御報申上候ト同時ニ出来ル丈ケノ事ヲ成ル可ク早ク電報煩シ度願出候儀ニ御座候



## Y S B 将来ノ方針

Y S B ノ相場ガ常ニ概シテ「ボリ」スギ居リ候様ノ評ヲ免レザリシ事ニ就テ、Y S B 本位トスル当店ノ如キハ大ニY S B ノ反省ヲ促サ、ルベカラズ、然ラザレバ遂ニ当店トシテモ常ニY S B 本位トノミハ難致苦境ニ立到リ候哉モ難計意味ニ於テハ、過去ニ於テモ松島氏ト談合セシ事モ有之候ヘトモ、最近羊毛及小麦問題ヲ捉ヘテ此問題ニ及ビ候事ハ当然ノ結果ニシテ、結局、松島支配人ノ言フ処ハ

此問題ニ就テハ早クヨリノ考慮研究ヲ重ネ居リ、之レガ対応策トシテ略ボ腹案モ成レルノ時ニ於テ不幸ニシテ此恐慌時代ニ遭遇シタレバ、此難関ヲ通過スル迄ハ倫敦廻リニ比シ、常ニ有利ノ率ヲ建ツルト云フ事ハ不可能トナレリ、無利息ノ当座預金ヲ利用シ得ル当地ノ各銀行ハ、其他ノ意味ニ於テモ頗ル気楽ナ立場ニアルト且ツ為替相場ハ銀行組合ノ協定ニ成ルモノナレバ、自然比較的立場ノ楽ナル大銀行ノ勢力ニ左右サル、モノ多キヲ免レズ、從テ相場ノ建テ方ガ安スギル事モY S B ガ敵対スルニ不利ノ立場ニ置カル、点モアリ

乍併取引先トシテハ是等ノ事情ハ別ニシテ、兎ニモ角ニモ割ノ悪キY S B ノ率ニノミ頼リ得ザルコトトナルハ当然ニシテ、Y S B トシテハ従来ノ関係ト相場ノ出入リモ give and take ニテ平均ヲ取りクレナバ、必ズシモY S B ガ不利ナリトハ断定難致トハ思ヘ

トモ、何レニシテモ数字上明カニY S Bガ不利ナラズ、或ハ有利ナリト云フ事ニナラザレバ、銀行トシテハ得意先ヲ失フニ到ルモ止ムヲ得ザル事ナレバ  
可成ダケ早キ機会ニ於テ、相場ノ建テ方ヲ倫敦廻リヨリモ有利トスル方針ナレバ、今暫ク時ヲ貸スヲ以テサレタシ

対へK

又へKノ如キハ愈々益々商売ノ範圍ガ拡大セラル、タメ、何時迄モ全然Y S B本位デハ屢々不便ヲ感ズル時代ニ向ヒツ、アルモノト思ハル、夫レガタメ今回ノ小麦ノ如キモ外国銀行廻リ問題ノ起ルハ無理モナキ事ニシテ、又正金銀行トシテモ力ノ及バザルガタメニ之レヲ阻止スルガ如キ振舞ヲスベキモノニ非ズ、シドニー支店トシテハ其商売ヲ失フ事ノ遺憾ナルハ勿論ナレトモ、又へKノタメL/C発行等ニ就テハ充分ノ援助ニ咨ナラザルベシ

但シ日本ニテハ外国銀行ガ好率ヲ出スコト多キ由ナレトモ、へKトシテハ如此場合可成日本ノ正金ニ懸合ハレタク、夫レニテモ尚Y S B不利ナリトモ、其差ガ辛抱出来ル程度ナレバ、可成Y S Bヲ通ス事ニ努メラレン事ヲ切ニ希望ス

へKハY S B上得意ノ列ニ加ハリ居リ、Y S BトシテハへKニ対シテハ特別扱ヲ為ス事ニ成リ居レリ、へKトシテモ亦Y S Bニ余リニ縁遠ク相成候事ハ策ノ得タルモノ

ナラザル可シト思フ

トノ事ニ有之、是レニ対シ筆者トシテハ可然応答致シ、充分意志ノ交換ヲ致シオキ候

小麦

London 廻リノ場合ハ貴地ヨリ London へ送金スベキ額ニ対シ、其為替率ヲ先約スルカ、又ハ成行ニ任スルカノ一ト存候ヘトモ、Y S B 発行信用状使用ノ場合ハ、自然Y S Bヲ経テ送金セラル、事ト存ジラレ候

小麦商売ハ London 廻リナラザル可カラズト云フ最モ強キ理由ノ御説明ハ、自然貴方ヨリモ御詳報ニ可接、当方ニテ知ル範圍以上ノモノモ御座候ハ、又大ニ研究ヲ重ネ可申候

御断リ、今便執筆スベキ事項津々有之候ヘトモ、本船出帆日ニ近ヅキ、小麦ノ商談照会等ヨリ銀行金融関係等ニ長時間ヲ採ラル、事多ク、其上永井唯一氏ノ出発ナドモ影響シ、遂ニ之レ以上認メノ機ナク不備失礼奉多謝候

以上

守田治平 拜

大正十一（一九二二）年

四九

取二六号信 大正11年12月9—11日 NYK臨時船長野丸便

豪社守田治平↓神戸及東京取締役

拝啓

貴信 10／27日附 137号前記羊毛運賃ノ件及

11／6日附 137号安キ丸便十二月四日拝受致候

工業会对羊毛運賃 問題ニ関スル成行御詳報ニ接シ御配慮奉謝候、本件ニ関シテハ今便片桐君ヨリ執筆可致候

商店史料 蒐集及整理ハ頗ル捗々シカラズ、漸ク明治三十一年位迄進マレ候由、前田重役ヨリノ御来旨拝

誦御同情申上居候、是レガ大事業ニ有之候事ハ我々一同想像ニ難カラズ、既ニ不尠御骨折リ居ルヲ感ジラレ候御様子ナルハ、責任感念ノ最モ深キ前田重役トシテハ誠ニ御尤ノ次第ニ御座候ヘトモ、同時ニ折角御健康大切ニ被遊候様祈リ上ゲ候

シドニー仮決算  
書ノ副一通、今便同封致置候

シドニー改築

ハ於大体先般前田重役ノ御立案ヲ基礎トシ、建築家ト協議ノ結果、今月中旬No. 6ノFauldingガ移転致候ト同時ニ直ニ着手ノ事ニ決シ、今既ニ準備ニ取掛リ申候、差詰メTop. ノ2 FloorsヲNo. 6-8ヲ1 Floorトシ当店用ニ宛ツベク、Top Floorハ輸出入部用見本室ヲ重ニ致候タメ格別手入レノ要ナク、其次ノFloorハoffice用トシテ最モ経済的ニ相当体裁宜敷モノトナシ、是レヲ見本トシテ他ノFloors全体ノ借人ヲ需ムル案ニ候  
電気 Lift、strong room (二個増築) 其他ニテ結局二千五六百或ハ三千£ニ近キ物ト相成候  
算ニ御座候

小麦ト金融

当方十一月廿三日發電内容ニ就テハ前便詳細説明申上候ヘトモ、貴方ニテハ此文意ノ諒解ニ苦シマレ候由ノ御來電ニ依リ、研究致候処

此際倫敦廻リ為替取組ミヲナスニ就テハ、之レガL/C發行ニ就テ松島氏ノ諒解ヲ得オク必要アリ

又Y S B以外ノ銀行ヨリL/Cヲ發行シ得ル事トシテモ、今日ノ場合ハ大体ニ於テ松島氏ト意志ノ疏通ヲ画クオクノ要アリ

又 Bk of Austria ガ \$50,000 十一月末積ヲ引受ケクレシハ特別ナリシ

事情ニ関スル貴方ノ感念ガ我々感ジ居リ候程ニハ強キモノニ非ル如ク、左スレバ当方ノ電文聊カ不徹底ノ嫌ナキニ非ルヲ覺ヘ候ニ付、愚念ノ如クニハ候ヒシモ、十一月廿五日、發電序ヲ以テ

Y S B Sydney 諒解ヲ得タリトハ、此際 Bk of Austria L/C 發行援助同意ヲ得タル意味

ト説明ヲ加ヘオキ候

Bk of Austria

為替ニ就テハ其後重テ Sydney 支配人ヘ交渉シ、「メルボルン」総務部ヘ引受ケ方協議尽力致シクレ候ヘトモ、式月ナドノ先迄約束スル事ハ、只今ノ場合、全然不出来ナリト濠洲銀行家ノ

用心深キ常套語ニテ謝絶致サレ、且ツ十二月入用トシテ約束セル五萬鎊ハ是非十二月内ニ使用シテ貰ハネバ成ラヌトノ挨拶ハ、我々ニハ此際頗ル不便ナレトモ、銀行トシテハ至当ノ申分ナリ、且ツ当店トシテモ是レ以上使用期延期等ヲ頼ミ候事ハ甚ダ不見識ナルノミナラズ、信用ニモ拘ル事也、且ツ此五萬鎊ヲ早く使用スル事ハ、自然其後ノ金融交渉ニ便ナラシムル意味モ有之候ニ付、十二月積品ニ使用ノ決心ヲ致シ候、而シテ松島氏へモ此成行ヲ説明致シオキ候

日本製粉注文小麦六千五百噸ハ貴方ヨリノ御指図モ有之候如ク、更ニ相当ノ金額倫敦廻リガ出来レバ頂上ナレトモ、悪行キ既約五萬鎊ニ依テ生ズル差益ヲ此小麦勘定ニ算入スルノ腹案ニテ、当輸出部ノ相談ニ応ジ、小麦買極メヲ断行セルト同時ニ貴方ニテモ大体同様ノ御心算ト想像致シ居リ候儀ニ候ト同時ニ、為替ノ Risk ハ日粉ノ責任ナルカノ如クニモ思ヒ居リシ次第ニ候ヘトモ、結局何カノ形ニ於テ此 Risk ヲ cover 致シオクノ必要ハ勿論ニシテ、当地 Y S B ニテモ X rate ノ雲行キ上、日濠相場下落ノ見込確カナリシ時ナリシニモ拘ラズ、小麦商談援助ノ主意ヨリ好率ヲ貸シクレ候ハ好都合ナリシモ、而カモ貴方ニテノ御尽力其効ヲ奏シ、頗ル好率ニテ

十二月中旬 參萬鎊 @ 2/1 5/6

一月下旬 貳萬鎊 @ 2/1 3/6

Chartered Bank 卍 Australian Bank of Commerce ヲ經テ送金先約成立致候由奉多謝候

当方ニテハ一万五千£丈ケYSB二月積 60 days 2/0 5/8 ニテ先約致シ候  
松島氏モ大ニ勉強ハ致シクレ候ヘトモ、前便詳述ノ如ク、何分目下ノ境遇ニテハ倫敦廻リト競  
争不出来ナルハ遺憾ニ御座候

## 倫敦廻リ

為替ガ日濠直接ノ率ニ比シ（其時ニ於ケル総テノ相場ニ移動ナキモノトシテ） $1\frac{1}{2}\%$  有利ト  
相成リ候御来旨ハ当方採算ト同様ニ有之、此問題ニ就テハ充分YSB松島氏ニモ協議反省ヲ促  
シ候経過ハ前便詳述ノ如クニ御座候

## シドニー株式振替

ハ事後承諾位ニテ差支ナカルベキ位ニ思ヒ居リ候ヒシモ、矢張り讓渡シ前ニ聯邦当局ノ許可ヲ  
得ルノ要アル事ヲ確メラレ申候、御賛考用トシテ法文ノ写同封致候、株式讓渡シ手續ニ要スル  
印紙税ノ負担ヲ免ル、ノ方法ナキヤニ就テ研究致候事ハ弊信23号ニ認メオキ候ヘトモ、結局正  
式ノ手續ヲ経オクノ外ナキ事ト相成候

而シテ其印税額  $\$19/11/9$  ハ当方雜費支出ト致候



Private Code ヲ

英文

ニ改メ候貴案ハ頗ル賛成ニ御座候、全部英文ニ改メ候ト同時ニ一層ノ進歩ヲ計ラレ候事ハ一大事業ニ有之、担当々事者ハ勿論、各部員協力ノ要有之、御苦勞ノ程御察申上候、当方ヨリノ輸出部用文句ハ現在ノ暗語帳ニテハ飽キ足ラザル場合少カラズ、是レガ補充改良ハ当方ヨリ立案致候ガ至当ナル事モ充分心附キ居リ候ヘトモ、羊毛季中ハ到底其余暇無之、余裕付キ次第、出来ル丈ケヅ、ニテモ、心附キ候モノヲ可成早ク多ク追加致候様打合セ居リ候

Text Code ノ注意

此頃イースタンヨリ左ノ三語ハ Pronounceable ナラザレバ、一語ヅ、ニ計算スベシトノ事ナリシガ、発音ノ可不可ハ別トシ、ABCコードニ使用サレ居ルモノナル事ヲ立証シ、十字ヲ一語ト計算サスル事ニハ致シ候ヘトモ、若シ是レガ Public Code Books ニ用イラレタルモノナラザレバ、十字一語トシテハ通用セザル立場ニ候、尤モ発音可不可ハ時ニ議論ノ余地有之、取扱者ノ手加減ニモ依ル事アリ、甚ダ不安定ニ有之候折柄、貴店ニテハ改良コードハへK用ノモノヲ新ニ組立ル計画ナルカノ如ク益田店員ノ通信ニモ有之候ニ付、為念八日發電、御注意ヲ促シオキ候次第ニ御座候

“UYSBTEGNYE” “YFKYRYHCE” “LAIKSAJLH” (unpronounceable)

本支店間通信モ  
英文

ト致シ得バ便宜少カラザル可ク、勿論其大部分ガ日本文ニ俟タザル可カラザル事申ス迄モ無御座候ヘトモ、当方従務外人ヲシテ可成ダケ日濠間出入通信ニ親シマシムルノ仕向ケ必要ナル性質ノモノハ事情ノ許ス限り英文ヲ併用致シ度ク、是レガ試ミトシテ前便ヨリ会計部通信ヲ英文ニ改メ申候間、貴方ニテモ御同感ニ御座候ハ、可成拈ク是レガ活用ヲ御援助被下度候但シ洋人店員ニ対シ、貴方ノ実況内容ヲ明カニ知ラシムル事ハ難相成場合屢々有之、会計部通信ノ如ク当方当局「ガントン」君ナレバ安心ニ有之、且ツ複雑ナル金融問題等ニ就テハ必ず別状詳述ノ事ト相成候ニ付、比較的好都合ニ候ヘトモ、輸出入部通信ハ執筆者及読者ノ範圍モ括ク困難ノ伴フ程度モ多ク、考究ヲ要スル次第ニ御座候

モスリン会社見習

トシテ藤原見習員ヲ工場ニ派シ、実習サシムル事ト相成リ候由、誠ニ好都合ノ次第ト賛成ニ御座候

同見習員モ此容易ニ得難キ好機會ヲ充分ニ活用シ、本氣ニ当店ノタメニ勉強、研究ニ努力致シクレ候ハ、自他ノ為メニ得ル処少カラザル可キ事ト成功ヲ祈リ居リ候

羊毛ヲ本業トスル当店ニシテ、神戸及東京従務員中、羊毛ノ智識ヲ有スルモノ何人アリヤトノ問題ニ対スル回答ハ甚ダ悲觀スベキ状態ナル事ハ、守田貴地出張中、広戸君トノ協議中適切ニ

羊毛運賃

感シタルヘKノ弱点ニ有之、今後モ自然事情ノ許ス限り、日本在勤店員ニモ濠洲実状実習ノ機会ヲ作ルノ要切ナル事ヲモ覚悟致シ居リ候

対工業会、同盟社船羊毛運賃問題ニ関シ、安芸丸便藤井重役御認 井上重役部長宛御状ニヨリ詳細ノ成行并ニ是ニ対スルヘKノ対策等委曲拝誦、頗ルノ御尽力奉謝候、過般今後羊毛ハ総テ同盟船ニノミ可積入トノ御差函ハ其当時当方想像通り、本問題愈々落着致シ候モノナル事、御状拝見ノ上、一層明瞭ト相成申候

左スレバ工業会所属会社ノ注文羊毛ハ、今後特別之約束無キ限り、全部是ヲ同盟船ニ積入レザレバ、例ノ  $\frac{1}{8}$  ペンス per ポンド并拾參萬俵超過ノ節ノ特別戻迄、是ヲ失フニ可至事承知仕候

此割戻ト関聯シテ、従来輸入商四軒ガ郵商両船ヨリ秘密ニ受入レ居リタル5%ノ割戻ハ貴状ヨリ拝察シテ廃止ノ事ニ於テ既ニ承諾済ノ御事ト奉存候、誠ニ無是非成行トハ乍申、羊毛ノ如キ薄口錢ノ商売ヨリ此種ノ余得ヲ剥奪被致候事ハ只ニ苦痛ニ有之、殊ニ日毛注文 Low XBニ於テ一層其感ヲ深ク致候事ハ御同感ノ義ト存候

従テ工業会以外ノ会社ノ注作品、即チ主トシテ吾人ノ責任式注文ニ存スル羊毛ノ運賃ハ、当然 Less  $\frac{1}{8}$  ペンスノ恩恵ニ浴シ不得候ハ致方無之トシテモ、従来ノ運賃率ヨリ反ツテ5%高ト相

成候ハ運賃界ノ趨勢ニ反スル奇現象ト可申、此間於貴方必ズヤ何等力適當ナル方法ニヨリテ此矛盾ヲ防グ丈ノ御交渉被成下候義ト存候

萬一如此御交渉不行届、嚴格ニ  $1\frac{1}{4}\%$  Less 10% ヲ支払ハザル可ラズトセバ、工業会所属会社ノ如ク同盟船 *confine* ノ義務モ無之事トテ、同盟船以外ノ船ニ安運賃ニテ積入レ候トモ同盟船側ニ於テ何等苦情ヲ可申出立場ニ無之ト存申候

当面ノ問題トシテ、工業会并ニ同盟船協約成立ニヨリ、最大ノ打撃ヲ受クルモノハ山下汽船ニ有之、同社ガ今日迄辛抱シ来リシハ如何ニカシテ濠洲航路ニ喰ヒ入り、将来羊毛ノ積荷ヲ得ンガ為メニ外ナラズ、而シテ同盟船側ノ尤モ恐レシモ又此点ニ有之候、而シテ此協約成立セバ山下ハ最早ヤ当地ノ店ヲ畳ンデ日本ニ引上ゲ候方、氣ガ利キ居候ヘ共、当局者ニ此間ノ消息尚当分分ル筈無之、結局行ク処迄行当リ、得心ガ行キ候迄ハ躰ク事ト存申候

從テ羊毛ノ積荷ガ減ズレバ減スル程、其躰キ方モ甚敷、遂ニ  $\frac{3}{4}-1\frac{1}{2}\%$  pens per pound ニテモ喜ンデ引受クルニ至ルヤモ難計候

萬一、斯様ノ安運賃ニテモ引受ル様ノ場合ニ是レヲ利用シ得ルハ、工業会所属会社以外ノ注文主ニシテ、同盟船側ニ対シテ何ノ遠慮モ入ラヌ立場ト存申候、ドーセ此種ノ羊毛注文俵数ハ知レタモノニテ、是ガ  $\text{K}$  対  $\text{NYK}$  特別協定ニ及スキ影響モ数フルニ足ラズト存申候、從而臨機羊毛ノ運賃割安ノ場合、又ハ羊毛定率ニテ積入ル代リニ小麦・雜貨等ノ運賃大低減等ノ場

合ニ山下ヲ別用致候モ一策ト存居候、併シ是レハ当方一個ノ考ニテ、如此行動ガヘKノ対N  
YK政策上面白カラズ、大局ヨリ打算シテ此種ノ小利ハ寧ロ犠牲トス可シトノ御高見ナラバ其  
事ニ可致、折返シ御垂示賜度願上候

十一月廿一日發貴電ニテ「改メテ貴方ノ指図アル迄ハ Wool I・Wool I Tops・NZ クラチングスヲ  
モ含ミ、今後ハ一切同盟船以外積込絶体ニ不可」トノ御来旨ヨリ察スルニ、漸ク本問題モ完結  
致シ、從テヘKノ対関係モ相当満足ナル解決ヲ得ラレ候哉ニ期待罷在リ候

右

追伸

北村取締役ハ例ノ通り「ブリスベン」セールヘ御出陣、一昨九日（土曜）御帰市、今早朝ヨリ  
「シドニー」セール巡廻ヲ続ケラレ居リ候間、自然今状ハ未闕見ノマ、発郵致候、中野店員ハ  
数日「ブリスベン」ニ居残り、長野・ガンヂス・Stアルバンスノ積出シヲ了リ、続イテ不日出  
帆安キ丸積荷ノ準備ヲ整へ、帰店ノ事ト相成居候

市長マカロン

氏ハ一昨九日ノ選挙ニ二票ノ差ニテ落選致シ、同派ノ「ギルピン」氏ナル人が明年一月ヨリ新市長ノ椅子ニ着ク事ト相成リ候、市長ノ如キハ内外何地モ同様ニシテ、余リ切レスギ候者ハ結局長命ハ保チ難キ如ク、「マカロン」氏自身ハ聊カモ未練ナキ事モ亦事実ニ候  
(新聞切抜キ同封)

今状貴着ノ頃ハ新年早々ト存候

取締役諸賢始メ御一同ノ芽出度新春ヲ迎ヘラレ候事ヲ遙カニ奉祈上候

守田治平  
拝

取二七号信 大正11年12月20日 安芸丸便

豪社守田治平↓神戸及東京取締役

拜啓

前便後「まどらす丸」及「イースタン」号到着致候へトモ、貴信ニハ不申接候  
但シ北村取締役T1十一月三日附安芸丸便藤井取締役御状ハ十二月九日北村取締役「プリスベ  
ン」ヨリ御帰店後、御披見相成候、何レ同重役ヨリ御受ケ可申上候へトモ、茲ニハ不取敢貴状  
御受ケ申上オキ候

日本浴巾会社経  
営者

トシテ前田取締役義弟金田常雄氏囑託ノ事ニ御決定相成候経過及金田氏待遇法等ニ関スル御詳  
報拝誦致候

而シテ金田氏ガ愈々入社シテ専心此事業ニ尽瘁致シクレ候事ト相成候、今後ニ対スル御腹案ニ

大正十一（一九二二）年

六

就テモ頗ル賛成ニ有之、御配慮謝上候

經營者ノ更代ニ依リ、必ズシモ着々其効果ヲ期待シ得可カラズ候ヘトモ、而カモ此機會ニ於テ大ニ改革ヲ實現シ得ル筈ニシテ、同時ニ製品販路ノ恢復如何ニ俟ツ処多キハ勿論ノ次第ニ有之、当方面トシテモ追々究状ヲ脱シ、遅々ナガラモ販路復活ノ曙光ヲモ認メ居候如クニ付、堅忍持久ノ覚悟ヲ以テセバ、遠カラズ相当ノ成績ヲ挙グルニ可到儀ト期待罷在候

シドニー勤務

外国人店員人名表、茲許加封致オキ候

Y S B 決心

今季節日本行羊毛資金々融モ略ボ見当相附キ候由ニテ、可成ダケ早く得意先ガ安心シテ活動シ得ル様ノ仕向ケニ致シ候義務アル正金銀行トシテハ、過日此趣ヲ日本へ打電シ、C Form L/C ハ以前ノ通りY S B シドニー支店ノ指図ヲ待タズシテ発行差支ナキ意味ヲ伝へ候由ニ付、早速貴店へモ飛報申上候

但シ倫敦廻リ用 D.C. L/C ハ「シドニー」ヨリノ指図ヲ待ツノ要アル事ト相成居リ候

最モ依之、金融ガ一般ニ樂觀スベキ状態ニ進ミタリト申ス程ニハ無御座、明年一・二・三月間ノ羊毛用資金ガ果シテ何程入用ナル可キカノ予算ヲ得ル事ニ松島氏ハ苦心致サレ居リ候立場ニ



小麦特別扱

御座候、今日迄ノ輸出高ガ一般ニ非常ニ減少致候タメ、此有様ニテ今季節ノ後半需要程度モ併減致サレ候様ナレバ、Y S B シドニトシテハ割高ノ金ヲ不少背負込ム事ト成リ、若シ之レニ反シ日本行羊毛額前年度ヨリ下ル事ナクシテ、急ニ明年買輪高激増致候様ナレバ、早クヨリ尚一層金策準備ノ要アル次第候

最近貴方ヨリノ情報ハ最初ノ御予算ニ多大ノ変動ナキ御見込ヨリシテ、当店トシテハ明年三月間ニハ今日迄ノ減少額補充ニ努力ス可キ財料ヲ得ラレ候モノト期待罷在候ヘトモ、日本毛織ノ態度如何ニモ悠長ナルガ如キニハ、不少焦慮罷在候次第候

如前述シドニ Y S B ノ金融状態ガ果シテ充分ナリヤ否ハ、一ニ懸リテ今後ノ羊毛輸出額ニ有之候ヘトモ、同時ニ金融不如意、為替率不利ノタメニ小麦ノ商売ヲ失ヒ候事モ難忍意味ニ於テ屢々松島氏トモ談合致シ居候処ナルガ、此頃大ニ決心スル処アリ、為替相場ノタメニ商談行詰リト相成候様ナレバ大ニ勉強相談ニ応ズ可ク、必要ニ迫レバ London 廻リ為替ト同等ノ率迄モ *import* スル丈ケノ腹ヲ定メクレ候ニ付キ、此旨十二月十八日発電小麦相場ト共ニ御報申上候ゲ御奔走ヲ願出候

茲迄松島氏が決心致候事ハ、只今ノ場合我等ノ期待外ニ有之、此有利ナル武器ヲ活用シテ相当ノ小麦商談成立致候様祈リ居リ候

松島氏が如此態度ニ出デラレ候事ハ、一面 London 廻リ為替防止策ニモ有之候事明カニシテ、又我々トシテモ其必要ヲ認メザル事トハ相成候ヘトモ、小麦以外ノ品ニ此好率（倫敦廻リ）利用ノ余徳ハ無視難致、松島氏モ拒絶シ得ザル、否 Y S B トノ好關係ヲ害セザル程度ニ於テ  $\text{F.O.}$  オーストラリアトノ交渉モ怠ラザル可ク候

最近貴會計部状ニテ外国銀行 L / C 発行ノ御交渉相成候由ニ候ヘトモ、是レハ最後ノ方法ニシテ、Y S B ガ fair ニ当店ノ要求ヲ容レ、又ハ便宜ヲ計リクレ候以上ハ、幾分カノ犠牲ヲ供シテモ Y S B ノ反感ヲ大ナラシムル行動ハ辛抱スルノ要有之候、殊ニ現在ノ如ク当店ノ予算（責任ハナカリシモノナレトモ）額ニ基算シテ、苦心準備シタル資金ガ「ダブツキ」、利息損ト金ノ処分ニ苦ミ居リ候時ニ於テオヤニ御座候、尤モ銀行トシテハ如此利息等ハ如才ナク為替相場ニ算入致シ、損勘定ニハ成ラザル様採算致居候ヘトモ、損益ノ数字ヲ基算トシテ行動致シ居リ候事ハ彼我共ニ同様ニ有之、親銀行ニ対スル我等トシテハ、飽ク迄モ好關係ヲ保チオク様ニ仕向ケオクノ要有之候事ガ、此方ノ弱身トモ可申歟ト云フ点ニ御座候

買為替相場ノ開キ  
 従来ハ一ヶ月毎ニ  $\frac{1}{8}$  ペンスノ差ナリシガ、Y S B ハ長期手形ニ対シ、勉強ノ意味ニテ  $\text{D} \setminus \text{D}$  30 days 60 days ノ開キヲ各  $\frac{1}{16}$  ズ、 $\text{H}$  縮メ、60 ト 90 days ノ差ヲ  $\frac{1}{8}$  ト致候結果、以前ニ比シ 30 日  $\text{H}$   $\frac{1}{16}$ 、60.90 日  $\text{H}$   $\frac{1}{8}$ 、好率ト相成候ヘトモ、此変更後、当店ハ  $\text{D} \setminus \text{D}$  ノ要

ナク、何レモ90日払ト更メ候ニ付キ、好都合ナリシ儀ニ御座候

シドニー在勤手当

規定ハ引下ゲノ意味ニテ、調節ノ改正余地アルラント感ジラレ候御来旨ニ対シテハ、其後研究調査致候ヘトモ、近來ハ為替換算率モ大ニ低下致シ居候事ニモ有之、之レヲ引下ゲ候余地ハ無之様存ジ居リ候

尤モ此問題ニ就テハ尚ホ一層北村取締役ノ御賢慮ヲ煩ス事ト相成リ居リ候ニ付、後日重テ貴意ヲ可申得候

「メルボルン」  
出張員ト支店

ノ件ニ関シテハ前便小池君ヨリ特別部状ヲ以テ御報申上候如ク、谷口店員ヲ同市へ出張駐在ノ事ニ店議決定致シ、未ダ同市ノ土ヲ踏ミタル事ナキ谷口君ハ過日不取敢出張見分帰店致シ候、而シテ来一月三日家族ヲ引キ纏メ同地へ移転ノ上、腰ヲ据ヘル順序ト相成リ居リ候

小池君ヨリ詳報ノ如ク、同君同地出張ノ時、北村取締役ノ御意見ニ基キ「ヒューム」老人ト最モ満足ナル諒解ヲ得タルニ付キ、可成ダケ早キ機会ニ於テ今一段便利ナル地位ニ office ヲ移シ、F. K. (Aust.) Ltd. ノ名義ニテ執務ノ計画ニシテ、其時ニ於テ「ヒューム」老人へハ定額給料制度ト可致候（其額一ケ年 £500）

F. K. Ltd. ノ名義ト致スタメニハ支店トシテノ登記必要ニシテ、支店登記ハ手續キモ簡單ニ費用モ僅少ニツキ支店ト可致案ニ候ヘトモ、之レガタメ急ニ構ヘヲ大ナラシムルトカ人員ヲ増加スルノ意味ニモ無之、又只今ノ場合ハ如斯必要モ認メズ、事實ハ出張所ノ格ニ御座候

## 人事

谷口店員転勤ノ結果、自然溝渕店員ノ仕事ガ拡張サル、事ト相成候事ハ、同店員ノタメニハ濠洲智識ヲ拡ル機会ヲ増ス意味ニシテ、之レガタメ一層忙シキ立場ト相成候ダケ、夫レダケ張合モ多ク相成候筈ニシテ、谷口・溝渕両店員共ニ此移動ハ大ニ歡受致シ居候処ニ御座候

目下ノ業蹟ヨリ申セバ、減員致シ候ハ、其俣ニテモ執務継続スベキ覚悟モ当事者間ニハ御座候ヘトモ、順次店員更代ト新陳代謝ノ要モ有之候事トテ、北村取締役ノ御裁可ヲ得、取敢ヘズ一名ノ青年ヲ日本ヨリ派遣致シクレ候様、小池君ヨリ特別部状ニテ上伸致候如クニシテ、其人撰ニ就テモ各人ニ涉リ小池君ヨリ意見ヲ附シオキ候ニ付、辛抱強キ適任者御選抜被下度願上候尚商売ノ発展ニ伴ヒ、尚其以上ノ増員派遣ヲ要スル時機ノ熟スルノ早カラン事ヲ祈リ居候

## Whiddon Top

ハ Frank 氏英国ヨリ帰濠ノ機ニ於テ商談大ニ進行シ、貴方御奔走ノ結果ト当方値段モ貴方ノ覚悟セラレシヨリモ有利ニ買約相整ヒ、W氏モ満足ニテ四月上旬迄ノ商談成立致候事、御同慶

ノ儀ニ御座候

Frank 氏ノ英国ニ於ケル計画事業ハ商談略ボ完成ノ時ニ於テ対人方ガ重患ニ冒サレ候タメ、懸案ノ俣ニテ帰濠致候模様ニシテ、未ダ何レトモ決定セザル由ニ御座候

〔欄外書込〕

此発起人遂ニ死亡の由ニテ折角の目論見モ多分中止、従前之通り継続の事ニ可相成

Hughes Top

ハ不相変薄気味悪ク候ヘトモ、御得意先ニテ Hughes 独特ノ契約条件承諾ノ上ナラバ当店トシテハ拒絶スベキ筋合ノ物ニハ無御座、続々商談成立致候事、是レ亦御同慶ニ候、尚此製品何日何時苦情ヲ惹起致候ヤモ難計、危険ノ伴ヒ居候事ハ御互ニ輕視致シ難ク、当方ニテモ可成品質注意致居候ト同時ニ、貴方ニテモ売先御吟味ヲ怠ラザル事ト存居候

ヒュース勝訴

前便Stアルバンスニテ、不取敢新聞切り抜き御送申上オキ候如ク、永ク一大問題ト相成リ居リ候中央羊毛委員会及聯邦政府対 C. C. S. & W. Co. 係争問題ハ、全然ヒュース方ノ勝訴ト成リ解決致候

先是「ヒュース」ノ心証ハ「ゼロ」ニシテ、何等信ヲ措ク可キモノナシト迄頗ル猛烈ナル宣告

ヲ裁判官ヨリ下サレタル事ハ既報ノ如クニシテ、此形勢ニテハ日ノ敗訴疑ナカル可シト我レ人共ニ思ヒ居リシ処、Point of Law ヨリハ遂ニ反対ノ結果ヲ生ジ、頗ル案外ナルニ驚サレ申候、此例ヲ觀テモ裁判事ハ商人ニハ禁物ナル感ヲ強カラシメ申候

但シ訴訟費用ノ過半ハ日負担ト相成候様新聞ニ相見ヘ居候

大坂商品陳列所

派遣員田中・小宮山両氏ハ安キ丸ニテ帰朝致候、結局余リ得ル処ハ無カリナラント察シラレ候ヘトモ、商品見本等ハ依頼ニ応ジ種々当店輸入部ニテ取揃ヘ、相当ノ便利ハ与ヘオキ候

羊

農商務省行「コリエール」種牡二頭・牝百廿余頭、安キ丸ニテ積送り候（野沢組ヨリ）、附添人トシテ日本ヨリ派遣サレタル人ハ、不幸入院ノ身ト成ラレ候由ニテ、我々馴染ノ Daw Fitzgerald ガ同航致候

此度ハ \$1 per day ノ約束ノ筈ニシテ、馬ニ比スレバ Picnic ニ行ク様ナモノナリト同人大悦ビニ候

聯邦選舉

ハ頗ル苦戦ナリシガ、遂ニ Hughes 政府党ノ成績頗ル不良ニシテ、未ダ数字確定致サズ候ヘトモ、左記ノ現在ノ立場ニハ大異動可無觀察致サレ候、則チ Country Party ナルモノハ Labor 反対ノ筈ナレトモ、Hughes 反対ナリトシテ政府側ニ組セズ、現在ノ状態ニテハ Labor 政府ニ移ルノ外ナキカ、頗ル混沌タルモノニ候

	New PARLIAMENT	Old PARLIAMENT
Nationalist	33 ?	38
Labor	26 ?	22
Independent Labor	—	2
Country Party	14 ?	13
Liberal	1	—
Independent	1	—
	<hr/> 75	<hr/> 75

英米 Cross Rate \$4.69 ナル高率ハ十二月十三日ノ最高ナリシ由、実ニ戦争以来ノ「レコード」ナリシガ、翌日ハ \$4.63 ニ下リ、其後上下アレトモ大体ニ於テ60仙台ノ腰強ナルハ疑ナキ形勢ニシテ、世

界的四囲ノ状勢ヨリ考察シテ、再ビ \$4:50\$ 台ニモ落ち込ムベシトハ思ハレズ  
日本向ケ D/D 買相場ノ十二月十五日ニ於ケル 2/0 1/4 ペンスモ亦「レコード」ニシテ、今ニ  
十八日ハ 2/1 3/8 ニ戻リ候

右

イースタン便貴信 138 只今 10 am 廿一日メ切ニ迫リ配達ヲ受ケ候ニ付、御受ケハ次便ニ可申上  
候



大正  
12年

シド  
ニー  
来状



取二八号信 大正12年1月5日 まどらす丸便

豪社守田治平↓神戸及東京取締役及部長

新年初頭ノ執筆ニ際シ

謹而新年ヲ賀シ、貴店御一同ノ健康ヲ祝シ併テ商店ノ隆盛ヲ祈リ候

当方ハ北村取締役始メ内外店員一統微患ダニナク新年ヲ迎へ、元氣旺盛ニ大正拾弐年ノ  
戦線ニ歩ヲ進メ居候間、乍憚御休神被下度候

年末給与ト増給

外人店員ニ対シテハ、例年ノ通り「クリスマス」前ニ於テ夫レ々々給与通達ヲ励行致シ候  
又日本人店員ニ対スル年末給与及一部ノ増給ハ、貴方ヨリノ御提案ニ対シ、既ニ北村取締役御  
同意ノ上ハ規定事項ト認メ可得、然ラバ貴地同様年末ニ之レガ通達ヲ励行致候事、物ノ極リモ  
ヨク候ニ付、本年末ヲ以テ正式ニ北村取締役ヨリ全般へ給与御沙汰相成リ候

但シ萬一其後貴案御変更相成候モノニテモ有之候ハ、可然調節可仕候  
御前店員給与額ハ今便以伝票貴方同君勘定へ御振り替へ申上候、尚右金額ニ対スル聯邦及NS  
W州所得税ハ納税高決定ノ節、御振替可申上候間、御含ミオキ被下度候

日粉火災保険  
ハ都合克ク解決致シ候由、自然、林取締役御来旨ノ如ク焼太リト相成候如ク、誠ニ結構ノ儀ニ  
シテ全ク不幸中ノ幸ニ御座候  
夫レニ連レテ小麦注文モ増加致候様祈り居り候

## 羊毛運賃

羊毛運賃ニ関シ羊毛工業会对同盟船ノ経緯ハ、イースタン号神戸本店并ニ東京支店重役状ニヨ  
リ委曲御報導ニ預り難有奉謝上候  
羊毛工業会所属会社以外ノ注文品ニシテ、輸入商之輸入スル羊毛モ全部是ヲ同盟船ニ積入ル、  
代リニ、輸入商ニ対シ特別ノ割戻ヲ得度シトノ輸入商ノ提案ハ頗ル適切ニシテ、同盟船側ニ於  
テモ必ズヤ相当敬意ヲ払ツテ是ニ応ズ可クト奉存候、第一ノ10%ヲ工業会ニ支払ハズニ輸入商  
ニ払戻シ呉ルレバ誠ニ結構ナレトモ、我利々々ノ集合体タル工業会ガ是ヲ承認スルトハ思ハレ  
不申候モ、工業会以外ノ注文主ニ対シ、第二ノ10%ヲ輸入商ニ割戻ス処迄位ハ御漕附被下候御

事ト奉存候

topニ就テモ同様ニテ、輸入商ハ全部ノ輸入topヲ同盟船ニconfineシ、其代ニ何等カノ特典ヲ輸入商ニ被与候様御交渉行届候ハ、結構ト存候

羊毛并ニtopヲ輸入商ニ於テ全部同盟船ニ積入レノ誓約ヲ致シ候事、吾人ニ取りテ便宜ト存候ハ日本棉花ノ如キtopwoolヲ不絶山下汽船ニ積入居、今航鶴辺丸ニモM市ヨリ相当数量ノtopヲ積入レ居候、又三井・高嶋屋ノ如キ同船ニB市ヨリ被服廠行羊毛ヲ積載致居、是等ハ羊毛工業会所属会社以外ノ注文タル關係上、困リ抜ケル山下ノ足許ヲ見テ相当安運賃ノ交渉行届候結果ト存候（K）ニ小麦千五百屯運賃（18）迄負ケタル点ヨリ推測シ、敢テ是等ノ連中之仕事ノ邪魔ヲスル訳ニハ無之候へ共、此種ノ羊毛topモ皆同盟船ニ積ム事ニサセ、其代リ何等カノ特惠ヲ得セシメバ、今後安運賃ヲ漁ル競争ヲ杜絶シ、NYKニ特別關係ヲ有スル吾人ノミ頗ル有利ノ地位ニ置カレ、他商モ亦満足シ萬事頗ル好都合ノ様存申候、只山下丈ニハ氣ノ毒ナレトモ、是ハ致方無之候

貴信

138号十一月十三日附イースタン便及

十一月二十日附林取締役御認メ同船便羊毛運賃其他ノ件ハ何レモ十二月廿一日入手、拝誦致候

当店外人給与額及俸給表同封ノ心組ナリシモ、予期以外ノ仕事ニ妨ゲラレ遂ニ其意ヲ得ズ、次便ニ譲リ申候

丹後丸ハ定期ヨリ一日早ク明後七日（日曜日）早朝入港ノ事ト相成リ候、此場合ノ早着ハ聊カ難有迷惑ニ御座候

右

谷口店員

ハ予定ノ通り本月三日家族同伴「メルボルン」へ駐在スベク発足致候、漸次其効果ノ顯レ候事ヲ期シ居リ候次第ニシテ、同君モ亦大ニ責任ノ重キヲ覚悟致シ、心二期スルモノ有之候事ト信ジ候

以上

取二八号信（続）

大正12年1月25日

丹後丸便

豪社守田治平↓神戸及東京取締役及部長

拝啓

貴信

139号十二月十一日附丹後丸便、一月八日着

140号十二月廿二日附インダス丸便、一月廿三日　　〃

141号十二月廿六日附アラフラ便、今廿五日午後　　〃

及東京支店十二月十二日附林取締役御状、丹後丸便ニテ一月八日着、拝誦致候

藤井取締役御認メ北村取締役宛

T2十二月十一日附丹後丸便ハ北村重役御受ケ相成候ヘトモ、「インダス」丸便ハ「ブリスベン」御出張留守中到着致候ニ付キ、其俣保管致オキ候

大正十二（一九三三）年

七七

北村取締役ハ明後廿七日ブリスベンヨリ御帰市ノ予定ニ御座候

御前部長

年末給与金ハ貴店勘定ニテ御支出済ノ趣拝承致候、然ルニ行キ違ヒ当方ヨリ御報申上候如ク当店ニテ支出ノ上、貴方へ御振替申上候ニ付、自然該伝票ハ取消シノ御沙汰ニ接シ候事カト存候、何レニシテモ貴方ノ御都合ニ従ヒ、当店ノ帳簿ノ整理ヲ可致候

シドニー外人

給与及増給表同封致候

馬匹

購買例年行事ハ永年筆者専任ノ態ト相成居リ、近来之ガ肩替ヘニ努メ居リ候ヘトモ、手一杯ノ当店トシテハ中々ニ適當ノ譲リ受ケ人モ無之、今回ノ如キハ事実ニ於テ沢辺店員其任ニ当リ、筆者ハ之レガ監督程度ノ段取りト致シ居リ候ヘトモ、而カモ筆者ノ頭ト時間ヲ取ラレ候事ノ多キヲ免レズ、自然今便ニハ充分執筆ノ機モ無之、全部次便譲リト相成候段不悪御了承可被下度候

毎年厄介千萬ノ事ニハ候ヘトモ、而カモ徹頭徹尾当店ニ信賴シテノ遠来ノ客ニ対シテハ又吾人



モ犠牲ヲ厭ハズ、出来ルダケノ満足ヲ与フル事ニ最善ヲ尽シ候事ハ、十年一日ノ如ク変リ無御座候

為替相場変動ノタメ昨年ニ比シ、今年ハ約參百£購買額ヲ減少サレタル破目ト相成リ候ヘトモ、而カモ当店ハ飽ク迄モ奉公主義トシ、前年ヨリモ一層優秀馬ヲ多ク致候ニ付、御満足ノ筈ニ御座候

熊本県庁馬モ「ウイリアムス」ヲ説キ付ケ無理ヤリニ船長ヲ納得サセ、拾頭積入レノ事トシ、牝馬モ案外理想ニ近キモノガ揃ヒ、而カモ頗ル割安ナリシハ之レ亦満悦ト存候

#### マグリツチ氏

永年ノ功劳ニ対シテ何カ陸軍省ヨリ恩賞ノ沙汰ヲ得タシトハ、毎年購買官ノ感ジラレ候処ニシテ、遂ニ今回ハ同氏ノ履歷書ヲ書カスル事ト相成リ候ヘトモ、郵便メ切ニ迫リ、筆者自身熟読ノ機モ無之、其俣同封致オキ候条、御面倒甚ダ恐縮ノ至リニ御座候ヘトモ、藤井重役御手ノモノト存候ニツキ、御監督ノ下ニ之レヲ可然取捨シ、適當ノ態トシテ訳文ヲ作製シ、木幡少佐ヘ御渡シ相願ヘ候ハ、幸之レニ過ギズ候、但シマグ氏御当人ハ何ノタメニ履歷書ノ必要ガアルカヲ知ラザル立場ニテ、兎ニ角記臆ニアルマ、ヲ認メタルモノニ有之候

如前記北村取締役御不在ニシテ、本船積荷モ近来ノ巨額（約貳百參拾萬円）ニモ有之、何ヤ彼

ヤト忙殺ノ折柄、「インダス」及「アラフラ」便貴状ハ本船出帆ニ近キ入手熟読ノ機モ無之ノ  
ミナラズ、北村取締役御不在中ニ付御受ケモ難致、不悪御承引願上候

尚今便ニテハ北村取締役ブリスベン御出張前、御執筆被下候ニ付、差迫リタル御受ケハ相濟ミ  
居リ候

此頃当地日本人会ニテ会報ナルモノヲ発行スル事ト相成リ、当地ノ近況報告ノ一助ニモト加封  
致シオキ候

右

取二九号信 大正12年2月14日 臨時船長野丸便

豪社守田治平↓神戸及東京取締役及部長

拝啓

貴信

「NS」号一月九日附吉野丸便、二月四日着入手致候

十二年初頭前田取締役御認メ、北村取締役始メ支店員各位宛、年頭ノ御所感ト御訓示ハ当店一同ノ回覧ニ附シ候、何時モ乍ラ御入念ノ御高配感謝罷在リ候

北村取締役宛T3十二月廿二日附「インダス」丸便ハ同重役「ブリスベン」ヨリ御帰店ノ時、一月廿七日御披見相成リ候

前田重役

ニハ其後モ引続キ日々御出勤被下、史料蒐集ハ愈々進ンデ益々御困難ノ度ヲ増シ、容易ニ最初御計画通りニ掛取ラズ候由、誠ニ御尤ノ次第ト同情罷在候、從テ御来旨ノ件々モ其通り御実行ノ要モ無御座、引続キ御勤務被下候事ト相成候由拝承仕リ候、此件ニ関スル臨機ノ御取計ヒ方ハ前田・藤井御両所ニテ可然御願申上度、北村取締役ヨリ御依頼申上候

シドニー昇給辞令

八名ニ対シ交附致置キ候

広戸君

ハ定期ヨリモ一日早着、吉野丸ニテ二月四日無事安着、頗ル御元氣ニ有之、今週ヨリ羊毛実験ノ衝ニ当ラレ居リ候ヘトモ、久シブリニテ「シドニー」ノ羊毛ヲ手ニシ、市場ニ列スル事ノ感慨無量ナルモノアリ、多大ノ趣味ヲ以テ熱心ニ研究ノ歩ヲ進メラレ居リ候

三月決算後、北村取締役御出発前ノ総会ヲ機トシ、兼テノ御打合せ通り Director ノ登記ヲ可致候

奨励会総会ト規

予定ノ通り一月八日ノ総会ニ於テ規約改正案ノ全部異議ナク可決致候由、御配慮奉謝候

約改正

改正規約書ノ臨時コンニヤク版刷リ入手、各株主へ交附致候、正式ノ印刷物ハ後日序ヲ以テ御調製ノ由拝承致候

尚是レガ英訳文ハ結局専門家宮岡弁護士へ御依頼被下候由、頗ル賛成ニ御座候

但シ「シドニー」ノ如ク店員・準店員其他ノ規定ナキ外人ニ対シテハ、年数計算上不便ニ付キ可然内規ヲ作り調節ノ外無御座候ヘトモ、追テ御送附ニ接ス可キ訳文ノ字句等ヲモ考慮シ、便宜取極メ可申候

外人株主加入証ヲモ同時ニ英訳被下候事ト相成居候由、好都合ニ御座候

金田君

ハ囑託総務部附トシテ十二月二十日ヨリ勤務ヲ初メ、浴巾会社ノタメ専心努力セラル、事ト相成候由好都合ニ御座候、夫レ丈ケノ経験ヲ有シ、特ニ定マリタル地位ヲ捨テ、浴巾会社ノタメニ尽シクル、事ト相成候人ニ対シ、御来旨ノ俸給額ニテハ如何ニヤトノ北村取締役御心附キモアリシモ、結極 all other circumstances ヲ考量ニ容レラレテノ此御取極メハ公平ナル可シト御同意有之候

タオル積後レ

輸入部ヨリ御注意申上候如ク、十一月積約束ノ「タオル」ニシテ未ダ到着セザルモノアリ、其

後ノ分モ積後レノタメ注文主ヨリノ苦情多ク閉口致シ居リ候、幸ニシテ其後相場上向キナルタメ此度ハ注文取消、又ハ弁金等ノ恐レハ無之様ニ候ヘトモ、当店独特ノ長所ヲ發揮スベキ本品ニシテ漸ク復活必死尽力中ノ折柄、世間並ミノ積後レナドハ遺憾千萬ニ御座候、且ツ積後レ品ニ対シ貴輸出部状ニハ説明モ無之候タメ、当輸入部トシテ注文主ニ対スル弁明法ニモ困ラセラレ居リ候、御注意願上候

〔北村寅之助による欄外書込〕

五年立ッテモ八年ヲ経過シテモ同じ様ニ積遅レ手違ヒ等ハ慨歎ノ至ニ堪ヘス、何年ヲ経過セハ一人前之仕入方可能ト相成得候ニ哉？、所謂若輩計ニテハダメ也トハ茲の事也

中井出張員

ヨリ臨時倫敦ニテ事務所ヲ開キ、少クモ六ヶ月ハ滞在スル云々トノ貴店宛電報写ヲ拝見致候、当時ハ同君ヨリモ亦貴方ヨリモ何等ノ情報無之、真逆ニ神戸本店ノ命令、又ハ許可ナクシテ中井君独断ニ実行サル、筈モ無之候ヘトモ、電信文意ハ恰モ出張員ヨリ本店ヘ対スル一片ノ通達ノ如クニモ有之、当方幹部ニテ頗ル不審ニ存ジ居リ、且ツ卑近ノ例トシテモ大坂詰所ノ如キ手近ノモノニテモ容易ニ重役席ノ許可ヲ得ラレザリシ程重大視致サレ候程、用意周到ナル商店ノ主義ヨリシテモ合点參ラズトノ説モ有之、我々ノ間ニ於テハ不尠重大視致シ居リ候儀ニ候処、其後吉野丸貴信ニ依リ其経過ヲ逐一拝誦致シ、矢張り貴本店ニテモ唐突ノ事ニテ意外ニ思ハレ

候へトモ、事情考慮ノ上、臨機ノ取計ヒニ対シ承認ヲ与へラレ候由承知致候、当方モ同感ニ有之、異存無之候へトモ、今後ハ追々同様出張員ノ派遣サル、者多キヲ加フルニ可到候へバ、御同様商店ノ主義方針ニ矛盾セザル様、特ニ意ヲ用フルノ要切ナル事ヲ感ジ申候

〔北村寅之助による欄外書込〕

中井通信中、私費用中下宿料一周£5ト予算在之候得共、贅沢ニ失スルト存候、濠州ニテモモット安ク御座候、況ンヤロンドンハ濠州ヨリ経費割安ト伝承致居候、マッカソン流ニ<sup>ルビ</sup>スルカ否哉不判然ナルニ初メヨリ費用ヲ顧サルヤリ方甚不賛成、他ノ店員ニ先例トモ相成候間、御戒飾被下度候

### 羊毛運賃

モ十三万俵ニ達セシム事ニ努力スベシトノ改正妥協案ノ容レラル、処ト成リ、満足ニ調印ヲ了リ候由、而シテ此間前田重役ノ御努力モ大ニ効果アリシ事等、逐一広戸君ヨリモ承知致候、依之、当店トシテハ物質的ニ得ルモノヲ大ニ減少サル、事ト相成候へトモ、間接ニハ我々ノ立場ヲ比較的確固タラシムル好果モ有之事ト存ジ居リ候

### 記念事業積金

ニ関シテハ重ネテ縷々前田重役ヨリノ御説明ニ預リ、当方ニテモ貴意ノ存スル処ハ充分ニ諒解

致シ、又第二回記念事業ヲ実行スルトセバ、東京高商ト致候事最モ適當ナルベシトハ北村重役モ御同感ニ御座候ヘトモ、要之、本問題ハ結極北村重役御帰朝ノ節解決サル、可キモノニ御座候ヘバ、茲ニハ省略致候段不悪御諒承願上候

濠洲会社成蹟

幸ニシテ良好ナレバ、不動産ヲ貳萬圓ニ引下ゲノ貴案モ拝承致候、而シテ余益ハ何レニシテモ繰越シ積立金ニ計上可致候

両社未払込株金、記念事業積立金ト準備金等ニ関聯シテノ前田重要御高説敬承致候、重テ考究可仕、御入念ノ説明ニ対シ深ク感謝ノ意ヲ表シ候

以上、北村生披見致候

新入者 Wallace  
Taylor

此頃 Leaving Certificate ヲ得、是レヨリ大学ニ進ミ得ル階梯ノ青年ニシテ、年ハ十八才ナレトモ、将来有望ノ商店ニテ勉強ノ機会ヲ得タシトノ志願ニシテ、性質温順ニテ将来ノ見込ナキニ非ズト存候ニ付、試験ノ二備入レ、直ニ Frank ノ仕事ノ一部タル帳簿係リニ廻シ居リ候、



大学休暇開ケニハ大学夜学経済課ニ通学ノ便ヲ与フル事ニ致シ、可成高等ノ智識ヲ得ルニ便ナル様ニ仕向ケ、結果良好ニ候ヘバ順次ガントン君ノ補助ニ仕込ミ、「フランク」ハ当人ノ希望モ有之、輸出部ニ廻ス腹案ニ御座候、俸給ハ£2支給ト致候

濠日間正金銀行  
為替率ニ就テ

貴信 140 号ヨリ詳細御来旨ニ接シ、折柄貴地へ出張中ナリシ「ナシヨナル・バンク」ノ「テヴィー」氏トノ御協商模様ト共ニ拝誦致シ候

御来旨ノ如ク戦時及戦後ノ突飛状態モ去リ、漸ク切り詰メタル採算ノ下ニ商売ノ取り合ヒラスル事ト相成リ、適切ニ感じ候事ハ倫敦廻リト直接円為替ノ差ニ有之、殆ド常ニ円為替ガ不利ト相成リ候事ハ、取りモ直サズ正金銀行本位トスル当店ノ如キガ不利ノ立場ニ置カル、次第ニシテ、是レニ対スル適当ノ策ヲ講ジ候必要ニ迫リ居候事ハ何レモ同感ニ有之、何人モ異存アルナク、且ツ銀行トシテモ之レヲ至当ノ要求ナリトシテ考究致シクレ候ハ、所謂其機ノ熟シタルモノト可得申候

是レ必シモ今日更メテ騒ギ立テ候如ク新発見ノ事実ニモ無御座、早クヨリ当局者ハ茲ニ意ヲ用イタル事モ一再ナラズ、外国銀行經由送金ナドモ相当ニ実行シタル例モ有之、只我等ガ常ニ取扱フ金額ノ大部分ガ委託式羊毛ニシテ、之レニ対シテハ特ニ注文主ノ苦情モナク（此頃日本毛織ヨリ大分矢釜敷、又「ロ」ニモ英貨建希望ノモノアレトモ）、当店ノ如キ永キ関係アル正金銀

行ニ対シテハ、相当ノ範圍ニ於テハ正金ニ花ヲ持タセテオクモ、直接間接当店ノタメナルベシトノ低意モアリ、且ツ当店トシテハ何時ノ時代ヨリカ親銀行タル正金ニ対シ、強硬ナル交渉ヲ為シ得ルダケノ時機ニ達シ居リシカ、此色別ヲ明瞭ニ致候事ハ容易ナラズ、各人ノ見地ヲ異ニスル程深遠ナル無形ノ意味ヲ含ムモノニシテ、今日ノ兼松ハ昔日ノ夫レト比スベキニ非ズ、不利ノ取扱ヲ受クル様ナレバ、方針ヲ変ヘルモ致シ方ナカル可シト申ス程ノ簡單ナルモノニ非ル事ハ今更申ス迄モ無之

為替率トシテモ、今日迄ニ当店ガ正金ヨリ特別率ヲ得テ商談ヲ整ヘ候事モ相当ニ有之  
当店ガ漫然此不利ノ立場ニ於カレ乍ラ之ヲ觀過致シ居リ候如クニハ、必ズシモ責メベキモノニ非ズト筆者ハ愚考致シ候

貴方ニテハ其後西濠洲小麦ノ為替ヲ動機トシテ、正金頭取席ト御交渉ノ機ヲ得ラレ候如ク、二月七日發貴電ニ接シ候、則チ

西濠小麦、チャーターード銀行電送出合アレトモ為替率不利也

吉野丸神戸重役書信参照

種々交渉ノ結果、正金東京頭取席ハ正金シドニー支店ニ対シ極力研究スル事

同時ニ小麦ニ対シテハ特ニ便宜ヲ与ヘヌ

倫敦払L/C発行異議ナキ事委細郵報シタ

正金シドニー支店ニ対シ、左ノ通り相談セヨ

第一、正金シドニー支店日本向為替相場ニテ倫敦廻リ手形ト同様ナル率特別取計ヒ

第二、倫敦払L/Cヲ以テ正金支店ニ於テ同盟銀行率ニテ“Exchange on London”引受

ケノ事

第三、正金シドニー支店及兼松協調シテ「フリーマントル」外国銀行ニテ荷為替取引

受方交渉セヨ

最近契約西濠洲ノミナラズ、今後ノ小麦取引一般ニ対スル精神ニテ協議セヨ

西濠洲ニ限り、内地為替料關係上、前述第三最モ有利ナリト思フ

Exchange Selling T/T on London . June. 2/6  $\frac{1}{16}$

正金神戸支店ニテ為替先物出来ル見込

正金神戸支店ヨリモ同様電信シタ

貴方ヨリノ御来旨ハ大体ニ於テ筆者期待ノ如クニ有之候ヘトモ、充分考慮ノ結果、文頭送金ノ  
箇所以外ノ貴電全部ヲ書キ抜き（但シ今後ノ小麦取引云々トアルヲ「小麦及「Tops」ト改メ）、  
之レヲ松島氏ニ示シ相談ヲ開始致シ候、筆者ノ先入主ガ加味サル、ガ如キ事アリテハ面白カラ  
ズ、月並ミナガラ對話ノ要点其俣ヲ列記シ、更メテ筆者ノ卑見ヲ加ヘル事ト可致候

守田ヨリ説明ヲ加へ、日本ヨリ來電書キ抜キヲ示シタルニ對シ、松島氏曰ク

神戸支店ヨリノ來電ニ接シタルニ付キ、西濠小麥用 D.C. L/C 發行異議ナキ返電ヲ發スル事ニ成リ居レリ、頭取席ヨリハ未ダ何等ノ入報ナシ、乍併シドニー正金トシテ是レニ對スル回答ハ頗ル簡單ニシテ、(K) 要求第一・第二共今更メテ變更ノ余地ナク、第三西濠小麥ハ内地為替料ノ關係モアリ、正金ノ D/C L/C ニテ全濠銀行ニテ取組マレ候事ガ最モ至当ナル可シ

斯ク申サバ如何ニモ冷淡ノ如クナレトモ、過去ニ於テモ再三再四繰リ返シ説明セル如ク「シドニー」正金ガ世間ニ噂サル、如ク余分ノ利益ヲ貪リ居ルモノニハ決シテナシ、實ハ武内支配人時代ノ業績頗ル良好ナリシ由ニシテ、自分ガ斯程苦勞セルニモ拘ラズ、何時モ「カス々々」状態ニ悩マサル、ハ、何レカニ其原因アル可シト行内過去ノ記録ヲ調査致候処、武内君ハ屢々相場ノ見込ミヲナシ、其大半ガ幸ニシテ当リタルタメノ所謂僥倖ニシテ決シテ真面目ノ成績ニ非ズ、銀行トシテモ此種ノ投機的行爲ヲ排斥スルモノナレバコソ、現ニ武内君ノ如キハ先輩ナルノミナラズ、利益余計ナラシメタルニモ拘ラズ左遷サレツ、アリ(話ノ行キガ、リ上、内部ノ人身評ニ及ビタレトモ、之レハ勿論君ダケノ含ミニ申セシ事ナリトノ注意アリ)、則チ正金銀行シドニー支店ハ普通ノ状態ニ於テハ經費ヲ繕ヒ得バ上出来トモ可申立場ナリ、而シテ此シドニー支店ヲ設立スル事ニ決

シタルハ、早クヨリ兼松商店ノ熱心ナル慇懃ガ發動機ノ一ツナリシトハ云へ、銀行トシテハ外国銀行ニ敵対シ得ルダケノ目算相附キ候タメニモ有之、開店當時ハ勿論事情不慣レノ事ナレバ、相沢氏ハ相当ノ損失犠牲ヲ覚悟シテ其衝ニ当リ、其後漸次時日ヲ重ヌルニ従ヒ、当地ノ金融出合好都合ニ且ツ日本ヨリノ輸入手形モ多キ時ハ、夫レ丈ケ正金モ樂ナ立場ニ置カル、ト同時ニ外国銀行ニ比シ、充分有利ノ円相場ヲ建テ居リタル事モアリ

乍併当地ニテ金融不如意ノ時ハ、自然割高ノ率ヲ辛抱シテ金融スルノ外ナキ場合少カラズ、従テ概シテ倫敦廻リ相場ニ比シテハ、円相場ノ不利トナル場合少カラザルハ事実ナルヲ遺憾トスレトモ、一年中ノ平均ヲ採ラバ、必ズシモ正金ノ率ガ不利ナリトハ難申程度ト思フ

羊毛資金ノ如キハ特ニ常得意ニ対シ、充分ノ準備ヲナス覚悟ナレトモ、何分ニモ市場ニテ買付ル迄ハ其金額ノ予想ヲ建ル事サヘモ困難ノ性質ニシテ、而カモ買付後ハ直ニ永クモ十四日内ニ支払ヲ要スルモノニ付、早クヨリ銀行トシテハ過分ノ額ヲ備ヘオク要アリ、之レニ対シテハ局外者ノ想像以上ノ利息ノ負担等モアリ

現ニ最近十一・十二月羊毛入用額トシテ、各店ヨリ申込マレタル莫大ナル金額ヲ整ヘントスル時ニ方リ、当地ノ金融ハ大逼迫ニシテ動キモ採レズ、夜ノ目モ安メズニ漸ク調金致候物モ、結極、其半分モ要ラザル（全体ニ於テ）事ト相成候タメ、此非常ニ割高ナル

資金ヲ留保シテ、本年ニ流用スル事ト成リシダケニテモ負担額非常ノモノニ有之、銀行トシテハ、決シテ得意先ニ苦情ヲ申スモノニハ非レトモ、又之レ等ノ行キ違ヒニ対シテハ円相場ノ幾分割悪トナル事モ辛抱シテ貫ハネバナラズ、而モ正金トシテハ其全部ヲ為替相場ニテ取捨スル訳ニモ成ラザル結果、遂ニ最近半季決算ハ欠損計上ノ止ムナキニ至レリ

如此実情ニシテ、正金シドニーハ決シテ余分ノ収益ヲ得居ルモノニ非ルタメ、兼松ノ要求ハ一々尤モナレトモ、去リトテ此際特別取計ヒヲ為スノ余裕アルニ非ルタメ、今之レ以上考究ノ余地モナキ夏座敷ノ立場ナリ

乍併金融容易トナリ、日本ヨリノ輸入為替モ増加致候様ナレバ、自然倫敦廻リヨリモ不利ナラザル相場ト為シ得ル自信アリ、又努力スル事勿論ニ候ヘトモ、特ニ兼松商店ノタメニ（ヨシ出来ルトシテモ）特種ノ取計ヒヲ確約スル事が、正金トシテ可能性ノモノナリヤ否ヤ考究ノ要アリ、左ナキダニ正金ヘK<密接関係トヘK<ノ發展振リニ就テハ、他ノ商人ハ必ズヤ正金特惠モ含マル、ナル可シナドノ痛クナキ腹ヲ探ラレ候程、他店ハ注意致シ居ル事実モ有之、正金ヘK<特約ノ如キハ何時カハ他人ノ耳ニ入ルモノト思ハザルベカラズ、正金トシテハ大ニ考へ物ニ候

乍併正金本位タル且ツ日濠貿易ノ最大得意トシテ歴史的ノミナラズ、物質的ニモ大切ナル取引先ガ正金本位トスルタメニ他店ニヒケヲ取ルガ如キ事ナキ様、充分ニ勉強スベキ

筈ノモノナル事ガ正金ノ精神ナル事ハ再三繰リ返シタル如クニシテ、小麦ノ如キ先約品ニ対シテハ、其都度出来ル丈ケノ好率ヲ勉強スル事ニ努メ居リ、又今後トテモ其精神ト方針ニ変リナキ事ハ申ス迄モナシ、乍併今日迄モ再三所信ヲ述ベタル如ク、兼松ハ正金銀行本位トシテ総テヲ処理スベク卒業時代ニ達シ居ルモノニシテ、正金トシテモ何時迄モ正金一手ニ引受ケ可キモノナリトイフ狭キ考ハ無之筈ニシテ、正金ガ勉強シテ特別扱ヲシテモ尚不満足ノ場合、之レヲ他ノ方法ニ依リ、競争場裡ニ立タントスルハ当然ノ成行也

小麦ノ如キモノニ対シ、倫敦廻リ取組ノタメ「シドニー」Y S Bノ商売ガ減少致候共、其手形ガ神戸正金ノ手ヲ経ル事ト相成候以上、正金全体ノ立場トシテハへKへ従来ノ関係ニ何等ノ影響ヲ来スモノニ非ズ、日本ニテモ外国銀行ノ相場ガY S Bヨリモ有利ナル場合アル様ナレトモ、之レハ正金・兼松ノ関係上、可成神戸正金ヲ勉強サセ、密接ノ関係ヲ永久ニ保存スル様ニ辛抱コソ望マシケレ

倫敦廻リ信用状ヲ発行スル場合ハ、「シドニー」ノ指図ヲ待ツ様ニト先般日本へ序ヲ以テ打電致候事ガ兼松ノ自由ヲ策縛スルガ如キ意味ニハ非ズ、当地モ金融不安ノ折柄、可成「シドニー」ニテ其事ヲ耳ニ致シ度キ考ヘナリシモ、日本側ニテモ其要ナシト認メナバ、直接日本ニテ兼松・正金間ニ交渉サル、モ宜シカルベク、シドニー正金トシテモ必要ニ応ジ、倫敦払L/C発行聊カモ異議ナキ事ハ今日迄ニモ声明セル如ク也

頗ル長文ノモノト相成リ、其大部分ハ貴我共ニ既ニ熟知ノ事ニシテ、既ニ屢々通信申上タル事ノ反覆ニ過ギズ候ヘトモ、順序トシテ贅言ヲ顧ズ列記致候ヘトモ、要之

(a) シドニーY S Bノ立場トシテ、目下ノ状態ニテ御要求ノ如ク、特別方法ヲ講ズルノ余地ナシ

(b) 乍併小麦ノ如ク競争激甚ニシテ先約ヲ要スル場合ハ、臨機相当ノ犠牲ヲ供シテモ最善ヲ尽スベシ

(c) 而カモ不利ノ場合ハ倫敦廻リ為替取組之実存無之ノミナラズ、L/C発行其他援助ニ躊躇スル事ナシ

(d) 此倫敦廻リニテモ可成神戸正金ノ手ヲ経ル事ヲ希望スト云フ事ニ帰着致候

右ノ内(b)ノ場合、正金トノ交渉結果ヲ待ツノ余裕ナキ時ニシテ、倫敦廻リ採算有利ナル事明ラカナル時ハ、直ニ倫敦廻リL/C発行ノ交渉ヲ開キ候共、聊カモ差支ナカルベシト存候

又御送附ニ預リ候円相場ト倫敦廻リ損益対照表モ松島氏ニ提示致候処、如此表ヲ頭取席等へ提出サレナバ大ニ味噌ヲ付ケル事ト成ルベシ、第一日本ノ売相場ナルモノヲ如何ナル標準ニテ採



算セラレシカ、今日ノ場合コソ倫敦ノ資金過多ノタメ、先物モ今日ノ率ニテ引受ケ得ル事ト成リ居レトモ、先物約束ニ対シテハ $\frac{1}{16}$ 、 $\frac{1}{8}$ 、寧口 $\frac{1}{8}$ 以上ノ開キアル事多ク、甚シキ時ハ $\frac{1}{2}$ ペンス（一ヶ月毎ニ）下リノ事モアリタリ、夫レ等ノ差乃至變動ヲ考量ニ入レズシテ、単ニ其時々ノ公表相場ニテ換算シ得ルモノトシテ（且ツD/Dモ90日モ同率ナルナド）対照セルナドハ杜撰ナリトハ一言モ無之、筆者モ大ニ赤面致候

此問題ヲ解決スベク、当店ノ方針トシテハ大体如左モノニ到着スベキヤニ愚考致候

正金銀行本位トスル事ハ従来ト変リナク、羊毛ノ如ク委託式ニテ得意先ヨリモ苦情ナキ程度ナレバ可成正金取扱ヒトスル事

羊毛取扱業者ノ内ニハ必ずシモ当店ノ如ク金融自由ナラザルモノモ可有之、正金ノ云フガ俣ニ動クノ外ナキモノモ可有之哉ニ察シラレ候ニ付、正金率本位トスル事ニ於テ当分ハ格別ノ障害ナカルベキヤニ存ジラレ候

但シ常ニ正金ノ相場ヲ勉強セシムル事ニ注意尽力スル事ハ申ス迄モナシ

小麦（時ニハ「Op」）ノ如キモ、正金ノ相場不利ナラザレバ正金直為替トスル事当然ナレドモ、不利ノ場合ハ遠慮ナク倫敦廻リトスル事

又之レニ対スル倫敦ニ於テノ支払ハ可成正金經由ノ方針ナルモ、是レ亦不利ノ場合ハ臨機外国銀行好率利用ノ事

又貴店ノ金融上、且ツ相場ノ出合ヒヲ綜合シテ、送金有利ノ場合ハ正金、又ハ外国銀行ニテ取極メノ事

濠洲側外国銀行トシテハ可成 Bank of Austria 經由ノ事

正金銀行本位ニ固執スル理由ハ、今ニ贅言ノ要アリトモ思ハレズ候ヘトモ、資力ノ増大セル兼松商店トシテ何時迄モ親銀行ニ頼ル要モナカル可シトノ意見モ一応道理アリ候ヘトモ、筆者ノ考トシテハ資力ノ増大スル丈ケ、夫レ丈ケ親銀行主義ヲ基トスルノ要アルベシト存候、資力が大トナレバ夫レ丈ケ商売範圍ガ膨張致候次第ニシテ、実資力ノ五倍十倍モノ商売ヲ致候ヘバ夫レ丈ケ多クノ危険ガ伴ヒ候訳ニシテ、最近財界大恐慌ノ如キモ、恐ラクハ何人モ夢想セザリシ処ナル可ク、将来モ亦何時此種ノ災害ニ遭遇スルナキヤモ難期、我々確實ヲ主義トセル者ハ「保守退嬰」ニ捕ハレズ、時世ノ進歩ニ従フ事ヲ怠ラザルト同時ニ萬一ノ場合ニ備フルベク、常に充分ノ注意ヲ要スルトノ主義ニ変リナキニ外ナラズ候

致シ得ル様英文通信ノ御取計ヒハ頗ル便利ニ有之、今後モ同様御配慮被下候ハ、幸ニ御座候御来旨ノ如ク、特ニ日本ノ商売ニ注目シ、態々出張調査致候程ノ熱心ヨリシテモ、充分ノ勉強ヲ以テ新取引先ノ便利ヲ図リ候様意ヲ用イ候事ナルベク候ヘトモ、御存知ノ如ク同行ハ所謂第二流格ニ有之、当店ニテ手掛ケ候銀行手形ノ内ニ同行ノ名ヲ見受ケ候事ハ殆ド無之候、去リ連小銀行ト申ス程度ニハ無御座、且ツ預金致候訳ニモ非ズ、単ニ為替銀行トシテ取引致候以上、第二流ニテモ一向差支ヘ無御座候ヘトモ、永年ノ好關係ヲ有スル第一流中ノ屈指銀行ニシテ、且ツ充分ニ当店ヲ諒解シ、最善ヲ尽ス事ニ心掛ケケレ居リ候 Bank of Austria ヲ度外視スル事ハ大ニ考究セザル可カラズ

〔日本側重役による欄外書込〕

度外視する点ハ無之、Bank of Austria が引受けぬ場合の準備ニ過ぎず

全濠銀行ニテモ頃来金融大逼迫ノ時ニ方リテハ、当店ノ要求ニ応ジ能ハザリシ例アルニ反シ、「ナシヨナル」出張員ハ「ソナナ」事ハ容易ナリトノ態度ナリシ如クニシテ、必ズシモ之レヲ無責任ノ言トハ申サレズ、時ニ或ハ却テ此種ノ比較的小仕掛ケノ銀行ガ便利ナル事不可能ニ無之、何レ Mr. Fievey 帰濠ノ上ハ当方ニテモ折衝ノ事ト可相成、且ツ其時分ニハ同行トシテノ方針ヲ確定致候哉ニ存ジラレ候ニ付、其上ニテ重テ研究可致候ヘトモ、此種ノ銀行ト仮令一部ナリトモ新取引ヲ開始、継続致候ニハ夫レ丈ケノ具体的ノ特色ヲ何カノ形ニ於テ表ハシテ貰ハネ

バナラヌ事ト存候

是等ノ問題ガ解決致シ候上ニテ、何レノ銀行ニ頼ル可キカ、又如何ナル程度迄取引スベキカナ  
ドノ決心モ附ク可ク、其時機到来迄ハ矢張り Bk of Austria 本位トシテ、出来ル丈ケノ便宜  
ヲ得ル事ニ交渉致候事ヲ以テ至当ノ方針ト存候

Bk of Austria

西濠洲小麦為替ニ就テハ Sydney 及び Melbourne 本部へ同意スル様ニ申送リタル照会ニ対シ、直  
ニ吉報ノ返電ニ接シ、且ツ内地為替料無料ノ事ハ「シドニー」支配人「ノーマン」氏ノ悦ンデ  
同意致シクレ候処ニ御座候ヘトモ、再考ノ結果、西濠「パース」同行支店宛 L/C 発行ヲ願ヒ、  
小麦代金支払ト同時ニ為替方同地ニテ取組メ候様手配致候ヘバ利息損モ可無之候ニ付、此旨電  
報御依頼申上オキ候次第ニシテ、「パース」ニテ為替取組其他安全ナル方法ニテ処理致サレ候  
様、余分ノ手数ハ意トスル処ニ非ズ、全濠銀行ニテ世話致シクル、諒解ヲ得オキ候

金融依然逼迫

金融ハ一時程困難ナラザル事ハ事実ニ候ヘトモ、而カモ未ダ決シテ樂觀ハ難成、一・二・三月  
ノ需要額ガ最モ大ナルモノニシテ、之レガ充分ナル資金ヲ準備シオクノ要アルタメニ為替買約  
等モ意ノ如クナラザル事ハ正金モ全濠銀行ノ申ス事モ同一ニ有之、「大毛注文金額無制限」ガ

輸入先約

余り強く貴方ニ響キスギ候テハ、却テ貴方ニ誤解ヲ与フルノ恐レナキニ非ズト心附キ、加電申上オキ候

如此状態ニシテ、全濠銀行ノ如キモ当分ハ「メルボルン」総務部ニ報告シ、金融可否ヲ決定スル方針ヲ継続スル事ト相成リ居リ候

正金銀行ガ故障ナク日本行巨額ノ為替ヲ引キ受ケ、尚今後モ順調ニ処理シ得可キ見込ナルニ対シ、全濠支配人ノ如キハ寧ろ意外ノ思ヲ為セシ如ク、正金ノ成功ニ感心致シ居リ候

ハ比較的小額ニハ候ヘトモ、近来同業者ノ競争ハ屢々為替率ニ帰着スルモノアリ、松島氏ハ常ニ当店ヘハ特別率ニテ先約ニ応ジクレ居リ候

本問題ニ関シテハ到底筆紙ノ克ク尽シ能ハザル儀ニ候ヘバ、此辺ニテ摺筆致候

以上

為替問題ニ関スル Page 5-15 ハ北村取締役御検閲前投函ノ事ト相成候ニ付、同役ノ御異見有之候ハ、次便ニ可申上候

大正十二(一九三三)年

九

大坂モス注文品  
ト延積金融ノ件

二月七日發貴電ニテ

跡注文近日有之見込ナレトモ、延積ノ要アリ

三・四・五・六月積分輸条件ニテ四千俵以上ト仮定シ、最高何程迄金融出来ル歟？

若シ当店ニテ金融ノ便ヲ図リ得ザレバ、跡注文ノ大部分ハ三井ノ手ニ落ツベシ

トノ貴意拝承致候

正金松島氏ニ対シテハ予ジメ羊毛ノ出廻リ状態ヲ説明シ、適當品ハ此二・三月ノ間ニ出来ルダケ買込ム必要アル見込ナレトモ、毛織会社トシテハ勿論多額ノ原料ヲ短期間ニ消化シ得ルモノニ非ズ、且ツ日本ニテハ多量保管ノ設備モ完全シ居ラザルタメ、此注文ニ対シテハ特別扱ヲ願フノ要アリトノ前置キヲ以テ、貴方ヨリノ御来旨ヲ伝へ交渉致候処、種々考究ノ結果、松島氏ノ回答ハ如左ニ御座候

羊毛買付後、其金額ト積出シ期ガ確定セル時、又ハ代金支払ヒノ時ニ於テ其時ノ相場ニテ其額ニ対シテ為替率ノ約束ヲ為ス事ノ条件ヲ承諾スルナレバ延積金融承諾スベシ

数量金額ハ先ズ五千俵約式百萬円内外ノ諒解ニ相成リ居リ候

利息ハ少シ好率ニシテ欲シイトノ希望ナリシモ、是レガ又重大問題ニシテ、三井ノ如キハ6%ニテ引受け候事火ヲ見ルヨリモ明カナレバ、是非辛抱シテ貰ハネバ成ラヌト押へ

付ケオキ候

羊毛代金支払ノ時ニ於テ、其時ノ率ニテ約束スル事ハ銀行トシテモ又毛織会社トシテモ為替相場変動ノ危険ヲ避クルモノナレバ当然ノ道行キニシテ、毛織会社トシテモ異存ノ理由ナカル可シトノ松島氏ノ意見ハ筆者モ同感ニ有之候

但シ為替率ヲ取極メ候時、毎月 $\frac{1}{8}$ ペンズ下リナドニテハ困ルトノ筆者申出ニ対シ、原則トシテ此特別扱ニ限り、先物（六月積ヲ二月ニ約束スルトシテモ）其時ノ取極メ二月ノ公表買相場ニテ引受クル事ト相成候

但シ相場非常ノ激動ヲ来シ候場合ハ、又臨機相談ノ上、夫レガタメ銀行ヲシテ特ニ不利ナ悲境ニ陥ラシムルガ如キ事ナキ様ニ取極メノ要アレトモ、先ズ二・三月間ニハ其憂ナカルベシトノ松島氏見込ニ御座候

此分ニ限り、何故毎月 $\frac{1}{8}$ 下リヲ除外シ得ルカトノ疑問ニ対シテ研究セル結果、大体如左ニ候

銀行ガ先約セルトキハ必ず其資金ヲ何カノ形ニ於テ cover シオクノ要アリ、殊ニ金融不安ノ時ハ資金ヲ調達シオクノ要アリ、之レニ対スル利息ト為替相場変動ノ Risk ヲ見込ミ、 $\frac{1}{16}$ 又ハ $\frac{1}{8}$ 甚シキハ夫レ以上（一ヶ月毎ニ）ノ鞆ヲ建テル事ヲ原則トセルガ如キタメニ今回ノ如ク準備資金ニ対シ、利息ヲ支払ヒ候モノニハ単ニ為替相場変動ノ Risk ヲ見込ム範圍トナルタメ、銀行トシテハ右ノ取計ヒヲナシ得ル次第ニシテ、小麦ノ如キ先

約トハ自ラ其立場ヲ異ニスル事モ合点致サレ候

尤モ大坂モスヘ対シテハ、単ニ特別扱トシテ恩惠的二申出得可キ性質ノモノト存候

如前記条件附ナル事ヲ詳細打電可申上案ナリシモ、最近貴地ノ事情ニ精通セル戸君ノ御意見モ有之、種々協議ノ結果、当店ノ取計ヒヲ以テ単ニ

跡注文ニ対スル要求条件ニ依リ金額モ無制限トシ、利息6%ニテ正金支店ガ特ニ承諾シタルニ付、注文引受方極力尽力アリタシ

ト返電申上候

金額無制限トセルハ恰カモ金融モ今ハ何等顧慮スルモノナキガ如クニ候ヘトモ、大坂モストシテモ無制限ニ注文アル可キニ非ズ、松島氏ノ意向ト綜合シ、大キク持チカケタル次第ナルモ、金融状態ハ一般ニ未ダ逼迫状態ニ有之候事、別項記載ノ如クニ御座候

貴方ヨリハ大坂モストノ折衝宜シキヲ得タル如ク、直ニ五千俵ノ御注文ニ接シ、尚跡注文可有之見込トハ本懐ノ至リニ御座候

当方トシテハ可成ダケ先約条件ヲ避クル事ニ努力シ、大毛ヘ対シテハ無条件ト致シ度ク候ヘトモ、注文買付数量モ多ク、且ツ早ク代金支払ノ要ニ迫リ、積出則チ為替取組期大延長トモ相成候ハ、結局正金ノ条件ニ添フ事ニ致スノ外ナカル可クト存候（羊毛買付後、十四日間内二代



金支払ノ事ハ嚴格ニ勵行サレツ、アリ)

此為替取極メノ事モ貴店ヨリ可然御説明被下候ハ、依之、大毛ガ損ヲスルトカ負擔ガ重ナルトカノ不利ハ無御座、原料買付後、程ナク為替率ガ決定スル事ハ邦貨トシテノ原料値付ケモ明瞭ト相成リ、寧ロ歡迎致サレ候事トモ可相成哉ニ存ジラレ候、或ハ又大毛トシテハ此方法ヲ好マレザル理由ナキニシモ非ズトモ憂ヘ候ヘトモ、銀行ニ対シ飽ク迄モ此条件ヲ跳ネ付ケ候事ハ為替ノ *spec.* ヲスルト云フ意味ニ解サレ、此特別交渉ヲ持チカケタル精神ヲ疑ハル、事トモ可相成候

何レニシテモ、愈々ノ場合ハ以電報御同意ヲ願出ル事ト可相成候ニ付、其節ハ大毛ノ納得致候様御説明被下度御願申上置キ候

当方ニテハ代金支払毎ニ小口ニテモ一々約束ノ形ト致候事ハ余リニ煩雜ト存候ニ付、五百俵トカ千俵トカ金額ノ纏リタル時ニ於テ為替ノ取極メヲナシ、其都度其金額ト為替率ヲ貴方ヘ電報申上ル事ト可相成候間、御含ミオキ被下度候

尤モ該条件及右方法ガ大毛ノ容レラレザル処トモ相成候ヘバ、可然条件(正金ニ対スル)御來電被下度、其場合ハ貴意ニ基キ重テ努力可致候

*storage* 可成無料御希望ノ御來意モ承知致候

御申越迄モナク、当方同様ノ考ヲ以テ研究中ニ有之、現在ノ状態ニテハ何レモ各倉庫充滿ニシ

テ兩三ヶ月ハ此状態ヲ裕和サスルノ見込無之候ヘトモ、売方及「ダンパー」ニモ可然交渉ヲ保チ、可成丈ケ御得意ノ利益ト相成候様尽力可仕、多分ハ我々要求通り満足ナル特別扱ヲ得ルニ到ルベキ見込ニ御座候

此大坂モスノ例ニ慣ヒ、東京モスニ対シテモ如才ナク跡注文御慫慂ノ事ト存候ヘトモ、近日当方ヨリモ電報可申上腹案ニ御座候

右

取三〇号信 大正12年2月22日 吉野丸便

豪社守田治平↓神戸及東京取締役及部長

拝啓

貴信  
L23号一月廿二日附Stオルバンス便(中井及竹内出張員宛通信写同封)、二月廿一日拝受致候

尚北村取締役宛T5モ同時ニ入手、御来旨拝誦ノ趣、同重役ヨリ御受申上候

正金銀行交渉  
ニ関シ、前田取締役東京へ御出張、同行森重役トノ御交渉模様ニ就キ御来意敬誦致候

結極ハ正金総務部トシテモ格別具体的ノ改善策モ建テ難キ立場ニシテ、当店トシテハ必要ニ応ジ、外国銀行經由倫敦廻リヲ利用スルノ外ナキ事ニ帰着可致候、本問題ニ関シテハ前便長野丸弊信ニテ当面ノ要ヲ尽シ居リ候ニ付、茲ニ贅セズ候

大正十二(一九三三)年

一〇五



ト相成候次第第二御座候（但シ今二月未発予定ノ西貢丸ガ少シク延期シ、三月ニカ、リ候タメ不便ヲ来ス如キ事アル場合、之レヲ二月分トシテ取扱フ位ノ事ハ申ス迄モナシ）

此問題ニ関シ、屢々東京支店ヨリ苦情アリシ事ハ早クヨリ筆者モ耳ニ致シ居候処ナレトモ、其重ナル原因ハ他銀行ノL/Cヲ使用セネバナラヌ得意先ニ対シ、不公平ノ事ト成ルタメニアルガ如クニ候、Paper Rate ヲ公表シ乍ラモ廃止状態トセシハ「シドニー」ノミノ如クニシテ、此特別扱ガ実行困難ト成リタルタメ、常態ニ復ス事ニ反対スベキ理由ヲ見出し得ズ候ヘトモ、兎ニ角、今迄ヨリハ不利ト成リ候事ニ於テ必ズヤ日毛ノ如キハ苦情ヲ申出ベク、又其他ノ商売ニ就テモ不利ノ立場ト相成候理由ノ下ニ、羊毛業者六軒ノ者ガ松島氏ニ種々交渉シタレトモ、遂ニ効果ナカリシ次第第二御座候

此頃三菱・日棉ノ如キ新参モ加ハリ、委托羊毛ニ対スル附出シ費用等ノ打合セノ希望アリ、為替取組日及率ヲ一様ナラシムルナドノタメ、臨時同業者会合スル事ト成リ、差シ詰メ守田ガ槍リ玉ニ上リ音頭取りノ役廻リト相成居リ候、打合セナドトハ結極我々ノ智識ノ或ル物ヲ新参者ヘ教与スル事トナル意味ニ候ヘトモ、時節柄止ムヲ得ザル儀ニ候

Japan D/D 及 30 days ハ Cr 中 Paper 中 同率ニシテ、60 及 90 days ガ Cr 中 Paper on ノ差 $\frac{1}{16}$ ニシテ、四ヶ月払ガ $\frac{2}{16}$ ニ候

依テ 90 days 一因リ対照致候ニ Paper 中 Cr ノ差ハ約 $\frac{1}{4}$ %ナルニ他銀行信用状 $2\frac{3}{8}$ %ノL/C料ヲ支払候ハ、矢張り正金 C Form ニテ Paper 率ニ依リ候方 $\frac{1}{8}$ %利方ト相

成候ニ付キ、結極当店ノ如キハ正金 C Form 継続ノ事ト相成ル可キ哉ニ存ジラレ候

Parth L/C 宛

ヲ同地へ直送スル事不便ナルタメ「シドニー」へ御指図被下候事結構ニ有之、今後モ常ニ「シドニー」ノ Bk of Austria へテ協商スル事ト可相成候ニ付、Vict. ノ如キ他州ノモノニ対シテモ「シドニー」全濠銀行經由ノ方便ニ御座候

而シテ「シドニー」正金銀行ヲ經由スル事ハ夫ダケ余計ノ手数ヲ要シ候事トテ、可成全濠銀行へ直電希望ニ御座候、尤モ正金支店トシテハ手数ナリトモ、矢張り同店經由ヲ寧ロ希望スルヤモ知レザレトモ、自然「デリケシー」モ伴ヒ候事トテ、可成ダケ正金シドニーノ注意ヲ惹クノ動機ヲ少カラシメタク候

Parth 為替取組方法トシテハ全濠銀行宛書面ノ写ニテ御承知被下度（写次便送り？）候

羊毛運賃協定書

調印済ノ由ニテ其写御送附ニ預リ拝誦致候

第七条ニ於テ「但シ官庁ノ買付品ハ此限りニ非ズ」ト有之候モノハ、第七条丈ケニ限ラレタル但シ書キニシテ、契約全般ニ及ボス除外例ニハ非ズト解サレ候

未ダ真偽確ナラズ候ヘトモ、三井ハ被服廠注文品（NZ羊毛）ヲ安運賃ノ山下汽船ニ積ム計画

当店輸入部

トカ伝聞致候、如此場合、三井ノ行動ハ反則トナラザルカ、若シ官庁品ハ公然除外例ニ因リ得ルモノナレバ我々モ研究ヲ要スル問題ニ有之、当局広戸君ノ意見モ聞キ、当方ニテモ考究可致候ヘトモ郵便締切ニ迫リ、不取敢筆者ノ感想ノミ認メオキ候  
愈々同業者ハ何レモ従前ノ余得ヲ失フ事ト相成候ヘトモ、之レ等ガ世間ニ洩レズシテ嚴密ヲ押シ通シ可得モノニ非ズ、否川西御大ノ耳ニハ已ニ入り居リ候トテモ不審ニハ無御座、此辺ニテ「サツパリ」致シ、此次ハ口銭引上ゲ運動ノ階梯カト存候

補充トシテ益田店員、丹後丸ニテ来濠ノ事ニ御取極メ被下候由拝承致候

得意先業績

御詳報ニ接シ、大ニ参考ト相成候

上毛モスノ如キ筆者帰朝當時ハ重役更迭ノ時ニシテ不少不安状態ノ如クナリシモ、今日ニテハ金融モ緩和シ大分安定致候模様、御同慶ノ儀ニ御座候

東京毛織ハ不相変製品手持チ過大ニ苦シミ居リ候様ナレトモ、日毛トノ合併ハ容易ニ纏リ難キ問題ト察シラレ候

羊毛紡織

債権残額五萬円弱ヲ断念サル、事ニ御決心相成候由、止ムヲ得ザル成行ニ有之、北村取締役モ御同意ニ候

ヴィクトリア小麦

積取り監督ノタメ本月十四日発、井垣君メルボルンへ出張致シ、明光丸及西貢丸ハ略ボ完了致候ヘトモ、両三日内ニ扱捉及長福丸ハ殆ド同時ニ積入開始ト可相成、而カモ前者ハ「ヂーロング」、後者ハ「ウィリアムスタウン」ニテ出張員モ誠ニ困難ナル立場ニ置カレ候、且ツ該二船ハ夜業ヲ続行セザレバ、到底契約二月内ニ積入レ完了ノ見込ナク、夜業ノタメニ要スル費用ハ莫大ニ付キ、是レヲ船会社（山下）ノ負担ト致サセタク研究セシモ、契約書ニ依レバ其義務ハ無之如ク、併シ夫レガタメ船ノ出帆ガ早ク成リ候事ハ事実ニ付キ、是非共、山下ニ払ハセ候様井垣君ノ尽力方ヲ申送り候、若シ何レニシテモ二月末日迄ニ完了セザレバ代金早払ハ免レザル可ク苦心罷在候、一時盛況時代ノ埋メ合ハセト将来ノ商売繋ギノタメニハ、之等ノ犠牲モ辛抱ノ外ナキガ如クニ候ヘトモ、近来ノ小麦商売ハ誠ニ以テ甘味無御座候

小麦収穫

最近ノ政府調査予想高、如左ニ御座候



NSW	二、七九九、六〇〇	エーカー	二九、〇九〇	千ブシエル
VICT	二、八〇〇、〇〇〇	〃	三三、五〇〇	〃
QLAND	一四九、八〇三	〃	一、九一〇	〃
SA	二、四七四、〇〇〇	〃	二八、七七五	〃
WA	一、五四八、四七二	〃	一四、九六七	〃
TASMANIA	二七、九八五	〃	五七七	〃
合計	九、七九九、八六〇	〃	一〇八、八一〇	〃

WA 輸出品ハ既ニ売約済ノ由ニシテ

NSW Pro1 ハ内部ノ行政頗ル混沌タルモノアリ、何時迄掛カ、リ候トモ輸出商談ノ腹ガ定マラザルノ噂ニ候、何レニシテモ処分スベキモノガ多量ナラザルタメ、急ギ居ラザルモノトモ察シラレ候

小麦品位ハ初メノ悲観ニ反シ、何レモ良好トノ入報ニ候

Exchange

X'rate ハ近来歩調頗ル強固ニ漸進シツ、アリ、二月十九日ニハ \$4.70 ニ達シ、其後モ引続キ上向キノ如ク日本向 T/T 売 2/0 1/2、四月払買「ペーパー」ハ 1/11 5/6、D/D 1/11 3/6 ノ

低率ト相成リ、此勢ニテ  $X$  rate ニ併行セバ日濠間相場ハ Per rate ヨリ落子込ム事非常ニ多ク、如何ナル結果ト相成候哉、予想モ困難ト相成候  
 如此低率ト相成候ニ連レ、最小限度  $\frac{1}{16}$  ガ % 二及ボス響キモ非常ニ多ク相成候事、今ニ贅スル迄モナク候

〔欄外書込〕

N. York 二十一日ニハ \$4.71 ノ入電アリ

日本ヨリ倫敦向  
 一〇〇 売

相場ヲ可成的確ニ当店ニテモ承知致シ居候事ノ必要多ク相成候ニ付、今後ハ時々倫敦向一〇〇 売  
 相場モ電報願度、殊ニ Y S B 相場ト対照比較スル要アル場合ハ勿論ニ御座候

貴店試算表

十二月以来、浴巾会社ノ金額ガ一七二五〇〇円ニ増加致シ居候ハ如何ナル理由ニ候哉、御序ノ節、御指示被下度候

奨励会届書

守田・谷口・溝渕・沢辺四名分同封致候間、宜敷御願申上候

## 領事館照会

例年ノ通り各店内容取調ノタメ拒絶スル訳ニモ參ラズ、如別紙報告致シオキ候、実ハ此外ニモ種々照会条件アリシモ、当店ハ之レ丈ケニ留メオキ候

## 濠洲聯合内閣

既ニ「シドニー」電報ニテ御存知ト存候ヘトモ、Country Party ノ強要ニ對抗シ得ズ、名物男ノ「ヒュース」ガ遂ニ首席ヲ譲リ渡ス事ニ決シ候以來、「ナシヨナリスト」及「カウントリーパーター」ノ妥協成立ヲ見ルニ至リ、例ノ Paterson Laing Bruce, Bruce 氏ガ順送りニ首相ノ椅子ヲ占ムル事トナリ、蔵相ノ重職ヲ農党首領 Dr ページガ引受ル事ト相成リ、両党ノ議決權ハ全然同等トシ、「ナシヨナリスト」ガ漸ク露命ヲ繋ギ得タルニ反シ、農党ハ中間ニ立チテ漁夫ノ利ヲ得タル如ク意氣揚々タルモノニ候、両首腦者共ニ年少者ニシテ「ページ」ハ四十二才、「ブルース」ハ漸ク四十才弱ニシテ政事家トシテノ経験ハ頗ル浅ク、両頭内閣運命果シテ如何トハ一般ノ危惧スル処ニ候ヘトモ、最近首相ブルース氏ノ為セル公演ハ不少新進ノ氣鋭ノ意氣ニ富ミ、或ハ却テ新發展ヲ示スニ至ルヤモ難計ヲ思ハシメ候

J. B. Sutor 氏

ハ迪モ濠洲ノ如キ地ニハ住マレズ、余生ハ日本ナリト過日出帆セルアラフラニテ帰日致サレ候、吉野丸希望ナリシモ医師ノ關係上同船トセル由也、出發前ハ日本人頭株ノ相集リテ会食ノ事北村取締役御計画ナリシモ、結極正金松島氏ノ招待ニ領事外八九名ガ招カレ、送別ノ昼食会ヲ催シ候

Big Month

一昨年十二月中ノ輸出額ハ約五百万円ノ「レコード」ナリシガ、今二月中ニハ「インダス」・「アラフラ」・長野・吉野丸ト外ニ小麦四船積ヲ合スル時ハ、為替取組及無為替額合計約六百万円ノ「レコード」額ニ達シ候、但シ大坂モス注文羊毛買持品ヲモ積出シ得ルモノトセバ、尚一層増加スベキ立場ニシテ、今月ハ「Op」激増モ大ニ其一因ヲ為シ居リ候  
從テ当店ハ女子供迄日夜大車輪ノ盛況ヲ呈シ居リ候

右

以上、北村披見致候「サイン」

先物約定注意

最近買約致候 Yarra Falls ノイル、今年度産額二十万封度ノ如キハ同品ノ「レコード」取引

ニシテ、今年中ノ産額ナレバ無故障予期ノ通り完了、期待ノ好成績ヲ挙ケルニ至リ候様祈リ居  
リ候、其他」op ニテモ近来頗ル先物約定多ク、当方ニテモ特ニ注意ヲ用ヒ居リ、貴方ニテハ  
勿論売約書ニハ「不可抗力」ノ場合ニ対スル義務解除ノ条件ヲ明カニ致サレ候事ト信ジ候ヘト  
モ、長期契約成立多キノ時ニ於テ、特ニ関係者ノ注意ヲ新ナラシメタク追記致候

以上

取三二号信 大正12年3月9日 秋田丸便

豪社守田治平↓神戸及東京取締役及部長

拝啓

貴信

〔三〕号二月七日附安キ丸便、三月六日入手致候

秋田丸

ハ羊毛積荷案外ニ少ク、当店ノ如キモ日毛注文品ヲ積メザル事ト相成リ、他店モ大体同様ノ立場ナル如ク、同船宛トシテ「ウイリアムス」氏ノ当テ込ミ居タル今週ノ「ブリスベン」買附品ノ積荷モ極ク僅少ノ由ニシテ結極斷念シ、当港ヨリ日本へ直航ト相成候

北村取締役

目下ブ市御出張中ニシテ広戸君モ同行、久方振りニテ北市ノ市場ニ列セラレタル次第第二御座候、明朝帰市ノ筈ニ御座候、從テ安キ丸便貴状ハ北村取締役未拝誦ニ候ヘトモ、我々ノ間ニテ御受ケ可得致事項ニ対シ、不取敢執筆致候

日濠間ト倫敦廻  
リノ差

ニ就テ前田重役御上京、正金頭取席トノ御交渉経過拝誦致候、於大体其当時ノ貴電ニテ其要ヲ尽シ居ルモノニ有之、同便ニテ正金頭取席ヨリノ入信アリ、此問題ニ就テハ既ニ松島トシテ守田ニ其立場ヲ説明シ、将来ノ方針モ明瞭ニ打合シタルモノナレトモ、物ノ順序トシテ重テ面会シタシトノ招キニ応ジ会见シ、既ニ諒解ヲ得タル以上ニ今日ノ場合進化セル方法モナク、此度ハ松島氏ヨリ頭取席ヘ宛D/C信用状ヲ兼松ノタメニ発行スル事ニ「シドニー」支店異議ナキ意味ヲ打電サル、事ト相成候

而シテ今後D/C信用状発行ノ要アル時ハ、如從來一々シドニー正金ノ諒解ヲ得ルノ要ナク、貴地ニテ直接貴地ノ正金ヘ交渉願フ事ト致シ候間、此旨加電致シオキ候

尤モ此場合D/C信用状発行指図ハ如従前「シドニー」支店經由ト可相成筈ニ付キ、自然其都度松島氏ノ知ル処ト可相成、松島氏トシテハ夫レデ充分ナリト申サレ居リ候間、其御含ミニテ着々御進行被下度候

但シ此諒解成立セルカラトテ、筆者トシテモ全然松島氏ニ耳ニ入レザル様ナ水臭キ態度ニハ出

テ度クナク候ニ付、可然形ニ於テ談シオク可キ考ニ御座候

小麦ノ如キモノニ対シテハ、特別好率先約勉強ノ厚意アル事ハ再三繰り返シ候如クナレトモ、直為替ト倫敦廻リトノ差ガ僅少ナル時ハ正金ノ勉強率ガ用ヲナス事モアランガ、事實問題トシテ今日ノ状態ニテハ其見込頗ル薄ク思ハレ候ニ付、其趣モ加電致シオキ候

松島氏トシテハ此度ノ諒解ガ明カト相成候事ハ、夫レダケ「シドニー」正金ノ商売ガ減少サル、引導ヲ渡サレタル如クナレトモ、此問題ハ絶ヘズ同氏苦勞ノ種ノ一ツナリシ事トテ、一面ヨリ見レバ、幾分荷ガ軽ク成リタル様ニテ必ズシモ悲觀セズ、当地ノ金融状態ダニ緩和セバ自然正金率ニテ商談成立時機ガ来ル筈ナリトノ松島氏ノ内開ケ話モ御座候

前田取締役ニハ兼松対正金関係ノ如何ニ重要ナルカヲ慮ラレ候タメ、特ニ松島氏宛御発状ノ上、我等接衝ノ御援助ニ意ヲ用イラレ候事ハ御通信写ニテ拝承致候、松島氏ヨリハ何トモ未ダ承リ不申候ヘトモ、大ニ頑味被下候事ナルベク、其効果ヤ少カラザルベキ儀ト感謝仕候

但シ最近大坂モス利息問題ニ関シテハ、長文ノ電報ヲ余儀ナク致サレ候如ク、兼松ニ対スル特別扱ガ他ニ洩ル、事ナキ様ニトハ、常々松島氏ノ心配致シオリ候処ニ有之、從テ小麦商談ニ際スル特別率ノ如キモ、其内容迄モ決シテ注文主ニ打チ開ケ居ルモノニ非ズト明言致シ居リ候物ニ対シ、貴方ヨリノ御書面ニハ総テ夏座敷式ニシテ、為替率モ何程ト打開クル様相成候如ク相成候ハ、貴方ノ公正ナル立場ヲ立証サル、御積リナリシナランモ、一寸矛盾ノ如ク相成リ、具



合悪ク感ジ居リ候

店内無為替為替  
率取極メ

ノ件ニ関シテハ、今便小池君ヨリ御詳報ノ事ト相成候ニ付、茲ニハ贅セズ候ヘトモ、最初此案ヲ提議致候時ハ貴方モ御同意ナリシモ、其後ノ相場動揺模様ニ鑑ミ、此際寧ロ正金シドニーノ比較的有利ノ率ニテ取極メ方可然トノ御来意ニ接シ、御尤ノ次第ト存ジ居リ候処、近来ハ正金ノ立場モ大ニ異リ、先物ハ矢張り幾分割悪ト成リ、為替相場大分落付キ候様ニモ察シラレ候折柄、金嵩物輸入品ノ切り合ヒハ愈々激シク相成リ、為替ノ一 point 二ポイントノ差ニテ商売ノ死活問題ニ及ブ場合少カラズ、如当店無為替自由ノ立場ニアル当店トシテハ、何トカ此有利ナル武器ノ一ツオモ戦鬪準備ニ加ヘ、夫レダケノ強味ヲ得度キ希望ニ外ナラザル事ハ、疾クニ貴方ニテモ御存知ノ如クニ候

先物一ヶ月毎<sup>1/6</sup>上リハ銀行同様ニシテ、安全策トシテハ御無理モナク候ヘトモ、正金銀行ノ如キハ六ヶ月モ先物約束ノ場合ハ 5 point モ悪ク相成リ、夫レデハ商談モ困難ナルベキニツキ、3又ハ4ポイント上リ位ニ讓歩シクル、例トモ相成リ、結局貴案ハ銀行ヨリモ遙カニ不利ト相成リ候、先物約束ハ如何ニモ Risk 多キ様ニ案ジラレ候ヘトモ、従来ノ店内無為替法ニテモ相当ノ Risk ハ伴ヒ乍ラモ、店内為替ノ有利ナルタメ常ニ好成績ヲ挙ゲ居ル実例ニ徴スルモ、腹ノ定メ様ニテハ先物ニ対シテモ夫レ程ノ大事ヲ採ラズトモ、何トカ御調節相附キ候ヤニモ察シ

ラレ候

尤モ金額大ニ膨脹致候様ナレバ別問題ニ候ヘトモ、相当ノ金額ニ対シテ Risk ヲ持タレ候事ハ於大体従来ノ方法ト大差ナキモノトモ可得申候

貴案ハ神戸ノ買相場標準ニ候ヘトモ、当方ニテ速席取極メノ場合多ク候ニ付、矢張り当地正金ノ率ヲ基準トセザレバ速決シ難キ場合御座候間、「シドニー」正金ニテ先約シクル、率ヲ標準トシ、其率ヨリ $\frac{1}{16}$ 乃至 $\frac{1}{8}$ ノ好率（四五六ヶ月モ先物ノ場合）御取極メノ事ニ御同意被下度御願申上度候

但シ為替率ニ余祐有之候時ハ、寧口貴方期待ヨリモ好率ニテ御願致ス事モ可有之、必ズシモ常ニ勉強シテ貫ハネバ成ラヌト云フ意味ニハ無御座候

若シ前記当方要求ニ御同意被下候ハ、Firm exchange 売極メノ時ハ其注文ト共ニ firm rate ヲ貴方ヘ電報シテ入帳願フ事ト致シ度ク候

右ニ対シ可成早ク左ノ臨暗ニテ御返電被下度候

Z O B E W 秋田丸便重役部長状中ノ店內為替ノ件

Z O B G Y 同上 全部同意

Z O B O G 同上 同意出来ヌ

Z O B P H 同上 〃 〃 Y S B 先約ノ外ナシ

## 羊毛運賃協定

前便ニモ認メ候如ク、政府注文品ハ全然除外サル、モノ、如ク解釈致候事ハ至当ナラズト思ハレ居候折柄、政府品ナリヤ否不明ナレトモ、兎ニ角、山下汽船ニ積マレタルモノ多ク、又積入約束少カラザル噂モ有之候ニ付、一番毒氣ノナキK Oノ石田君ト内談致シ候処、同氏モ同感ニテ同氏ヨリ三井ノ立場ヲ確メ候処、三井ハ政府羊毛除外ノ積リナリシガ、最近日本ヨリノ入電ニテ、運賃協定前注文決定ノタメ船腹約定セルモノ、外ハ、総テ三船会社外ニハ積メザルモノト明瞭ナル指図有之候由ニ御座候

安キ丸便ニテ大倉組ヘノ入信ニ依レバ、其後重テ関係者ノ会合協議アリ、日毛ヨリハ永井氏、  
へK ヲヨリハ御前氏、N Y Kヨリハ大河内氏、其他列席

前記問題、N Z運賃、アデレード寄港問題、ジロング羊毛費用、運賃払戻シ方法

其他種々協定事項有之候由、詳細ノ入報有之候ヘトモ、当店ヘハ何等ノ御報告ニモ接シ居ラズ、却テ大倉アタリカラ教ヘテ貰ヒ候事モ妙ナモノニ御座候

本問題其他執筆事項少カラズ候ヘトモ、今日ハ又小麦七千屯ノ成立アリ、大毛関係等ニテ筆者ノ外出事項多ク、且ツ今夜ヨリ new office へ引移リノ手順ト相成居候ナド意ノ

如ク時間ヲ得ル能ハズ、当用ニ留メ候段御宥被下度候

以下、片桐君認メ Page VI へツ、ク

[以下 Page VI、片桐店員による執筆]

山下汽船ト羊毛

部状相認候通り、明光丸ニ屯千余俵ノ羊毛積荷アルハ時節柄不思議ニ付キ不想探索致居候処、漸ク左ノ積荷主ナル事ヲ發見致候

三井物産 三二俵 神戸揚

〃 三四八俵 横浜揚

鈴木商店 (旧増田屋) 五一三俵 横浜揚

以上、全部 sydney 積ニ候ガ、三井ノ分ハ New Zealand Wool ノ積換分ニ非ラザレバ平仄ガ合ハズ (所謂以前ニ諒解ヲ得シ分)、鈴木商店ノ五百俵ハ誠ニ意外ニシテ、浜揚ノ關係上、羊毛精整カ或ハ佐藤行ナラズヤト存居候

山下ハ羊毛積取ノ宿望ヲ尚未ダ擲タズ、過般貴地ニテ割込運動不成功ニ終リシ際モ、松方幸次郎氏ヲ通ジテ川西社長二度々交渉セル結果、川西氏ヨリ

来年ハ必ず何ントカスルカラ、今年ハ我慢願度シ

トノ挨拶アリシ由ニテ、山下ニテハ川西社長ノ此一言ニ非常ノ希望ヲ繋ギ、来年ハ同盟船ト並

ンデ必ず何程カノ濠毛ノ積取出来ルモノト確信致居候、何レ契約更新ノ際、一問題ハ免レ申間敷、御骨ノ折レル事ト存上候

日本棉花ト羊毛  
見込

安芸丸便部状ニテ工業会理事長ノ名ヲ以テ発セル「Wool & Top」ノ見込買入警告ノ一札拝見、如御来示其効果無キハ申迄モ無之ト存候、最近探聞致候処ニテハ、日棉ハ

青木支店長日本出発ニ当リ、喜多社長ハ氏ニ羊毛類ノ見込買入ヲ一任ノ由ニテ、生ズル事アル可キ損失ノ限度ヲ四拾萬円ト定メ一勝負可致内命セルニ、其後「Wool・Wool・No.1」トントン拍子ニ当リ、最近計算セル処ニテハ約五萬円ノ利益ヲ生シタリト

右社員ノ自慢話ヲ又聞キ致候、此手合ニハ一大痛棒ノ来ル迄、見込ハ諦メラレヌ事ト存申候

取三二号信 大正12年3月16日 セント・アルバンス号便

豪社守田治平↓神戸及東京取締役及部長

拝啓

前報後入信無之候

シドニー事ム所  
移転ト不動産

工事大体終了致候ニ付、愈々本月十日ヨリ 3rd floor ニ事務所ヲ移シ、4th 則チ Top floor  
ヲ輸出入見本室及食堂用ニ宛テル事ト相成候ヘトモ、未ダ工事中ニ御座候、No. 8 及 6 ヲ共用  
ト致候事、既報ノ始クニシテ間口約 60 Ft、奥行約 76 Ft 成リ、No. 8 側ヲ輸出及一般用、  
No. 6 側ヲ輸入部用ト致候為メ頗ル便利ニシテ、体裁モ大 office 然ト致シ候、但シ No. 8 ノ中央  
部ニシテ羊毛輸出部長席ト相成候中心ハ、未ダニ光線不充分ノ嫌御座候ヘトモ、此位ノ事ハ辛  
抱ノ外無御座候、新調電気昇降器ハ完製ニ尚ホ約二週間ヲ要スル見込ニシテ、夫レ迄ハ階段ノ

ミ使用ノ外ナク候ヘトモ致方無御座、是等ノ不便ヲ忍ンデ移転ヲ急ギ候所以ハ Ground 1st & 2nd floors ヲ可成丈ケ早ク貸ス事ニ致スべく、設備ヲ取急グ關係ニ有之、幾分ノ時日ト費用ヲ要スル共、相当体裁宜キモノトシテ貸ス事ニ致候方、結極有利ト信ジ候ニ付、其積リニテ計畫中ニ有之、此不動産ハ原価ヲ切り下ゲザル標準ヨリ基算シテ、充分有利ニ活用シ可得見込ニ御座候

大坂モス注文羊  
毛ト金融

為替率先約取極メニ就テハ大毛ノ御希望点不明ナリシモ、可成此種ノ条件ヲ附セズシテ得意先ノ延積御要求ニ応ジ度キ考ヘヨリ、貴方ヘハ此条件ヲ電報申上ゲズ、其内可然正金松島氏ヲ説キ付ケ度ク潮時ヲ待チ居リ候処、急ニ松島ヨリノ電話ニテ、而カモ頗ル激昂セル模様ニテ、「延積金融ニ対シテハ  $6\frac{1}{4}\%$  以下ニテハ引受ケヌ事ト定メタリ」ト何時ニ似氣ナキ宣告振り態度ニハ頗ル意外ノ思ヒヲ致シ候、自然後刻面談セル時ノ話ニテハ、其後三井ヨリ同様ノ交渉アリ、兼松ニ対シテハ  $6\%$  ヲ特ニ承諾シタレトモ、是レガ一般的ト相成候様ニテハ到底  $6\%$  ナドノ低率ニテ引受ケベキ立場ニ非ズ、一ヶ月毎ニ  $2\frac{1}{2}\%$  高、則チ一ヶ月延バセバ  $6\frac{1}{2}\%$ 、二ヶ月延  $7\%$ 、三ヶ月延  $7\frac{1}{2}\%$  トナレトモ、平均  $7\%$  ト挨拶シタルニ対シ、三井ハ日本ト交渉ノ結果  $6\frac{1}{4}\%$  ニ負ケニ貫ヒタシトノ懇望拒ミ難ク同意シタルニ早速注文ニ接シ、続テ数日ナラズシテ又第二回ノ注文ヲ受取リタル由、然ルニ其後日本ノ三井ヨリ当地支店ヘ長文ノ入電アリ、

其原文ヲ示シテ抗議ヲ申込メル処ニテハ「其後兼松ハ正金ヨリ6% P/Aノ特別扱ヲ受ケ居ル事ヲ確メタリ、何ガ故ニ三井ハ同様ノ取扱ヲ受ケ得ザルカ真想ヲ確メ充分交渉セヨ」云々トアリ、シドニー三井支店ノ輩ハ眠テ居ルノカト云フ様ナ強キ意味ニシテ、当支店員当局者ハ大恐慌ヲ来シタ如クニシテ、今更松島氏トシテハ両店ヲ別扱トセルトモ難明言、依テ応急ノ返答トシテハ、兼松ハ二月前ニ早クヨリ同様ノ交渉アリ、其時分ハ金融状態(正金トシテノ遊金程度)モ異リ居リタルタメ6%ト申セシ事アレトモ、未ダ確約セルモノナシト逃ゲテ張ルノ外ナカリシ由松島氏ノ説明ニ候、如前記、当店トシテハ如斯速ニ三井ヨリモ同様ノ交渉起ルベシトモ思考シ居ラズ、好機見計ヒ中ナリシタメ注文ニ接シ居リシ事ハ報告シ居ラズ、愈々代金支払期ニ迫リシ頃ニ談ジ込ム積リナリシ事ガ、此場合頗ル弱点ト相成リ候ヘトモ、事實ヲ説明シテ是非共6%承諾方交渉セル事ハ申ス迄モ無御座候

松島氏トシテハ、此場合必ズシモ $\frac{1}{4}$ % (一年)ノ余率ヲ固執スルニハ非レトモ、是レヲ総テ6%トスル事ハ如何ニモ $\text{K}$ 本位ト成リ、且ツ $\text{K}$ ダケヲ6%トスル事ハ尚更ラ具合悪ク、 $6\frac{1}{4}$ %ト動カサ、ル事トスルノ外ナキ「デレンマ」ニ陥リタルニ外ナラズ、依テ若シ $\text{K}$ トシテ今更ラ得意先へ $6\frac{1}{4}$ %申出不都合ノタメ自腹ヲ切ル様ナラバ僅カノ事ニモアリ、他ノ方法ニテ埋メ合セテ附ケル事ニ尽力スベシ、何レニシテモ大毛ヘ対シテハ正金ノ率 $6\frac{1}{4}$ %ナル事ヲ明カニシテ貫ヒタシトノ意見ニ対シテハ当方ニモ相当ノ理屈アリ、又我等ノ立場ヲモ説明致シ候ヘトモ、何レニシテモ此特別取扱ノ内容ガ他へ洩レタル事ニ就テハ、松島氏モ非常



ニ迷惑セル事ハ当然ニシテ、為替先約率特別扱ノ時ナドモ此轍ヲ踏ミ、事實公然ノ秘密ト成ル様ニテハ正金銀行トシテハ如何ニモ不公平ノ事ト成リ、左ナキダニ兼松ニ対シテハ何カノ特別扱アルナラント他商ヨリ屢々探リヲ入レラレ居候始末ニ付キ、相互ニ甚大ノ注意ヲ要スル性質ノモノニアレバ、日本側ニテハ絶対極秘トシ、利息又ハ為替率其他特別ノ取極メアル場合ハ兼松一個ノ働キトシテ対人方へ説明シ、正金銀行ノ名ハ出サヌ様ニ用心願フノ外ナシトノ意見ニ御座候、松島氏ノ言中ニハ如今回金融問題ノ如キモ、銀行ノ名ハ示サズトモ、兼松ノ力ニテ可然方法ニテ勉強シ得ル事トナレリト申サバ、寧口得意先へハ好印象ヲ与フルナランカナド、モ申サレ候

之レニ対シ、貴地ニテ果シテ正金ノ名ヲ得意先へ開陳セルヤ否モ不明ニシテ、或ハ三井ガ正金ニ違ヒナシト一人極メヲセルモノヤモ難計、若シ本店員ガ正金ガ云々ト申シ候ナレバ、全ク善意的ナリシハ疑ヲ容レズ、唯今一段ノ注意ガ足ラザリシト云フ事ニ落チ候ニ付キ、何レニシテモ将来ノタメ充分ノ注意ヲ促シオクベシトノ回答ヲ致シオキ候

〔欄外書込〕

此点ハ輸出入品其他一般ニ関スル意味ニ候へバ、部長諸君ヨリモ当事者へ御申含メオキ被下度願上候

又松島氏ノ最初頭ニ響キタルハ、兼松へハ早くヨリ有利ノ利息率ヲ与へ、其後三井へハ幾分不

利ノ率ヲ取極メタルニ、三井ハ直ニ之レニ依リ注文ヲ受ケ、其後ニ到リ、兼松ノ率ガ低キヲ知リタルナド、或ハ兼松トシテハ初メハ大毛ヘ対シ6%ヨリモ高率ヲ offer シ、三井ノ競争ニ遭ヒ特ニ6%ニ引下ケ承諾ノ事トシタルガ如クニモ邪推サル、若シ夫レナレバ兼松ノ遣リ口甚ダ不都合ナリ、元來ガ守田ヨリノ談ニテハ、若シ利息ガ6%以上トモナラバ、三井ハ必ズ6%ニ引受クベキ恐レモアリナド、ノ説明モ大ニ考慮ニ入レシタメナルニ、事實ハ反對ノ結果ヲ生ジタルタメ、松島氏トシテハ何ダカ「ペテン」ニ懸ケラレシ様ニモ一時ハ氣迷ヒ居タル事モ明カニ候、依テ利息ノ如キニテ日本ノ本店ガ余得ヲ得ントスルガ如キ事ナク、之レハ注文獲得ノ一助トナスニ外ナラザル事ヲ力説氷解致候ヘトモ、案外ノ事ヨリトンド面倒ヲ惹起シタルモノニ候

貴方ニテモ、大毛ニ対シ一度6%引受ケノモノニ対シ、些少ナガラモ之レガ引上ゲノ交渉ハ頗ル不見識ナルベク、或ハ自腹ヲ切ル覚悟ニテ握リ潰サンカトモ思ヒ候ヘトモ、再考スルニ此特別扱ヲ大毛ガ三井ヘ洩シタルタメニ生ジタル結果ニシテ、其罪ハ全然大毛方ニアルトモ可得申、且ツ貴店当局者ノ御注意モ促シ度ク、三月一日發長文電報ト相成候次第二御座候

為替率取極メ

ノ事モ三井ハ既ニ先約致シ居リ候事モ確メ、大毛ノ同意濟ナル事モ疑ノ余地ナク、我等ノミガ取越シ苦勞ノ氣味ト成リ候ニ付、三井同様先約差支ナキヤ伺ヒ出デ候処、御同意ニ預リ好都合

二候

依テ三月一日迄ノ「シドニー」「メルボルン」買附済羊毛全部ニ対シ、仮定額拾萬八千£ヲ三月九日ニ於ケル相場四・五・六月積 90 days Papers 1/11<sup>1/2</sup>% ナレトモ、七月積トモナレバ<sup>1/2</sup>% 下リデナケレバ困ルトノ事ニテ取極メ濟ノ事、速時電報申上候如クニシテ、御満足被下候事ト存候

尚ホ今後モ三井ト当店ノ取極メ時、必シモ同一ナラザルベク、両社ガ其時ノ相場ニテ約束致候以上、何レノ率ガ不利ト成ルトモ、大毛ヨリ苦情アルベシトモ思ハレズ候ヘトモ、萬一不幸ニシテ当店ノ廻リ合セ悪ク、不利ノ率ガ続ク事トモナラバ、事實問題トシテ当店ノ立場悪キ事ト可相成ニ付キ、是レ等モ松島氏ノ含ニ入レ、兼松ガ可成不利ノ立場ニ於カレザル様カバツテ貰フ事ハ同氏ト守田ダケノ間ノ諒解ト相成居リ候間、余リヘマナ事ハ有之間敷、充分留意可致候

三月七日發貴電ニテ、秘密取極メノ事ガ大毛ヨリ洩レタルヲ遺憾トシ、利息ハ致方ナシモ出来レバ6%御希望ノ趣御尤ニ候、重テ松島氏ヘハ之レガ説明ト共ニ交渉シタレトモ、前述ノ次第ニテ変更ハ頗ル具合悪ク、乍残念当方九日發返電ノ外ナキ事ト相成候、貴方ニテモ当方ノ立場ハ充分御諒察被下候儀ト期待罷在リ候

金利一ケ年 $\frac{1}{4}$ %ハ拾萬£一ケ月約 20ノモノニ付キ、此差ヲ如何ニ処分相成候カハ一二貴方

ノ御取計ヒニ任スノ外無御座、当方トシテハ可成ダケ他ノ羊毛ト混合シ、6%ニテ利用致シ候様注意致シ居リ候、併シ「インボイス」へハ6 $\frac{1}{4}$ %附ケ出シノ外無御座候

## Storage

ハ幸ニシテ「シドニー」「ブリスベン」共無料ノ取極メ相整候事ハ已報ノ如クニ有之、「メルボルン」方面ハ未ダニ交渉中ニ候、何レニシテモ毎月相当ニ積出ス必要ハ有之、且ツ倉庫積付ケ、船腹、金融等ノ関係モ有之、少クモ毎月一千俵ヅ、位ハ積出シノ事ニ御同意願度ク、大毛モ其程度ナレバ御満足ナルベキヤニ遙察罷在候、尚又貴方ニテ支払ヲ受ケラル、時モ、一時ニ巨額ノ纏リ候ヨリハ月割リノ形ト相成候事好都合ナル可ク、商店全体ノ立場ヨリシテモ余リニ永ク大額ノ義務ヲ当店ノミガ負担致居リ候事ハ感服致サズ、夫レ是レ重大ナル意味ヲモ含ミ候事申ス迄モ無御座候ト同時ニ注文品買纏メ積出シモ徐々ニ進行シ、自然跡注文ノ段取リト相成候様祈リ居リ候

## Vict' Wheat

Corporation ガ其後ノ市況一般的不振ナルタメ、売値引下ゲノ外ナキカトノ意向ニテ協議ヲ重ネ居リシガ、愈々実行ノ氣運ニ達セル如ク自信ヲ持チシ時ニ於テ、逸チ早ク Weatlock 氏ヨリノ入電アリ、時ヲ移サズ貴方ヘ電報シ、活動方御注意申上候処、幸ニシテ五月積七千屯ノ御注

文ニ接シ、貴方覚悟ノ値段ヨリ一段ノ値押シニ成功シ、5/2 1/4 ニテ買極メ、Bk of Austria 為替取組モ差支ナク、久シ振りニテ本品トシテハ相当ノ好収ト相成候模様ニシテ御同慶ノ儀ニ御座候

跡モ幾分弱氣ニ候ヘトモ、五百屯ノ第二注文以外ハ一寸見込無之由貴電ニ候ヘトモ、当方ハ依之 give up ハ致サズ、引続キ各州ニ接衝罷在リ候  
尚相当ノ新商談成立スベキ筈ト思考祈待罷在候

倫敦同ケニ売

先約ハ三・四ヶ月先位ハ其時ノ相場ニテ正金ガ引受ケクレタル模様ナルモ、此頃ハ先約率ハ夫レダケ不利ノ率ヲ offer スル様ニ相成候様承知致候ヘトモ実状果シテ如何ニヤ、今後倫敦廻リ為替ニ対シ、其率ヲ先約致サレ候場合、御一報相願候ハ、大ニ参考ト相成候、御配慮願上候

Bk of Austria

モ一般的金融状態ノ目算モ立チ候如ク、依然トシテ一々「メルボルン」本部へ交渉ノ要ハアレトモ、当店希望額ノ引受ケ位ハ故障ナキ見込ニ御座候間、貴方ニテモ其御含ニテ御活動被下度候

## 保險

ハ Shipping Port ニテ契約ノ条件ガ L / C ニ附記致サレ居候タメ、西濠小麦ノ如キハ同地ヨリ保險証ヲ取ルノ要アリ候、此事決シテ格別ノ不都合アルニ非レトモ、「シドニー」ニテ保險証發行ノ事ト相成候ハ、便利且ツ安心ニモ有之、出来得可クンバ如左意味トシテ自由ヲ与へ候様御交渉願上候

“Insurance is to be effected by Shippers in Sydney or at Shipping Port”

## 益田店員及旅費規定

丹後丸ニテ予定ノ通り発足致候由貴電ニテ拝承、安着ヲ祈リ居り候

同店員妻君ノ事ニ関シ、富森部長状ニヨリ心附キ候ヘトモ、未ダ店規ニハ携妻資格ノ明記無之、将来ハ比較的年壮ニシテ妻帯者ノ海外ニ派遣サル、モノモ多キ事ト可相成、自然携妻者ノ資格ヲ定メオキ候必要可有之ト存候、従来我等ノ諒解ハ少クモ一等船室対遇ヲ受クル者、則チ百五十円（月俸）以上ノ者ニ対シ携妻ヲ同意サル、程度ト存居り候、實際問題トシテモ百五十円ニモ滿タザル者ハ当地ニテ携妻生活ハ却テ苦勞ヲ増シ、遂ニハ能率ニモ影響可致、何レニシテモ其資格ハ百五十円ヲ越ヘルモノタル事ハ御同感ト存候

但シ其規定俸給額ニ達セザルモノハ、全然携妻ヲ許サ、ル不動ノモノニテハ不便ノ場合御座候

ベク、取締役ノ臨機取計ヒニ俟ツベキ除外例ヲモ要スル事ト愚考致候

### 他店人事

昨年九月、筆者ト共ニ来濠セル三井ノ井川氏ハ病後保養ノ由ナリシモ、事実ハ羊毛市場研究ニ意ヲ注ギ各地ヲ巡遊シ居リシガ、本月発安キ丸ニテ引上ゲ、内海羊毛課長ハ丹後丸ニテ帰朝、数ヶ月後再ビ来濠ノ如ク、大倉組モ石田君ガ日本詰メノ案ナリシガ急ニ変更、沢田君ガ是レ亦丹後ニテ日本ヘ出張ノ由、北村取締役ノ同船者ガ大ニ増加致候

三井ノ伊藤新支店長モ安着致シ、此頃井川君ノ離濠ヲ機トシ羊毛関係者本位ニテ晚餐会アリ、其内伊藤君ノ挨拶ハ範圍ヲ拡クシテ招待ノ計画ナルガ如クニ有之候

### 運賃協定ト 「ノイル」

「ノイル」ガ協定ニ含マレザル事明カニシテ、又重要視スル程ノ数量ニモ達セザル如ク輕視致サレ候ヘトモ、近来ノ実状ハ必ズシモ然ラズ、当店トシテハ中々輕視致シ難ク、山下ガ安運賃ニテ引受ケ候事モ疑ナク候ヘトモ、当店トシテハ徳義上ヨリシテモ、可成NYK本位トスルノ要アリ、而シテNYK積トスルタメニ、山下ノ安率ニ比シ不利ト相成候差ヲNYKガ負担スル事ハ、広戸君モ明カニNYKトノ諒解ヲ作ラレ居候由、貴方ニテハ此点御如才ナク御注意被下候事トハ存候ヘトモ、心附キ候俣申加ヘオキ候

(以下片桐君認メ Page IX へツ、ク)

日毛注文品ト船積差図

最近日毛注文ニ船積指図ヲ附電シ来ル事例ト相成居候ガ、是ハ敢テ珍シキ試ニハ無之、数年前モ何丸積ト云フ風ナ注文ノ出シ方ヲ致候事間々有之候、併シ其頃ノ差図ハ所謂最近便船積ト云フ意味ニ過ギザリシ様存居候、反之此節ノ指定船ハ、川西商事ノ關係上、第一ニ E & a、次ニ O S K、最後ニ無止 N Y K ト云フ風ナ遣方ノ様被存申候、Burns Philips ノ Williams ノ談ニ由レバ、

秋田丸ハ全 space ノ半分ニ足ラヌ少数ノ羊毛(新聞報ニ由レバ式千五百三十五俵ト相成居候)ヲ取り、非常ノ損失勘定トナル可キニ、次船安芸丸ハ満船ニテ式參千俵 Book シ切レザル羊毛アリ、秋田丸ニ積ムナト云フ毛織会社ノ差図ノ間、斯様ナ結果トナリシハ誠ニ遺憾ナリ

ト泣言ヲ並べ居候、是モ御得意ノ都合ニヨル事ニテ、致方無シト云へバ夫迄ノ話ナレトモ、斯様ノ場合、従来通リトセバ、お互ニ便宜不尠候、其他 space booking 上、不絶船会社ト協調ヲ保ツ上ニ、殊ニ N Y K ニ可成多数ノ羊毛ヲ割当度立場ニアル当方トシテハ、此種日毛ノ特別差図ハ迷惑千萬ニ御座候、何トカシテ是ガ撤廢出来ヌモノニヤ御良考願上候、当地三井ニ於テ



モ此差図ニハ頗ル閉口致居候模様ニ付キ、其内当地 Buyers ヲ糾合シ、各店ヨリ一斉ニ

日毛注文羊毛船積指図ハ特別ノ場合ノ外、大体従前通り space 割当約定ハ一切 Buyers  
ニ一任被下度事

発電セシメンカト存居候、萬一六軒之間ニ話ガ纏リ、悪クバ三井ト二軒ニテ同一意味ノ発電ヲ  
為サンカト存居候

片桐吾郎 認

取三三三号信 大正12年3月23日 安芸丸便

豪社守田治平↓神戸及東京取締役及部長

拝啓

前報後貴信ニ不申接候

干天

最近市内及地方ノ一部ニモ僅カノ間トシヤ降りアリ、漸ク愁眉ヲ開カントセシモ夢ノ間ニテ、今ハ宗教家団隊ノ雨乞ヒ祈禱中ニ御座候、或地方ニテハ約一ケ年モ雨ヲ見ズ、悲境ニ陥リ居ルモノ少カラズ、今後モ尚此状態ヲ持續セシカ各方面ニ及ボス影響ノ甚大ナルベキハ疑ヲ容レズ、一般ニ憂慮致シ居リ、從テ購買力モ大ニ減退シ、卸シ小売商ノ如キハ不景氣ヲ啣チ居リ候

大毛注文羊毛

延積ノ件ニ関シテハ輸出部状ヨリ詳報ノ如ク、最初ノ案ハ三―六月積トシテ、金融・倉庫其他

ノ交渉モ遂ゲ居リシモノガ、御注文ノ際四―七月積ト相成リ、銀行ノ如キハ特ニ承諾ヲ得タルモノニ候処、此頃ニ至リ可成多ク八月積御希望トノ来電ニハ不少面喰ヒ申候

松島氏ノ言トシテモ「成ル程大坂モスノ如キハ信用モ大丈夫ナルベキモ、君ノ店トシテモ如斯巨額ノモノオ銀行ガ承諾シテクレルカラトテ、何時迄モ延々ニ全責任ヲ負フト云フ事ハ健実ナル遣リ口トモ申サレザル可シ、正金トシテハ兼松ノタメニハ出来ルダケノ便宜ハ与フルニ咨ナラザルモ大ニ考慮スベキモノト思フ」トノ注意ハ、我等モ決シテ等閑ニ附シ居リタルモノニハ非レトモ、確ニ一真理ニ御座候

三井ノ交渉模様ヲ探聞セル処ニテハ、始メヨリ如此長期ノ依頼ハナク、正金トシテモ六月前ニハ片附ケネバナラヌトノ条件モ附シオキタレトモ、結局為替先約ニ依レバ三四五月積丈ケニシテ其他二三井自家金融カ、又ハ他ノ方法ヲ講ジ居ルモノアルヤモ難計モ、少クモ七八月モ先キナド、ノ延積ハ無之様信ジラレ候ニ付、貴店当局御交渉ノ心積リモアルベシト此事ヲ附記シ、毎月平等数ヲ積出シ、七月積ヲ以テ了ル事ニ是非共御承諾被下候様、御願申上候次第ニ御座候

如前述感想ヲ銀行家トシテ抱キ候事ハ当然ナル事ハ、筆者トシテモ疾クニ感附キ居リ候事トテ、始メヨリ（正直ノ処ハ）八月積ハ強要セザリシ儀ニ候ヘトモ、萬一、一部分ガ八月ニ残り候様ナレバ、其節ハ無理ニモ承諾願ハネバナラズトノ下駄ハ預ケオキ候  
乍併八月積ハ貴地ニテ手形請取りガ九月ニシテ、夫レヨリ九十日即チ年末ニ漸ク皆済ノ事ト可

相成、其頃ニハ又次季羊毛買入レ時トモ相成候事トテ、遅クモ七月積ニテ一段落ト致シ度キ希望ハ貴方モ御同感ニシテ、大毛ニテモ御不満ハ無之筈ト存ジラレ申候

Whiddon Bros

最近決算書同封致候、依例頗ル好成績ヲ挙ゲ居リ候ハ、当店ノ立場トシテハ慶スベキ事ト存候

新設毛織会社

Goulburn Woollen Mills Ltd

nominal Capital £150,000

Amalgamated Textiles Ltd

nominal Capital £1,000,000

ナルニ会社ガ愈々最近登記サレ、発起者中ニハ相当ノ資格アル者モ有之候ヘトモ、両会社共増田屋・鈴木商店時代ノ組合員ニテ、「ホラ吹き」ノ W. a. Doyle ガ喰ヒ入り居リ候ハ不思議ニシテ、彼レハ支配人格ニシテ直接事務ノ担当ニ当ル如ク、増田屋ノ遺物添田ガ依然トシテ紳士の体裁ニテ弗々 Top ナドモ買送り居リ候様子ヨリ察スルニ、或ハ此連中ノ野心モ関聯シ居ルニ非ルカ？、増々又ハ「シドニー」鈴木商店ノ立場トシテ金融ノ便ヲ得ラレ候事モ不審ノ一二御座候（「 Doyle 」ハ勞力出資？）

西濠用 D.C. L/C

ノ保険契約地ハ必ズシモ積出シ地ニ限ルトノ解釈ノ要モナカルベシトノシドニー正金ノ意見ニテ、敬義丸小麦ノ保険証ハ「シドニー」ニテ発行サセル事ト致候

西濠ニテ発行ノ事ト相成候ハ、其裏書人ヲ何人ニカ依頼セザル可カラザルナド種々ノ面倒伴ヒ候ニ付、当地正金ヘ交渉ノ結果、如右取計ノ事ト相成リ好都合ニ御座候間、御含ミオキ被下度候

NYK特別割戻シ

ニ関シ貴信 1111 号拝誦致候

日本ヨリ濠洲ヘノ輸出品ニ対シテハ運賃高如何ニモ貧弱ニ付、特約ハ罷メル事ト相成候由、止ムヲ得ザル次第ニ御座候

濠洲ヨリノ輸出品ニ対スル秘密取扱モ、頗ル影ガ薄クナリツ、アル模様ナルハ困タモノニ有之、山下ノ如キ必死安運賃ノ切り込ミ策ハ、自然各方面ヨリ相当ノ荷物ヲ吸収シツ、アルニモ拘ラズ、独リ当店ノ如キハ羊毛・Top ノ如キハ勿論、其他ノ物ニテモ依然トシテNYK本位ヲ固執致居候実状ニ徴シテモ、相当ノ報酬アツテ可然ト我々ハ信ジ候ヘトモ、対人方ハ必ズシモ我等ノ見地ト一致セザルベク、貴方当局御苦心ノ存スル処ニ候ヘトモ、之レダケハ逃サヌ様御成功

大正十二(一九三三)年

一三九

ヲ祈リ居リ候

政府羊毛ト山下  
汽船

廿一日大倉組ノ石田君ヨリ電話ニテ

今回山下汽船ノ出張員来店、政府羊毛ハ最初同盟船以外ニ積入差支無カリシガ、其後同盟船ニ非ザレバ積メヌ事トナリ、山下トシテハ頗ル困難ノ立場ニ陥リシニ付キ、神戸山下ヨリ三井物産ヲ通ジテ運動セル結果、今回山下汽船積差支無キ事ノ諒解ヲ得タル旨、当地三井ニ入電アリタルニ付キ、目下買附中ノ千住羊毛ヲ是非山下ノ船ニ積ンデ貰ヒ度

シ

此件ハ確定的ニシテ疑無キ処ナレトモ、萬一御不審ナラバ一応日本ノ御店ニ御電照願度シ

ト云フ挨拶アリシ由ニ候、石田君ハ三井ニ來電ノ有無ヲ確メザリシモ、日本ヨリ何ノ來電モ無キニ付、結局、山下積ハ見合セル意向ヲ洩シ居候、尚其節山下ノ談ニ運賃ハ「ペンス Per ポンド Less 10%」ト申出候由ニ候

貴店ヨリハ本件ニ関シ何等御消息ニ不接候へ共、何レ行違ヒ真相御詳報ニ接シ候事ト存候  
斯様ノ有様ニテ、当地山下厄鬼運動ノ結果ハ、三井・飯田・日棉ノ如キヲ口説キ落サズトモ限ラズ、自然千住ヨリへK安芸丸積運賃割高ノ批難出候様ノ際ハNYK本社ニ状ヲ具陳シ、山

下運賃並ニ引下ゲノ御交渉被成下度奉願上候  
今後モ貴方ヨリ何分ノ御差図アル迄ハ、政府羊毛ト雖モ凡テ同盟船積ノ事ニ可致候間、左様御  
含置被下度願上候

片桐吾郎 認

政府羊毛ヲ三社積ト限リ候ハ、運賃割戻シ率モ自然工業会同様30%ト可相成哉ニ察シラレ候、  
然ラバ結局山下ノ前記称へ運賃ト同様ト可相成候ヘトモ、愈々ト相成候ハ、山下モ尚割安率  
ニテモ積マシテ貫ヒ度キ様子ニ御座候

右

〔欄外書込〕

Mant ヨリノ来信ニ由レバ、同地山下 agent ノ談ニB市ヨリ平明丸積羊毛五百俵アリト話セシ  
趣、是ハ勿論千住行羊毛ト存候

取三四号信 大正12年4月14日 イースタン号便

豪社守田治平↓神戸及東京取締役及部長

拝啓

貴信

左ノ通り拝受致候

145 二月廿二日附「イースタン」便、三月廿六日着

145 (146 ノ誤リ?) 三月五日附、丹後丸便四月十日着

北村取締役宛貴状モ夫々御入手ノ由ニ有之、御受ケハ自然丹後丸便、又ハ同船ニテ御帰朝ノ機  
モ目前ニ迫リ居リ候事トテ、貴地ニテ御直談ノ事ト相成ル可クト存ジ居リ候

シドニー店員

生年月日詳報洩レト相成リ居候モノ、如左ニ御座候



Coss	26-7-1878	Gunton	27-7-1890
Turner	30-1-1881	F. Hall	28-11-1876
H. Read	13-3-1895		

北村取締役

ハ予定ノ通り、本月廿七日発丹後丸ニテ御帰朝確定、御準備ニ忙シク御座候

人事

益田店員ハ丹後丸ニテ頗ル元氣ニ定期ノ通り本月九日安着、即日執務罷在候間、御休神被下度、差詰メ網谷店員同宿、其内適當ノ下宿撰定ノ事ト相成居候ヘトモ、同店員ハ他ノ同年輩店員ノ独身者ト異リ、経済上ノ心ノ締メ方モ自ラ異ル必要有之候事モ克ク注意致シ、当人モ充分諒解致シ居リ候

藤原店員ガ大坂毛斯ニテ見習ノ好機ヲ利用シテ当人モ大ニ油ガ乘リカ、リ、漸次其効果モ顕レ候様察シラレ候ヘトモ、又如此機会ヲ他ノ店員ニモ及ボシ得ルヤ否疑問ニシテ、且ツ同店員修業ノタメニモ、可相ダケ長ク同社ニ腰ヲ据ヘ候仕向ケニ致シ度キ広戸部長其他ノ希望ニモ有之、何レ北村取締役御帰朝ノ節、御決定相成候事ニ候ヘトモ、予メ御含ミオキ願度ク候

其他ノ人事ニ関シ、御受ケ可申上件種々有之候ヘトモ、次便ニテ得貴意可申候

## 貴店決算

第八期予想丹後丸便御詳述拝誦後、程ナク本月十日発貴電入手

税金引当拾萬円差引処分スベク

純益金壹百拾五萬七千円

ト有之、郵報御予想額一一七五〇〇〇円ト漸ク一万七千円ダケノ差ニ有之、当店トシテハ決算実績内容モ既ニ入手致シ居リ候ト異ラズ、頗ル理想的ニ御座候

## シドニー決算

貴店ニ比シテハ頗ル簡単ナルベキ当方決算完結ガ貴店ニ後レ候事、汗顔ノ至リニ御座候ヘトモ、新会社第一回ノ決算ニモ有之、実質及形式上、余分ノ考慮ト手續キヲ要スルモノモ少カラズ、且ツ一般店務多忙ノタメ、筆者モ「ガントン」君モ決算事項ニノミ没頭ヲ続ケ能ハザル事情モ有之、御大有願上候

昨十三日夜取締役宛電報申上候如ク、其数字ハ貴方御予想ニ近ク

税金宛準備金ヲ充分ニ差引キ

一ヶ年純益金壹貳壹磅(8/3ペンス)

ニ御座候

決算書ハ正式ニ Auditor ノ手ニテ作製サル、事ト相成リ居リ候ニ付キ、成蹟説明ト共ニ丹後丸便ニテ御送附可申上候

Coss

君シンドニー Director ノ件、其他上伸スベキ事項多ク候ヘトモ、今便ニハ到底執筆ノ時無之、総テ次便ノ余義ナキ事ト相成候段、御了承奉願上候

右

毛斯紡注文宛メ  
ルボルン買附品  
口仙

第三回毛斯紡注文品中 Melbourne ノ Lempriere 買附品 883 B/S ハM市買附口仙抜ニテ宜布ト申上候為メ貴方御不審ヲ被起、御照会ニ預リ御尤ニ存候、実ハ此分ハ北村重役ヨリ Lempriere ニ話シ、彼ノ買附品中ヨリ 64/70's ノ大阪毛斯適當品ヲ見本ヲ送ラセ、同重役ニ於テ適當ト認メラレ候分丈抜取り買取リシモノニテ、Lempriere ニハ其買附之価ニ 1/2 ペンス per ポンド Gs<sup>1</sup> ヲ口仙トシテ与ヘシモノニテ、此 1/2 ペンスハ同店作製ノインボイス中ニ元価ニ加

大正十二(一九三三)年

一四五

へ居ル為メ、一見無口仙ノ如ク見へ申候

斯様ノ次第二付、此上ニ usual Comm ヲ毛斯紡ニ附ケ出ストモ、將又此分ニ限り特別勉強セル  
体ニ装フトモ、萬事ハ貴店將來ノ取引ニ御都合宜シキ様御取計被下度願上候

Lempriere ハ二三ノ同志ト組ミテ ring ヲ作り、Melb 及 Geelong Sales ニ臨ミ super wool  
ノ買占ヲ策シ候為メ、当店へ譲受分モ非常ニ割安ニ相附居候間、規定ノ M 市口仙 1% ヲ御附出  
被下候トモ、決シテ不当ニハ無之様存申候、殊ニ平均見本ヲ一覽後、厭ナ Lot ハ reject シ、  
氣ニ入ル Lot 丈買取候事ハ非常ニ便宜ニシテ毛斯紡ノ御為ナル事申迄モ無之候  
此 883 B/S ハ全部丹後丸ニ積入一掃ノ筈ニ付キ、毛斯紡ニ対シテハ其御積ニテ可然御進退願  
上候

片桐吾郎 認

為替先約

電報申上候如ク、其後ノ買附品ニ対シ、本月四日左ノ通り先約致候

£ 37, 000 90 days Paper 1/11 7/8 へンズ

則チ其時ノ相場ニテ五六及七月積ヲモ一率ニテ取極メ申候

尚外ニ約三万一千£取極メベキモノ有之候ヘトモ、為替ハ却テ向上ノ氣配ナルタメ一時見送り、

未手配殘額ト共ニ好機先約ノ取計ヒ可致候、其他積出期及銀行關係ノ件ハ後便詳述可致候  
以上(守田)

大正十二(一九三三)年

一四七

取三五号信 大正12年4月26日 丹後丸便

豪社守田治平↓神戸及東京取締役及部長

拝啓

長野丸ハ途中天候不良ノタメ予定ヨリハ聊カ延着ノタメ、前報後貴信ニ不申接候

今便ニテハ北村取締役ヨリ御執筆被下、貴状中重要事項ノ御受ケモ相済ミ候ニ付、今状ニハ其以外ノ事項執筆ニ留メ申候

シドニー第一回  
定時総会

ハ第一期決算完了ノ上、四月十九日ヲ以テ開会致シ、此機会ニ於テ「メルボルン」出張後ノ経過報告ト打合セヲ兼ネ出張シタル谷口店員モ列席シ、在濠株主全部集会、萬事無滞議事進行致候、其記録ハ別紙ノ如クニ有之候

当店ノ定款ニ依レバ、毎年重役改撰ノ要ナキ事ト相成居候ヘトモ、矢張り其慣例ヲ作り置キ候方可然ト存候ニ付、北村 Managing Director 以外ノ Directors マカロン氏及守田ヲ再選シ、新ニ広戸・Coss 両氏ヲ加名致候

其後重役会ニ於テ北村専務御不在中ノ委任状ハ守田ノ名義トシ、萬一守田ニ於テ義務執行不能ノ時ハ広戸 Director 之レニ代り得ル事トシ、広戸 Director モ守田同様銀行關係其他会社ヲ代表スル署名ノ権能ヲ与フル事ト相成リ候

同日夕刻ハ簡單ナル設備ノ下ニ此第一回總會ヲ紀念シ、北村長老送別ノ意ヲ兼ネ、内外人店員ノ重ナル者ニ集会ノ機会ヲ与へ、兼松精神ニ就テノ北村取締役ノ御訓示アリ、店員ニモ発言ノ機ヲ与へ大ニ緊張味ヲ加へ申候

### 外人店員イースター給与

ハ日本ノ中元給与期ト同時ト改ムベキ否歟考慮中ニ候ヒシモ、御存知ノ如ク三月末乃至四月初頭ノ「イースター」祭日ハ恰カモ当地ノ夏季多忙期一段落ニ近キ時ニ相当シ、羊毛季節中ハ小麦其他一般ノ荷動キ嵩リ合ヒ候時ニシテ、日本人ハ勿論毎夜々業ヲ続ケ、外人従務員ノ大部分「タイプスト」ニ至ル迄モ夜業ヲ多クセザレバ処理シ能ハザル実状ニ有之、此「イースター」時ニ於テ特別給与ヲ励行致候事ハ従来ノ慣習モアリ、金ノ値打ガ顕レ候事ハ疑ノ余地ナク、而カモ其額ノ多少ニ拘ラズ、「イースター」「ボーナス」ヲ給与スルト云フ世間ニ例ノ少キ事ヲ

当店ガ行ヒ居リ候事モ、感情上言外ノ価値アルモノト信ジラレ候  
 然レトモ相当ノ地位ニアルモノハ当店ノ精神ガ通ジ候ハ、其時期ノ遅速ハ問題外ノ筈ニ有之、  
 今回ハ株主タル Coss・Guntton・Turner 三名以外ノ者ニ対シ、如左給与執行致候

Burt Read	£ 10	Miss McGregor	£ 3
Frank Woods	10	» Bellamy	2
J Bourke	10	» Brownie	1
Fred Hall	10	Bob	<u>2</u>
Len Hill	10		<u>£ 77</u>
Lus Downing	5		
Ernest Hill	3		
Miss McGregor	6		
» Foggurtly	5		

御同意被下度御願申上候、右金額振り宛ニ就テハ自然北村取締役ト御談合願上候



Mr. Coss

ハ三月末ノ會議ニ於テ Sydney, B'bane, Wool Buyers Association, Arbitrator ノ一員ニ選舉サレ候

シドニー第一回  
決算報告

全部以今便御拝覽ニ供シ候

金融緩和

此頃 Bk of Austria 支配人ヨリ金融大ニ緩和サレタレバ、各期所謂 off season 中出来ルダケ為替取引希望ナリトノ談ニ有之、可然応答致シオキ候ヘトモ、長野丸出發後ノ来月以後、羊毛季迄ニ積荷ハ頗ル貧弱ノ見込ニ有之、小麦新商談モ多クヲ期待シ得ズ、全濠銀行ノ顔ヲ立テル財料ニ乏シク、誠ニ意地ノ悪キモノニ候

敬義丸坐礁ト将来ノ安全策

西濠小麦六千三百屯ヲ積取ル可ク派遣サレタル本船ガ、Sulu Sea ニテ坐礁シ、遂ニ航海不能ト成リシタメ、当店トシテハ此商売ヲ棒ニ振りシノミナラズ、直接間接多大ノ損害ヲ蒙リタルハ近来ノ凶事ニ候、注文取消ニ方リテモ西濠 Pool ノ態度次第ニテ、如何ナル程度迄其負担ヲ重大ナラシメ候カ不安ナリシモ、幸ニシテ Pool ノ態度ハ頗ル紳士的ニシテ、結局、仲買人ノ

報酬モ含、 $\text{£}500$  にて解決相附キ候事ハ不幸中ノ幸ニ候

尚是レヨリモ重大ナルハ為替先約ニシテ、恰モ最モ悪キ時ニ於テ先約サレタル不幸ノ廻リ合セトナリ、其後ハ又相場逆上リ度合ノ甚シキ事モ吾人ノ予想ヲ破リ、此頃ニテモ已ニ一万二三千円ノ開キヲ生ジ、倫敦廻リノ有利率ヲ Top 二利用シ得ル事トハ成リタルモ、到底之レニ依テ其半ダニ埋メ合セ得ルモノニ非ズ、悪イ時ハ悪イ物ニ御座候

此為替ノ処分ヲ如何ニスベキカニ就テハ、其本原タル貴地ニテハ種々御考究相成候事ト存候ヘトモ、当方トテモ相場向上毎ニ不安ノ念ヲ増シ、松島正金支配人ト会谈ノ節、話頭此問題ニ及ビ候処、同氏モ大ニ同情致シクレ、同氏ノ考ニテハ為替ハ当分上ルトモ大シタ低落ハ有ラザルベシトノ観測ニシテ、此際大塚神戸支店長ノ意見モ徴シ、同感ノ様ナレバ先約率ト現在相場トノ見合ヒ金ヲ可成安ク負ケテ貰ヒ取消ス方、却テ有利ノ如ク思ハルトノ全然個人トシテ好意的注意アリ、我々ニ於テモ同感ニ付、此旨電報御注意申上候次第ニ御座候、貴方ニテハ日粉ノ御意向ニ依テ取極メラル、立場ト存候ヘトモ、或ハ成行ニ任スル事ニ相成候カトモ存居候

For Future  
Business

今後モ小麦用傭船ノ場合ハ屢々可有之、又斯クアル可キヲ祈リ居リ候ヘトモ、敬義丸事件ノ如キ出来事ニ際シ、損失ヲ免ル、ノ方法ヲ研究シオカザル可カラズ

買付契約ノ際船名ヲ指定シ、該船災難ノ時ハ契約無効トノ条件ヲ設クルモ一案ナレトモ、Pool

ノ如キハ到底斯カル条件ニ従ハズ、又注文主トシテモ時ニハ急ギ代船ヲ仕立テ、モ荷物引取りヲ望ム場合モアル可ク、然ラバ注文主ニ於テ此種ノ責任ヲ持ツ事ニ改メラルレバ頂上ナレトモ、夫レハ商習慣上不可能ナルベシ

斯ク煎ジ詰メ来レバ、結局我々仲介者が夫レダケノ Risk ヲ持ツカ、然ラザレバ安全条件ニテ出来ル丈ケノ程度ニテ商売ヲ堅実一方トスルカニアリ、誠ニ以テ苦シキ破目ニ御座候

#### Insure Profit

今日迄ニ考へ及ビ得ル唯一ノ方法ハ、備船シタル時ニ其商売ニ対スル利益ヲ保険スルニアリ、此保険率 10% 位ナレバ、今後此利益保険丈ケノ余額ヲ算入スル事ニ依テ、出来ル商売モ出来ヌ事ニ成ル様ナ事モ有之間敷、御一考ヲ願フノ価値可有之ト奉存候

#### 早魃ト小麦相場

此頃市ノ内外ヨリ海岸方面へ涉リ引続キ降雨アレトモ、一向内地迄普及セズ、小麦ノ如キモ在荷減少ト次年度ノ作柄不良ヲ見越シ、売扣へノ態度ト成リ候折柄、英国相場見直シノ入報ト相俟チ、最近ノ Pool ハ益々高張り、遂ニ G7 ¼ ヲ「レクタリア」「プール」ヨリ称へ出スニ至リ、NSW ノ如キ未ダニ多額ノ持荷ヲ抱へテ強硬ノ態度ヲ持続シ居リ候タメ、近来為替相場大ニ有利ト成リ、定期船運賃モ 20% 引下ゲタルニ拘ラズ、新商談ニ近寄り得ザルハ遺憾ニ候

輸入モ打撃

早魘ノ及ボセル人氣ガ一般ニ影響スルハ当然ニシテ、各卸売商ノ如キモ愈々買控ヘノ方針ト相成リ、近來ハ各卸売商ニテ発スル注文ハ會計部ノ認メタルモノニ限ルト云フ打合せ迄取極メタル程ニ御座候ヘバ、自然当輸入部愈々注文獲得ニ骨折レ候次第二候

店内無為替 firm

exchange

ノ件ハ大ニ御讓歩ニ預リ、四月十四日附貴電ニテ大体当方希望ヲ容レ被下、今後輸入部競争上ニモ少カラザル便宜ヲ得候事ト奉謝候、啻ニ当輸入部ノ成蹟ヨリシテノミナラズ、御来旨ノ程度条件ナレバ、商店全体ノ立場ヨリシテ従来ノ方法ニ比シ、格別ノ損害ハ来サル可キ見込ニ御座候

大毛ニ関スル正  
金ノ感情

四月四日附電報申上候如ク、此度ハ何時モ三井ガ当店ノ後手ニ成ル事ヲ正金ニ持チカケルヤラ、頗ル「グレハマ」ト相成候ニ付、松島氏トシテハ遂ニ感情ニ走リスギタルノ嫌ナキニ非ズ、所謂大毛ガヘK、三井ヲ両天ニ掛クル如ク、強ク頭ニ響キタルモノニシテ、必ズシモ然ラザル事ハ説明致シオキ候ヘトモ、貴方ヘハ不取敢其有ノ俣ヲ電報申上オキ候次第二御座候、松島氏

ノ真意ハ疾クニ御報申上オキ候如ク、一部八月積ト成ル事モ止ムヲ得ザル可シトノ覚悟ハ定メ居リシモ、是レハ兼松ノミノ積リナリシモノガ、而シテ其以前ハ六月迄ニ処分スベキ約束ナリシ三井ガ又八月迄モト申込ミ、兼松ニ対シ承知シタル事ナレバ、正金トシテハ拒絶シ得ザル様ナ仕向ケニスルハ大毛ノ策略ト思フノ外ナク、ソナ風デハ自分ガ大ニ努メル積リナリシモノヲ却テ究地ニ陥ラシメル様ナ遣リ方ナリシノ意見モ亦無理ナラザル処ニ御座候  
今後此種ノ取計ヒハ平ニ御免ヲ蒙ルトノ断リハ、必ズシモ其場限りノモノニハ無御座、ソナ事ヲ言ハレテハ困ル、将来モ頼マネバ成ラヌ事アル可シト予防線ハ張りオキ候ヘトモ、次回ノ交渉ハ容易ナラズト案ジラレ候

以上認め後、今夕ニ到リ

インダス丸便拝受致候ヘトモ、到底熟読ノ機ナク、御受ケハ次便ト可相成候

以上不備

貴信

取三六号信 大正12年5月9日 長野丸便

豪社守田治平↓神戸及東京取締役及部長

拝啓

貴信

146 三月廿七日附「アラフラ」便ハ「インダス」丸便ニテ四月廿六日着

恰モ北村取締役御出発間際ナリシタメ、船中ニテ御通覧ヲ願ヒ、「ブリスベン」ヨリ同  
地出張中ノ広戸 Director ニ御渡シ願フ事ト致候

147 四月十日附吉野丸便ハ、今九日正午入手拝誦致候

奨励会

差入書御追送分、正ニ入手致候

規約英訳文ハ「マカロン」氏へ相談前一応研究ノ要アリ、読ミ初メテハ日常務ニ防害サル、夕

メ、未ダニ其意ヲ満シ得ズ候ヘトモ、吉野丸便ニテハ無相違御返送申上ベク候

シドニー決算書

副一揃及小池輸入部長ノ報告書同封御送申上候

前便報告書ニ書キ洩シ候ヘトモ、第一期一ケ年間ノ保険割戻シ金トシテ、直接為替ニテ貴方へ御振替へ申上候額ハ合計四六〇六£ト相成リ、以序保険料支払額ヲ列記致候ヘバ如左ニ御座候

1st 3 months (April-June)	£ 3,522
2nd 3 months (July-Sept)	£ 1,884
3rd 3 months (Oct-Dec)	£ 4,510
4th 3 months (Jan-Mch)	£ 7,220
	£ 17,136

正金銀行更迭

森取締役ノ台湾銀行へ転任セラレ候事ハ、当店トシテハ少カラザル打撃ト憂慮致居候ヒシモ、五十嵐新本店長及最上取締役モ克ク当店ヲ諒解サレ居ル事ニモアリ、此移動ニ依テ特ニ心配ス

ル程ノ事モ可無之由、好都合ニ御座候、此次ニ来ル移動有之候時代ニハ「シドニー」ニテモ宜ク当店ヲ識ル人モ加ハルニ至ラン事ヲ祈リ居リ候

「シドニー」「バランス・シート」ニシテ、登記署及聯邦大蔵省へ提出スベキモノハ其内容説明ヲ省キ簡單ナルモノヲ特ニ作製致候ニ付、其一枚ヲ正金松島支店長へモ提示致シオキ候

## 日本浴巾会社

総会ニ於テ、予テノ御計画通り西田取締役ノ辞任ノ上、相談役ニ推挙シ、其他萬事満足ニ解決進行致候由、御配慮奉謝候

如此ニシテ其陣立テモ漸次理想ニ近キモノト相成リ居候模様ニ有之、製品ノ統一、積出シ期ノ正確ヲ期スル点ニ於テ、漸次健全ナル進展ヲ示スニ至リ候様祈リ候

## 日本毛織悶着

ニ関シ、藤井重役及御前部長御認メ事項ハ多大ノ趣味ヲ以テ拝読致候、殊ニ三月三十日御認メノ御意見ハ徹頭徹尾我等ノ意ヲ得タルモノニ有之、御前部長ノ川西部長御交渉振りモ大ニ意ノ決スル処アルヲ髣髴タラシメ、「注文謝絶スルヤモ難計」ト迄ノ大決心ヲ以テセラレシ覚悟ヨリシテ、左モアル可キ事ト感動致シ候

而シテ其後満足ナル解決ヲ得ラレ候旨御來電ニ接シ、本懐ノ至リニ存居候処ニ御座候



貴店決算

然ルニ吉野丸貴状ヨリ拝承致候へバ、結極口錢ノ $\frac{2}{3}$ ヲ提供シ、勘弁シテ貰フ事ニ落着致候由、正直ノ処ヲ告白致候へバ、当方幹部一同ハ不尠失望致候次第ニ御座候

羊毛ガ当店ノ真髓ニシテ、日毛ガ其最大得意ナル事ハ申ス迄モ無之、又御前部長ヨリ特別部ヲ以テ公平ナル立場ヨリトシテ御指示相成候当店トシテノ欠点ト称スベキモノモ、今新ニ発見サレタル事件ニモ無之、夫レ等ノ利害得失ヲ十二分ニ考究セラレ、結局、此際強硬ノ態度ヲ以テ事ニ当ル可ク、商店トシテノ死活問題トモ云フ可キ大問題ノ御決心相成候ニ対シテハ、余リニ「アツケ」ナキニ非ズヤトノ感ヲ免レザル事モ無理ナラザル次第ト存候

乍併其局ニ方ラレ候貴方ニテノ御感慨ハ夫レ以上ナル可ク、涙ヲ吞ンデ讓步セラレシ御苦痛ト御配慮ニ対シテハ、吾人モ亦衷心ヨリ同情ト感謝ノ意ヲ表スルモノニ御座候而シテ此解決ガ大ニ相互ノ意志ノ疏通ヲ図ルノ機会ヲ得、所謂「雨降テ地固マル」ノ好結果ヲ生ジ候事ト祈リ居リ候

書ハ紀念寄附金問題未決ノタメ北村取締役貫着後御作製ノ事トシ、其内容吉野丸便ニテ御詳報ニ預リ奉謝候、本日入手致候ノミニテ充分熟読ノ機無御座候ヘトモ、差詰メ吾人ノ意外ニ驚カサレ候ハ、東亜製粉会社売り北米小麦代九萬三千余円ノ手形支払ガ不安状態ニアル事ニ御座候、最近決算期ハ幸ニシテ日濠両店不況時代ニ拘ラズ、相当ノ好成績ヲ挙ゲ得タルトハ雖、次期ノ

成蹟頗ル樂觀ヲ許サ、ルノ時ニ於テ、此巨額ノ引懸リハ一大痛棒ニ有之候事ハ論ヲ俟タズ、幸ニシテ杞憂ニスギザリシ事ト相成候事ヲ祈リ候ト同時ニ益々緊張、注意周到ノ要アル事ヲ適切ニ感ゼシメ候

中井出張員

ハ六月九日諏訪丸ニテ倫敦発、七月廿四日神戸着予定ノ由、折角同君努力ノ結果、何カノ福音ヲ齎シ帰り候事ヲ祈リ居リ候

溝渕

店員ハ兼テノ計画ニ従ヒ、愈々本月二日發「ブリスベン」へ向ヒ、同地ニ三四週間駐在、実地経験ト同方面商売拡張ニ努メ、順ヲ追テ南行ノ事ト相成リ居候

井垣

店員ハ目下「メルボルン」へ出張、インダス丸及 *Ming* 丸積小麦ノ監督ニ日夜尽力致居候ヘトモ、「ミラン」丸ノ積地悶着ハ近来ノ大問題ニ有之候事ハ部状上伸ノ如クニ有之、多大ノ苦勞ヲ重ネ申候ヘトモ、又一面井垣店員ノタメニハ無ニ活經驗トモ可申、口錢ガ減ズル代リニ苦勞ガ増スト云フ廻リ合セト相成候事、殆ド一般的ナルハ遺憾ニ候ヘトモ、殊ニ小麦ニ於テ然

リ二候

「店員家族の病状について翻刻省略」

X rate Exchange

ハ最近 \$4.62 ニ低下致シ、今年ニ入りテノ最低率ニシテ、是レガ原因トシテハ同封新聞切り抜キノ如キ説モ有之候ヘトモ、銀行家トシテハ何レニ信ヲ措ク可キカ依例判断ニ苦ミ居候次第ナレトモ、此度ハ前ニ与ヘラレタル松島氏予想ハ大ニ適中シタル訳ニシテ、例ノ敬義丸小麦先約相場ハ益々其災ヲ大ナラシメ、泣キ顔ニ蜂ニ御座候

同時ニ大毛注文既買付品残高約式萬五六千£ハ未ダニ有耶無耶ニ見送り居リ候ニ付、今後好機ヲ見計ヒ取極メノ上、今日迄ノ先約惠率ノ埋メ合セト致シタク意ヲ用ヒ居リ候

旱魃漸ク破ル

近来ノ降雨潤沢ナリシハ「シドニー」市ト海岸ニ限ラレ居リシガ、最近漸ク内地一般ニ低気圧普及セル模様ニシテ、NSWヲ始メVict・南濠方面ニテモ一般的此天恵ニ浴シ居リ、一同漸ク愁眉ヲ開キ居リ候

誠ニ現金ナ物ニシテ、Vict Poolノ如キハ5/9ペンズナド、空嘯キ居リシモノモ急ニ5/7¼

ナラ出来ルナラントノ口吻ニシテ、尚ホ降雨潤沢トナレバ形勢大ニ軟化スベキ見込ニ候、乍併小麦ニ於テハNSW以外ハ何レモ大部分売約済ニ付キ、大下落ハ可無之候  
小麦收穫及牧草ニモ蘇生ノ感ヲ抱カセ候事ハ疑ナク候

Wheat

最近 Darling ノ offer 南濠小麦 5/7 ニテ、当地ニ獲得シタル Freight 22/6 (愈々トナレバ 21/—迄ハ値押シ出来ル見込) ニシテ、貴方ノ指値トハギリ々々乍ラモ出合ヒ候事トテ、重テ電報申上候ヘトモ、北米麦割安ニテ多量商談成立ノタメ、目下ノ相場ニテハ濠麦絶望ノ由失望致候

(以下小池君認メAニツック)

送金ト Bk of  
Austria

此頃ノ送金ガ何レモ A. B. C. 經由ト相成居候タメ、Bk of Austria 支配人ヨリノ談ニテ一時ハ送金手控ヘ候様日本ノ代理店ヘ申送リタル俣ナルタメ、自然他銀行ヘ廻シ候事ナランモ、今ハ金融緩和致候事トテ、是非 Bk of Austria へ送り候様尽力ノ依頼ヲ受ケ候、誠ニ虫ノヨキ申分ニハ候ヘトモ、事実問題トシテハ当店ニモ其方ガ便利ニモ有之、可然御高配願上候

(以下北村取締役御出発前ニ認メアリシモノ) (守田)

〔書簡ページ番号A〕

溝渕店員の帰朝と交代せしむる意味に於ける中村店員当地転任案は、御討議の結果、目下の処全然未定案とし後日の御協議に待ち、而して其御協議の実現は本年後半、中井店員帰朝後なるべしと御意見相定まり候趣拝誦仕候、貴店輸出部陣容の現状並に部員人繰上、機宜を得たる御処置と存候

元々本案は北村重役今次御帰朝の砌、御地に於て最後の御決定を仰ぎ度き希望の下に、筆者に於て予め立案し、貴店輸出部長席の御考慮を御願致したるものにして、筆者の立場は執務上の利便と言ふ事の外に部員の席次に大なる考慮を払ひ、尚且売場の実地経験を得せしむる意味に於ける人物登用と言ふ見地より中村店員を推挙したる次第に御座候、乍併中村店員精励研究の結果収めつゝある今日の仕事の程度は同店員自身がやれば出来得るも、未だ他人に引継ぎ得ると言ふ程度迄達し居らず、而も実行迄約一ケ年の時日ありとするも、此程度に接近せしむる事望み難しと言ふ藤井重役の御觀察も亦誠に御尤もなる次第に御座候て、筆者考究の足らざりしを慚愧に感ずる次第に候、就而代案として森神店員、若しくは前田亀之助店員派遣の御發議有

之、同時に当方都合如何を御質問相来候処、執務上、是非中村店員を欲すると言ふが如き当方の立場には無之、而も森神若しくば前田店員ならば、何れにても当方として誠に好都合に御座候、而して其の何れを取るかは、主として貴店の御都合より御決定相願ふべき立場に御座候て、彼是御詮衡の上、宜敷御配慮の程願上候

メルボルン支店に早晚邦人一名増員の必要相生ずべく、而して当方重役席に於かれても此点御同感に候間、先般貴店輸出部長席宛出状御考慮を相願置候処、今着丹後丸便特別部状を以て人撰等北村重役御帰朝の頃迄に具体化し置かれ可申趣拝誦、御配慮の段深く謝上候、就而メルボルの現状より言ひて、今強いて大至急増員を欲すと言ふが如き差迫りたる事には無之候へ共、谷口店員の意見はメルボルンに正式赴任前、少くとも四五ヶ月間シドニーにて輸入手續等習得せしめ置き度しとに有之候間、其御含みにて可成早き時期に於て派遣御配慮御願致度く候、人撰に関しては特に希望としては無之、從而全然貴店に御一任可申上立場に御座候、而して富森部長御説の通り、経験年配等若き人にて事足り可申、只だ着実熱心なる人を御撰抜被下度願上候人事に関して可成重役状の一部として書添ふ方宜敷からんとの当方重役席より御注意有之候て、以上は同席の御叱正を乞はん意味を以て書綴り申候

以上四月十八日 小池三次郎 認

(守田追伸)

前記小池君意見トシテハ、森神若シクハ前田(亀)君何レニテモト有之候ヘトモ、当店輸入部ノ立場トシテハ前田店員ニテハ益田店員ノ次席ト相成候タメ、溝渕店員去レルノ時ニ於テ小池部長不在ノ時ハ自然藤本店員代務ノ事ト可相成、如此場合ハ守田ニ於テ監督ノ事トモ可致候ヘトモ、其<sup>as is</sup>ガ余リ大キク相成候恐レモ有之、貴方ノ御繰合セ相附キ候ハ、寧口森神店員ノ方好都合ト存候、森神店員ニテモ相当ノ期間当地ノ実験ヲ経ザレバ業蹟ノ多キハ期待難致候ヘトモ、奮ニ席順ノミナラズ、執務上ヨリシテモ出来得可クンバ森神店員ヲ希望シタキ小池部長ノ意向ニモ有之、御含ミ願上候

北村披見致候「サインあり」

取三七号信 大正12年5月19日 アラフラ号便

豪社守田治平↓神戸及東京取締役及部長

拜啓、前報後貴信に不申接候

安芸丸貴地発は定期より十日後れと相成候由、当地代理店より伝承致候、左なきだに輸入品積後れの苦情続出の折柄、得意先の迷惑を増し候次第なれとも、為之貴方にては大に埋め合せの便を得られ候事と存じ候

降雨

は多少づ、濠洲内大部分に普及致候様なれとも、一時悦びたる程の降雨なく、so far better than nothing の程度なる如く、早き機会に於て尚一層降雨の天恵に浴させれば安心は難成候、今日にても或地方にては四頭の馬を1100として唯の£1で売たなどの報も御座候



氣候としては冷氣追々加はり、60—70度位の好順に御座候

クインスランド  
選挙

最近の結果は Labor Party の勢力益々増大し

Labor 44 United Party 16 Country 12 (anti-Labor 28)

と相成り、特に赤化気分濃厚なる同州の傾向、如此は遺憾に御座候

クインスランド  
税関

にて「シドニー」より乗船せる者も、日本人（東洋人）は一々「ブリスベン」にて税関に出頭  
の要あるを強要し、其不都合、不条理なる理由の下に先般北村取締役が同地にて容易に従はれ  
ざりしを動機とし、当地総領事館にて調査の結果、其強味あるを確め正式に当局へ交渉の結果、  
「クインスランド」官憲が税関規則にのみ拘泥し、其上にある ACT にて其要なきを明示せる  
事を知らざりし為なりし由にして、其旨「クインスランド」税関へ本部より通達せる由に候  
此流義にて小官吏の横暴に一般の迷惑を蒙る事、少からざるは何地も同様候

人繰り

の事に関し、此頃当方部長会議の結果、大体左の意向に帰着致候間、御参考迄に上伸致候

溝渚店員は明年森神店員（と仮定）着任後、可成早き機会に於て帰朝可然哉の案なりしも、重て熟考するに、日本側としては敢て溝渚店員の出来る丈け早く帰朝を懇望され居る訳にも非る可く、同店員としては今現に「クインスランド」へ出張中にして、引続き他州を廻る計画と相成り居り、且つ谷口店員M市へ出張以來は自然溝渚店員の仕事も多く、夫れ丈け智識を拓むるの氣運に向ひ居り、当人も大に油が乗り来り居り候処にして、明年の処を尚一ケ年も延期し、明後年共致し候はゞ、此余分の（今日迄ノ案ヨリハ）一ケ年間に得る実験と智識は過去の数年ニ匹敵す可きやにも期待致され候に付き、寧ろ明後年頃帰朝致す事に改め候方、相互の爲めに最も策を得たる物なるべきやに愚考致され候、且つ本人としても此方却て希望せる事と認め居り候

貴店輸出部に於ては不幸にして人員の甚しき物有之候も一因なる可く、最も大切なる仕入方智識の不完全なるを最近にも前田取締役より御力説相成候事は我々も頗る同感にして、東支の中村店員移動反対の藤井重役御意見も亦御尤と存じ居り候、依て如前記、溝渚店員移動延期共相成候はゞ、森神店員も無理をして迄も急ぎ当地へ転任さるゝの要も無御座、今日迄の予定よりも尚六ヶ月間にも永く日本の仕入方面の実験を続けられ候方寧ろ希望の立場に候、尤も其間幸ひにして商売益々繁昌と成り、当店人員増加の急に迫り候様なれば、又自ら別問題の事も起る可く候

筆者昨年帰朝中、貴輸出部一部の御意向として在濠期間は可成短縮し、可成多くの人員を新陳代謝可然と拝承致候事に就ては充分考慮致し、此頃他の部長連とも意見の交換を致候へとも、貴輸出部は貴輸入部と大に趣を異にする物少からず、取扱品の範圍は殆ど制限なき迄に拡々して容易に常識判断のみを以て処理し得可きものに非ず、各商品の鑑識と取引先の応対振り等を充分に諒解し得て、始めて激甚なる競争場裡に立ち得るは申迄も無御座候

最近絹物取扱者本位の会合には筆者も小池君と共に列席致し、列席せる者の多くは比較的年少者に候へとも、流石絹専門業者として派遣され居る丈け、同品に関する智識は何れも相当に研究を重ね居り候様に見受けられ、寧ろ局外者の小生としては予想以上なるを感じ申候事も、取扱品の眞の智識を養成するの緊要なるを強く感ぜしめ候、最近の一動機とも相成り居り候又当地の売方としては是れに劣らざる研究を要する物少からず、単に商品の智識のみならず、得意先の各異りたる気合を充分に呑み込むと共に顔を拡くするに非れば、拡く競争場裡に立て年々増加する共減少する事なき多数の *Keen* なる競争者の上に立つ事は望み難く候、幸にして永年売込みたる *へK* の看板に依る丈けにても、少からざる特権、又ハ引立てを蒙る場合少からず候へとも、其局に当る者にして不合格ならんには、此看板も却て損けらるゝに至るは明かに御座候

則ち苟くも当地へ店員を派遣する以上、一年や二年にては何等の得る処なく、夫れ以上相当の

期間腰を据へる仕向けと為すの要あるの結論に到達致候、多数の従業員を有し、概して新陳代謝方針なりし如き三井の如きも此頃にては大に悟る処ありし如く、主任者始め他の係員も有望の者は何れも当地に居付き居り候実状に御座候

当輸出部、殊に羊毛部としては順を追て青年派遣の案と相成り居り候に就ては、自然当地にて長期実習致させ居り候中野店員の如きは明年頃帰朝せしめ、貴地にて大に教育を願ふ事とし、其内沢辺店員も同様の仕向けと可相成順序が至当ならんと存じ居り候、従て当方にては羊毛季節外の時に於て、従来羊毛本位なりし者も努めて羊毛外一般の輸出事務に慣れしむる方針に於て励行可致候

網谷店員は元来出来る丈け永く当地に滞在し、充分に羊毛其他の智識を得るべき覚悟にて御派遣相成候者なるが、貴方人繰の御都合も可有之、可成丈け早く帰朝し得る様の御内意ありし趣にして当人頗る氣迷ひの模様の有之、広戸君の見地よりしても、茲一ヶ年位の間に帰朝せしむるなど、は、商店としては勿論、当人の為めにも不賛成にして、今日迄は漸く瀕踏み時代であり、是れより漸く羊毛其他の仕事実習の機を得んとする全く未製品なれば、尚暫く「ミッチリ」当地にて修業せしむる方策を得たる物也との意見は我等の一致せる処にして、本人も個人として帰朝期云々などの意見毛頭も無之事をも確め申候

従て貴方にては網谷店員に振り当てべく御一考へ相成候役廻りは、現在の貴店々員間にて御活

用願ひ度く、又依之格別の御不便はあるまじとの觀察にも御座候

以上は当方の意向を具体的に上伸致候次第に有之、幸ひ北村取締役御在日の折柄、人繰り御協議の際、右御考慮に御加へ被下候はゞ幸に御座候

右

大正十二（一九三三）年

一七二

号外信 大正12年5月21日

豪社守田治平↓神戸及東京取締役（北村取締役殿送り）

シドニー在勤者俸給及手当支給額改正案

本俸及在勤手当邦貨額ヲ一々英貨ニ換算致候事ハ、授受者共ニ不便ヲ感ズル場合少カラズ候ニ付、本俸何程ノモノハ換算率ニ關係ナク、「シドニー」ニテハ英貨何程ト規定致度キ希望ニ御座候

仮ニ 2/2 Pence par Yen トシテ起算致候ヘバ

本俸百円ハ一ケ年一二〇〇円

在勤手当一七〇〇円 二九〇〇円 £314/3/4 (一週) £6/0/10)

ト相成候ニ付、此標準ニ依リ、本俸一〇〇円ノモノハ £315 par annum トシ、五円毎ニ一ケ

年 812 ノ増減ヲナス

〔欄外書込〕

現行規定ニテハ ¥5 毎ニ 811/18/4 ニシテ換算不便ニツキ 812 トスルノ案也

其結果ハ別表ノ如クニ有之、此開キニ依リ、從來ノ等差ト殆ト同一ノ結果ト相成候

月俸	¥	85	現行規定	£278.8.4	(£5.7.0 P/W)
			新案	£279	( 5.7.4 ♪)
♪	¥100	♪		£314.3.4	( 6.0.10 ♪)
			♪	£315	( 6.1.0 ♪)
♪	¥115	♪		£349.18.4	( 6.14.9 ♪)
			♪	£351	( 6.15.0 ♪)
♪	¥160	♪		£457.3.4	( 8.15.1 ♪)
			♪	£459	( 8.16.6 ♪)
♪	¥240	♪		£647.16.8	( 12.9.4 ♪)
			♪	£651	( 12.10.4 ♪)

”	¥450	”	£1148.6.8	(	22.1.8	)
”		”	£1155	(	22.4.2	)

携妻手当ハ在勤手当金ノ二割増ノ代リニ改案規定数ノ10%ト致シ候ハ、従来ノ振り当テト略ボ同一ト相成リ候

月俸	¥160	携妻手当共現在	£507	ニ対シ新案	£505
”	¥220	”	£663	”	£663
”	¥240	”	£715	”	£716

種々考究ノ結果、結局右ノ方法ニ拠レバ現在ノ規定ト殆ド変リナクシテ便宜少カラザル可クト存候ニ付、御裁可相願へ候ハ、早速実行致シ度ク腹案ニ有之、叱正願上候

以上

追伸

近來シドニー従務員ニ対スル定期給与金ハ、神戸取締役ニテ英貨ニテ御振り宛テ相成候御精神



ヨリシテモ、「シドニー」支給金ヲ全然英貨極メト致候事ハ御異存ナキ事ト拝察罷在候、唯今  
回提案セル金額ヲ  $2/2$  ト仮定致候事ニ就テ御異見ナキヲ難期、三ヶ月間ノ店内率ハ  $2/1\frac{1}{4}$   
ニシテ、其後ハ尚低下ノ折柄ニハ候ヘトモ、換算率ノ如何ハ別問題トシテ  $\$100$  (本俸) ニ  
対シ、一ケ年  $\$315$  ヲ基算トセル事共相成リ候

右

取三八号信 大正12年5月24日 吉野丸便

豪社守田治平↓神戸及東京取締役及部長

拜啓

前報後貴信ニ不申接、Stアルバンス便ハ両三日内ニ着ノ予定ニ御座候

北村取締役

ニハ定期ノ通り本月二十三日神戸へ御安着被遊候由貴電ニ接シ、当方一同安意御悅申上候  
重要事項多々御待チ兼ネニテ御苦勞不尠事ト存候、折角御自重專一二被遊、氣候食物等ノ變化  
ニ依リ、御健康ヲ害セラル、事ナキ様祈上居候

奨励会規約訳文

ハ前便發後、直ニ「マカロン」氏へ届ケ檢覽ヲ願ヒオキ候処、御存知ノ如ク非常ニ忙シキ人ニ

メルボルン支店  
新事務所

付キ、此種ノ研究ハ土日曜日ニ掛ケテ目ヲ通シクル、事ト相成リ居リ、本日ニ至リ漸ク会見研鑽ニ取リカ、リ候ヘトモ、日本語ヲ充分了解スル宮岡氏ニテモ中々御骨ノ折レタルモノ、如ク、規約ニ如何ナル事ガ記サレタルカヲ識ラザル「マカロン」氏トシテハ、第一是レガ内容ノ了解ヲ明カニスルノ要アリ、且ツ其冒頭ニアル「Article of Association」ナル用語ガ已ニ不適當ニシテ、此熟語ハ所謂会社ノ「定款」ヲ意味スルモノニ付キ使用シ得ズナド、中々急ノ事ニハ參リ申サズ、後更ニ日ヲ重テ協議ノ事ト相成リ、乍残念到底今便ニハ不合間、次便ト相成候段、不悪御諒承被下度御願申上候

絶ヘズ当局谷口君ガ熱心ニ心掛ケ居リ候ヘトモ、我等希望ノ場所ハ家賃ガ割高ニシテ問題ニ成ラズ苦心罷在候処、此頃漸ク Queen St. J. Kitchen ノ向側ニ手頃ノ場所ヲ発見シ、5th Floor ナレトモ一部本通りニ面シ光線モ宜シク、種々「ツドニー」トノ打合セノ結果、\$ 325 P/a ニテ二ケ年間ノ「リース」ニテ借約致候

総坪数一千 Sqr Feet ニシテ、今日ノ相場ニテハ割高トハ申サレズ、殊ニ其地位ハ殆ド中心ニ位シ、輸入・輸出両部ノ取引關係ヨリシテモ、先ヅ理想ニ近キモノニシテ、掘り出シ物共可得申候

「メルボルン」支店ガ登記サレタカラトテ、急ニ立派ナ体裁ヲ要スルナドノ意味ニハ非ズ、商

売不振ノ折柄、可成現状維持希望ナリシモ、現在ノ office ハ余リニ狭矮貧弱ニ過ギ、市ノ中心ヲ離ル、事遠ク不便不利ナルタメ、止ムナク新事務所ノ必要ニ迫リ候タメニ御座候

プリズベン羊毛  
競市

ハ来週廿九日ヨリ三十一日迄ニツキ、広戸・Cos 両君及バートモ共ニ本日出發陸行致候、此度ハ以御蔭日毛二千俵ノ御注文ヲモ握リ居リ候事トテ大ニ張り合ヒモ有之、成功ヲ祈リ居リ候

本船帰朝者

ハ大小取り交ぜ、近来珍シキ多人数ト相成リ

日綿ノ加藤(妻・子二) ウェーバー

三菱ノ上野(妻・子一)

三井(メルボルン小麦係) 中島 (シドニー絹係) 多田・水野

高嶋屋岩本、鈴木慶太郎

長倉副領事

等ニシテ、本船二間ニ合ハザリシ由ナル三井ノ石炭係小石川夫妻(子二)ハStアルバンスト成ル由ニ候

丹後丸帰朝者ト共ニ如此多勢ニ攻メ付ケラレテハ、流石ノ毛織会社モ面喰ヒ候事ト存候

Y S B提議羊毛  
資金為替率先約  
ノ件

松島氏ハ早くヨリ此問題ニ考へ及ビ、是非実行希望ノ事ハ御前部長モ業ニ御聞キ及ビノ事ト存  
居リ候、乍併我々トシテハ可成現状維持ノ意味ニテ、柳ニ風ト受ケ流シ居リタル事ニ候

此頃貴方ヨリノ情報ニ拠レバ、三菱ハ羊毛取扱業者ト行動ヲ共ニスル事ハ結構ナレトモ、為替  
取組方法ナドハ各自ノ自由ニ任シテ貰ハネバ、新入者ノ喰ヒ入り様ガナイナド、申シ候ハ、取  
リモ尚サズ、倫敦廻リ取組ガ有利ナ場合ハ、是レヲ利用シテ注文主ヘノ忠義振りヲ表サントス  
ル下心ナル事察スルニ難カラズ、先般当地ニテ同業者協議ノ結果、何レモ得意先ヘ対スル同一  
船積ノ為替率ヲ同一ナラシムベク、其取組日ヲ郵便締切前日ト取極メ、一同頭ヲ列ネテ正金銀  
行ヘ到リ、是レニ関聯セル便宜法其他打合セヲ及スニ至リシ動機ハ、三菱及日本棉花ナド新入  
者ノ希望ニ基キシニ外ナラザルニ、日本ニ於ケル三菱ノ言動ハ是等ノ打合セヲ全然没却セルモ  
ノニシテ実ニ不都合ニ御座候、此問題ニ就テハ好機ヲ捉ヘテ三菱高橋君ノ意向ヲ糺ス考ニ御座  
候ヘトモ、事實問題トシテハ倫敦廻リ有利率ヲ手柄顔ニ振り廻サレテハ、一時的ナリトモ我々  
ノ迷惑少カラズ候ニ付、正金松島氏ト会談ノ節、此事ヲ告ゲ、三菱ノ如ク両天策略ヲ講ズルモ  
ノニ対シ何トカ制裁ヲ加フルノ方法ナキ歟、然ラザレバ正金本位トシテ律義ニ働キ居ル者ガ馬  
鹿ヲ見ル様ナ結果トナラザル様、研究シテ貰ハネバ成ラヌガトノ意味ニテ相談致候ヘトモ、松  
島氏トシテハ仮リニ三菱・三井ノ如キガ便宜上倫敦廻リヲ利用スルナラバ、直為替ハ謝絶スル

ト申ス訳ニモ參ラズ、去リトテY S B本位ノ者丈ケニ特別率ヲ与フル訳ニモ成ラズ、成行ニ任スルノ外ナキヲ如何セント云フ立場ニシテ、金融逼迫ノ為メ全部ノ為替ヲ買ヒ取り得ザルガ如キ特種ノ場合ニハ、先ズY S B本位トスル得意先へ先取權ヲ与フル様ノ便ヲ与フル位ノ事ハ当然ナルベシトノ程度ニ候

而シテ此動機ニ於テ、松島氏ハ再ビ羊毛資金用為替率先約問題ヲ力説致候、其要点ニ曰ク

從來日濠貿易ノ殆ト全部ヲ占メル羊毛用資金ハ概算予想額ニ依テ銀行ガ之レヲ調達シ、萬一不足等ヲ來シテ得意先ノ迷惑トナラザル様最善ヲ尽スニ反シ、若シ實際ノ入用額ガ予想額ニ及バザル事遠キノ時ニ於テモ、是レヲ他ニ轉化スルノ方法ナク、全然銀行ノ責任ニ歸シ居リ、之レニ依テ生ズル利息、時ニハ割リ高ノ資金調達費等ノ一部ヲ為替相場ニ課セントスレバ、忽チ正金銀行ガ暴利ヲ貪ルトノ惡評ノ的ト成リ、銀行トシテハ其苦痛不堪ヘザル処也、元來如斯巨額ノ資金ヲ調達スルニ方リ、確實ナル保証ヲ有シ居ラザル事ハ、銀行トシテノ主義ニ添ハザルモノニシテ、日本ノ本店ニ於テモ最近ノ資金ダブ付キ關係ヨリ、其実狀ヲ知り、意外ナリシトノ意見ヲ申越セル程ニシテ、從來ノ如ク四軒ノ限ラレタル羊毛取扱者トノ關係ノミナレバ、事情モ比較的詳カニ意志ノ疏通モ凶リ易ク、大移動ノ恐レモナカリシ時代ナレバ、正金トシテモ出來ルダケ得意先ノ便利ヲ図ルタメニ、從來ノ方法ヲ講ズル事モ左ノミ苦痛ニハ非リシモ、此頃ノ如ク其數モ増加シ、範圍モ拡クナリシタメ予算動搖ノ限度モ亦擴ク、其内ニハ臨機応變、倫敦廻リヲモ利用

スル事トナレバ、銀行トシテモ到底従来ノ如ク不確定ナル需要ニ対シ、巨額ノ資金ヲ集メオク事ノ危険性ヲ益々大ナラシムル次第ナレバ、次季ノ羊毛用資金ニ対シテハ、是非 Exchange Contract ヲ励行シテ、銀行トシテノ safe guard ノ一ニ備ヘザル可カラズ、是レハ必ズシモ当地ニテ新例ヲ開クニ非ズ、棉花資金ノ如キ、又金額ノ纏リタルモノハ何地モ同一ニシテ、「シドニー」丈ケガ今日迄反則ノ習慣ヲ持続シ居リシモノニ外ナラズ

先約ヲ為スニ方リテモ、正金ガ指定セル日ニ取極メヲ要スルナドノ意味ニ非ズ、其需要額ニ対スル資金調達ニ相当ノ期間ヲ与ヘタル時ニ於テ、相互同意ノ率ニテ取極メ可キモノニシテ、正金トシテハ此先約ニ依テ相場ノ余益ヲ得ントスルナドノ考ヘヨリ来ルニ非ズ、此取極メニ依テ安心シテ資金調達ニ突進シ得ルノ便ヲ得度キニ外ナラズ、毛織会社トシテモ為替相場ノ取極メヲ為サバ、将来ノ高下難計、率ヲ一定シ得テ換算ニモ便利ナル可ク、克ク是等ノ事情ヲ諒解シクレナバ、敢テ異存ハナキモノト思考サル

「シドニー」正金トシテハ此為替先約ナキモノニハ羊毛代金支払前貸ニ応ゼズ、為替ヲ買取ルカ否ハ其時ノ金融状態ニ依リ謝絶スル事アルヤモ難計

為替相場ハ  $\times$  rate 其他ノ関係ヨリ左右サル、モノモ多ク、先約セルモノガ常ニ有利トナル様ノ保証モ hint ヲモ与ヘラレザル事勿論ナレトモ、安心シテ資金ノ無駄ニ成ラヌ

様調達シ得ル事ハ、今日迄無理セル時ヨリモ比較的割良キ資金ヲ手ニ入レ、為替相場モ夫レダケ割良キモノト為シ得ル筈也

此案ヲ実行スルタメニ正金ノ取扱高ガ大減サル、ガ如キ悲境ニ陥ルトモ、止ムヲ得ザルノ決心ニシテ、松島氏理想トシテハ是非勵行シ、更マリタル基礎ノ下ニ大ニ努力ヲ用イタキ決心ナレトモ、先ヅ以テ最大得意タル兼松商店ノ諒解ヲ得タク、兼松ニテ異存ナクバ、他ノ同業者ヘハ直ニ此旨ヲ通告シテ、不同意ノモノ、商売ヲ失フ事トナルモ致シ方ナシ

ト意志頗ル強固ニ御座候

其後筆者ハ広戸・片桐両君ト協議致候ヘトモ、何分如斯新機軸ヲ得意先ヘ持出シ候事ハ頗ル不得策ニシテ、又羊毛注文数ニ依テ大体ノ額ヲ仮約シタル後、買付意ノ如ク成ラズ、延期或ハ取消等ノ場合、其差額ヲ処分スルノ要アリ、損失ト成ル場合、到底毛織会社ガ其責任ヲ負フベシトモ思ハレズ、依テ可成現状維持トシ、今後我々同業者ハ一層責任觀念ヲ以テ需要予想額ヲ正金ヘ報告シ、金銭上ノ義務ハナキモ徳義上、正金ヘ多大ノ迷惑ヲ掛ケザル様ニ意ヲ用ヒル諒解ノ下ニ為替先約ヲ強要セザル事可然トノ意向ニ到達シ、松島氏ヘモ此意ヲ伝ヘ候ヘトモ、同氏ノ考ヘトシテハ早晚ノ帰着点ハ一ナル事既述ノ如クナレバ、是非日本側ヘ説明シテ同意ヲ得テ貰ヒ度シ、為是正金本意トスル兼松ガ第一苦痛ヲ感ズル如クニモ思ハルレトモ、為之



必ズシモ大部分ノ為替ガ倫敦廻リトナル訳ノモノニモ非ズ、羊毛会社及取扱業者ハ其都度相場ノ利害ヲ比較シテ腹ヲ定メルモノナレバトテ、松島氏トシテハ容易ニ口外ハセザレトモ、其代リ倫敦經由ニ負ケザル相場ヲ建ツル事ニ全力ヲ尽スニアル如ク想像致サレ候

（松島氏ノ希望ト期待ハ右ノ結果、円為替ガ倫敦經由ニ比シ不利ナラザル様ニ持チ直スニアル事明カナレトモ、去リトテ金融其他ノ關係上、意ノ如クナラザルヤモ難計ニ付キ、同氏トシテハ言質ヲ取ラレザル様充分ノ用心ヲ以テ、筆者ノ問ニ対シテモ明言ヲ避ケ居リ候）

松島氏ノ意見ハ公平ニ觀テ至当ノモノト可申、夫レガ為メ商売ヲ失ヒ候トモ遺憾ナシト迄決心致サレ候事ナレバ、我々トシテ余リニ異議ヲ申立テ可キ余地ナキガ如クニ候ヘトモ、特種ノ歴史關係ヲ有シ、又於事實外国銀行ガ如何ニ勉強スルトモ、我々ノ期待致シ難キ種々ノ便宜ヲ得居リ候事実モ不尠、当店トシテハ常ニ可成丈ケ正金・兼松ノ利害問題ヲ共通性ノモノトシテ研究セザル可カラズ、頗ル当惑罷在リ候

貴地ニ於テモ此問題ヲ充分御考慮ノ上、得意先大体ノ意向ヲモ御探リノ上、何分ノ御高見御教示ニ預リ度御願申上候

但シ松島氏ハ礼儀トシテ当店ノ諒解ヲ得ルタメニ他商ヘノ発表ヲ見合セ居ラレ候ヘトモ、当方ノ回答不得要領ナレバ、或ハ可然時機ニ於テ実行スル事ニ相成候哉モ難計事ヲモ御含ミオキ被下度御願申上候

右

号外信 大正12年6月26日

奨励会規約訳文ノ件

其後再三「マケロン」氏ト会見研鑽ノ結果、漸ク同氏ト筆者ノ心附キ得ル最善ノ範圍ニ於テ修正及補筆ヲ加ヘタルモノヲ取纏メ得タルニ付キ、過日出帆ノStアルバンス便ニテハ是非共貴方ヘ發送可致、最後ノ検閲ニ取り掛リ居リ候折柄、不幸ニモ筆者ノ健康ニ異状ヲ呈シ候タメ格別ノ事ニハ非リシモ、尠クモ一兩日ハ休養ノ余義ナキニ至リ候タメ、乍遺憾遂ニ同船便ニモ間ニ合ハズ、段々延引ト相成候段奉謝候

同封御送附申上候当方ニテ補筆シタル英訳文書ニハ、特ニ貴方ヨリ御送附相成候原文、即チ宮岡氏ノ訳文ニ藤井重役ガ御修正ヲ加ヘラレタルモノヲ其俣ニ写シ取り、当方ニテ修正セル文句ハ赤字ヲ以テ「タイプ」致シ、不要ノ文字ハ赤筋ニテ抹殺シ、原文ノ字ヲモ讀ミ得ル様ニシ、

原文ト修正案トノ対照ヲ一日瞭然ナラシムル様ニ取計ヒオキ候、而シテ補筆シタル部分乃至注意事項ハ一々備考書ヲ附シオキ候ヘトモ、二三左ニ説明ヲ加ヘ候

一、貴方ニテ疑問ノ焦点ナリシ Employ ナル英語ガ重役ヲ含ムヤ否？ニ就テハ、「マケロン」氏モ貴意同様重役ハ EMPLOYEE ニ非ズ、此區別ヲ明カニセムトセバ、矢張り其意味ヲ書キ表シオクノ要アリ、其見地ニヨリ

第一条ニ “Persons inclusive of Director” ト書キ加ヘ、第二条 (a) ノ場合ニハ、so engaged or employed as aforesaid” トシ、其後モ必要ナ場合ハ同一筆方ニテ、常第二条記載ノ如ク「従務員トハ重役ヲ含ム」トノ意味ヲ表シオキ候ニ付キ、其以外ノ新条項ヲ加フルノ要ハ無之ト存候

二、“ARTICLES OF ASSOCIATION” トシテ、此種ノ規約書ノ冒頭ニ用イラル、場合ハ、会社法ニ拠ル定款ノ熟語ト成リ居ルニ付キ、此訳文ニハ使用シ得ズ、依而他ノ適當ナル文句ヲ需メシモ意ノ如クナラズ、寧ろ単ニ “KANEMATSU SHOREIKAI” トセル方然ル可シトノ意見ニ帰着致候

元来、此訳文ハ外国人株主ニ対スル便宜上翻訳セルモノニシテ、問題ヲ生ズルガ如キ場合ニハ日本文ノ原書ニ拠ル可キ意味ノモノナレバ、却テ「兼松奨励会」位ニあつさり致シオキ候方可然哉ニ愚考致サレ候

尤モ差入書、又ハ委任状等ノ文書中、奨励会規約条項ニ refer スル時ハ、“Articles of

Association of Kanematsu Shoreikai”トシテ更ニ差支ナク、又其方ガ寧口意味明瞭ニシテ是レヲ更ムルノ要ハ無之候

三、Sub-Article ハ普通 item a b c ヲ用フル習慣多ク、又 Articles ノ数字トノ識別ニモ便利ナリトテ斯ク改メオキ候ヘトモ、何レニシテモ大問題ニハ無御座候

Mc 氏ノ意見トシテハ、此規約書ニハ時々同一意味ノ反覆サル、モノアリ、或場合ハ頗ル簡單ナル書方ニテ省略シ得可シトノ事ニテ補筆シ、又ハ注意書ヲ附シオキタルモノ有之候ヘトモ、此種ノ規約書ハ其例僅少ナルタメ、関係者ノ解釈ヲ容易ナラシムルタメ、説明的ニクドク成レル部分モアル可シト説明致シオキ候、依テ或場合ノ Mc 氏修正案ハ原文ト隔離スル事遠ク相成リ、訳文ノ意味ニ添ハザルニ付キ、結局貴方訳文ノ通り御取極メノ事ト存候ヘトモ、或場合ニハ却テ日本文ヲ改メ候方、便利ナル事モ可有之候

#### 差入証及委任状

ハ別々ニスルヨリモ、寧口総括シタル物ヲ一通ト致シオキ候方、便利ナル可シト別紙ノ如ク書キ改メタルモノヲ御送り申上候、其内容ハ貴方作製ノモノト同一ニ御座候

此種ノ奨励行為ハ英国其他ニテモ実行サレ居ルモノ少カラザレトモ、何レモ定款ニ此規定ヲ設

ケアルモノノ如ク、此奨励会条文ノ如キハ誠ニ巧妙ナルモノニシテ、是レ丈ケニ完成セシムルニハ容易ノ業ニハ非リシナルベシト「マカロシ」氏ノ感心致シ居リ候

此訳文ガ愈々完成ト候相成候時ハ態々印刷スル程ノ事モナク、タイプシタルモノヲ外人株主ヘ配与致シオキ候ハ、充分ナル可シト存候

以上

一部林取締役へ直送申上候

取三九号信 大正12年6月28日 安芸丸便

豪社守田治平↓神戸及東京取締役及部長

拜啓

貴信

1280号四月十八日附Stアルバンス便、五月廿八日着

1260〃五月十八日附安キ丸便、六月十五日 〃

1250〃五月廿六日附まどらす丸便、六月廿六日着

林取締役御認め五月十八日附、安キ丸便

何レモ入手拝誦致候

北村取締役

御安着、頗ル御元気ニテ早速重要ナル取引先へ挨拶御巡廻ノ由、御苦勞ノ事ト遙察申上候ヘト

大正十二(一九三三)年

一八九

モ、是レ御健康ノ証ニシテ当方一同御悦申上居り候

## 羊毛

御留守中ノ仕事トシテハ、日本毛織御注文羊毛ガ「ブリスベン」ニ於テハ殆ト手ノ出シ様ナカリシダケ夫レ丈ケ当事者ノ心労モ少カラズ、貴方ニテモ御憂慮相成候事ト恐察致候ヘトモ、其次ニ来ル「シドニー」競市ニハ適當品相当可有之見込ヲ以テ、其當時予報申上候ト同時ニ用心ノタメ値上ゲノ余裕ヲ与ヘラレタク願出オキ候処、値上ゲハ不出来（Type 19 ハ）ナレトモ、品位ノ範圍ヲ拡メラレ、一段劣等品ノ混合モ差支ナキ御指図ニ接シ候処、「シドニー」出品ハ幸ニモ当方予想ノ通り19適當品豊富ニシテ、而カモ初メノ間ハ独乙筋ノ案外静カナリシヲ逸スベカラズシテ、上等品ヲ指値範圍内ニテ買埋メ得タルハ好都合ナリシ次第ニ御座候

上等品6R & 8R何分ニモ理想的ノモノ払底ナルト同時ニ、指値ニテハ買入不出来ナルタメ値増シノ御同意ヲ得タルモ、品位撰択ニハ十二分ノ用心ヲ致シ、七百余俵ニ留り候ハ遺憾ナリシモ、今日ノ場合トシテハ上成蹟ナリシト自信致シ居り候

東京毛織注文R五百俵口モ適當品有利ニ手配行届キ、是レ亦幸ニシテ品質ニ於テ各御得意先ノ御満足ヲ得候様祈り居り候

日毛注文6R + 8R残高ハ来週ノ「ブリスベン」セールニテ買整へ度ク希望致候ト同時ニ Type 19 格ノ新注文乃至其他ノ御用命ニ預り候様祈居候



濠洲旱魃

ハ一時非常ニ悲觀サレタルモ、前便御報申上候如ク遲蒔キ乍ラモ漸ク一般の降雨アリ、愁眉ヲ開クニ至リシガ、最近ニ到リ又々全般ニ渉ル有益ナル降雨アリ、悦ビ居リ候、乍併秋季ラミン  
グ季節ニ有効ナラシムルニハ間ニ合ハザリシタメ、羊数ノ大減少ハ免レ難キ由ニ御座候

従務員俸給表

及店員名簿ニ関シテノ御来意拝誦、当方ニテモ御同感ニ御座候

外人店員

席次ヲ日本人店員ト共ニ設クル事ハ、如今日、当店従務内外人ノ数ヲ増スニ至リ候時ニ於テ便宜ナル可ク、殊ニ順次外人店員株主モ増加スルニ於テ尚更ト感ジラレ候、但シ外人ハ概シテ年長者ニ敬意ヲ表スルノ念強ク候ニ付、当店トシテハ時ニ異例ヲ設クルノ要ナキヲ難期候ヘトモ、現在ノ状態ニ於テハ其斟酌ヲモ要セザル順序ト存ジラレ候、自然北村取締役ト御協議ノ上便宜御取計ヒ被下候事ト存候

二就キ御詳報奉謝候、於大体当方ニハ異存御座ナク、当方勤務者ニ就テハ当然北村取締役ノ御意見ニ依リ可然御取計被下候事ト存候

敬義丸災害小麦

契約取消ニ関スル当方ノ行為ハ頗ル御不満ニシテ寧口乱暴ト云フ可ク、日本製粉ヨリ突込マレ居ル点ハ「身代リ品ヲ買ハントスレバ相場暴騰シ居ルニ拘ラズ、罰金ヲ出シテ周章テ前契約ヲ取消シタル理由如何」ト云フニアリ、是レニ対スル御答弁ニ究ラセレ候御来旨敬承致候

此御不審ハ一応御尤ノ如クニシテ、其当時、当方当事者ヨリ経過ノ報告ニ其要ヲ尽サ、リシタメ、如此悶着ヲ惹起致シ居リ候様ニモ觀察致サレ、汗顔ノ到リニ御座候

抑々貴電御来意ニ基キ、契約取消シカ、又ハ無条件積出シ延期ヲ西濠小麦団体へ交渉シタル時ハ、相場ガ向上スベシトハ何人モ予想シ居ラザリシ場合ニシテ、取消シ見合金トシテ西濠供給者ノ要求ハ「Fair」ナルモノト認メ候ニ反シ、積出シ延期ノタメニ生ズル費用ノ莫大ナルト是レニ伴フ危険ノ多キヲ思ヘバ、貴方ヨリモ直ニ取消シ御来命ト成ラン事モ当然ナリシト思考致シタル次第ニ御座候

其時ニ於テ「ビクトリア」州小麦相場騰貴ノ事ヲ知り候ニ付、此西濠小麦ヲ寧口転売シテ、災変ジテ幸ヒト為サシムルノ方法ヲモ講ジ得ラレザルモノニヤト心附キ候事ハ、我々商人トシテ当然ノ次第ニシテ、又之レガ双方ノ諒解ヲ得テ行動致候以上、何等躊躇スベキ性質ノモノニ無

御座、乍併西濠売方へ対シテ初メヨリ転売ノ提議ハ策ノ得タルモノニ非ズ、不取敢、西濠売方ヨリノ提議ニ対スル回答期間ノ延期ヲ交渉致候ヘトモ、容レラレザル処ト相成候タメ、一方是レガ転売ニ就テ種々研究シタルモ容易ニ商談ニ応ズルモノ無之、最後ノ手段トシテ西濠売方へ対シテハ「相場後上リノ折柄、少クモ無条件ニテ契約取消方」強要致候ヘトモ、是レ亦同意ヲ得ル能ハズ、頗ル当惑致候次第第二御座候

申ス迄モナク、常ニ小麦ハ日本行トシテ買約致シ、契約書ニハ東洋又ハ阿仏利加行ト限定サル、ヲ例ト致シ居リ候ニ付、転売セントセバ日本行又ハ阿仏利加行ノ範圍ナラザル可カラズ、日本行トシテハ其当時トシテハ商談遅々トシテ進マズ、阿仏利加行トシテハ概シテ Pool ガ直接ニ売買スルカ、然ラザレバ一筋繩デハ行カヌ危険性ニ富ンダル連中ヲ対人トセザル可カラズ、仮リニ買人アリトスルモ直ニ契約面、荷物引取り期間内ニ積ミ取り得ル船便アリシヤ、否無カリシ事モ疑ナク、然ラバ積取延期ノタメ莫大ナル費用ヲ負担サル、事ト相成リ、其当時 Vic 州ガ称へ居リシ相場ニ比シテモ、決シテ何人モ飛ビ付キ来ルベキ筈無之、一方 Vic 州ニテハ高値ヲ称へ候ヘトモ、必ズシモ此唱へ値段ニテ商談成立セルモノトハ難期、英米ヨリノ入電相場ニ依テ變動致候モノニツキ、果シテ此高値ガ永續スベキモノナルヤ否モ判断致シ難ク、現ニ此頃ノ Vic 州唱へ値ノ變動如何ニ甚シキカ

六月六日 64  $\frac{1}{4}$  シンス、七日 64 シンス、八日 62  $\frac{1}{2}$ 、十一日 62  $\frac{3}{4}$ 、十四日 62  $\frac{1}{4}$   
十六日 63 シンス、二十日 62  $\frac{1}{2}$ 、廿一日 61  $\frac{1}{2}$ 、廿七日 61 シンス

実ニ其高下日ナラザルハ、其都度ノ電報ニテ貴方ニテモ御熟知ノ如クニ有之、否世界の各方面ヨリノ相場変動ヲ日夜御研究相成候本業者トシテハ、相場ノ高低ガ宵越シノ標準ニ成ラザル場合多キハ贅言ヲ要セズ候

貴方ニテハ其後ノ結果ニ依テ御立論相成候如ク、其当時我等モ相場ノ後上リヲ見定メ得タナレバ、或ハ西濠売方ノ回答期限等モ念頭ニ措カズシテ、徐々ニ有利ナル方法ヲ講スベク貴方へ御相談申スベキ腹モ出来タル事ナランモ、若シ反対ニ其後ノ相場逆調ヲ見ルニモ至ラバ、益々其災ヲ大ナラシムルノ危険多く、乍遺憾意ヲ決シテ契約取消ヲ断行致候当方ノ行動ハ、聊カモ非難ヲ受ク可キモノニ非ル可シト確信致居候儀ニ御座候

此程度ノ説明ニテハ未ダ御満足ヲ難得哉モ難計候ヘトモ、可然御説明ノ上、日粉ノ御諒解ヲ得ラレ候様偏ニ御願上申候

## Exchange

先般松島Y S B支配人ノ個人的注意ト為替市況ノ形勢ヲモ考量シ、御相談申上候先約為替率取消ノ事ハ、貴方ニテハ依之倫敦廻リ取組ミ(Topノ如ク他品ニ流用)ノ便法ヲモ見捨テ候意味ナルガ如ク御了解相成候様ナレトモ、当方ノ案ハ不利ナル為替先約率丈ケヲ取敢ヘズ取消シ、有利ナル率ニ乘リ替へ、London 廻リノ有利法ヲ利用スル意味ナリシ次第ニシテ、其当時ノ松島氏意向トシテモ「シドニー」支店取扱商売ヲ減ズル事ヲ防グ希望ヨリ、右為替取消案ヲ注告

シクレタル意味ニハ非リシモノニ御座候、今ハ過去ノ事ニシテ更ニ言及ノ必要モ無之如クニ候  
ヘトモ、此点ニ於テ充分意志ノ疏通ヲ図ラレザリシ様ニツキ、為念申加ヘ申候

(以下追便ニツヅク)

六月廿六日發貴電、翌日曜日拝見

倫敦廻リ為替愈々  
羊毛ニ及ブ

日毛会社ニ対シ、同業者既ニ倫敦廻リ手形実行シツ、アリ、当店ニ対シテモ実行過日来  
嚴重ナル要求アリタルニ付キ、神戸正金ハ東京頭取席ニ対シ根本的目下交渉中ナレド、  
差当リ何トカ緊急手段ヲ講ズルニ非レバ当店ノ立場ナシ、故ニ正金神戸支店特別取計ヒ  
ヲ以テ

日毛 K/17 一千五百俵ニ対シ Bk. of Austria 經由 London 廻リ D. C. 信用状電送スル、  
シドニー正金支店ニ対シ、事情ヲ説明シテ充分依頼了解アリタシ

正金神戸ヨリモ同様ノ意味ヲ電報シタ

トノ御詳報ニ接シ候ニ付、早速該訳文ヲ松島支店長ニ示シ、説明致候ト同時ニ今日ノ形勢ニテ  
ハ最早当店独リ之レヲ堰止メントスル事、不可能ト成レルノミナラズ、此問題ハ早クヨリ屢々  
研究ヲ乞ヒオキ候重大事ニモ有之、当店トシテハ正金銀行、特ニ「シドニー」支店ノタメニ最  
善ヲ尽シ居リタル事モ充分諒解サレ居ル事ト確信致候ニツキ、止ムヲ得ザル事トシテ快諾ヲ願

フノ外ナシトノ意味ニテ懇談致候ヘトモ、結局、今日迄ニ再三再四意見ノ交換ヲ致候事ヲ貴方へ御報申上候モノト同様ノ事ヲ繰リ返スノ外ナク、松島氏トシテハ是等ノ事情ヲモ克ク諒解致、大切ナル商売ヲ失フ事ハ残念ナレトモ、去リ迎未ダ倫敦廻リニ對抗スベキ有利ノ率ヲ建ツル事不可能ノ立場ナレバ、我等ノ要求ニ反抗スベキ理由ナク、且ツ兼松ノ如ク日本ノ正金銀行トノ縁ハ切レザル仕向ケナレバ、正金銀行全体ノ立場ヨリスレバ、依之兼松対正金關係ニ格別ノ影響ヲ及ボスベキトモ思ハレズ、成ル可ク「シドニー」支店ノ取扱額モ余リニ多ク減少セザル様御願申スノ外ナシトノ松島氏ノ挨拶ニ有之候ニ付、其旨折返シ電報申上オキ候

而シテ其間少シモ松島氏ノ感情ヲ害セルガ如キナキハ勿論ニテ、既ニ正金ヘモ談シオキタル式千俵口ハ、此際依然正金銀行シドニー扱ト致サレ候御取計ヒ方ヲ多ト致サレ居リ候

吉野丸便ヲ以テ御報申上候羊毛為替額先約ノ問題ハ、愈々必要ト相成候松島氏ノ意見ニ御座候、同氏ノ云フ其理由トシテハ、将来ハ結局為替相場ノ出合次第ニシテ、倫敦廻リトナルカ、日本行直為替ト成ルカ予想不可能ノ事ト可相成、如此全然不安定ナル巨額ノ資金ヲ単ニ銀行ノミノみニテ準備シ得ザル事ハ当然ナレバナリト云フニアリ、是レ誠ニ至当ノ意見ナレトモ、要ハ為替相場ノ如何ニアリ、正金円相場ガ少クモ倫敦廻リニ比シ不利ニ非レバ、強テ之レヲ倫敦廻リトスルノ要無之、加之為替先約ハ羊毛会社ニ対シ新機軸ヲ開ク事ニツキ、実行頗ル困難ナルヲ恐ル、事ヲ説明致候

松島氏今日迄ノ決心トシテハ、夫レガタメ不幸ニシテ為替取扱高ガ非常ニ減少致候ハ、之レ

亦止ムヲ得ズト迄申シ居リ候ヘトモ、夫レト同時ニ又我々ノ意見及羊毛会社ノ意向ヲモ確メ、何トカ都合克ク実行可能ト相成候様、我々ノ援助ヲ希望致シ居ル次第ニ外ナラズ候  
続テ六月一日發貴電ニテ

Exchange 目下ノ処、根本的解決ノタメニ、シドニー正金支配人一時帰朝スル様神戸正金支配人ヨリ東京頭取席ニ対シ申請シタ、貴店参考迄ニ

トノ御来意拝承致シ候

依テ一兩日後、正金ノ様子ヲ探ネシモ、未ダ之レニ関スル何等ノ入報無之由ニ付キ、当方ヘノ入電ニ依レバ、或ハ松島氏ノ一時帰朝ヲ乞ヒ、談合研究致シタキ意向アルガ如クニシテ、之レハ単ニ当店参考迄申来リシニ過ギズト耳ニ入レ候処、松島氏ノ意見トシテハ、特ニ帰朝スルトモ現在ノ状態以上ニ研究ノ余地ナシ、唯今後資金及金利ノ都合ニテ割宜キ率ヲ建テ得ル時ハ勿論夫レダケノ勉強ヲスルノ外ニ方法ナシ、其他ハ成行ニ任スノ外ナキナリトノ決心ナリシガ、其後承知セル処ニ依レバ於大体右ノ意味ヲ根本トシ、詳細ナル電報ヲ日本ヘ發シタル由ニ御座候間、自然貴店ニテモ大塚支配人ヨリ御聴取ノ事ト存候

要之如何ニ正金ノ力ヲ以テシテモ時勢ニ反抗スルヲ得ズ、成行ニ任シテ最善ヲ尽スノ外ナシトノ結論ニ候

当店トシテモ、自然 D.C. 信用状使用額益々増加ノ止ムヲ得ザル事ト可相成候

依テ Bk. of Austria 支配人ト会見シ、恩惠的ニ今回ノ羊毛為替分譲ノ事ヲ報ジ、尚ホ今後ト

テモ可成同銀行經由ト致シ度キ希望モアレトモ、金融多忙季ニ当リ、我等ノ要求額ヲ引受ケザル様ニテハ安心難成、結局、其全部ヲY S B 扱トスルノ外ナケレバ、充分ノ考量ヲ与ヘラレタシトノ申出ニ対シ、同支配人ノ予想トシテハ次ノ羊毛季ニハ夫レ程困究スル事モアラザル可シトノ意向ニ御座候

而シテ羊毛ニ限り、延滞日歩6% (普通6 1/2%)

他州送金無料取扱

ノ取極メヲ明カニ致シオキ候

守田メルボルン  
出張

「メルボルン」新事務所借入レモ大体決定致候ニ付、同所見分ト造作其他ノ相談ニ応ズベク、併セテ諸方面ト顔継ギノ目的ニテ、本月五日夜発、九日朝帰店ノ飛脚旅行ヲ相試ミ候

「メルボルン」支店ハ格別多クノ造作費用ヲ要セズシテ、相当体裁宜キモノト為シ得ル見込ニ有之、其他一般事項ニ関シ、谷口君トモ充分談合ノ機ヲ得候ト同時ニ輸出関係取引先キニモ可成丈ケ同君ヲ紹介致シオキ候

Bk of Austria 総務部ニハ嘗テ「シドニー」支配人タリシ人アリ、同氏及「メルボルン」支配人トモ会谈ノ上、今後ノ取引増加ノ際ハ充分ノ便宜ヲ与ヘ候様ニ談ジオキ候



Lincoln Mills

専務「ローランド」氏八年来ノ智己ニ付、会见ノ機ヲ作り、同社姉妹会社タル Port Phillip S&C Mills 専務ニハ初対面ニシテ、既二三井ガ喰入り居リ候事ヲモ知り、当店モ最近 Top ノ商談成立致候ヘトモ、今後モ有望ナル取引先ノ一ト認メ候（ノーブル・コム十二台アリ）

Geelong Mills

ガ民間ニ払下ゲラレシ事トテ、其引受人及工場支配人等ニモ会见致候ヘトモ、「Top」製産力トシテハ「ノーブルコム」三台ノミナレバ、「Top」ノイルハ問題ニ成ラズ、同工場ハ毛布其他ウールン・織物専門ナルヲ確メ候

小麦

関係者ニハ総テ会见致シ候

序ヲ以テ Dept of Home & Territory ノ次官ニハ鈴木総領事ノ紹介ニテ往訪致候処、好機ナリシト認メ、当兼松商店ノ歴史ト主義ヲ簡單ニ広告致シオキ候、同次官ハ我々外国人入国又ハ滞在ニ関スル鍵ヲ握リ居ル人ニシテ、此会见ハ兼テヨリ筆者ノ望ム処ナリシガ、無意味ナラザリ

大正十二（一九二三）年

一九九

シ事ト存ジ居リ候

ブリスベン出張

来週ノ「セール」ニ列スベク、広戸、Cos 両君ハバート、リードト共ニ今午後発足、此機会ニ於テ片桐君モ同市へ出張シ、羊毛実習ト輸出關係一般ノ研究ヲ重ネベク、明日北行ノ事ト相成候

日毛永井氏モ久シブリニテ、今回ハB市行ト相成候

溝渕

店員ハ昨廿七日夕發「メルボルン」見学ニ赴キ、此機ニ於テ「アデレード」ヘモ延張ス可ク、約一ヶ月ノ予定ニ御座候

右

(最早時間無之、以下次便ト致シ、今追状ハ広戸君ニ托シB市ヨリ投函致候)

取四〇号信 大正12年7月13日 イースタン号便

豪社守田治平↓神戸及東京取締役及部長

拝啓

前報後入船無之、貴信ニ不申接候

丹後丸ハ貴地出帆ガ約十日後レト相成候上ニ途中ニテモ亦余日ヲ要セル如ク、本月十八日当地着ノ予定ニ御座候

倫敦廻リ為替取組 六月廿七日附貴電ニテ

東京正金銀行頭取席ニテハ成行止ムヲ得ズトシテ、試ニ正金〇〇信用状相当多額発行ノ覚悟ナリト解ス、次季トップ及羊毛大部分倫敦廻リ手形取組ム（決心ナリト推訳セルモノガ照校後）ト仮定シテ（トナレリ）全濠銀行為替取組差支ナキヤ、尤モ Red Clause

大正十二（一九二三）年

1101

(困ル、ト推諱ガ)、稍々困難(ノ)恐レアリ、上記ノ条件是非入用ナリヤ、意向取調  
ベノ上、折返シ返電

トノ御来意拝承致候

此問題モ既ニ業々最善ヲ尽シテ遂ニ行キ詰リト相成リ候今日、是レガ開展策トシテ具体的ニ倫敦廻リ為替取組方法ニ備ヘオクノ要アルハ当然ノ成行キニツキ、行キ違ヒ安キ丸便ニテモ上伸致シオキ候如ク、筆者ハ既ニ全濠銀行支配人ノ意向ヲ確メ、又「メルボルン」出張ノ節モ同行総務部ニ下談シヲ致シオク事モ同行腹案ノ一ナリシ次第ニシテ、其結果、後日当店ガ全濠銀行本位トスルトモ、金融ノ障害ヲ来スガ如キ事ハ萬々可無之予想ニ御座候ヘトモ、右貴電ニ依リ尚一層銀行ノ意向ヲ確メ可ク、シドニー支配人「ノーマン」氏ト会见致候、会話ノ模様ハ後日ノ参考用手控ヘトシテ記録ニ存シオキ候ニ付、御参考用トシテ其写ヲ添附供貴覽候

貴方ヨリノ電報ハ生憎ニモ誤着ノ字多ク、推諱シタルモノハ於大体今後ノ殆ト全部ガ London 廻リトナル可ク御決心相成候様諒解致シ候タメ、筆者ガ全濠支配人ニ対セル時ノ心持チハ、貴方ノ御来意ヨリモ少シク強スギタルヤニモ後ニテ感ジラレ候ヘトモ、而カモ今日ノ場合、具体的ノ相談ヲ進メ候事ハ尚早ナル事、銀行モ当店モ同様ノ立場ニ付キ、下調べノ意味ニテ会谈セル事ハ別紙記録ノ如クニ御座候

便宜上、前便既報事項ト今回会谈ノ結果トヲ綜合シテ、要点ヲ記述致候ヘバ如左ニ御座候

銀行トシテモ今ヨリ責任ヲ以テ金額ヲ約束スル訳ニモ行カズ、又当店トシテモ同様ナレ

トモ、次ノ羊毛シーズン中、当店ガ倫敦廻リ需要額ヲ羊毛・トップ其他ニ宛テ約二三十万£一ヶ月平均ト仮定シテ、全濠銀行ハ之レガ金融ニ故障ナシト信ズ

羊毛買付後、十四日内ニ代金支払ノ要アリ

普通ノ場合、羊毛買付後、一ヶ月内ニ積出シ得ルト仮定シテ、銀行ヨリノ前貸シハ最長約十四日位ノ諒解ノ下ニ Red Clause ナシノ L/C ニテ過振リスル事ニ異議ナシ

羊毛代支払貸越シ額ノ利率ハ 6% P/a トス

(但シ必要ニ応ジ、他ノ商品モ同率トナシ得ル見込)

内地送金料 (Interstate Exchange) 不要

等ニシテ、全濠銀行トシテハ出来ルダケノ便宜ヲ図ル事ニ吝ナラザルハ勿論ニ候

「ブリスベン」ヨリ積入レベキ羊毛ニ対シ、為替取組ミ候場合、従来正金シドニー支店ガ取計ヒ候如ク、B/Lハ「マント」ヨリ神戸正金ヘ直郵スルモノトシテ、「シドニー」ニテ本船出帆ノ時ニ為替引受ケ候様ノ便法ハ全濠銀行トシテハ取計ヒ得ザル事ニシテ、現在ハ「ブリスベン」ニテ羊毛 B/Lヲ全濠ブリスベン支店ヘ渡シタル時ニ於テ、「シドニー」ニテ為替引受ケノ取極メト致シ居リ、其他時々ハ幾分ノ不便ヲ免ズ (Y S B シドニー取計ヒニ比シ) 候ヘトモ、漸次進歩致候事ト存候

依テ右ノ事情ヲ折返シ御報告申上候ニ付、其御含ミヲ以テ御立案被下候事ト存候要之、so far 我々ノ確メ得ル程度ニテハ London 廻リ取組ト決心スル事ニ於テ、何等障害ノ

恐レナク、寧ロ一層有利条件ノ加リ候次第ニシテ、不幸ニシテ正金ノ建相場ガ依然不利ナルヲ免レザルニ於テハ、相当ノ程度迄倫敦廻リニ改ムルノ外無之、自然貴方ニテモ正金銀行トノ諒解ヲ一層満足ナルモノヲラシメ、是レガ実行ノ歩ヲ進メラル、ノ外ナキ事ト奉存候、当地正金支店ヘ対シテモ誠ニ見合悪キ立場ナルハ申迄モ無御座候ヘトモ、松島氏トシテモ今日ニテハ当店ノ立場及態度ハ充分ニ諒解致シ居ル筈ト信ジ、又松島氏モ既ニ決心致サレ居候事モ再三御報申上候如クニ御座候

敬義丸小麦宛先約為替流用ノタメ、残額三万五千£ヲ倫敦廻リトシテ是非七月積ニスベク御決心相成候御来電拝承致候、後日倫敦廻リ相場ガ一般的標準ト相成候様ナレバ、此倫敦廻リトスル事モ無価値ト可相成点ヲ恐レ、斯ク御急ギ相成候事ト同感ニ御座候  
 当方ノ都合差支ナキ事モ、折返シ電報申上オキ候如クニ御座候

其結果、丹後丸積トシテ既約大阪モス羊毛以外ノ正金為替取組額ハ、漸ク数千£精々ノ予算ニ有之、頗ル廻リ合セ悪ク候ヘトモ、是レ亦止ムヲ得ザル次第ニ御座候

X rate 動揺

去ル二月ニ於ケル形勢ハ \$4.86 ニ漸進ツツ、アル如ク \$4.72 ヲ表スニ至リシガ、三月ニハ \$4.70 近辺ニ引キ戻サレ、四月ニハ引続キ低下 \$4.63 ト成リ、其後上下小異動アリシモ

## 英国金利

最近七月六日頃ノ電報ハ \$4.35 ノ大下落ヲ表シ、其主因ハ英国筋ガ米綿買入レ其他纏リタル取引アリシタメノ如クニ報ゼラレシガ、其後ハ又漸次持子直シノ気味ニテ、昨十二日附電報ハ \$4.58  $\frac{1}{16}$  ト相成候由、此變動ハ忽チ日英及日濠間ノ相場變動ニモ刻々影響ヲ来シ、日々相場ノ高下ヲ見ルニ至リシガ、現在ノ相場ハ結局六月廿日ニ於ケルト同様ト相成り候、但シ七月四日シドニー正金ニテハ

売 T/T D/D 買 D/D Paper 30 days 丈ケハ据へ置キトシ

買 Credit ノ全部及 Papers 60.90 days 及 4 m/s  $\frac{1}{16}$  下リ

ト改メ候タメ、従前ノ建相場ニ比シ D/D 及 Paper 30 days ノ外ハ  $\frac{1}{16}$  方不利ト相成り候

ハ七月上旬ヨリ愈々4%ニ引上ゲノ事ト相成候

其理由トシテハ英米  $\times$  rate 引上ゲノ目的ニシテ、米国人ガ倫敦ニテ低利ノ資金利用防止策ニモアル由伝ヘラレ候

## 濠洲旱魃

影響ノ状態ヲ総括的ニ評セル記事、御参考ノ一助トモ可相成ト存ジ、書キ抜キ添附致オキ候

シドニー不動産

建物内外修繕完結、広告其他ノ方法ヲ以テ種々奔走尽力致シ居リ、相当ノ照会者ハ有之候ヘトモ未ダ確タル借人無之、苦心罷在リ候

何分ニモ一般的不景氣ノタメ、此際特ニ手抔ノ office ヲ需ムルモノ少ナク、多クノ場合ニ於テ容積ガ大ニ過ギル事ガ欠点ナレトモ、之レヲ仕切り候ヘバ、直ニ光線ノ不充分ト便所其他ノ設備ガ不便ト相成候タメ不適當ト相成リ、目下行キ惱ミ状態ニ御座候ヘトモ、是レモ商売同様ニシテ貸方ノ意ノ如クニノミハ參ラズ、殊ニ近来最新式ノ建物ガ諸方面ニ続々増設サレツ、アル時ニ於テオヤ尚ホ更困難ニ候ヘトモ、引續キ研究奔走中ナル事、勿論ニ御座候マカロン、バーンスモ一階使用シタク研究致シクレタレトモ、商売柄多クノ Private office ヲ要シ候タメ光線ト空気流通ノ關係上、不合格ト相成リ候

奨励会規約

訳文既送セルモノ、内、Page 10 Article 14, 1st line 二

In all other respects that toアルハ than ノ誤リ

ニ御座候事ヲ發見致候ニ付、御訂正被下度候



委任状

Coss、Guntton、Turner、三株主署名ノ上、御来旨ノ通り前便ヲ以テ御送申上置候間、已ニ御入手被下候事ト存候

シドニー記念事業

ニ関シ、此頃 Dr. Purdy ハ Sydney Hospital ノ Secretary 同伴来訪致候ヘトモ、此問題モ北村取締役御帰朝中、何トカ決定サル、予定ナレバ、何レ今年末頃御帰濠ノ上ニテ、更メテ御相談申上ル事トモ相成ルベシト挨拶致オキ候

羊毛

本月初頭ノ「ブリスベン」セール（則チ 1922-23 季最後ノセール）ニテハ、優良品頗ル払底ナリシ事、乍遺憾吾人ノ予想セル如クニシテ、從テ相場モ強調ナルヲ免レズ、日毛 6R・8R 指値範圍ニテハ見込薄ニモ有之候折柄、三井モ他注文宛トシテ同品位ヲ目ガケ居リ候模様ニ付キ、応急手段トシテ三井ト握手、競争ヲ避ケタル結果、漸ク指値ニテ 190 俵ヲ手ニ入レ得タルハ寧口好都合ナリシ結果ト存居リ候、其後ポート・ファイル・ミルヨリ適當品ヲ買ヒ足シ、結局一千俵ノ御注文ニ対シ約五十俵ノ不足ト相成リ、是レ以上ハ指値増シノ御注文アルトモ、纏リタル適當品ハ到底手ニ入り難キ状態ニ有之、乍残念不得止次第二御座候

委細依例部状ヨリ御詳報申上候ヘトモ、秋季セール開始前一ヶ月乃至二週間内位ニ当方見込相

場等電報可申上広戸君腹案ニ候ヘトモ、先ヅ以テ今日ノ相場足取りヲ標準トシテ大差ナカルベキ見込ニ御座候

小麦

ハ最近幸ニシテ日粉注文二千屯 59 1/2 ペンスヲ結び付ケ得タルモ、其後米国ハ次季ノ大豊作ヲ見越シ、相場暴落 99 7/8 ニシテ \$1 以下ノ珍値ヲ表シ、如此値段ハ実ニ生産費以下ナル由、電報ニテ承知致候、如此形勢ニテハ到底濠洲麦ノ商談覚束ナキ事ト悲觀罷在リ候

タロー

ハ其後モ引続キ繁昌ノ好況ニシテ、一般的閑散ノ折柄、重要商売ノ一二有之、貴方ニテモ相当ノ好収ヲ拳ゲラレ候様祈リ居リ候

Cotton Grey  
Sheeting

麦粉袋用布トシテ不断ノ努力ノ結果、漸ク此頃シドニー及メルボルンヨリ K K K 印ノ試験注文ヲ得ルニ至リ、貴方ニテモ特別ノ趣味ヲ以テ将来ノ發展ヲ期スベク最善ノ努力ヲ用イラレ候事ハ疑ナク候ヘトモ、愈々此布ヲ使用シテ麦粉用ニ適セザル様ノ事トモ相成候ハ、一大事ニ有之候ニ付、如愚念ニハ候ヘトモ、品位嚴重ノ撰択、荷造リノ完全、積出期ノ正確等十二分ノ御注

意御願申上候

右

大正十二(一九三三)年

二〇九

取四一 号信 大正12年7月31日 丹後丸便

豪社守田治平↓神戸及東京取締役及部長

拜啓

貴信

151 号六月十四日附丹後丸便、七月十九日着

152 号六月廿六日附あらふら便、七月廿八日着

及林取締役御認メ六月十九日附拝誦致候

北村取締役

二ハ各種重要事項御協議ノ上、得意先及関係先トノ御応接ニ寧日ナキ御繁忙ノ模様ハ貴状ニ依テ拝承致候ヘトモ、而カモ引続キ御元氣ニ壯者ヲ凌ガレ候御様子ハ、我々ノ敬服御悦申上候処ニ御座候

前田取締役

御留任御承引被下候経過及内容ハ、取締役状及前田取締役御認メ状ニ依テ逐一敬承致候  
当店上下一統ノ真意ト希望ハ、北村取締役ニ依テ無遺憾貴方各位ニ通ジ居リ候事ハ無疑候ニ付、  
茲ニ重テ贅言ノ要モ可無之ト存候ヘトモ、前田取締役留任御承引ノ事、我々一同衷心ヨリ感謝  
罷在候処ニ御座候

第八回定時総会

ハ予定ノ通り五月三十日芽出度御執行済ノ由ニテ、營業報告及決算表ト共ニ御詳報ニ預リ難有  
御礼申上候、營業報告ハ依例株主一同ノ回覧ニ附シオキ候

第二紀念事業

寄附金宛ニ決算前拾萬円支出ノ事ニ御決定相成候由拝承致候

東亜製粉貸金

取立其後ノ経過ニ関シ、林取締役御詳報拝誦致候、御当局特別敏捷ノ御尽力効ヲ奏シ無恙全額  
回収ノ事ト相成候由、大ニ安堵致候次第ニシテ深ク御同慶申上候

最後ノ入金解決ノ上ハ其内五萬円ヲ第二紀念事業寄附金ニ追加スル事ニ御決議相成候由、是亦  
 拝承致候

### 新株払込

御予定ノ通り五拾萬円ヲ特別配当トシテ御分配ノ上、早速第二回払込ニ宛テ、払込資本四百萬  
 円ト相成候由、御同慶ノ至リニ堪ヘザルト同時ニ御配慮奉謝候

### 中元昇給

佐野・坂神・藤原三準店員ニ対シテハ キツト御確定相成候由承知致候

### 中元給与

シドニー従務者ニ対スル御給与額ハ、御指図ニ従ヒ便宜上一同集合、日本側決算ノ概要ヲ説明  
 シ、世界的不景氣風ニ魘ハレ、同業者ノ大部分ハ減給、経費節減等ヲ余義ナクサレツ、アル時  
 ニ於テ、中元給与ヲ受クル立場ニアル我々ハ、如何ニ幸ナルカヲ思ハザル可カラザルト同時ニ  
 将来益々奮勉、心ヲ一ニシテ商店ノ發展ヲ期スルノ覚悟ヲ要スル事ヲ戒シメ合ヒオキ候

外国人株主三名ニモ同様ノ意味ヲ伝ヘ、尚日本及「シドニー」ニテモ又復紀念事業ノタメニ積  
 立金ノ勵行ヲ開始致シ、我々ハ常ニ我々自個ノ利益ノミナラズ、公衆ノタメニモ復拈ク尽ス処

アラン事ヲ期スルト共ニ、故人兼松翁ヲ濠洲ニモ永久ニ記念スベキ遠大ナル意志ノアル処ヲ説明シ、何レモ其成功ヲ祈リ、此類稀レナル計画ニ対シ敬意ヲ表シ候  
前田幸一ヲ店員ニ昇格ノ御沙汰ニ接シ候ニ就テハ又特ニ注意ヲ与へ、同人感謝ノ意ヲ表シ候ト  
同時ニ其名ヲ恥シメザルノ決心堅キモノアル事ヲ衷心ヨリ表示致シ候

中元給与、配当及特別配当ニ就テハ自然直接貴方へ御挨拶可申上事ト存候ヘトモ、尚筆者ヨリ  
モ一統ニ代リ深ク謝意ヲ表シ候様依頼ヲ受ケ申候、一同衷心ヨリ感謝致居候事勿論ニ御座候  
甚ダ欠礼恐縮ニハ御座候ヘトモ、守田ヨリモ今状ヲ借り、取締役諸賢ニ対シ厚ク御礼申  
上候

外人「イースター」給与表ノ内、Comery ノ名ガ記載洩レト相成リ居リ御注意奉謝候、同人ハ  
乍残念将来ノ見込無之、「イースター」前、本年三月十二日解雇致候タメニ有之、貴方ノ御記  
録ヲモ御改メオキ被下度願上候

シドニー会社利  
益処分

第一期純益金ノ内

五〇〇〇£ヲ紀念事業寄附引当積立金トシ

大正十二(一九三三)年

二二三

残六二一一 $\frac{8}{3}$ ヲ次期へ繰越シ金ト致候事

御来命ノ通り重役会議録へ記帳致候

シドニー会社取  
締役

改選ノ時、「マカロン」及守田両名ノミヲ再選致候理由ノ一端ハ、其当時モ御報申上オキ候如クニ御座候ヘトモ、大体ニ於テ貴方御想像ノ如クニシテ、北村取締役ハ全然特種ノ御仁ニシテ如斯必要ハ何人モ認メザル立場ヨリシテ斯クハ取計ヒオキ候次第ニシテ、Private Companyトシテハ当地ニモ此種ノ習慣皆無ニハ無之由ニ御座候

退職者慰勞

四方・妹尾両氏慰勞金振合ニ関スル御説明拝承致候、頗ル御至当ノ御処置ト奉存候

日濠両社決算報告新聞広告ハ、頗ル体裁宜キモノト拝見致候（但シ Profit ガ Profit ト誤リ居リシ事ハ既ニ御心附キト存候）

日毛苦情解決

本件に関し、前田・藤井両重役御執筆丹後丸便御来示の趣、逐一難有拝誦仕候、重々御深慮の



程感銘罷在候

曩きに本件落着の転末に關し、縷々御詳報ニ接し申候當時、貴方格別の御芳志と御意の存する処とを反読翫味致候、弊方幹部一同衷心感謝の念を禁する事能はざりし処なりしも、文意の足らざる所有之候はゞ、不惡御目溢しの程御願申上候

却説、日毛は申上候迄も無御座、其他の御得意先に対し、夫れ々々将来の買付を遂行するに際し、如何にせば最も克く各得意先の希望に副ふ事を得べきやに就き、向後益々研究の上にも研究を重ね、以て一方に於ては御得意先の満足を贏得ると共に、引続き倍旧の愛顧と信頼とを獲得するに努力し、他方に於ては苦情を惹起する様な素因を作らざる様工夫致度冀望不堪次第に御座候間、今後共、御心付きの点又は心得と可相成事項は無御遠慮御申聞せ被下御垂教賜度、特に奉懇願申上候

(此項広戸茂吉認)

NZ Swift ト三井

過日 Swift ノ Mr. Denny 来店致候時ノ談ニ、三井ヨリモヘKノ同様ノ取計ヒニテNZ羊毛買次ノ交渉ヲ受ケタルニ対シ、未ダ確答ハ与ヘ居ラザレトモ、当店ノ意見如何ニヤ、Swift トシテハ依之商売ガ増加致候事ハ第二トシテモ、斯ク両店ノ注文ヲ一手ニ取り纏メ得バ、自然無用ノ競リ合ヲ防ギ得ル点ニ於テ、双方ノタメニモ有利ト思考サルトノ見地ヨリシテ、出来得ベク

ンバ当店ノ同意ヲ需メニ来リ候如ク、否寧口同氏ノ口吻ヨリ察スルニ当然我等ハ反对セザルモノトシテ、三井ニ対シテハ已ニ幾分交渉モ進行致シ居ルカノ如ク想像致サレ候ニ付、我々トシテ我等ガ永年信頼セル *Swire* トシテハ余リニ浅慮ナル事ヲ説キ聞カシ、全然反对ノ意ヲ明カニ致候ニ対シ「デニー」氏モ成ル程我々ノ意見尤モナリト感服スルヤ、不少当惑セル如クナリシモ、穩当ナル形ニ於テ三井ヘハ謝絶スベク同社ヲ訪問致候処、三井ニテハ已ニ倫敦ノ *Swire* トモ予メ交渉済ナレバトテ、契約書ヲ交換スル迄ノ準備相整ヒ居リシ程ナレバ、此上ハ「デニー」氏一存ニテハ難決由ニテ、倫敦 *Swire* へ電報照会セル処、前記ノ理由ノ下ニ是非ヘクノ同意ヲ希望ストノ長電ヲ受ケ、尚第二電トシテハ此趣ハ北村取締役ヘ電報ヲ乞フトノ意味ニ依テ、重テ「デニー」氏ヨリノ交渉ヲ受ケ候ヘトモ、此種ノ込入りタル事情ヲ日本ヘ打電致候事ハ徒ラニ日本側ノ感情ヲ害スルノ恐れ多クシテ、充分ニ意志ノ疏通ヲ図リ得ザルノミナラズ、北村取締役トシテモ決シテ御同意アル筈ナキ問題ナルハ明カニ付キ、以書面詳報ハスレトモ何レニシテモ此要求ニハ難応、又両社ノ注文ヲ握ル事ニ於テ必ずシモ *Swire* ガ夢見居ル如キ効果ハ期待シ難ク、飽ク迄モ当店ノ意志ニ反シテ敵商ニ附カントスルガ如キ輕薄ナル考ナルニ於テハ、我等モ亦其考ヘヲ以テ考究セザル可カラズトノ徹底セル主義ニ対シテハ、「デニー」氏トシテモ頗ル同感ニシテ、又再三意見ノ交換ニ依リ、克ク我々ノ説明ヲモ諒解致候ニ付キ、其旨重テ倫敦ヘ電報スル事ヲ約シテ、今夕「メルボルン」ヘ向ヒ出張致候間、近々再ビ当市ヘ立歸リ候時ニ於テ最後ノ回答ニ可接事ト存居リ候

最初、三井ヨリへKへ同様トノ申込アリシ由ニ対シ、口錢率ノ事ヲ確メ候処、勿論 2% netノ諒解ナリトノ事ニ有之、Swireトシテハ此口錢ノ差ノ輕視シガタキ事モ一ノ動機ト相成リ居リ候事ハ想像ニ難カラザルト同時ニ、又三井ノ買次ヲナス場合、斯クニ様ノ口錢ナドヲ実行シ得ルヤ、否其点迄ハ未ダ究込ミ不申候ヘトモ、自然ハ此口錢問題ニモ及ビ候事ハ期待シ居タル処ニ御座候

果シテ最後ノ会见ニ於テ「デニー」氏一個ノ意見トシテハ、へKへ本位トスルガ当然ト信ズトノ意志ヲ述ベタル時ニ於テ、一寸口錢問題ニモ言及致候ニ付キ、我々トシテモ兼テヨリ考究シ居リタル事ナレバ口錢問題ハ又追テ我等ノ間ニ於テ相談シオクベク、我々ハ必ずシモ unfairナ事ヲ要求スルモノニ非ル意味ダケヲ仄シオキ候

如何ナル動機ニ依テ三井ガ Swire へ交渉ヲ開始スル事ト成リシヤ不明ナレトモ、「デニー」氏ヨリノ様子ヨリ想像スルモ、倫敦ニ於テ Top 其他ノ商売關係モアリ、Swireヨリ三井へ対シNZノ羊毛買次ギヲ依頼シタルガ如クニシテ、為念当店ノ意向ヲ確メ諒解ヲ得ントシタルノ時ニ当リ、当店ノ反対ヲ受ケシタメ大ニ面喰ヒ候如クニシテ、Swireトシテハ英仏米等ヨリハ多数ノ同国人ヨリノ注文ヲ受ケ居リ候事普通ナレバ、日本ニ対シテモ格別ノ故障アラザル可シト頗ル簡單ニ考ヘ居リシ外ニ深キ意味アリシトモ思ハレズ候ヘトモ、日本關係ハ大ニ異ル立場ナル事ヲ説明シ、デニー氏トシテモ始メテ悟ル処アリシ模様ニ御座候而シテ買次口錢問題ニシテ、我々部長間ノ大体ニ於テ一致セル処ハ

NZハ濠洲市場ノ買付ケト異リ、NZ全島諸方面ヲ走り廻リ買集メ候モノニ付キ、其手数ヲ要スル事非常ニ多ク、反之価格小ナルタメ、從テ口錢高モ大ナラズ、且ツSwiftトシテハ買付ケ、積出シ、為替取組ミノ総テヲ取扱ヒ居リ候ニ対シ、2%全部ヲ支払ノ事ニ改メ候事、寧口Fairナル可シ

且ツ日毛ノ如キ注文主ニ対シテハ、此種ノ割戻シヲ内密ニ致シ居リ候事頗ル危険ニシテ、今日ニテハ此NZ以外ニハ全然後口暗キ事ナキ立場ニ付キ、此機会ニ於テ1%戻リヲ廢シ、Swiftヲシテ益々用意周到、当店ノタメニ全力ヲ注ガシメ候仕向ケト致候方、策ノ得タルモノト存候、就テハ今状貴着後、可成早ク貴方ノ御意見ヲ拝聴シ度ク、左ノ如キ臨暗ヲ追加致シオキ候ニ付、御一電被下度御願申上候

ZODTO Swift 口錢ノ件 Sydney Directors Letter No 取41 参照

ZODUP Swift 口錢 取41 案ノ通り変更賛成

ZODYU 〆 現状維持希望

### 広東保險問題

広東当地代理店トシテモ、此問題ハ愈々進ンデ益々重要スベキ事アルヲ悟リ候結果、不取敢、北村取締役宛直接電報ヲ發シ、広東トシテ勉強シ得ル最善ヲ尽ス決心ナレバ、是非共、全部引続キ広東一手ニ御契約願度キ意味ヲ上伸致候事ハ既ニ御入手ト奉存候、「ランサー」トシテハ

詳細香港ノ本店ヘ郵報シテ大ニ反省ヲ促シ、必要ニ応ジテハ本店又ハ神戸代理店ヨリ直接貴方ヘ御相談可申上事共相成リ居リ候ヘトモ、又当支店トシテハ果シテ最低何程迄其率ヲ切り下ゲ得ルカラ研究中ニシテ、未ダ其結果ニ到達不致候ヘトモ、当店トシテハ貴地ニテ他ノ保險会社ガ申込ミ居リ候低率ヲ標準トシテ、充分ノ研究ヲ致候様注意致シオキ候ニ付、多分ハ貴店御期待ニ近キ程度マデ漕ギ付ケ可得事ト存ジ居リ候

既ニ積出シタル安キ丸一千屯、八月積あらふら積二千屯ハ、何デモ彼デモ応救策トシテ、羊毛<sup>Wool</sup>同率ト致サセ候事、既報ノ如クニシテ、最近商談成立ノ吉野丸一千屯、インダス丸二千屯モ同様ニ致候様交渉中ニ御座候ヘトモ、何分ニモ小麦ニ対シテハ格外ノ低率ナレバトテ、未ダ確答ヲ得ルニ至ラズ候ヘトモ、是レ丈ケハ兎ニ角押シ付ケ候考ヘニ候

此臨時特別扱ハ今後取極メ率ノ基準ニハ相成ラザル諒解ニ有之候間、予ジメ御含ミオキ被下度願上候

### シドニー人繰案

ニ就テ最近当方部長間ノ意見ヲ交換シタル結果ハ、於大体如左立案ニ到達致候ニ就テハ幸ヒ北村取締役貴地御滞在中、一般的人繰御相談ノ時ニ於ケル御参考ノ一助ニ供シ度ク上伸致候次第ニシテ、貴方取締役及部長各位ニ御異存モ無御座候ハ、北村取締役御帰濠前、必要ニ応ジ其

陣容ニ依テ可来多忙シーンニ備ヘタキ愚案ニ有之候

片桐部長ハ来ル九月羊毛新季開始ノ時ヨリ毎日羊毛ストア廻リヲ実行シ、直接ニ羊毛実験ニ努メ、其余時ヲ以テ輸出部一般的ノ事務ヲ執ル事トスレトモ、羊毛実習本位トナレバ、自然其他ノ事務ニ別ツベキ時ノ多クヲ余サ、ル事トナルベシ

而シテ来年早々「メルボルン」支店詰トシテ同地へ移リ、「メルボルン」羊毛市場ノ実験ニ当リ、同時ニ同地方ヨリノ一般輸出事項ノ研究發展ニ勉メ、此時ヨリ「メルボルン」支店モ於事實輸出入両部ノ事務ヲ執ル機関トシテ充分ニ活用スベキ基礎ヲ開クベク、羊毛シーンヲ終了スルモ、同部長ハ引続キ「メルボルン」支店詰トシテ同地ニ留リ、来年末ヨリ再来年ニ渉ル羊毛季節ヲ終リタル明後年（大正十四年）四五月ノ頃、濠洲ヲ引揚ゲ帰朝

従テ片桐部長「メルボルン」へ転任後ハ勿論、「シドニー」在勤中モ羊毛季節ニ入レバ、従来ノ如ク輸出部長トシテノ全任ニ当ル事不可能ニシテ、広戸部長ハ申ス迄モナク羊毛以外ノ日常務ヲ執ルノ余融無之、臨機必要ニ応ジ、意見ノ交換ヲシテ相談スルノ程度以上ニ難期待、依テ必要ノ期間、守田部長ニ於テ輸出部長トシテノ事務ヲ兼任ス

井垣店員ハ北村取締役御出発前、当地在勤延長可然トノ御懇意モアリシ処ニ候ヘトモ、尚四囲ノ事情ヨリ考究致候我々ノ希望ハ、寧ろ其以前ノ立案通り、本年末頃、北村取締役御帰濠ト前

後シテ帰朝ノ事ニ相願ヒ候方、自他ノタメニモ結局好都合ナルベク、同君トシテハ此場合日本ニテ同君ノ技倆ヲ發揮シ得ル事トシ、当方トシテハ沢辺其他ノ後進者ニ向進ノ機会ヲ与フル仕向ケト致候方、却テ日濠両店ノ能率ヲ増進セシムルノ意義大ナルベキヤニ愚考致サレ候タメニ不外候

而シテ当輸出部ハ沢辺・網谷両店員ヲシテ其局ニ当ラシメ、網谷店員ニハ羊毛専門ヨリモ寧ロ一般的輸出事務ノ智識ヲ習得セシムル方可然、羊毛部トシテハ近ク二名ノ増員モ有之候事トテ、人物經濟ノ見地ヨリシテモ、網谷店員ノ職分ヲ今案ノ如ク改メ候方可然トノ案ニ御座候

片桐部長・沢辺・網谷店員ガ日本へ転勤、又ハ出張ト相成候時ニ於テ、順次日本ヨリノ補充員派遣ヲ願フ事ト致候ハゞ、当分貴方ノ人繰ニ異動ヲ来サゞル事ト可相成候（シドニー關係トシテハ）

羊毛「インボイス」係専門トシテ外人ノ相当経験アルモノヲ新ニ傭入レ候事ニ就テハ、既ニ北村取締役御出発前御同意ヲ得オキ候処ニ有之、其候補者トシテ目下「ウインチコムカーソン」ノ「インボイス・クラーク」ニシテ三十四五才ノ既婚者ニテ希望ノ者有之如クニ付キ、近々引見ノ事ト相成リ居リ、漸次インボイス・デパートメントナルモノヲ独立セシメ、日本ヨリノ新来者ニシテ実験ノタメ、インボイス及書類整理ノ事務ニ就ク場合ハ補助トシテ執務スルニ止ムル計画ニ御座候

Frank Woods ハ未ダ暫ク會計部ヨリ引キ抜ク訳ニハ參ラズ候ヘトモ、適當ノ機會ニ於テ輸出部係リニ移スベキ計画ノ下ニ新入「テラー」ヲ會計部専門ニ仕込ムベク努力罷在リ候  
当輸出部ハ於事實日本人ノミノ仕事ト相成リ居リ候事、決シテ理想的ニ無之、是非共、外人ノ必要有之候タメニ御座候

會計部及庶務事項ニシテ「ガントン」君取扱範圍ハ同君及補助外人ニテ満足ニ御座候ヘトモ、或事項ニ就テハ其性質ノ重大ナルト簡易ナルト拘ラズ、少クモ一名ノ日本人ヲ必要ト致候事ニ就テハ北村取締役モ既ニ御同感ニシテ、御帰朝中、其人選ヲ御願ヒ致シオキ候次第ニ御座候、是レガ候補者トシテハ必ズシモ高等教育ヲ受ケタル者ノ必要モナク、普通商業出身程度ニテモ将来有望ト認メラレタル者ナレバ充分ナル考ヘナリシモ、高等教育ヲ受ケ、人格ノ標準モ已ニ見定メ付ク程度ニシテ、會計部事項、則チ經濟ニ関スル相当ノ智識ヲモ有スルモノニシテ、当地本位トシテ永住ノ覚悟ヲ持ツ適任者有之候ハ、高等教育ヲ受ケタル者ヲ希望致候事ハ当然ニ有之、漸次守田ノ後継者トシテ師導スルニ適セル人物ヲ要求致候次第ニ候  
現在日本ノ在勤者中ニシテ日本側ノ人繰ニモ多大ノ影響ヲ来サズシテ、御割愛ヲ願ヒ得ル人ニシテ、我々ノ判断シ得ル限度ニ於テ適任ナランカト存ジラレ候ハ、東京支店詰森脇店員ハ如何ニヤトモ思考致居リ候、御高見如何ニ御座候ヤ御伺申上候、而シテ可成早キ機會ニ於テ適任者ノ御人選御配慮御願申上度候



會計及庶務補助トハ乍申、必要ニ応ジテハ輸出事務其他一般ノ智識ヲモ得ラレ候様ノ仕向ケト  
可致事ト可相成候

右

大正十二(一九三三)年

二三三

取四二号信 大正12年8月15日 あらふら号便

豪社守田治平↓神戸及東京取締役及部長

拝啓

貴信

153号七月九日附吉野丸便、八月七日着

東京特20号七月十日附同船便、八月六日着

拝誦致候（神戸貴状ハ書留便ノタメ依例普通便ヨリハ一日延着ニ候）

林取締役御認メ状ハ今後モ引続キ番号ヲ附セラル、事ト相成候由、好都合ニ御座候

D/C Yen Bill  
Credit

ニ関シテハ、銀行及得意先御交渉ノ模様ト共ニ明細表ヲ添ヘテ当店資力ノ御詳報ニ預リ、逐一敬承致候、御高示ノ如ク如此数字的ニ対照致候ヘバ、萬事頗ル明瞭ニシテ、羊毛・トップ・小

麦等ノ金高物全部ヲD/C信用状ニ抛ラントスルモ、乍遺憾、当店資力ノ遠ク是レニ及バザルヲ確メ候次第ニ御座候、依テ当店ノ立場トシテハ、日毛其他D/Cヲ強要致候者及小麦ノ如ク必要ニ迫リ候物ノ出来得ル丈ケ多クノ金額ヲD/C信用状ニ利用スル程度ニ於テ、当店ノ威信ヲ損セズ、且ツ得意先ノ満足ヲ得ル様ニ仕向ケルノ要アル究状ニ陥入ルベク候

同業者中、三井・三菱・日本棉花ノ如キハ（殊ニ後記二者ハ取扱高モ小ナレバ）必要ニ応ジ、全部ノ羊毛其他D/C信用状ヲ利用スル事困難ナラザルベク、大倉組モ愈々ト成レバ入用額ノ信用状ヲ得ルニ困難ナラザルベキモ、可成ハ正金（*Form*）希望ノ如ク、高嶋屋ニ到リテハ此点ニ於テハ最モ苦痛ヲ感ズル者タルハ疑ナク候

何レニシテモ可来「シーズン」ニハ、羊毛ノ一部乃至過半ハ倫敦廻リトナルベキ運命ニアルハ疑ヒノ余地無之候ヘトモ、従来ハ実力以上ノ重荷ヲ負担致候タメ、屢々無理ヲ余義ナクサル、事モアリ、自然之レガ為替率ニ影響致シ居リ候「シドニー」正金トシテハ、此取扱高減少ノタメ、金融上ニハ夫レダケ楽ナ立場ト相成候タメ、自然吾々ニ割宜キ相場ヲ建テ得ル事ト成ル筈ニシテ、若シ其程度ガ倫敦廻リニ近キモノカ、或ハ却テ有利ト成ル事モ絶無トハ難申、其場合ニハ勿論正金經由円為替取組ト致候事ニ於テ、何人モ異議アル可カラザルモノニ付キ、結局ハ倫敦廻リト円相場ガ平均スベキ「ナチュラル」ナル立場ニ置カル、事ト相成ル可ク、則チ当店ノ如キハ恰カモ資力ヲ活用シ得ル範圍ニテD/C信用状ヲ利用シ、其以外ハ従来ノ通り円為替トシテ「シドニー」正金トシテモ手頃ノ取扱高ト成リ、相場ノ平均ヲ見ルニ至ルニ非ズヤト予

測致サレ候（他ノ同業者ノ立場モ略ボ大同小異ト想像シテノ立論也）

此点ニ於テハ松島正金支配人、何等適確ナル意見モ発言不致候ヘトモ、今後一部ガ倫敦廻リトナル事ガ寧口自然的ニシテ、如何ニ正金銀行ナリトモ大勢ニハ逆行シ得ズ、「シドニー」正金ガ真逆ニ之レガ為メ閉店ノ余義ナキ事トモナラザルベク、無利ノ取扱額ノ多キノミヲ望マントスルノ結果ハ、時ニ得意先ニ比較的不利ノ率ヲ建ツル事アルタメ横暴ナド、口撃ヲ受クルヨリモ、寧口「シドニー」正金トシテノ立場ヨリ不自然ナラザル商売ニ安ンジ、最善ヲ尽ス事ガ自他ノ為メニ採ル可キ適當ナル方針ト思ハルトノ松島氏ノ意向モ亦尤ノ次第ニシテ、如此松島氏ガ腹ヲ定メ候事ヨリ察スルモ、前記筆者想像ノ如ク、或程度迄金額減少ノ結果ハ相場ノ基算法ガ楽ト成リ、「シドニー」正金ヘモ相当ノ商売ハ来ル筈ナリトノ見地ヨリ成ルモノト察シラレ候、夫レト同時ニ松島氏ノ常ニ口ニスル処ハ、濠洲銀行ノ同盟相場ナルモノガ不自然ニ低スギルト可得言、若シ日本行為替ノ巨額ガ倫敦向ケトナレル時ニ於テモ、克ク此低率ヲ保持スルヤ疑問ナリトノ見方モ、亦必ズシモ我田引水トノミハ難評候

既報ノ如ク *Bk of Austria* ノ予想ハ、来羊毛季中ノ当店入用額ノ金融位ハ萬々差支ナカルベシトノ意向ニシテ、「メルボルン」同銀行総務部ヲ訪ヒシ時ハ夫レ程樂觀ハ出来ザルモ、先ズ何トカナルベシトノ意向ナリシガ、萬一昨年末頃ノ金融逼迫状態、又ハ夫レニ近キモノヲ再ビセルガ如キ時ニ於テ、日本各店ヨリ巨額ノ為替ヲ持チ込ミタル時ニ於テ、是レガ全部ノ金融不可能ト成ル場合アリトセンカ、急ニ正金銀行ヘ馳ケ付ケタリトテモ、如此大金ヲ早クヨリ用意

シオカザリシ正金トシテハ、到底之レガ応急策ヲ講ズルノ余地ナカル可ク、遂ニハ買附ケタル羊毛モ積出シ能ハザルノ悲境ニ陥ル事絶無トハ難申場合ヲモ考慮スレバ、矢張り其一部ハ正金扱ヲモ經由スルノ方法ヲ持統スルノ道ヲ続ケオクノ要モ有之ベキ儀ト信ジ候、尤モ為夫、不相変多額ノ為替率差金損ヲ我々が負担スル様ナレバ、或ハ萬一ノ Risk ヲ覚悟シテ D.C. 本位トスルノ止ムヲ得ザルニ至ルヤモ難計モ、去リトテ之レニ対スル充分ノ資力ヲ有セザル当店ノ如キハ可成丈ケ委托式得意先ヲ説得シテ、他店モ同様各其幾分ハ正金扱ノ諒解ヲ付ケ、当店トシテハ小麦ノ如ク、是非共、其必要ニ迫レルモノニ多ク D.C. ヲ利用シ得ルノ方法ヲ講ジオクノ要アル立場ト存候

羊毛為替先約ノ件

此問題ニ関聯シテ、松島氏ガ種々考究ノ結果、其下相談トシテ当店へ提議シタル先約ノ件ニ就テハ前田・藤井両取締役ノ御意見拝誦致候

殊ニ藤井重役ガ此問題ヲ種々ノ方面ヨリ見テノ御高見敬承致候、如此問題ヲ得意先へ申出候事ハ頗ル容易ナラザル事ニシテ、可成ハ従来ノ通りニ取扱呉レ候様、吾々ノ希望致候点ニ就テハ当方幹部一同何レモ同感ニ有之、此下談シハ既ニ御前部長御離濠ノ時ニモ松島氏ヨリ御依頼アリシ事ニシテ、我等ハ始メヨリ不感服（我等ノ立場ヨリシテハ）ニ付、可成握リ潰シト致シ度ク、其俣ニ致シ居リシモ、D.C. 問題ノ愈々濃厚トナルニ及ビ、松島氏ハ之レガ對抗策ノ一ト

シテ益々先約問題ノ必要ヲ感ゼル如ク、当店ヘ対シ具体的ニ重テ意見ヲ徴サレ候結果、貴方ヘ御意見ヲ伺ヒ出候次第ニ候

然ルニ之レガ先約方法其他莫然タル提案ニ依リ、得意先ニ交渉スル事ノ不可能ナルト而カモ当店ノミガ如此得意先ノ欲セザル事ニ口ヲ切ル事ノ不得策ナルノ御来意ハ一応御尤ニ候ヘトモ、其当時ニ於ケル松島氏ノ意ヲ伝ヘタル当方ノ意味ハ、予ジメ得意先ノ意向ヲ探リ、又貴方ヨリモ、之レニ対スル双方ノタメニ都合ヨキ方法モ御座候ハ、御教示願度キ意味ニ外ナラザリシ次第ニシテ、其時ニ於テ得意先ヘ御交渉ヲ願フ程ノ強キモノニハ非リシモノナルモ、筆者ノ書中意ヲ尽サ、リシタメ、御叱リヲ蒙リ候段ハ茲ニ更メテ御詫申上候

而シテ最近此問題ニ就テ松島氏ト懇談、貴方ヨリノ御来意ト我等ノ立場ヲ重テ説明致シ、尚先約ニ対スル一層具体化シタルモノヲ確メント致候処、松島氏ヨリハ其後詳細日本ノ頭取席ヘ上伸シ、日本側ニテ充分ノ考慮ヲ願ヒ、可否ノ回答ヲ待テ正式ニ各得意先ヘ通告又ハ相談ノ立場ニシテ、其細カキ取極メ方法ハ可成タケ相互ノ都合克キ様ニ致シ度キ考ナレバ、未ダ是レヲ具体的ニ発表スベキ立場ニ非レトモ、松島氏ト我等ノ意見ヲ綜合シタル結果ハ大体如左物ニ候

先約ト申シテモ二ヶ月モ三ヶ月モ前ヨリ為替率ノ約束ヲ強要スル意味ニ非ズ、又銀行トシテモ長期ノ先約ニ応ジ得ベキヤ否不明ニシテ、羊毛ノ如キ買附ケル迄ハ其額ヲ定メ能ハザル事情モアレバ、原則トシテハ羊毛買附後、羊毛代金支払ヲ要セル時ニ於テ相場(為替率)ノ約束ヲ為ス位ニシテ宜シケレトモ、其時ニ於テ案外多額ノ申込ヲ受ケタレバト

テ、夫レガ全部ヲ引受ケ得ルヤ否ハ其時々ノ金融状態ニ依ラザル可カラズ  
依テ早クヨリ先々ノ資金ヲ安全ナラシメントノ希望アル店ヘハ、早クヨリ其相談ニモ応  
ズベク、先ズ一ヶ月先ノモノナレバ相談当時ノ率位ニテ引受ケ得ル積リニテ、二ヶ月三  
ヶ月モ先キノモノヲ早クヨリ約束スル場合ハ、其時ノ相場ニ相当ノ利息ヲ見込ミタル率  
位ニスルカ、或ハ金融困難ナラザル見込ミナレバ、必ズシモ利息ナドヲ見込マザヤモ  
知レズ

平均ニ対スル相場ノ標準ヲ今ヨリ述ブル事ハ不出来ナレトモ、要ハ其当時ノ金融状態如  
何ニアリ、正金トシテハ常ニ最善ヲ尽スベク、其率ニテ先約成立セルモノハ勿論毛織会  
社モ承諾ノ上ナレバ、最早正金ノ横暴ナドノ苦情モ起ラザルベク、其率が不満足ニテ他  
ニ商売ガ移ルトモ、正金トシテハ聊カモ遺憾ナキ覚悟ナリ

而シテ此先約ニ対シテハ、正金ハ必ズ契約書ノ写余分ヲ各店ニ渡シ、毛織会社ヘ提示シ  
得ル事トスベシ

而シテ最後ニ筆者ノ申出デニヨリ、最モ容易ナル方法トシテハ、我等ガ毛織会社ヨリノ  
注文ヲ受ケ正金扱ト決シ居ルモノアレバ、予ジメ其入用金額ヲ正金ヘ通知シ、夫レガ資  
金ノ準備ヲ頼ミオキ、愈々買附ケ得タル時、又ハ代金支払ノ時ニ於テ為替相場其時ノ率  
ニテ先約ヲ為ス、而シテ毎日ノ買附高二対シ日々約束スル事ハ不便ニツキ週末ニ取り纏  
メ約束ヲ為ス事

等ニ就テ松島氏モ同感ニ御座候

斯ク煎ジ詰メ候ヘバ、当店ノ如ク予報トハ乍申モ、常ニ充分ノ責任ヲ持テ行動致シ居ルモノニ對シテハ、事實此先約モ無意味ノ如ク相成候事ヲ説明シテ先約不要論ヲ説キシモ、松島氏ノ主義ハ例令明日為替取組ノモノニ對シテモ、先約ノ手續キヲナスト云フ意見ノ動カザルモノニ御座候、依テ本月十四日發電ヲ以テ、目下本問題研究中ナル正金頭取席ニ對シ、可然説明御交渉願出候次第ニ御座候、電文如左

D.C. 信用狀発行ニ關聯シテ羊毛為替先約ノ件 (Top. 其他モ含ム事トナルベシ) 正金頭取席ニテ考慮中ト解ス

今後ハ各店ヨリシドニー正金ニ對シ、約一ヶ月前ニ略ボ正確ナル予算額ヲ報告シ (先ズ注文ヲ受ケテヨリ代金支払迄ヲ一ヶ月位ト見レバ大差ナカルベク、其他ノ場合ハ臨機応變ナリ)、従来ノ通り出帆當時ノ Current Rate ニテ荷為替取組希望ノ旨、貴地ニ於テ可然説明アリタシ

松島氏トシテハ、此予報額丈ケヲ何人ニモ信賴スル事ハ出来ズ、或会社ノ如ク、予報後、相場ノ出合ヒニテ之レヲ他ヘ持チ廻ルモノアルヲ防止スルタメニ先約ヲ強要スル事モ一大因ニツキ、或程度迄ハ我々モ夫レニ捲キ込マレ、頗ル迷惑ノ立場ノ様ニモ候ヘトモ、去リ迎、銀行トシテ



ハ根本的取極メハ一様ナラザル可カラズトノ見地ヨリ、当店丈ケヲ別扱ヒトスル能ハザル次第ナレトモ、自然於事實、不徳義ノモノニ対シテハ銀行モ其積リニテ応対スベキ筈ノモノト存ジ居リ候

此取消シ案ヲ当方ヨリ貴方ヘ電報セル事ガ公ニ相成候ハゞ、如何ニモ松島氏ヲ出シ抜キタル形ト相成候ニ付キ、秘密御取計ヒ方電末ニ御注意申上オキ候

貴地ニテハ又毛織会社ノ立場ヲ説明シ諒解ヲ得ラル、ニ便宜多カル可ク、正金頭取席ト満足ナル御諒解ニ成功致サレ候様祈リ居リ候、然ラザレバ又当地ニテ最後ノ方法ヲ講シ可申候

（貴族員連中ノタメ筆者ハ本船出帆前ノ二日ヲ割愛スルノ破目ト相成候タメ、余ハ不日出帆次便吉野丸ニ譲リ候段、不悪御了承被下度候）

右

取四三二号信 大正12年9月14日 セント・アルバンス号便

豪社守田治平↓神戸及東京取締役及部長

拝啓

貴信

1257号七月廿一日附Stアルバンス便、八月廿七到着

1258号八月二日附ガンヂス丸便 (copy)、九月六到着

1259号八月七日附安キ丸便、  
々

拝誦致候

当地八月廿四日吉野丸出帆ノ際ハ、其当時御断リ申上置候如ク、筆者非常ノ多忙ヲ極メ候タメ  
執筆ノ機ヲ得ズ、失礼仕候段奉謝候

九月一日ノ東京及横浜ヲ中心トシテ其他ニ波及セル大地震ニ続イテノ大火及海嘯、災害ノ凶報が大活字ヲ以テ各新聞一ページニ吾人ノ肝ヲ冷シ、啞然タラシメシハ九月三日早朝ナリシモ、其報導ノ余リニ大ナルタメ或ハ誇大ニ過ギル事モアランカト其程度ニ幾分ノ疑念ナキ能ハザリシ処、二日發貴電ニテ東京方面通信杜絶云々トノ御来旨ニ接シ、愈々事ノ容易ナラザルノ確信ヲ得シ以來、続々トシテ發表サル、新聞電報ガ其内容ヲ伝フルニ至リ、此災害ガ実ニ我国有史以來ノ最モ大ナルモノ、一タル事ヲモ想像スルニ難カラズ

無數ノ死傷者ニ対スル同情ト東京方面在勤同僚及御家族ノ安否ニ続テ、漸クニシテ築キ上ゲタル東京ガ全滅トハ如何ナル程度ナルカ？、同時ニ我々ノ不安ヲ感ジ、又數限リナキ旧友、取引先ヨリノ問合セヲ受ケ候北村長老ノ御所在地ガ何レニアリシカ、恐ラクハ神戸ニテ御安全ナリシナラントハ自然的インスピレーションニテ我々ノ感ジ居リシ処ナリシモ、第一ニ之レヲ確メ得ザレバ我々ノ心安ラカナラズ、加之、他方面ヘハ大分安否ノ入電ノ運ト相成候様ニ付、藤井取締役宛私電ニテ御伺申上候結果、「北村取締役神戸ニアリ」トノ御返電ニ接シ、一同大ニ安堵ノ思ヲ致シ候

貴本店ヨリハ亀山・内田両店員ガ萬難ヲ排シテ東京ヘ出張サレ、東京支店ヨリハ坂神店員神戸ヘ七日到着、東京支店々員、建物、書類、横浜出張員及井垣店員家族モ全部無事ニシテ、其後引續キ御取調ベノ結果、守田・沢辺・中野家族モ無事ニ避難致候趣拝承、何レモ其僥倖ナリシ事ニ喜ノ涙ヲ催シ候ト同時ニ貴方ノ御厚意ニ対シ深く感謝致候

本店ハ神戸ニ在テ聊カノ被害ヲモ受ケズ、災害渦中ニアリシ東京支店、偕テハ横浜出張員迄モ全部無事ニシテ、得意先ノ模様ハ暫時調査行届カザルベキモ、而カモ多大ノ打撃ハ無之御見込ニシテ、最初吾人ノ杞憂セル如キ財界大恐慌ノ恐レモ無之形勢ノ由、兼松商店ハ愈々幸運ニシテ益々隆盛ノ兆明カナルガ如クニ感ゼシメ申候

此紙面ヲ借用致候事恐縮ニ候ヘトモ、守田ノ親族小佐野及土肥ノ安否迄モ御心ニ掛ケラレ御電報ニ預リ、守田ヨリ厚ク御礼申上候、小佐野一族ハ無事ナリシモ、土肥一家ハ全滅ノ由、恐ラクハ斯クアラント期シ居リタル事ニ候ヘトモ、今更ノ如ク悲歎ノ感ニ堪ヘ申サズ、同感ニ悩ム者幾萬ナルカラ思ヘバ、比較的幸ナリシモノト諦ムル外無御座候  
東京支店員御家族全部モ御無事ナリシ事ヲ祈リ上ゲ居リ候

既ニ新聞電報等ニテモ御存知ト存候ヘトモ、此度ノ日本ノ災害ニ対スル当地人ノ同情ハ実ニ驚ク可キ程ノモノニ有之、官民拳テ精神の二且ツ物質の二同情ノ実ヲ示シ、一般の救恤金ノ如キハ濠洲全体ニ涉リテ半狂ノ実状ニ有之、全ク人種差別ノ感念ナドハ念頭ニ無之、聯邦総督ハ濠洲一般ニ涉リ何人モガ友邦ノ危難ヲ救フベク精神の慇懃ノ布告ヲ公ニシ、聯邦政府ハ直ニ壹萬£ヲ送金シ、尚五萬£ヲ衣食品ニテ急送スル事ニ議決シ、此計畫通ヲ一層増大セシメベク尽力中ニシテ SS. "Australmont" 近ク満船急航ノ事ト相成リ居リ候ヘトモ、一般の公衆ノ同情ニ満チタル義心ハ実ニ我等ヲシテ感涙ヲ催サシメ候

当店ニ対シテモ個人的ニ來訪シ、又ハ電報書面ヲ以テ見舞ヒクレ候者枚挙ニ遑アラズ、逸チ早ク当店ヘ救助金ノ処分方ヲ頼ミ來リシモノ、何レモ北村長老御旧知ノ人ニシテ

ワイトニー氏 ￡50、マケロン氏 ￡21、パイ氏 ￡50

アリ、序ヲ以テ当店外人一同ノ醸金 ￡25 ヲ電送申上ゲ、其後「ウエドロック」「オリオドン」等ヨリノ依頼アリシモノハ領事館ヘ依頼致シ候、而シテ当店日本人ハ未ダ各自家族ノ立場不明ノモノモアリ、貴方ノ御取計ヒヲ願出オキ候

Hume 氏ハ前記 ￡25 ニモ加入致居候ヘトモ、同時ニ「メルボルン」ニテ C.F.C. ヲシテ此義挙ヲ開始セシメベク、初筆トシテ ￡100 ヲ義捐致候由、大ニ男前ヲ挙ゲ申候

日本人会トシテモ醸金ノ事ニ決シ候ニ付、当店員ハ已ニ日本ヘ御願致セシ後ナリシモ、全員ニテ ￡50 ト致シ、当方取計ニテ北村取締役ヨリモ ￡50 ノ御援助ヲ願ヒ、当店一同ニテ ￡100 ト致候処、三井ハ七十余 ￡、正金ガ ￡40 未滿ナド、案外ノ「シミツタレ」ニテ、我々ノ分ガ優ニ筆頭トナリシ由ニシテ、之レニ日本人会積立金ノ約半額式百余 ￡ヲ加ヘ六千円トシテ、領事ヲ経テ当地市長ノ救恤金ニ加ヘ候、是等ハ後日全部聯邦総督ノ手許ニ一纏メトナル由ニ候

〔欄外書込〕

会社、商店トシテニ非ズ、何レモ個人的ノモノニ候

B.P. & Co. ハ率先シテ一千 ￡ヲ出シ、「アントンオーデン」モ同額、其他一千 ￡五百 ￡口少カ

ラズ候、大西氏ハ日本人会ニ加ハラズ 5100 奮發致候由

丹後丸保険

恰モ災害當時横浜港内碇泊中ナリシ丹後丸ヨリノ揚荷ノ全部ハ、恐ラクハ被害ヲ免レザルベク、此際広東ヘモ交渉致シオキ候様ノ御来旨モ有之

「ランサー」氏ハ保険ノ決済ニ就テハ心配無用ナリト明言致シ候ニ付キ、此旨返電申上候ヘトモ、貴地ニテモ勿論正當ノ手續キヲ経テ確定次第、貴地代理店ヘ御交渉被下候事ト存候、萬一不当ナ事デモ申候様ナレバ、当地代理店ヘモ充分交渉可致候

銀行ノ態度ト財界

当地正金銀行ニテモ未ダ如何ナル方針ヲ採ルベキカ未定ノ折柄、取敢ヘズ

今後ハ特ニ日本ノ正金ヨリ指図アル迄ハ、輸出品代金前払ノタメ過振りノ習慣ヲ中止スル事

ト相成リ候ニ付、羊毛御注文有之候時ハ貴地正金ニ御交渉ノ上、前払ノ御指図被下候様電報御願申上置キ候

同時ニ過振りニ対スル金利ヲ 6 1/2% ニ引上ゲラレ候事モ亦厄介ニ御座候、正金トシテハ之レガ引上ゲハ止ムヲ得ザル結果ナレバ、辛抱願フノ外ナシトノ説明ニ有之、当分ハ服従ノ外ナキ

事ト同業者一同覺悟致シ居リ候

今回ノ前貸中止ハ一時的ノモノ、如ク存ジラレ候ヘトモ、今ハ是レヲ確メベキ時機ニ無御座候ガ或ハ此機會ニ於テ之レヲ常習慣ト更メ候哉モ難計、其節ハ又特別扱ノ交渉ヲ要スル事ニ候三菱・大倉（三井モカ？）ノ如キハ既ニ Red Clause 付キト相成リ居リ候物多ク、当店ノ如キハ始メヨリ特別扱ヒヲ受ケ居リタル如クニ候

Exchange ハ X Rate ノ動揺ニハ無關係ニ続々引下ゲラレ候事ハ、確ニ日本ヘノ輸入激増防止又ハ調節ノ意味多カルベキモ、大災害ノタメニ受ケタル至大ノ損失ノタメニハ、日本貨標準ノ低下致候事モ止ムヲ得ザル儀ト存候

「輸入増加ヲ予期シ、正金ニテハ充分ノ用心ヲ為シツ、アリ、今後信用状発行ハ総務部ノ許可ヲ要スルタメ、或程度迄ノ制限ヲ恐ル」トノ御來電ハ当然ノ結果ニテ、止ムヲ得ザル儀ト奉存候、然レトモ漸次一般ノ沈靜ノ暁ハ銀行トシテモ其方針ヲ定メ得ルニ到ル可ク、且ツ我等ノ取扱品ハ日本ノ必需原料品ニ付キ、自然信用状発行モ敢テ難事ナラザル時機ノ早カラン事ヲ祈リ、且ツ期待致シ居リ候

「於東京支払延期緊急令ニ就テハ、東京方面取立金額ノ予算未調ナレトモ、貴店トシテ急ヲ要スル資金ニ対シテハ、正金銀行ヨリ特別援助ヲ予期シ居レバ、心配スルノ要ナカルベシ」トノ

本月十日發貴電ニ依リ不少意ヲ安メ申候、殊ニ東京支店保管書類全部安全ナリシハ、実ニ天祐ニ御座候

羊毛為替先約

問題ニ就テハ更ラニ日本ヨリノ入電ナカリシタメ、松島氏モ当惑ノ間ニ日本ノ大災害ト成リ候ニ付キ、此種ノ問題ハ一時其俣ト相成リ居候如ク察シラレ候

愈々必要ノ時ニ於テ又々再発ノ事ト可相成候、七月廿一日ニ於ケル大塚・藤井御両将会見ノ時ニモ一寸此問題ニ言及致サレシモ、結局大塚氏ノ外交的辞令ニテ甘ク逃ゲヲ張リシ様ニ拝見致サレ候ヘトモ、其後一層具体的ニ進行致候事ト存居リ候

YEN BILL ト D.C. ノ重要問題ニ関スル藤井・大塚御両所ノ（七月廿一日附）會議ニ依リ其經過ヲ明カニ致候  
L/C 正金銀行ハ結局当店需要額ノ $\frac{1}{3}$ ニ相当スルモノニ対シ、D.C. 発行ノ内意定マリ候由、御説ノ

如ク、セメテ半額迄ハ讓歩ヲ願度キ希望ニ候ヘトモ、銀行トシテハ又必ずシモ我々ノ要求ノミヲ容レラレザル事情アル事モ当然ニ候ノミナラズ、如此新シキ取極メニ当リテハ、自ラ十二分ノ用心ヲ致候モノニ付キ、今後はレヲ実行シツ、臨機応変、可成丈ケ我等ノ要求ニ接近セシムル様、又銀行トシテモ漸次安心シテ我等ノ希望ヲ容レクレ候様仕向ケ候事ガ我々ノ任務ニシテ、



此 $\frac{1}{3}$ 限度ヲ以テ悲觀スベキモノニハ非ズト信ジ候

又小麦ノ如キモ時々必要ニ応ジ、我等ノ立場ヲ説明シテ援助ヲ乞フノ要アル時ハ、正金トシテモ亦耳ヲ貸ス事多カルベシト存候

儲テ当地正金ノ立場トシテ兼々筆者ノ希望ト予想ヲ加へ、今後羊毛為替ノ相当金額ガ「シドニー」正金ノ手ヲ離ル、事ト相成候暁ハ、「シドニー」正金トシテハ資金運用ガ大ニ楽ナ立場ト成ルタメ、自然我等ニ有利ナル為替相場ヲ建テ得ル事共ナルベク、進ンデハ倫敦廻リ率ト對抗シ得ベキ時モ来ルベシト望ミツ、正金ノ建相場ヲ注意致シ居リ候ヘトモ、今日迄ハ一向其曙光ヲ認め得ズ、而カモ Bk of Austria ナレバ特別率トハ乍申6%ニテ引受ケ候モノヲ、正金ニテハ6 $\frac{1}{2}$ %ニテ引上ゲ候ナド甚ダ感服難致、其間ニ立チテ最モ苦シキ立場ニ置カレ候モノハ当店ニシテ聊カモ樂觀ヲ許サズ候

### 小麦保険

率引下ガ取極メニ関シテハ輸出特別部状ヨリ御詳報申上候ヘトモ、広東トシテハ最後ノ申出ニ対シ、早速御同意ヲ得候事、好都合ニ御座候、「ランサー」氏モ之レニテ一安心致候次第第二御座候

尚羊毛・Top 其他ノ率モ今少シ色気ヲ付ケル余地ナキヤ、此際研究方申込オキ候ヘトモ、之レ

以上ハ当分此方へ御任セヲキ被下度候

此動機ニ於テ「ランサー」氏ヨリ諒解ヲ頼ミ来り候ハ、保險会社ハヌク々々ト大額ノ保險料ヲ殆ド只儲ケ致居候様思フ者モ少カラザルベキモ、最近三ケ年間ノ成蹟ハ弁償額ガ保險料ヲ超過スル事六八五八£ニ達シ居ル事ヲ含ミオキ願ヒタシトノ事ニ御座候

	Premium NET	Losses	
1920	£7,036	¥133,935 =	£13,393
1921	8,622	14,888	1,488
1922	12,101	10,422	1,042
		P. F. a Fire	18,694
	£ 27,759		34,617
			<u>27,759</u>
			<u>£ 6,858</u>

Swift NZ 代理店

問題ニ就テ八月廿八日附貴電ニ依リ、当方ノ意向ト一致セル御意見拝承致候、早速別紙写ノ如ク Swift へ申送りオキ候ヘトモ、未ダニ何等ノ回答ニ接セザルヲ以テ觀レバ、倫敦へ照会交

涉中ノタメト存ジラレ候ヘトモ、同社トシテハ当店ヲ袖ニシテ迄モ三井ニ組スル事ハ可無之儀ト信ジ候

人事

羊毛インボイス・クラーク傭入ノ件ニ関シテハ、北村取締役御帰任ヲ待ツ可シトノ御來電敬承致候

其他人繰ニ関スル当方ヨリ執筆上伸致候事項モ、当方幹部ノ心附キ候案トシテ、北村取締役貴地御滞在中、御協議ノ時ニ資スル御参考迄ニ貴意ヲ得オキ候モノニ過ギズ、是レガ実行否哉ハ勿論北村取締役御帰任ノ上、御裁定願フ可キモノニ有之候

凶報

Sir James Burns 八月廿二日逝去致候事ハ北村取締役御在郷中ノ折ニモ有之、一電申上オキ候、「濠洲ニ於ケル我が日本帝国ノ大ナル友人ヲ失ヘルヲ悼ム」トノ鈴木総領事ノ言ハ頗ル同感ニ御座候

NYK関係トシテ最モ深キ歴史ヲ有セシ Lin Thompson 氏ハ、六十五歳ヲ以テ九月十二日死去致シ、葬式ノ際ハ筆者時間無之、沢辺店員会葬致候ヘトモ、同氏ノ末路モ氣ノ毒ナモノニ御座

候

濠洲ノ明士 Senator Millen ハ昨日逝去、洲葬ト相成リ候

奨励会総会ト第  
二次奨励

予定ノ通り八月四日ヲ以テ総会ヲ開カレ、萬事好都合ニ議事全般ノ終結ヲ告ゲ候由、御配慮謝  
上候

右内容ハ会計部ヨリ御送附ノ議事録ニテ拝承致候、従務員ニ対スル第二次奨励有之候ヘトモ、  
其内容ハ北村取締役御帰任ノ節、御発表ノ事ト相成リ居候由、是レ亦敬承御高配奉謝候

濠洲在勤者支給額

ニ就テノ御来旨拝承致候、敢テ急ヲ要スル問題ニモ無之候ニ付キ、北村取締役御帰任ノ上、其  
命ニ従テ決定ノ事ト可致候

Melbourne Branch  
Office

ハ御想像ノ如ク F.K (Aust) Ltd Melbourne ト致シ、Office ノ看板ニハ Branch Office ト附  
記致シ、此機ニ於テ如別紙移転通知ヲ発シオキ候

登記署・稅務署等ノ關係上、Melbourne Office Public Officer ヲ谷口店員名儀ニテ登記シアリ、書面等ノ Signature ハ F. K. (Aust) Ltd Per M. Taniguchi ノミニ候、而シテ同地ニテ請取り候銀行小切手ノ裏書ハ谷口店員ニ權能ヲ与へ、銀行へ払込ミ得ル事ト成リ居レトモ、支払ノ場合ハ「シドニー」ヨリ小切手ヲ送附スル規定ト相成リ居リ、谷口店員ガ商店ノ小切手ヲ發行スル權能ハ無之、目下ノ狀態ニテハ此程度ニテ不便無之候

中井店員

七月廿三日無事御歸着、輸入部副部长ニ復職ノ事ト相成リ候由、御同慶申上候、倫敦土產ハ趣味津々ニシテ、御參考迄ニ資セラル、モノ少カラザル事ト御移報ヲ樂シミ居リ候

広戸夫人

ハ愛児共ニ頗ル健全、本月五日入港安芸丸ニテ安着致候間御休神被下度、各位ノ御高配ニ対シ御礼申上候、同船ハ案外平穩ナラザリシモ、同夫人ハ幸ニモ Good Sailor ナリシタメ航海中ノ苦痛ヲ感ジラレシ事ナク、目下ハ差詰メ広戸君旧知ノ下宿住ヲ続ケラレ居リ候

OFFICES TO LET

ハ近来新建物ニ手頃ノ物愈々増加致シ、一方商況一般の不景氣ヲ続ケ居リ候事トテ、当建物内

ノ借人モ中々ニ附キ申サズ、漸ク Commonwealth General Assurance Corporation Ltd ナル保  
 険会社ガ大キナ space ヲ希望ノ由ニテ、No 8ト6ヲ打チ通シ、当店同様ノモノトシテ五年間  
 ノ「リース」ニテ契約済ニ御座候

改造及造作費 ¥500 ハ当店ガ支払ヒ家主ノ所属品トシ、此額ヲ五ケ年間ノ家賃ニ含ミ  
 一ケ年一三七五£ノ家賃ニ御座候

是レニテ先ヅ一安心ニ候ヘトモ、其他ノ大 space ヲ一日モ早く活用スベク努力致居リ候、当  
 店ノ要求スル家賃ノ Fair ナルハ何人モ認メ候ヘトモ、如此大キノ場所ノ希望者少ナク、之レ  
 ヲ小切り候ハ、光線ト空気流通不足ノタメ不向キノタメニ候

シドニー外人

在勤者名簿ハ前便ニテモ御送り申上候ヘトモ、今便又一葉加封致シオキ候

右

東京支店詰メノ諸兄ハ勿論、其他一般ノ当商店従務又ハ関係ノ方々ニシテ、御家族乃至御親  
 族間ノ御不幸モ免レザリシ事ト恐察罷在候ト同時ニ、又我々モ不幸ニシテ同様ノ立場ニアル

者有之、此際個人的ニ一々御見舞状ヲ差上ゲヌ場合可有之候ヘトモ、不惡御諒承被下度本支  
店關係御一同へ我々ノ精神ヲ御移牒被下度、特ニ当方一統ニ代リ御願申上候

守田治平 拜

大正十二(一九三三)年

二四五

取四四号信 大正12年9月20日 安芸丸便

豪社守田治平↓神戸及東京取締役及部長

拜啓

前報後貴信ニ不申接候へトモ、「イースタン」便ハ今明日中ニ到着期待罷在リ候

震災

其後当地総領事館入電公報等ヨリ承知致候へバ、死傷・被害数等モ最初報導サレタル数字ヨリハ大ニ減少シ、救済事業モ着々進行ノタメ今ハ路頭ニ迷フモノモナク、被服食糧等モ不足ニ苦シム状態ニハ無之模様ニシテ、我々モ漸次意ヲ安ンジ居リ候へトモ、而カモ現状ノ混乱、惨況ハ吾人圏外ニアル者ノ想像モ及バザル処ト同情罷在候

十七日發貴電ニ依レバ



栗原工場・日本フェルト全減

館林（上毛モス）沼津工場損害ナシ

中山（上毛工場）東京モス・東洋モス・東京毛織・千住（製絨所）其他火災ハ免レタル  
モ震災大ナリ、程度不明

各製粉工場事実上無事ナレトモ、横浜揚荷役当分不出来

石鹼工場比較的被害少キモ程度不明

牛脂成ルベク長ク積出シ延期ヲ乞フ

食糧品案外ニ困ラズ、目先輸入商談ナシ

小麦免税ヲ見越シ新麦買氣アリ

トノ御報ニテ特ニ栗原氏ニ対シテハ御同情申上候、其他ノ工場モ至急修膳、又ハ改築ニ取掛リ候事ト信ジ候ヘトモ、当分商談ナドニ運ビニハ至ラザルベキ御見込ハ、乍遺憾止ムヲ得ザル儀ト存候

丹後丸ハ震災当時貨物ノ殆ド全部ハ横浜ニテ陸揚ゲ済ナリシタメ、「タロー」「オリーン」丈ケガ船中ニアリ、神戸へ運送致サレ候由、P.T.O.へノ入電ヨリ伝聞致候、然ラバ被害保険額ハ約五萬鎊ニシテ無故障決済致サレ候様祈リ居リ候

羊毛注文トL/C

開市初頭、日毛式千五百俵ノ御注文ニ接シ、信用状モ D.C. 一万五千£ (旧状残一万£アリ) ノ外ニ C Form 三十五万円ヲ得ラレ、前貸条件附モ無故障御交渉行届候段、御同慶ノ至リニ御座候

正金過振中止ト  
利息

問題ニ就テハ其後松島支配人ト談合致候処、震災後、日本ヨリ此際一般ニ従来ノ信用程度取計ヒラ無視シ、日本ヨリノ指図ヲ待ツベシトノ来電アリシタメ、不取敢、取引先一般へ其諒解ヲ願フ事トセルモノナレバ、不日旧態ニ復スベキ見込ナリ

又利息引上ゲハ、此非常ノ際ニ於テハ限ラレタル資金ヲ以テ可及的利用ノ要アルベキヲ慮リタルタメナルニ付キ、日本ノ經濟状態ノ目安モ立チ、其必要ナキヲ認ムルニ至レバ敢テ 6½% ヲ固持セントスルモノニ非ズトノ説明ニ付キ、最モ近キ時機ニ於テ復旧シクル、事ヲ頼ミオキ候次第ニシテ、遠カラズ変更致シクレ候ヤニ期待致候

Exchange 高下

震災以来、貴地ノ相場ハ「ノミナル」ナリシモ、九月四日ヨリ十五日迄ノ間ニ正味 4 points 下リトナリシニ対シ、当地正金ニテハ 5 points ヲ引下ゲ候ハ相場變動不安ノ折柄、当地ニテ

ハ大事ヲ取りシ立場ナルベキモ、之レニテハ一向勉強振りハ認め難ク、殊ニ本日安キ丸積為替取組ミノ時ニ当リ、 $\frac{1}{8}$ 下リト発表致サレ候事頗ル不感服ニ思ハレ候、恐ラクハ日本ニテモ同様 $\frac{1}{8}$ 下リト相成候、当店着電延引ノタメニシテ、当地ダケニテ引下ゲシモノニハ非ル可シト存候ヘトモ、何レニシテモ此態度ニテハ倫敦廻リニ打勝ツカ又ハ對抗スル事思ヒモ依ラズ、夫レガタメ最モ究地ニ置カレ候ハ当店ニ付キ、今暫クヲ待チ、大勢何レニカ安定セル時ニ於テ重テ懇談可仕候ヘトモ、貴地ニ於テモ「シドニー」ノ建相場ヲシテ倫敦廻リニ對抗シ得ル様勉強方屢々御提議被下度願上候

大倉組石田君ノ談ニヨレバ、沢田君ガ出立前、日毛ヨリノ意向トシテ諒解セル処ハ

一時倫敦廻リ利用ヲ要求シタルモ、此問題ハ当分見合セノ事トセリ

トノ事ニテ石田君モ不審ニ感じ居リ候ヘトモ、或ハ沢田君ノ誤解ナリシカトモ察シラレ候、何レニシテモ同社ヘハ未ダ何等ノ注文モ無之タメ、不少神經過敏ノ如クニ候

Swift N.Z.

ヨリ其後入手セル書面ニヨレバ Mr. Denny ノ権力外ト成リシ如ク、我等ノ意見ハ克ク解リナガラモ容易ニ同意致シガタク見受ケラレ候処、本月十八日 Bradford Swift ヨリノ入電ハ同封写ノ如クニシテ、此文面ニ依レバ三井トハ既ニ約束済カ、然ラザレバ今更破談シ難キ程度迄深入

大正十二(一九二三)年

二四九

リ致シ居ルモノ、如ク、「デニー」氏ガ来志ノ節、此談ヲ持チ出シタル時ハ已ニ三井トノ取極メ乃至下談シヲ我等ヘ通知シテ同意ヲ受クルハ当然位ニ思ヒ居リシモノガ、反対ノ結果ト成リ、三井トノ打合セガ夫レ程進行シ居ルモノナル事ヲ打チ開ケ得ズシテ、去リタル物カトモ察シラレ候、而シテ倫敦 Swift ノ文意ニ依レバ、恰カモ我等ヨリ理不尽ノ申出ヲ為セシガ如ク誤解カ、彼等ノ勝手ナ立論カ、諒解ニ苦シム候

之レニ対スル回答ハ当然当方ノ申出ヲ confirm シテ、三井ノ代理店タル事ニ決スルノ外ナクバ、当店ハ他ニ代理店ヲ移スノ外ナシトノ意味ヲ円曲ニ申送り、彼等ヲシテ浮氣心ヲ断念セシムル仕向ケトスベキナレトモ、若シ三井トノ關係案外深キモノアリ、我等ノ要求ガ徹底セザル場合ハ適當候補者ノ多カラザルNZニテハ乍遺憾早速当惑ヲ免レザル立場ニモ有之、不取敢、別紙写ノ如ク倫敦ヘ返電ヲ發シ、北村取締役御帰濠迄懸案トスルト同時ニ Swift ト絶縁スル事ガ我等ノ主張ナルガ如キハ誤リナル意味ヲ含メオキ候

而シテ此問題ノ解決スル迄ハ、口錢問題モ従来ノ通りタルベキ事ヲ重テNZヘ申送りオクベク候

三井ガ Swift ヲ手ニ入レント焦リ居リ候ナレバ、従来買次者 Dawson ノ歩留リ不成蹟モ一大因ト存候、然シ Swift トテモ決シテ常ニ満足合格ニハ無御座、否却テ歩留リノ不確定ナルニ悩マサレ居リ候ハ事実ニシテ、Denny ノ反省ヲ促シ候事モ一再ナラズ、将来トテモ此状態ニテ継続致候ハ、寧口此方ヨリ他ニ信賴シ得可キモノヲ撰ム必要ニ迫リ候カニモ案ジラレ候立場

ナレバ、北村取締役御帰任ヲ俟テ、NZ買次者物色ノ要モアルベキヤニ感ジラレ居リ候  
倫敦 SWIFT へハ以書面、吾人ノ利害關係ハ必ズシモ彼等ノ固執スル如ク簡易ノモノニ非ル事  
ヲ説明可致候

Australian Bulk  
Wheat

日本行満船開始ノ記録タル明日出帆 Handicap ニテ約八千屯ノ先鞭ヲ当店ガ附ケ候事、本懐ノ  
至リニ御座候ヘトモ、不幸横浜災害ノタメ貴地ノ受荷ニハ不少御苦勞ノ事ト洞察致候  
此非常ノ場合、本船々長トシテモ充分ノ同情ヲ以テ、荷役ノ際ハ援助的態度ニ出デクレ候様特  
ニ頼ミ込ミオキ候、積入数量増加ノ夕、L/C 追送電請申上候ヘトモ、間ニ合ハザレバ長野丸  
宛一部流用可致候

九月末半期仮決  
算予想

ハ大体如左、純益約三千九百£ト観テ大差ナカルベキヤニ存ジラレ候

輸出口銭及雑益	九五〇〇£
輸入総益	二一〇〇£
不動産収入	六〇〇£
利息収入	一八〇〇£

大正十二(一九三三)年

内地為替料 三〇〇£

計 一四三〇〇£

経費 九五〇〇£

所得税 九〇〇£ 一〇四〇〇£

差引益 參千九百£

輸入ハ経費ヲ計算致候ヘバ、喰ヒ込ミト相成リ候ヲ免レズ候

## 所得税減率

NSW州ハ変更ナク 2/6 ペンス per £1 ニ候ヘトモ

聯邦ハ会社率 2/8 ペンスヨリ 1/- per £1 ニ低率ノ事ト相成候ニ付キ、今後ノ分ニ対シテハ大助カリト相成リ候

## 外人店員定限年令

ハ事情ノ異ル点モ多ク、日本人同様ノ規定ヲ作ル事モ困難ニ候ヘトモ、外人モ日人同様株主トシテ奨励会規約ニテ全然同等ノ取扱ヲ受ケ候事ヲ明カト致候時ニ、外人店員ニ対シテモ或規定ヲ設ケラレ候御意向ナランカト察シラレ候ニ就テハ、北村取締役御離日前、御相談相願候ハ、

好都合ナル可シト存ジ、茲ニ書キ添へ申候

ブリスベン羊毛

セールニ列スベク広戸・コッス両氏ハ「バート・リード」ト共ニ本日発足致候

本船ニ八月火曜両日ノ買附多数全部ト其上ニ水曜日買附ノ一部ヲ積込ミ候事トテ、係員一同夜ヲ徹シテノ多忙振りハ愉快ニ御座候

此寧ロ意外ノ大貨物ニハ「ウイリアム」氏モホク々々ニシテ、我々モ可成ダケNYK船積ニ全カヲ注ギタル次第ニ御座候、本船ハ約二千三百俵ニシテ「がんどす」ハ三百七十四俵ニ候

大毛先約為替

額ノ行き違ヒニ就テハ当方ニテハ頗ル苦心罷在候処、七月廿七日附貴輸入部状中御来旨ニ依レバ、約八千£超過トナルモノハ其俣ニテ、大阪モスヘハ仕切りヲスル心組ナリト頗ル平易ノ御態度ニ意外ノ思ヲ致候

当地ニテ先約セル毎ニ其額ト率ハ一々大毛へ御報告ノ上、先方ニテモ記帳致候事ト信ジ候、然ルニ約八千£ノ差ヲ生ジ、而カモ得意先ニハ多大ノ不利益ト相成候ニモ拘ラズ、其俣ニテ通過致候物ニヤ、甚ダ不安ヲ覚へ申候、元々当地ノ為替約束ニ対シテハ当地正金ノ証明書ヲ送ルニ

モ非ズ、全然当店ノ報告ニ信賴サレ居ルモノト諒解致候モノニ対シ、萬一我等ノ信用ヲ毀損スル事共相成候ハ、其及ボス影響ノ甚大ナル可キヲ覺ヘシメ候

臨機応変、時ニ少シノ融通ヲ利カス位ノ事ハ免レザル可ク、必ズシモ馬鹿正直ノ意味ニハ無御座候ヘトモ、八千 $\text{円}$ 近クノ大額ニ対スル問題ガ頗ル易々タルガ如クニツキ、特ニ御注意申上候儀ニ御座候

東京支店ヨリ御送附ニ預リ候東京支店員執務中ノ大写真、正ニ入手御礼申上候、当店モ今日ニテハ其面積ニ於テ日本商店中濠洲第一ノ物ト相成リ居リ候ニ付、実写ヲ御目ニカケ度存居候

貴族員<sup>(マ)</sup>議員一行ハ先月吉野丸ニテ帰朝致サレ候ヘトモ、大震災後ニシテ驚倒致サレ候事ト御同情申上候、特ニ当店ニテ御世話致シ候人ハ書記官(農商務省書記官兼任)成瀬氏、金杉博士(一行ノ中心人物)、小幡男、吉井伯団長ノ順序ニシテ、西尾子ハ特ニ馬ニ関スル趣味深ク研究希望ノ如クナリシモ、三井ノ伊藤支店長親族関係ノタメ終時三井ニノミ接近致サレ候

汎太平洋会議列席博士連ハ会議後自由行動ヲ取りシモノ多ク、大森博士ハ「ホノル、」經由既ニ「ナイガラ」ニテ出發済、近藤博ハ「タスマン」ニテ「シンガポール」經由、戸田・仁田兩



博ハ「マニラ」ヨリ安キ丸ニ乗ル筈、「シドニー及ブリスベン」ヨリ本船ニテ出發スルハ桜井  
團長・山崎・池野・大島・小倉・新城ノ諸氏ニ候  
而シテ特ニ当店広戸君ガ局ニ当リ、御世話致候ハ戸田・仁田・近藤・池野・大島・山崎諸氏ニ  
シテ、何レモ頗ル好感ヲ以テ帰ラレ候、戸田博士ハ大坂ニテ衣食研究専門ナル事、富森君御承  
知ノ如クニシテ、濠洲肉ニハ多大ノ抱負ヲ持チ居リ候

右

取四五号信 大正12年9月24日 ガンジス丸便

豪社守田治平↓神戸及東京取締役及部長

拝啓

貴信

〔5〕八月廿二日附イースタン便、本月廿一日入手致候

シドニー円為替  
先約

ニ就キ当方ヨリ特ニ電報ヲ以テ御願ヒ致候件ニ関スル御来旨拝誦致シ候、此問題ハ大塚支配人モ明ニ其不可能ナル事ヲ認メ居ルノミナラズ、事柄其物ガシドニー正金支店事項ニ外ナラズトノ貴方御意見ニ依リ、更メテ此問題ヲ日本ノ正金ヘ説明、又ハ交渉スベキ筋合ノモノニ非ルガ如キ御意向ノ如ク拝察致サレ候

如仰シドニー正金取扱事項ニハ相違無御座候ヘトモ実行容易ナラズ、取引先ノ故障ノ伴フモノ

日毛前季注文

少カラザルヲ思ヘバコソ頭取席へ提議シ、其意向ヲ待テ決定スル立場ニツキ、此際日本ノ正金頭取席トシテモ、日本ニ於ケル関係者ノ意見ヲ徴シ得バ便宜少カラザル可ク、松島支配人トシテハ之レヲ必ズシモ実行不可能ナリトハ思ヒ居ラズ、既ニ当方ヨリモ御説明申上候如ク、実行可能ノ形ニ於テ、何トカ実頭ノ要ニ迫リ居ル事ヲ力説致シ居リ候次第ニシテ、当店ノ立場トシテハ如此新例ノ開カレヌ内ニ葬リ去ルノ要有之候タメ、日本頭取席ニテ考慮中ナレバ、此好機ニ於テ貴方ニテ得意先ノ立場ヲ充分御説明相願ヒ候ハ、其得ル処少カラザル可シト御尽力願出候意味ハ貴方ニテモ御諒解ノ事ト信ジ候ニ付、適當ノ形ニ於テ正金頭取席乃至当事者ヘモ可然御折衝ノ勞ヲ採リ呉レ候事ト奉期待候

数字比較表ヲ前便貴輸入部ヨリ入手拝見ノ結果ガ、全然当店ニ不利ナリシモノヲ確メ得タルトキ、我々感想ハ全ク貴方御来意ト同一ニ有之、頗ル遺憾ニ存ジ居リ候処ニ御座候、此問題ニ対シテハ貴方ニテ充分御研究ノ上、川西社長ニ御面談ノ結果、相当ノ御諒解ヲ得ラレ、又塚脇取締役トモ御懇談相成リ候經過ノ御詳報ニ預リ候ト同時ニ、数字ノ結果ガ案外兼松ニノミ不公平ト成リ居ル事ガ必ズシモ日毛ノ方針ニ基キシモノニハ非リシ事ヲ認メラル、ニ及ビ、稍々愁眉ヲ開カレ候由、殊ニ此際北村・藤井両取締役ガ川西社長ト私宅ニ御会談ノ機ヲ得ラレ候事モ甚大ノ好果ヲ生ジ候筈ト奉謝候

塚脇氏ノ注告ノ大ニ味フベキモノナルハ勿論ニシテ、其大部分同業者ノ中傷的壁訴訟ニ依テ、理ガ非デモ兼松ノ繩張りニ喰ヒ入ラントスル者ノタメニ受クル当店ノ濡レ衣ニ甘ンジ得ザル事ハ、藤井重役ヨリモ御弁疏相成候如クニ候ヘトモ、我々ハ又此種ノ中傷的偽言、又ハ誇大ノ言ニ振ランモ、決シテ等閑視出来ザル事実ニ対シテモ、意ヲ用ヒザル可カラザル事ヲ益々適切ニ感ジ候次第ニシテ、愈々用意周到、得意先ノ感情ヲ害セザル事ニ注意、最善ヲ尽スノ外御座ナク候

今回新赛季開始ノ時ニ方リテハ、三井及当店丈ケヘ御注文ノ光荣ニ浴シ、而カモ当店ガ最モ多数ナリシガ如ク承知致シ本懐ノ至リニ有之、御高配奉謝候、当方ニテハ広戸・Cos 両君当局、品位ノ撰択、買附値段等ニ就テハ十二分ノ努力ト注意ヲ以テ御厚情ニ酬ヒ、跡御注文ノ増加ヲ祈リ居リ候

目下、広戸君B市出張中ニ付キ、追テ当局トシテノ同君ノ御感想執筆有之候事ト存候ヘトモ、茲ニハ右迄御受ケニ止メ申候

単ニ羊毛関係ノミナラズ、総テノ濠洲貿易ニ関シ、競争他商ハ理ガ非デモ濠洲生ヘ抜キノ兼松ノ繩張りニ喰ヒ入ルヲ以テ成功ノ一ツトシテノ目標ヲ以テ、実力ヲ以テ競ハントスルヨリモ、先ヅ中傷的行為ヲ以テ少シタリトモ兼松ノ名声ヲ損ズル事ニ依テ、其分ヶ前ニ与ラントスル卑劣ノ徒多キタメ屢々当店ガ迷惑ヲ蒙リ候事多ク、高木風ニ当リ易キノ類ニシテ、我々余計ノ苦痛ヲ負ハサレ候次第ニ御座候

奨励会規約英訳

文書六部入手致シ候、未ダ拝読ノ機無御座候ヘトモ、通覧ノ上、不取敢外人株主三名へ配与致シオクベキ候

丹後丸荷物震災  
保険

ニ関シ、本月十九日發貴電二十四日延着如左

〔英文翻刻省略〕

今期「ランサー」氏ト種々研究致シ、又我々ノ意見ヲモ加味セル所如左ニ有之、今便發後、可然今夜貴方へ打電可申上候

「仮ニ貴方御想像ノ如ク焼失ニ非ズシテ盜難ニ遭ヒタル場合ハ、保險証面ニアル *Rovers* ニテ充分ニ *Cover* サレ居ルトノ御解釈ハ誤リニシテ、海上ニテ海賊的又ハ其他同様ノ方法ニテ全部又ハ一部ヲ掠奪サレタル如キ場合ニシテ、陸揚後ノ掠奪又ハ盜難ヲ含ムモノニ非ズ

依テ該丹後丸荷物ガ掠奪又ハ盜難ニ依テ紛失セル事明カトナレバ、「カントン」会社ノ

海上保険証ニテハ弁償ノ義務ナシ

依テ貴店トシテ保険会社ニ対スル説明ハ

「丹後丸荷物ガ横浜港ヘ陸揚ガサレタルハ事実ナルモ、其後震害ノタメ全部（又ハ一部）存在ヲ認メザルタメ引取り不能ト成リタリ、其原因ハ火災ノタメニ焼失セ  
ルカ、又ハ海中ニ落チ込ミタルモノト認ムルノ外ナシ」

トノ理由ノ下ニ保険金請求ノ外ナク候

保険会社ガ焼失ノ根跡モナク、又海中ニ墜落セル形跡モナキニ付キ、恐ラクハ盜難ナル  
ベク、然ラバ其責ナシトノ申分モアルベシ

事実ハ或ハ夫レニ近カランモ、保険会社ガ貴店ノ要求ニ反対セントスル時ハ盜難ナリシ  
事ヲ立証スルノ要アリ、之レハ不可能ナルベク、結局ハ貴店ノ要求ニ従フノ外ナカルベ  
キヤニ存ジラレ候

若シ紛失シタル「*Top*」其他ノ商品ガ盜難ノ形跡ニテ意外ノ場所ニテ発見サル、ガ如キ事  
アラバ、其分ニ対シテハ保険会社ガ責ニ任ゼザル事勿論ニ候

又食糧・被服ノ類ト異リ、「*Top・No.1*」ノ如キ而カモ重荷ノ物ガ真逆ニ盜ミ去ラレシトモ  
思ハレズトノ常識判断モ附セラルベクト存候

戒嚴令迄モ布告サレシ程ナレバ、其当時ノ実況ガ *Riots or Civil Commotion* ナド、一

般専門家内ニ解釈サル、ガ如キ事アラバ一大事ニシテ、保険会社ノ義務外ナル事明カニ候ヘトモ、如此状態ニハ非リシ事ト存候

Lauser 氏ガ衷心ヨリノ同情心ヲ以テ此問題ガ全然当店ノタメニ有利満足ナル解決ヲ見ルニ至ル事ヲ祈リ居リ、我等ノタメニハ当店ノ顧問的立場ヨリ種々ノ意見ヲ述ベクレ、我等ノ得ル処少カラザルノミナラズ、若シ貴地ニテ面倒ヲ来シ候様ナレバ出来得ル限りノ讓歩好遇ニカメ候様、当地代理店トシテ電報致サセ可申候

右

取四六号信 大正12年10月10日 マドラス丸便

豪社守田治平↓神戸及東京取締役及部長

拝啓

前報後入信無之候

丹後丸横浜揚貨  
物保険

問題ニ関シテハ、前便弊信ヲ以テ当方ノ意見ハ御説明申上候如クニ有之処、当方電報貴着後、折返シテノ貴電ニ依リ敬承致候ヘバ、貴方ニテハ此方ノ電報意見ガ意外ナル物トシテ驚カレ候如クニシテ、「ランサー」氏ノ援助ト相俟テ保険証面条項ノ研究ヲスベシ、横浜陸揚ゲハ最後ノ目的地ヘノ輸送途中一時的ノ性質ニシテ、此レニ関シ何等反対ノ条件ヲ明記シ居ラザル以上、Ware-house Clause ニテ総テノ Risk ヲ cover サレ居ルモノト信ズ

貴店 Top ノ大部分ガ保管サレ居リタル場所ガ、火災ヲ免レタルカノ実状ガ如何ナルモノナリ



シカハ確メ得ザレトモ、貨物ハ行先不明也、NYKガ之レニ対シ、如何ナル説明ヲ与フルカハ未明ナレトモ、何レニシテモ我々ニハ総テノ貨物が焼失、又ハ海中ニ失ハレシナド、真面目ニ仮定シ得ル立場ニ非ルヲ恐ル、加之ナラバ如此事實アラザリシ事ヲ証明スベキ事實ハ充分ナル可シ

当方ノ返電ニ対シ、頗ル御不満足ナル模様ニシテ大ニ恐縮致候、苟クモ此重大問題ニ対シ、相  
当ノ研究ヲ積マズシテ長文ノ返電ヲ発シ候筈モ無之候事ハ御賢察被下候事ト存候ヘトモ、貴方  
ニテハ *Rovers* ニテ充分ニ *Cover* サレベキ筈也トノ御解釈ナルニ対シ、当方ノ回答ガ反対ナ  
リシタメニ不少意外ト致サレ候事モ一因ナランカト存ジラレ候、何レニシテ当方ニテハ始メヨ  
リ「ランサー」氏トモ個人的ニ協議研究致候結果ニ外ナラズ候ヘトモ、勿論貴地ノ実況ヲ知ラ  
ザル我々トシテハ、貴電御来意ト其他ノ情報ヲ綜合シテ想像スルノ外無御座、的確ナル意見ヲ  
定メ候事困難ニ御座候ヘトモ、尚貴電ニ基キ重テ研究致シ、又法律家トシテノ意見モ徴シ候結  
果ハ九月廿八日及十月二日発弊電ノ如クニシテ、「ランサー」氏トシテハ既報ノ意見ニ固執ス  
ルノ外ナク

丹後丸ヨリ貨物ハ陸揚ゲサレタル事明カナレトモ、其後大震災ノ余波ヲ蒙リ、該貨物ノ  
行先不明トナリ、如此突発的大災害ノ折柄、其原因ヲ確メ得ズ

ト申ス様ナ意味ノ証明書ヲNYKヨリ取り、夫レニ明細ノ書類ヲ添ヘテ広東代理店ヘ請求書ヲ提出スルノ外ナク、保険会社トシテモ速ニ是レガ満足ナル解決ヲ与フベシトハ期セザレトモ、広東代理店トシテハ外ナラヌ兼松商店ニ対シテハ、此程度ニテ必ズヤ満足ナル解決ヲ為スベキ事ヲ確信スト「ランサー」氏ハ申シ居リ候、我々トシテモ容易ニ「ランサー」氏ノ比較的樂觀說ヲ鵜呑ミニ致シ候者ニハ無御座候ヘトモ、当方ニテ考ヘ得ル範圍ニ於テハ、兎ニ角、此方法ニ依リ交渉ヲ開始スル事ニ於テ、当店ヲ不利ノ立場ニ陥ラシムルニハ非ル可シト愚考罷在候、NYKヨリ採ル証明書記載文句ノ如キハ、可然貴方ニテ御研究被下候事申ス迄モ無御座、当方ヨリノ電文ハ御参考ノ資ニ過ギズ候

商習慣ヲ放レタル法律家が保険証面記載文句ヨリ研究セル結果ハ、或程度迄貴方ノ御見地ト同様ニシテ、保険本証ニ記載サレタル条項ノ全部ガ Warehouse Clause ニ繼承サル、モノナレバ Fire, Pirate Rovers Assailing thieves 其他ノ何レモガ陸上ニテモ起リ得ベキモノナレバ、勿論貨物が最後ノ目的地迄輸送サル、間、保険会社ノ責任ト解ス、然レトモ、事實ニ於テ Rovers ハ「パイレート」ト同意味ニ用イラレ居リ、陸上ノ危険トシテ明カナルハ Fire ニシテ強テ其他ノ物ヲ含メ得ルハ Assailing Thieves ナル可キカ、然レトモ最近日本ニ於ケル状態ハ暴力ヲ用イテ掠奪シタルモノニハ非ルガ如クニシテ、若シ火災ノタメ焼失セルモノニ非ル事モ立証サル、ニ於テハ、全ク保険会社ノ責任以外トノ結論ニ達スルノ外ナシ  
然レトモ火災其他ノ出来事類々タリシ非常ノ時ニ於テ、被保険貨物ノ存在ヲ失ヒタルハ事實ニ

シテ、其原因ハ確定シ得ザレトモ、是レ等ノ災害ノ何レニカ属スベキモノト仮定シテ、保険会社へ請求スル事ガ唯一ノ方法ニシテ、又不当ノ申出ニハ非ズトノ意見ハ、恰モ「ランサー」氏が始メヨリ申シ居リシ処ト一致致シ候

*Rovers* ナル熟語ガ *pirate* ト同意味ナル事ハ、保険ニ関スル書物ニハ定議殆ド明瞭ナル事ハ貴方ニテモ御確メ被下候事ト存候

*Assailing Thieves* モ実ハ右ト同意味ニテ用イラレ居ルモノナル事ハ、保険会社ノ異句同音トスル処ナレトモ、仮リニ讀ンデ如字、暴力ヲ用イテノ掠奪ガ行ハル、ガ如キ場合ヨリハ *Rioters* 又ハ *Civil Commotion* ナドノ状態トナリ、保険義務外ト可相成場合多カル可ク候

先年米國桑港大震災ノ時ニ於テ、何カ参考ニ成ルベキ先決例モ非ルカト法律家ノ手ニテ取調べ候ヘトモ、今回ノ日本ニ於ケル出来事ノ如キ大ナルモノニハ非リシノミナラズ、其他ニハ勿論法律上ノ先例ナク、保険会社ガ善意的徳義心、又ハ過去及将来ノ取引ヲ考量シテ厚意ノ態度ニ出ルニ非レバ、頗ル込入りタル一大問題ト成ルハ免レザル可シト案ジラレ候

此際 *NYK* トシテハ何レノ程度迄義務有之候物ニヤ

輸送契約トシテ *B/L* ニ記載サル、モノハ、貨物ガ「*スリング*」ニテ船ヲ放レタルノ時ニ於テ船トシテノ義務ヲ終ル如クニ候ヘトモ、船会社ト荷主間ノ關係ハ必ズシモ而ラズ、陸揚後、相

当ノ期間船会社責任ニテ貨物ヲ保管致シ候商習慣モ有之、加之ナラズ、陸揚後二十四時間ハ全然船会社ノ責任明カナル事モ耳ニ致シ候ヘトモ、筆者トシテハ確ナラズ、貴方ニテモ御苦勞少カラザル事ト恐察罷在リ候

Y S B 為替先約  
ノ件(羊毛以外  
ニ対シ実行)

ニ就テハ、日本ヨリノ確答ニ接セズ、松島氏トシテハ之レガ実行ノ一日モ早キ事ヲ希望スレトモ、此際特ニ電信ニテ日本側ノ回答ヲ促ス訳ニモ參ラズ、其俣ト相成リ居リ候ヘトモ、羊毛以外商品ニシテ前貸ヲ要スル物ニ対シテハ、今後必ず為替先約ヲ要スル事ニ決定致候、則チ当店扱品トシテハ「Op・ノイル・タロー」等ニシテ、早目ニ代金支払ヲ要スルタメニ正金ノ勘定ヲ過振リト為ス場合、其当時ノ率ニテ相場ノ先約ヲ取極メル要アル事ト相成リ候

於事實、羊毛以外ノ商品ハ F O B 買極メノ例多キ事トテ長期間過振リト成ル場合少ク、羊毛以外ノモノニ対シ、此新例ヲ勵行スル事ハ無意味ナルベシトノ意向ヲ以テ、松島氏ヘ之レガ見合セヲ交渉致候ヘトモ、同氏ノ意見トシテハ、他店ニテハ大部分既ニ先約ヲ実行致シ居リ、為之兼松ノミガ徹頭徹尾反抗スルハ寧ろ諒解ニ苦シム次第ニシテ、銀行トシテモ決シテ依之余分ノ利益ヲ収メントスルナドノ野心ヨリ成レルモノニ非ル事ハ、既ニ諒解ヲ得居ル積リナレトモ、何レニシテモ「シドニー」支店トシテハ、今後此方針ニテ勵行スル事ニ決心シタルモノニシテ、兼松商店トシテモ為之格別ノ迷惑ハナキ事ニ成ル可シト思ハル、正金トシテハ「K」ノ絶対的

意志ニ反シテ迄モ無理ヲ押シ通サントスル意味ニ非ズ、常々金融ノ準備ノ要アル銀行ノ立場ニモ充分ニ同情アリタシトノ弁明ニシテ、其間種々意見ノ交換ハ御座候ヘトモ、結局此方針ハ同意シテ貫フノ外ナシトノ事ニテ、之レ以上談判ノ余地ナキ事ト相成候

為之、当方トシテ先約ノ要ニ迫ル恐レ多キモノハ Hughes Top ニシテ、之レモ強テ支払ヲ延期致候ハ、積船出帆ニ近キ支払ノ方法モ不可能ナラズト存候ヘトモ、彼等ノ希望ニ応ジ、支払等モ時ニハ早目ニ支払候事ナド商談上ニ及ボス間接ノ効果モ少カラザル意味モ有之候ニ付、当店ニ於テ融通シ得ル範圍ニ於テ最善ヲ尽シ、御得意先ヘハ従来ノ通り変リナキ事ニ努メベク候ヘトモ、貴方御得意先ノ御意見果シテ如何ニ候ヤ、御確メ被下候上、今後ハ可然時機ニ於テ為替先約ノ同意ヲ得ル事ト相成候ハ、頗ル好都合ニ御座候、而シテ相場ヲ先約致候時ハ其率ヲ貴方ヘ電報致シ、Y S B 先約書ノ写ヲ御送り申上ル事ト可致候、御尽力御願申上候

日本ノ得意先トシテハ此種ノ面倒ヲ嫌ヒ候結果、或ハ三井ノ如ク無条件ニテ引受ケ候方面へ自然商談ガ容易ニ運バル、事トナル憂多キ事モ説明致シ、必要ノ場合ハ臨機応変、相場先約ヲセズシテ、前貸シノ便ヲ与ヘクル、様ニハ松島氏ノ諒解ヲ得オキ候ニ付、此新規定ハ当店ヘ対シテハ全然釘付ケト申ス程ノモノニハ無御座候ヘトモ、「シドニー」正金トシテノ根本の方針ハ定マリ居リ候物ニツキ、其御含ミヲ以テ可然御得意先ヘノ御説明御願申上度候

為替ト小麦

D. C. 信用状獲得困難ノ折柄、其 *long share* ヲ日毛御用ニ宛ツル事ト相成候結果ハ、小麦商談モ愈々困難ノ度ヲ加ヘ候ヲ免レザルニモ拘ラズ、近来円為替ニテ小麦商談ノ引續キ成立致候事、薄口銭ナガラモ御同慶ノ至リニ御座候

最近御注文ニ接シ、当方ニテモ目下必死尽力中ナル日清六千屯ニ対シテハ、五萬£ノ D. C. 發行承諾ヲ得ラレ候由、好都合ニ御座候

本月八日千四百屯ノ小麦ニ対スル為替相場ヲ借りオキ、之レガ引受ケ通知ヲ Y S B へ為セシハ夜ノ八時頃ナリシタメ、Y S B トシテハ翌日ノ仕事ト成リ居リタルニ翌日ハ意外ニモ  $\frac{1}{16}$  上ト成リシタメ、此分ニ限り特ニ翌日ノ上リタル率ニテ取極メクレ候事ハ、正金トシテ大ニ勉強致シクレタル次第ニシテ、自然当方電報率ヨリハ  $\frac{1}{16}$  貴方へ有利ト相成候事、部状御報告申上候如クニ御座候

但シ之等ハ例外ニシテ、平生ハ相場仮約期間ニ昇騰致候トテモ、其好率ニ乘リ替ル事ハ不出来ナル事申ス迄モ無御座、其代リ其相場ガ銀行ニ不利トナルトモ逃ゲラレザル事当然ニ候

新麦作柄

予想ハ区々ニシテ、未ダ信ヲ措クニ足ルモノ少ク、最近 N S W 州農務省ガ農家ノ報告ヲ各地派遣巡查ノ手ニテ集メタルモノニ依ル報告ニ拠レバ、前季ヨリモ作付ニ於テ三万エーカーノ減少

ナレトモ、Hay、ニ刈リ取ラル、モノ少ク、小麦ハ却テ増加スベシトアリ、一方同時ニ鉄道局ノ調査報告ニヨレバ、全体作付ケ前季ニ比シ拾萬エーカーノ増加ナリトアリ、如何ニ此種ノ報告ガ頼リナキモノナルカラ思ハシメ候、如此状態ナレバ品質予想等モ一様ナラズ候ヘトモ、目下ノ状態ニテハ品質数量共ニ前季ヨリ劣ルベシトハ思考致サレズ候

北村

取締役ハ十一月貴地発安芸丸ニテ御帰濠

藤原店員ハ七月発吉野丸ニテ来濠

御予定ノ由貴電拝承致候

大地震実況

写真ノ一部ハ神戸発後十五日目ニテ「ニューカッスル」へ到着セル Blue Fan... Time 汽船ニテ持来ラレ、最近各新聞ニ複写サレタル物ニテ拝見、其悲惨ノ極ヲ目ノ当リニ致シ候如ク、実ニ食事モ喉ヲ通ラザルノ思ヒ致シ、直接被害者ニ対スル同情ノ念ヲ益々増大ナラシメ候

ブリスベン・シド

本日ヨリ愈々開通、三分間 $\frac{5}{8}$ ペンズニテ使用シ得ル事ト相成リ、目下一本線ニ限ラレ候ニ付、

二一問電話

不少困雜致候事ト存候ヘトモ、大ニ便利ト相成リ候

右



取四七号信 大正12年11月2日 丹後丸便

豪社守田治平↓神戸及東京取締役及部長

拝啓

貴信

1200前記九月十日附、本記九月廿日附、後記九月廿一日附

東京支店林取締役ヨリ神戸本店宛状ノ写（九月二日附ヨリ九月八日夜附マデ）

及救護派遣員報告等、何レモ吾人ノ鶴首待チ兼ネ居リ候貴信全部、十月十七日入手拝読致候

其後最近「あらふら」及「インダス」到着致候ヘトモ、前便写のみにて貴状ニ不申接候

東京横浜罹災地方

ノ実況ヲ確メ、且ツ商店関係者救護ノタメ出張セラレタル店員諸君ガ萬難ヲ排シ、身命ヲ賭シツ、機宜ニ適シタル御行動ハ着々其効果ヲ奏シ、交通機関杜絶ノ時ニ方リ克ク東神間ノ事情ヲ

大正十二（一九三三）年

二七一

迅速ニ報道セラレ、且ツ我々海外在勤者家族ノ安否巡視等ニモ深く意ヲ用ヒラレ候事感謝ノ外無御座、謹而其堅固ナル御決心ト御温情ニ対シ、深く敬意ヲ表シ候ト同時ニ白石使丁妻女ノ氣ノ毒ナル最後ヲ悔ミ、其他全部御家族モ御無難ナリシ事ノ天祐ヲ悦ビ上ゲ候

右貴状及報告書ニ依リ、詳細ナル情況ヲ拝察スルニ難カラザルト共ニ其被害程度ガ愈々我々ノ想像以上ナル事ヲ知り、益々悲觀ノ度ヲ強メ申候、我等御同様幸ニシテ無難健全ナリシモノハ此際何レモ大決心ヲ以テ勤勉努力、一日モ早く大ニシテハ国家ヲ安キニ置キ、小ニシテハ商店ノ健全ナル發展ヲ期セザル可カラザル事ヲ痛切ニ感ジ申候

正金トノ關係ト  
当店ノ被害

ニ就テハ五十嵐重役來神ノ時前田重役御面會ノ結果、満足ナル諒解ヲ得ラレ候由安心致シ候  
当店ノ立場トシテハ、製粉会社ノ殆ト全部無難ナリシノミナラズ、緊急令ヨリ小麦ノ輸入免税ト麦粉ノ課税据オキト成リシハ益々製粉会社ヲシテ有利ナル立場ニ於カシメタル如ク、当店ノタメニモ頗ル僥倖ニシテ、毛織会社ノ被害程度ヲ知ル事容易ナラズ候ヘトモ、栗原以外ハ全滅又ハ夫レニ近キ程ノ大被害ニ苦ミ候様ニモ無之想像致サレ候ヘトモ、而カモ支払延期ハ当然覺悟セザル可カラザルベク、其他取引先ノ債權回収見込表ヨリ拝承致候ハ、当店損失予算額四拾壹萬壹千円ハ、夫レダケニテモ当店ノ舞台ヨリシテハ大打撃ニ候ヘトモ、而カモ此大災害ノ

丹後丸被害保険

時ニ方リ此程度ノ損害ニテ相済ミ候ハ、不幸中ノ幸トモ可申、結局ハ遙カニ此数字ヲ超過スルノ厄ヲ免レザルニ非ルカト憂慮罷在リ候

羊毛会社ノ被害程度如何ガ実ニ当店ノ死活問題ニ有之、薄口錢ニ対スル当店ノ責任ガ如何ニ莫大ナルカラ通切ニ感ゼシメ候ト同時ニ、我々ハ又常ニ我等自身ノ資力程度ヲ惱裡ニ納メツ、健全ナル發展ニ努力シ、萬一ノ場合ニ備フルノ覚悟ヲ要スル事、今ニ新ナルニハ無之候ヘトモ、今回ノ如キハ益々其感ヲ強カラシメ候

最近十月三十日附貴電ニ依レバ、其後再三御調査ノ結果、丹後丸ヨリ陸揚ゲサレタル「Op」及「ノイル」等ハ火災ヲ免レタルモ、原因不明ニテ貨物ハ紛失シ居ルヲ確メタリ（以下不明）、タロー其他「ライター」ニ積マレタルモノハ全部焼失？

〔欄外書込〕

（「スペイン」丸麦粉及イースタン積荷？）

オリーンハ安全ニ神戸着受渡済、故ニ横浜NYKヨリ「Op・ノイル」ニ対シテハ「シドニー」電報廿八日附ノ来意ニ依リ英文証明書ヲ採リ、「タロー」ニ対シテハ近日運送会社ヨリノ証明書ヲ得、広東会社ヘ対シ、直ニ賠償請求ノ手順ト相成居候趣拝承致候

貴方ニテモ其後御研究ヲ重ネラレシ結果、広東へ対シテハ此方法ヲ採ルヨリ外ナキ事ニ御決心ノ結果ト存候

最近「ランサー」氏へノ神戸来状ニ依レバ、丹後丸貨物モ横浜ニテ焼失セルガ如クニツキ、同保險会社トシテハ正式ノ請求ヲ受ケタル上ニテ、可成ダケ満足ノ解決ヲ取計フ考ヘナリト申来リ居リ候由ニ候ヘトモ、何分巨額ノ事ニモ有之、決シテ容易ニ満足ナル解決ハ難期候ヘトモ、此際広東トシテハ充分ノ厚意ヲ表シクレ候様、「ランサー」氏ヨリモ特ニ申送り候様依頼致シオキ候

保險率引下ゲ

既報ノ如ク、小麦保險率引下ゲト共ニ羊毛・<sup>100</sup> 其他一般商品ニ対シテモ、今一段ノ勉強方考究ヲ申込ミオキ候処、「ランサー」氏モ我等ノ立場ハ充分諒解スレドモ、既ニ業々切り詰メタル処ナレバ、今ハ其余祐アラザレトモ、結局、九月一日分ヨリ 10% Less 20% Less 12½% <sup>100</sup>ニ引下ゲノ事ト相成候間、貴方ニテモ此程度ニテ御満足被下度願上候

井垣店員

東京支店へ転任ト決シ、当方都合次第帰朝シ、其上ニテ風間店員当方へ転任ノ御来電十月十七日拝承致候、此問題ニ関シ、部長間ニテ相談ノ結果ハ同月廿二日御返電申上候如ク

井垣店員ハ一月当地発丹後丸ニテ出発

風間店員ハ十二月貴地発丹後丸ニテ来濠

ノ事ニ相願ヘ候ハ、当方ニハ好都合ト存候ヘトモ、而カモ貴方ノ御都合如何ニヤ想像相附キ申サズ候ニ付、右当方ノ希望ヲ申上候ト同時ニ貴方ノ御都合ニ一任致シ、若シ御返電ニ接セザレバ当方希望ノ通り、御人繰差支ナキモノト認メ候次第ニ候

幸ニシテ小麦商談モ続々成立致シ、「タロー」等モ亦一時悲観シタル程ノ事モ無御座、当店輸出部トシテハ手一杯ニ多忙ヲ極メ居リ、且ツ井垣君モ愈々帰朝ノ事ト相成候ハ、此際一二ヶ月ヲ後ル、トモ、新麦作柄及出廻リ実況等ヲモ自身実検ノ上ノ事ト致候ハ、相互ノタメ得ル処少カラザル可シトノ意味ニ主因セルニ外ナラズ候

風間店員ガ井垣店員帰朝前ニ東京支店ヲ離レ得ル立場ナリヤ否不明ニ候ヘトモ、当店ノ立場ハ羊毛部ニテモ近来ノ如ク注文貧弱ノ場合 Desk work ハ寧ろ閑散ナルベキ筈ナルモ、他商ト協調買付ケノ結果ハ split lot ノ処分ニ多大ノ手数ヲ要スル事、実ニ予想以上ニ有之、注文増加トモ相成リ候ハ、到底現在ノ頭数ニテハ完全ニ処理シ能ハザルヲ恐レシメ候如クナルト、一方可成ダケ羊毛ストアー廻リニモ出来得ル限りノ機会ヲ与ヘ、羊毛ノ智識養成ニ努メザル可カラズ、從テ先般上仲致候如ク、網谷店員ヲ輸出部ニ振り替ヘ候事ハ困難ト相成候ニ付キ、自然貴方ニテモ風間店員転任ト御決定相成候ナレバ、寧ろ同店員来濠ノ船ニテ引返シ、井垣店員出発可然トノ希望返電申上候事ト相成候次第ニ御座候

吉野丸ハ去ル三十日木曜島安着致シ居リ、藤原店員ヨリハ未ダ入報無之候ヘトモ、勿論無恙航海ヲ続ケ居リ候事ト信ジ候

北村取締役ハ予定ノ通り不日安キ丸ニ御便乗ノ事ト存ジ候、航路安全ヲ祈リ上ゲ候

又復金融難予想

Bank of Austria ニ対シテハ早クヨリ来羊毛季間ノ金融交渉ヲ為シ、銀行支配人トシテハ勿論責任ヲ以テ約束ハ致サ、リシモ、当方要求予想額位ハ心配ナキ見込ナリトノ樂觀ナリシタメ、其当時ノ我々トシテハ為之薬ガ効スギテモ困ルト案ジタル程ナリシガ、不幸ニシテ意外ノ大震災ハ羊毛ニ要スル資金額ニ大異動ヲ来シ、且ツ正金銀行トシテモ R.C. 信用状ノ限度ヲ切り詰メ候結果、ロンドン廻リ手形入用額ハ大ナルヲ期待シ得ズ、此程度ナレバ何等顧慮スルニ足ラザル可シト安心致シ居リ候処、俄然、全濠銀行支配人ヨリ筆者ニ面会ヲ求メテ通告ヲ受ケタル結果ハ十月廿九日発弊電ノ如クニシテ一驚ヲ吃シ候

支配人「ノーマン」氏曰ク、君カラハ早クヨリ準備交渉アリ、心配ノ要ハナカル可シトノ予報ヲ与ヘタル自分トシテ、今此事ヲ語ルハ最モ苦痛トスル処ナレトモ、最近「メルボルン」総務部ヨリノ来旨ニ依レバ、今羊毛季節中、本銀行ノ負担額ハ予想外ニ莫大ナルモノト成リシ結果、

貴社ノ先約為替取組引受ケハ全然約束シ得ザル立場ト成リタレバ、此際、出来得可クンバ他ノ銀行ト取極メラレタシ、一般ノ銀行ガ必ズシモ当銀行ト同一ノ境遇ニアルトハ限ラズ、悦ンデ貴需ニ応ズベキ銀行モアル可シト意外ノ出来事ニ対シ、筆者ハ第一之レガ日本商人ニ対スルモノ、ミナルカラ確メントシタルニ、聊カモ斯ル意味ニハ非ズ、一般的ノモノナリトノ事ニ付キ、夫レニシテハ、当店ガ既ニ早クヨリ貴行ノ手ニ移シアル小麦信用状ニ対シテモ約束シ能ハザルハ余リニ不条理ト云ハザル可カラズ、且ツ如斯突発的ノ事アルベシトハ夢想モ為シ居ラザリシ筆者トシテハ、既ニ其外ニ小麦ノ商談ヲモ決定シ居ルモノアリ、其額約七、八万位ノ予算ナレバ、既ニ銀行ノ知ル丹後丸積羊毛、長野丸積小麦（一七五〇〇£）、一月積（五万£）ト共ニ是ガ非デモ引受ケ貰フノ外ナク、尚少クモ毎月一、二萬位ハ別ニ必要ノ見込ナレバ、此位ノモノハ予ジメ覚悟致シクレ候様「メルボルン」へ交渉方依頼致シオキ候事ハ已ニ電報申上候

其足ニテ先年貴地ニテ熱心ニ交渉ヲ受ケ候 National Bank of Australia 支配人ヲ往訪致シ、先般同行ヨリ日本出張 Fivley 氏ノ熱心ニ動カサレ、或ハ当店為替ノ一部ヲ頼ムヤモ知レズトノ程度ニテ茲ニ安全弁ヲ求ム可ク面談致候処、支配人モ此頃「クインズランド」ヨリ転勤セル人ニシテ様子不案内、且ツ今 Fivley 氏ハ西濠パース勤務ト相成居リ候由ニテ要領ハ得難カリシモ、乗り氣ト相成候ハ申迄モナク、筆者ヨリ申出候条件、則チ於大体全濠銀行同様トシテ早速「メルボルン」本部へ照会ノ上、回答シクル、事ト相成リ居リ候ヘトモ、未ダニ音沙汰無御

座候

但シ其後全濠支配人ト会谈ノ時ハ「ナシヨナル」銀行ヨリ当店ニ関シ照会アリタルタメ、全濠銀行トシテハ全然満足ナル得意先ナレバ安心シテ可然ト挨拶シオキタル由ニ候

翌々日ニ至リM市ヨリ Bk of Austria へノ入答ハヨレバ、既ニ銀行ノ手ニアルL/C（一月五萬£其他）全部引受ケ承諾、併テ十一月・十二月・一月ノ三ヶ月間、毎月一、二萬£位ナレバ今ヨリ引受約束差支ナキモ、其以外ハ乍遺憾謝絶ノ外ナシトノ意味ニツキ、今後ノ毎月一、二萬£ハ後日更メテ交渉スル事トシ、其代リニ今現ニ電報シ来ラントシツ、アル六、七萬£ニ対シテハ、是非共引受ケテ貰ハネバ成ラヌトノ筆者ノ強要ニハ支配人モ拒絶シ難ク、重テM市総務部へ押シ付ケ方尽力致シクレ居候ニ付キ、茲一兩日内ニハ否哉決定可致、真逆ニ之レヲ拒絶致ス事モ御座ル間敷ト存候

用心深キ全濠銀行トシテハ他行ニ先ンジテ安全策ヲ講ジ候事、不思議ニモ無御座候ヘトモ、「ナシヨナル」銀行ニテモ金融聊カモ樂觀ヲ許サル事ハ申シ居リ、未ダ正金松島氏ヨリハ何等ノ注意無御座候ヘトモ、今シーゾンモ亦金融決シテ容易ナラザルハ明カナル如クニ候ヘバ、今後ノ全濠銀行態度ノ如何ニ依リテハ、必要ニ応ジ「ナシヨナル」或ハ他行ト取引開始ノ外ナカル可キカト存ジ、注意罷在リ候

何レニシテモ、今後ハ金融難ノ伴フ憂ヒアル事ヲ覚悟シテ商談取極メ前用意ノ要アル次第ニ候、不得止、他行ト取引ヲ開始スルトシテモ、当店トシテハ全濠銀行ト手ヲ切り候事ハ難成、及ブ



限り同行本位ニ努メベク候ヘトモ、夫レガタメ折角成立スベキ商売ヲ失ヒ候訳ニハ參ラズ、当店トシテハ飽ク迄モ出来得ル丈ケ多クノ D.C. L/C ヲ利用スル事ニ最善ヲ尽サネバナラヌ事当然ニ御座候

為替相場却テ向上

大災後ノ輸入大増加ハ当然円ノ価値ヲ低落セシメベキモノト専門家サヘモ期待シ居リタル処、幸ニモ(当地ヨリノ輸出ニハ)×rateノ変動ニ連レ益々向上致候事、寧ロ意外ニシテ、日本ノ蒙リタル大災害ガ金融上対外信用ニ関シ、聊カモ損ケラレタル事ナキヲ知ル一証トモ可相成、為之、我々輸出商談ノ増加ヲ見ルノミナラズ、日本国家ノ立場ヨリシテ大ニ慶スベキノ傾向ト存候

人事再記

前記後、昨一日發貴電拝受

井垣店員帰朝迄、風間店員出發不出来

浅賀店員(十二月發)丹後丸ニテ来濠

井垣店員出發期電報セヨ

トノ御来旨拝誦致シ候

大正十二(一九三三)年

震災後ノ悶着關係ハ殆ド無限ナルタメ、自然、風間店員ノ手ヲ早く抜き取り候事ガ東京支店トシテハ不出来ナルベキ事モ想像ニ難カラズ候ニ付キ、一兩日内ニB市ヨリ帰店ノ筈ナル広戸君共打合セノ結果、返電可申上候ヘトモ、結極、井垣君ハ十二月当地發安芸丸ニ繰り上ゲ、一月貴地發同船ニテ風間君ノ転任ヲ乞フ事ニ願ヒ候ハ、貴方ノ御都合ニモ添ヒ可申哉ニ愚考罷在リ候

金融ト D. C. L/C 昨一日發貴電如左

YSB C form 90 days 四十二〇〇〇円電送シタ (既買約小麦ニ対シ当地ニテ為替先約シタルモノ、残額全部宛ト解ス)

D. C. L/C Bk of A'ria (インドニーメルボルン) 扱四五五〇〇円電送シタ (但シ当地 YSB へハ未ダ入電ナシ)

地震以降 YSB D. C. 極度ニ切り詰メ方針決定、仍テ止ムヲ得ザル場合ノ外ハ発行依頼見合セ方針、殊ニ今季中羊毛引受額見極メ付カズ、予測シ難シ

自然懸案中大毛注文羊毛宛未發六萬£ノ外ハ YSB D. C. 確實ニ予測シ難シ、今後ハ狀況ニ応ジテ相談スル外ナシ、結局新原料多額ノ貸越シト思フ

トノ御来意ハ全然当方想像ト附合致シ候ニ付キ、既ニ筆者ガ全濠支配人ニ説明交渉セル程度ニ

テ好都合ナリシト確信致シ候

未ダ当地 Bk of Austria へハ最後ノ回答ニ接セズ候ヘトモ、是非共、既定額ハ押し付ケル事ニ可致候ヘトモ、当店ノミガ如斯嚴重ナル制限ヲ加ヘラレ、他ノ日本人同業者ガ故障ナク取組ミ得ル様ナ事ナキ様、充分ニ駄目ヲ押しオキ申候

三菱ノ如キハ全濠及ユニオン銀行トモ取組ミ居候模様ニシテ、三井モ概シテ全濠ナルモ亦他銀行トモ必要ニ応ジ取引スル事ト存候、乍併日本ニ於テL/C大制限ヲ加ヘ候タメニ受クル打撃ハ三井・三菱ニ比シ、当店ノ最モ多ク感ズル立場ナルハ乍遺憾疑ヒ無之候ニ付キ、此際寧ろ当地ノ外国銀行一般ガ拒絶致スカ、或ハ大制限ヲ加ヘ候事ト相成候ハ、消極的乍ラ好都合ト存ジ居リ候

ト同時ニ依之将来必ズシモ悲觀断念スベキモノニ非ズ、後日案外緩和致サレ候ヤモ難計事ハ過去ノ經驗ニテ想像致サレ候ニ付、貴方ニテD/Cノ必要ニ遭ヒ候毎ニ遠慮ナク全濠乃至他銀行へ交渉可致候

若シ全濠銀行ノ杞憂スル如ク一般ニ逼迫ノ度ヲ加ヘ候様ナレバ、「シドニー」正金ノ如キハ益々為替先約ヲ強要致シ、之レニ応セザルモノニ対シテハ引受ケ約束シ難シトノ態度ヲ一層明カナラシムルニ到ルナキカヲ案ゼシメ候、貴方ニテモ予メ御覚悟被下度願上オキ候

右

取四八号信 大正12年11月17日 アラフラ号便

豪社守田治平↓神戸及東京取締役及部長

拝啓

貴信 十一月二日着長野丸便ニテハ、東京方面御出張中ノ藤井取締役御認め神戸本店宛御通信ノ写

(自九月廿八日附第一信、至十月三日附第十信) 拝受

No159 十月九日附吉野丸便 (於東京林取締役認め神戸本店宛通信写、九月十六日附A5号ヨリ  
十月九日附A廿四号マデ同封)、十一月七日入掌致候

関東方面被害実況

調査ノタメ藤井重役九月廿六日神戸発、御出張報告及林重役ヨリモ刻々重要問題ヲ神戸へ報告

## 得意先損害

相成り候文通ノ写ニ依リ、大ニ其後ノ状況ヲ拝察スルノ便ヲ得申候ト同時ニ、殊ニ混乱修羅ノ巷ニ東奔西走、商店ノ損害減少ニ努メラレ候林重役ノ御苦勞モ一通リナラザル可キ儀ト御洞察申上候ト同時ニ、漸次其効ヲ奏サレ居リ候御様子ニ対シ感謝ノ意ヲ表シ候、此際別ケテ御健康ヲ祈リ居リ候

程度モ漸次判然致シ来リ候ト共ニ、於大体最初貴店ノ御予報ヨリモ輕減致サレ候模様ニシテ、從テ震災ニ依ル当店ノ損害予算額モ最初ノ予算ヨリハ大ニ減縮、丹後丸保險金ガ無事解決致候ハ、損害額三十万円ニシテ、保險金ガ全部取レザレバ八拾萬円ノ目安ト相成候由拝承致候但シ初メヨリ御心配ノ種ナリシ上毛モスノ態度ガ不幸ニモ予想ノ通りト相成候事、遺憾千萬ニ有之、悪行支払延期ハ免レザルモ、夫レ以上ノ損害ヲ蒙ル事ナクシテ解決ヲ見ルニ至リ候様、先方ノ反省ヲ祈リ居リ候

## 丹後丸保險

問題ニ就テモ、多大ノ御苦勞ト御研究ノ実況逐一拝誦致シ、事件ノ益々紛糾セル事我等ノ想像以上ナルヲ悟リ申候、而シテ結局最初ノ案ニ基キ広東へ交渉サル、事ニ決シ候以上、此際法律詮議ハ別トシ、全部ガ火災ニ遭ヒタルモノト覚悟シテ広東ノ讓歩ヲ祈ルモノニ有之、広東トシ

テハ決シテ「スゲ」ナク他ノ保險会社ト同一歩調ヲ取ルガ如キ態度ニハ出デザル可シトノ感ヲ懷キ居リ候

モラトリアムト  
利息

關係ハ当方ニテモ銀行家ト意見ヲ交換シ研究ニ勉メシモ、何分前例無之事トテ其判断ニ苦シミ居リシガ、貴方ニテモ果シテ当局者及専門家ノ間ニモ見地ノ異ルモノアレトモ、結局「モラトリアム」期間ノ利息ハ債務者が支払フ可キモノナリトノ意見ガ有力ナル由、左モアルベキ筈ト存候ヘトモ、苦シ紛レニ各自相当自分勝手ナ理屈ヲ申ス者モ不少ベクト案ジラレ候

北村重役

御便乗ノ安芸丸ハ貴地出帆ニ迫リ、船員ストライキ（NYKガ支給手当三割乃至五割減率案ヲ出セシタメト解シ候）ノタメ出帆延期ト成リ、如何相成候カト心痛罷在候処、程ナク解決、六日後レニテ本月十三日出発ノ運ト相成候由、海路平穩御安着ヲ待チ上ケ居リ候

東京支店員

配置御変更ハ東支輸出部ノ大部分ハ神戸ヘ移シ、輸入部ハ大原準店員神戸詰メト改リタル以外据置ト相成候由拝承致候

## 人事

横浜ノ全滅ハ何時恢復スベキヤ見定メモ附カザリシ折柄、阪神方面ニテハ逸チ早ク絹糸市場ヲ横取りセント努力シツ、アル事、聊カ心苦シキ様ニモ感ジ居リ候処、横浜地附キ連中ハ其後一心不乱ニ之レガ恢復ニ尽瘁致居候模様ニシテ、既ニ横浜ヨリ羽二重相場ノ入電モ有之候由ナレバ、從テ不遠東京支店輸出部トシテモ増員ヲ要スルニ至ルベキ哉ニ遠測罷在リ候

藤原店員は本月六日夜安着、頗ル元氣ニ御座候間、御安神被下度候、下宿ハ当分益田店員同宿ト致シ、取敢ヘズ Desk work ノ手伝ヒヲ致シ居リ候

羊毛学校問題モ確ニ実行ノ要有之、遠カラズ浅賀店員モ来ルベク、羊毛季節外ノ羊毛部ハ自然手隙キトモ相成候事トテ、少クモ一名ハ学校ヘ入レ候事可然哉ニモ存ジラレ候、何レニシテモ近々御帰任北村取締役ノ御裁可ヲ俟テ適宜取極メ可申候

井垣店員当地出發期ニ就テハ我々相談且ツ井垣君ノ希望モ伴ヒ、矢張り一月發丹後丸ニテ帰朝ノ事ニ御返電申上オキ候ニ対シ、反対ノ御来意無之候ニ付キ、御異存無之事ト存候

前便ニモ申上候如ク、幸ニシテ其後モ小麦照会、商談ノ成立スルアリ、殊ニ傭船モ当地ニ取極メ候兼ネ合ヒノ仕事ハ、小麦ハ他州对人ニシテ運賃倫敦電報交渉ニシテ、其間寸時ヲ忽セニシ得ズ、加之、金融逼迫難モ伴ヒ筆者モ協力致居リ候ヘトモ、当輸出部トシテモ急二人手ヲ減ジ

候事ハ苦痛ニモ有之旁々、右ノ如ク取極メ申候、井垣店員貴着早々、風間店員出発ノ御予定ト期待罷在リ候

片桐君ハ時間ノ許ス範圍ニ於テ羊毛「ストア」廻リニ努メ居候

「日本在勤店員の病氣見舞いについて翻刻省略」

日毛出張員

山口・田母神両氏ノタメニハ臨機 Board Room 兼応接室ヲ割愛シ敬意ヲ表シオキ候、「ホテル」ハ「メトロポール」ニテ時々店ノ昼飯ヲ楽シマレ居リ候、三井其他例ニ依リ外交政略御馳走主義ヲ講ジ居ル如ク田母神氏ハ歎受シ、山口氏ハ避忌致居ル模様ニシテ、自然山口氏ノ方当店へ接近ノ機会多ク、過日B市行ノ際モ山口氏ハ中野店員案内 Roman 牧場視察シ、Q'land wool ニ関シ大ニ得ル処アリシト大満足ニ候、同時ニ田母神氏ハ三井ノ案内ニテ New England ヲ視タル由、両氏性格ノ反対ナルハ扱ヒ悪ク候ヘトモ、我等ハ努メテ平等扱ヲ試ミ居リ候遠カラズ永井出張員ト三名ニテ Vic. S. A. 州及NZ方面巡廻ノ事ト相成リ居リ候

浴巾会社

第七期（六ヶ月）総益一八三二六円ニ対シ、相当ノ積立償却金ヲ控除シ、5%（P/a）ノ配



金融逼迫トナシヨ  
ナル銀行取引開始

当ハ近頃ノ好成績ト御同慶申上候、併シ其後モ当方ノ売行キ捗々シカラズ、焦慮罷在リ候ヘトモ、浴巾会社トシテモ漸次陣容改進ノ実ヲ挙ゲ得ルニ至ルト共ニ、当地ノ商況モ幾分恢復致候ハ、同様ノ成績ヲ繰リ返シ候事、見込ナキニ非ル可シト当輸入部ニテモ不撓ノ努力罷在リ候小麦既手配済額ニ対シテハ、漸ク Bk of Austria ヲ承諾セシメ、其後羊毛参万£ニ就テ重テ「メルボルン」本部ヘ交渉致候ヘトモ遂ニ謝絶サレ候ニ付、今ハ止ムナク「ナシヨナルバンク」ヘ具体的ノ協議ヲ為シ、十一・十二月積用トシテ昨日当地 Y S B ヲ経テ D.C. 入電ノ案内ニ接シ、必要ニ応ジテハ Red Clause ナシニテ十四日内ノ限度ニテ過振りノ事ヲモ確メオキ申候続テ小麦用一・二月四萬£ノ承諾ヲ得候ニ付キ、直ニ電報申上候如クニ候ヘトモ、之レ以上ハ六ヶ敷カルベキ見込ニ御座候

日本向直接相場益々不利ト相成候ノミナラズ、Y S B ニテハ今後資金ヲ手ニ入レ候迄、多額ノ先約ニ応ジ難キ意向ニモ有之候折柄、該四萬£ D/C ハ金科玉条トモ申スベク、目下引合中ノ四五〇〇屯乃至五〇〇〇屯ノ南濠麦、松本其他注文成立致候様全力ヲ注ギ居リ候

Y S B D.C.

信用ノ続発ハ実ニ筆者ノ期待以上ニ有之、貴方御交渉其宜シキニ依ル可キモ、正金銀行ノ寧口

寛大ナル態度ハ感謝ニ価スルモノト存ジラレ候

且ツ又製粉会社ニ対スル信用状態モ、震害ニ依テ何等損ケラル、事ナキヲ認め得ル一証トモ相成り、嘗ニ新商談成立ヲ悦ブノミナラズ、多額ノ已債権モ安心シテ然ル可シト存ジ居リ候

Y&S Sydney

モ金繰困難ノ度ヲ加ヘ候事当然ニシテ、最近小麦五七〇〇〇ポンドノ大口先約ノ時モ松島氏ハ余程考ヘタル結果ニシテ、今日迄ノ小麦先約ヲ容易ニ引受ケ得タルハ、早クヨリ用意シオキタル資金相当ニアリ、且ツ羊毛需用額多カラザルタメナレトモ、金融逼迫ノ結果ハ忽チ他方面ヨリモ纏リタル申込額増加セル勢ナレバ、跡纏リタル額ヲ先約シ得候哉、否疑問ナリトノ注意アリ候事無理ナラズ候ヘトモ、是非共、当店入用額ニ故障ナキ様予メ用意願ヒオカネバナラズ、其代り入用額予想等ハ努メテ早ク報告ノ準備ナシツ、アル事ヲ断リオキ候如ク、形勢聊モ樂觀ヲ許サズ候

ナシヨナル銀行交渉ニ就テハ愈々ト相成候迄、松島氏ヘハ態ト相談致サ、リシガ、確定ノ時其経過ヲ報告シ了解ヲ得、神戸ヘ發電シクレタル筈ニ候

但シ同銀行ハ朝鮮銀行トノ気脈ヲ通ジ、日濠直為替設立ノ計画、研究ヲ為シ居ル様松島氏ノ談ニ有之、当店ノ取引開始ヲ全然歓迎シ居ルトハ申サレズ候、少シク嫌味ハ聞カサレ候ヘトモ、

我等ノ精神ニハ誤解ヲ招ク様ノ事御座ナク候

「ナショナルバンク」ハ「シドニー」ノ小建物ナレトモ第一流ニ御座候、但シ E. J. Veys 氏ガ昨年貴地ニテ申セシ如ク金融無制限ナドノ事ハ勿論無御座、且ツ同氏ノ報告中ニ当店ノ事ハ少シモ記述シ居ラザル由ニ候

三菱ニテハ Union Bank ガ重ナル如クニ候ヘトモ、過日モ期待セル L / C 来ラズ、当店ヨリ分譲セシ羊毛代金支払ニ対シ、数日支払ヲ待テヤツタ後、漸クニシテ来レル小麦 L / C ヲ頼リニ銀行ヘ頼ミ込ミ支払ヒシガ、其後ノ分ニ対シテハ遂ニ羊毛用 L / C 来ラザリシタメ、結局正金ヲ拝ミ倒シ、当店ヘノ支払ヲナセシ如ク、三井・三菱ノ如キモ同様究境ニアルハ疑ナク候

〔欄外書込〕

今十一月ヨリ羊毛季節中ニ支払ハル、事ニ決定セル BAWRA 資金減償五百余萬円ヲ要シ候事モ、銀行予算ニ大打撃ヲ来セル一因ニ候

〔神戸本店前田卯之助重役による欄外書込〕

三井・三菱ガ金融上常ニ遙カニ K ニ超越セリト思ハ、間違ナラン、店内時々此誤怖アルニ存候歟

為替逆潮 X rate  
暴落

独乙内乱混沌トシテ形勢益々暗怛ナルタメ、從テ仏英偕テハ米国關係モ今ハ世界ノ疑問ト相成リ居リ候事ガ主因ト成リ、日々 X rate ノ暴落ヲ續ケ居候事ハ貴地ニテモ御詳知ノ如クニシテ、最近 \$4.56 処ニ一休ミノ入電ニ御座候

從テ日英相場モ刻々暴騰致シ、銀行家ハ何レモ危惧ノ念ニ馳ラレ居リ候事ト存候  
從テ外国銀行ハ寧口正金ヨリモ低率ヲ称へ、先約一ヶ月毎ニ $\frac{1}{8}$ 落ハ決シテ無理ナラズ、或ハ $\frac{1}{4}$ 落ナド、用心致候トテモ筆者ハ意外ト致サズ候

当地正金トシテハ資金割宛ヲ可能ノ間ハ努メテ日本ノ建相場ニ準ジ、而カモ先約一ヶ月 $\frac{1}{16}$ 落ニテ引受ケ居リシモ、当地金融逼迫、資金調達困難ト成リシタメ、今ハ日本建相場ニ準ズル能ハズ、日本ヨリハ二回ニテ  $\frac{3}{16}$  up ニ反シ、当地ハ $\frac{1}{8}$ 下リト相成候事、一面シドニー正金ノ態度不当ノ如クニ候ヘトモ、事実ハ決シテ然ラズ、今日ノ場合トシテハ我等ニハ不利ナレトモ、正金トシテハ止ムヲ得ザル事ト苦情ハ申サレズ候

最近一・二月積小麦ニ対シテモ、二月十日迄ハ一月ノ率ト致シクレ候様当方ノ要求ニ応ジ居リ、出来ル丈ケノ便宜ハ計リクレ居リ、相場変更ノ時ナドモ、筆者ノ腑ニ落ザル場合ハ介意ナク自分ノ意見ヲ述ベ居リ、決シテ盲從ハ致シ居ラズ、正金崇拜ト誤解ナキ様願上候

〔欄外書込〕

以下認め後ノ X rate 十五日附倫敦電報 \$4.33  $\frac{7}{8}$  ヲ伝へ候、独乙ノ仏白ニ対スル態度愈強硬ノタメト察シラレ候

当店入用資金予想

先是更メテ松島氏ヨリノ要求前、大体ノ腹案ヲ建テオキタク御照会申上オキ候処、十四日附貴電ニテ如左御来旨拝承致候

今後ノ注文引受出来見込額

羊毛十二月積七千俵

一月ヨリ六月積マデ三万俵

トップ十五万―二十万封度(一ヶ月毎ニ)

(We Top 商談如意ナラザレバ、此数字ハ困難ナランカト疑ハレ候)

小麦二月積迄五千乃至一万屯

其後ノ見込立タズ

大体右数字ヲ基準トシ、可然松島支配人へ予告ヲ与へ、万一ノ故障ナキヲ可申期候

メルボルン支店

谷口君へモ貴通信ノ一部差支ナキ範圍ニテ回覧ノ事承知致候、実ハ此頃ノ震害ニ関スル貴状等ハ寧ロ可成拡キ範圍ノ回覧ニ附スベキモノト認メ、臨機貴意ノ如ク既ニ取計ヒ居リ候

〔神戸本店前田卯之助重役による欄外書込〕

震害事件ニ限ラズ、一般的ニ可成広派ニ回覧を求む

木材照会

震災工事用大口照会ハ早クヨリ耳ニ致シ居リシモ、貴方ニテモ御如オナク着目致サレ居候事ト特ニ電報申上ザリシモ、此頃貴店ヨリノ角材照会ニ際シ、三井へハ莫大ノ照会ニ接シ居リ候由ニ付キ情況電報申上候、日本ノ新聞報道ニ依レバ、震災用物資政府所管用品ハ三井・三菱・鈴木・高田其他二三ニ限り指名サレ居ル事ガ一部ノ物議ヲ生ジ居リ候由、濠洲方面ヨリノ供給品ニ対シテハ資力小ナリト雖、当店ノ如キハ考慮ニ容レラレ候トモ、不公平ノ評ハ非ル可ク存ジラレ候

貴店ニテモ可然官憲方面御交渉尽力中ノ事ト存候ヘトモ、此際濠洲ノ最近ノ智識ヲ有スル貴族員連中ニ取り入ルノ方法モナキヤナド存ジ居候

〔神戸本店前田卯之助重役による欄外書込〕

濠洲ニハ大シタ復興材料ナシ、精々ガ港湾工事木材位ニ過ギズト思フ

右

大正十二（一九三三）年

二九三

取四九号信 大正12年11月23日 吉野丸便

豪社守田治平↓神戸及東京取締役及部長

拝啓

貴信  
No160 十月廿四日附三島丸便及林重役御認メ本店宛通信自十月九日附A廿四号、至十月十八日

附A三十二号加封、十一月廿一日入手致候、Stアルバンス便写モ同時ニ着致候

丹後丸保険問題  
ニ関シテハ貴状、林重役状及広東代理店往復通信写ニテ其後ノ経過状況拝承致候

林重役ガ親シクNYK横浜係員ヨリ聞キ取ラレ候模様ニテハ、我等ノタメニ頗ル不利ナルガ如キハ困タモノニ御座候、然シ是レ迎モ確証ヲ挙ゲ得ベキモノニハ非ルベク、貴店トシテハ既ニ採ラレタル請求方法ニテ押シ通スノ外ナク、結局実証ハ挙ゲ得ザルモ、保険会社ノ責任範囲外



ナル事ガ認メラル、様ナ形勢トモ相成ハ、妥協ノ外ナキヤニモ推測致サレ候  
先般モ弊信ニ疑議申加ヘオキ候ヘトモ、保險会社ノ責任ニ非ル場合、其保管貨物ノ減失ニ対シ  
船会社又ハ船会社ノ責任ハ無之物ニ候哉、既ニ御研究済ノ事ト存候ニ付、御序ノ節、御高示願  
度候

貴地金融ト信用状

引続キ正金銀行ノ諒解ヲ得ラレ、故障ナク難関ヲ切り抜ケ得ラル、事ト相成リ居候事、誠ニ好  
都合ニシテ一安心ニ御座候、殊ニ今後モ上毛ノ大口、東京毛織其他ノ巨額延払等ハ絶ヘズ正金  
ノ後援ヲ頼マネバ成ラヌ不運ノ境遇ニ置カレ候貴店トシテハ、其上 D.C. 信用状多額ノ発行ヲ  
要求スル事ニ理外ノ御苦勞ガ伴ヒ候事ハ深ク御同情申上候  
前便ニモ申上候如ク、羊毛ニ対スル D.C. 発行高頗ル貧弱ニ御座候ヘトモ、而カモ此非常ノ際、  
小麦ニ対スル D.C. 発行振りハ決シテ苦情ヲ難申程度ト感ジ居リ候次第ニシテ、殊ニ当地モ金  
融引締メノ結果、「オーストラリア」及「ナシヨナル」両銀行ノ引受高、全然手一杯ト相成候  
現下ノ状態ニテハ此際諦ラメノ外無御座、否寧口成功ナラントモ評シ得ベキ立場ニ御座候

為替乱調ト日濠

暴落停止スル処ヲ知ラザル勢ナリシ英米 X Rate ハ本月十七日ハ至リ \$4.27½ 上下リ、偶々

相場ノ開キ

\$ 4.26 ノ声モ聞キタル由新聞電報ニテ知り、愈々驚キ入り申候、此相場ハ恰モ昨年二月最低 4.27 以来ノモノニシテ、彼我共ニ之レガ反動ノ又大ナルベキヲ杞憂致シツ、此間小麦ノ如キハ出来得ル限り此好率ヲ利用シテ商談ノ成立ニ努力罷在候処、最近独国ニ対スル日仏米間外交上、幾分緩和サレタルモノアルカノ如キ情報ガ動機ト成リシ模様ニシテ、神經過敏ナル經濟界ニハ忽チ是レガ影響ヲ及ボシ、十九日頃ニハ急ニ 4.34 乃至 4.35 ニ跳ネ返シタル由ニテ、貴地正金ニテモ二十日<sup>3</sup>/<sub>8</sub>ペンズ下リナル、殆ド未曾有ノ大變動ヲ発表致候由、当地ニテモ翌廿一日<sup>7</sup>/<sub>16</sub>下リト致シ候

新季小麦商談開始以來、続々後上リノ為替相場ヲ利用シ得タルハ誠ニ僥倖ニシテ、之レガ殆ド最後カトモ可スベキ七千屯口ノ残高式万一千£ヲ D.C. ノ好率ヲ活用シ度ク尽力中、此相場ノ大變動ニ遭ヒタル事残念ニ御座候ヘトモ、而カモ之レガ為メ予定利益ヲ覆サル、ガ如キ事ナキ程度ナルハ不幸中ノ幸ト諦ムルノ外無御座候、一昨廿日貴地ニテハ<sup>1</sup>/<sub>8</sub>上リニ戻リシ由ニテ、当地ニテモ翌廿一日<sup>1</sup>/<sub>8</sub>上リニ改メ候（吉野丸用ハ此率也）、愈々高下定カナラズ、乱調ト相成候ヘトモ、当分ハ此不安状態ヲ辿リツ、自然 X rate ノ持直シト共ニ日濠間相場モ下押シト成ルベキヲ予測スルガ至当ト存候

新季小麦商談ハ日本ノ輸入免税期間係モアリ、買極メヲ急ギ候時ニ於テ高率ノ為替相場ヲ遺憾ナク捉ヘ得タル事、得意先ト共ニ我々ノ為メニモ僥倖ナリシ儀ニ御座候

ノ立場ハ每便御報申上候如ク金融樂觀ヲ許サズ、且ツ世界的為替市況不安ノ折柄、当地ノ建相場ガ愈々我々ニ不利ト相成候事ニ依テ、必ズシモ当地正金ノ專横トノミ攻メベキモノニ非ル事ハ前便ニモ記述致候ヘトモ、是レモ程度問題ニシテ、其後モ引続キ相場ノ開キガ大ト成リ候事ハ筆者トシテモ頗ル不感服ニシテ、最近松島氏ヘ対シテモ此点ヲ突込ミ、勉強願ハザル可カラザル事ヲ開陳致オキ候程ニ候、震害前則チ

8/28 日神戸ヨリ T/T ロンドン 売 2/1 7/8 ノ時ニ於テ

8/29 日シドニー D/D 日本買 2/1 1/8 ノ開キハ 12 ポイントナリシガ

(T/T 「シドニー」向ケ売ト「シドニー」ヨリ日本向 D/D 買ノ差ハ 7 point 也)

現在 10/21 神戸ヨリ T/T 売倫敦 2/2 3/4 ニ対シ

10/22 シドニー D/D 買日本 2/1 7/16 ノ開キハ 21 ポイントニシテ

( シーシーノ差ハ 16 point 也)

該期間ニ「シドニー」正金建相場ハ、震災前ヨリモ当地ヨリノ輸出品ニ対シテハ尚 9 ポイント割ガ悪クナリシ事ニテ、此差ノミニテモ約 2 1/4% ニ相当致候事ハ如何ニ乱調時代ト金融逼迫ノ苦境ニアルトハ申セ、且ツ先約ニ対シ日本ノ正金ニテハ一ヶ月 1/8 下リナルニ対シ、シドニーニテハ 1/16 下リニテ引受ケ居レル差ハアレトモ、余リニ其開キノ暴大ナルハ不都合ニ御座候

如此場合ニ貴方ニテ送金案ヲ計画致サレ候事ハ当然ニシテ、恐ラクハ在ラユル方法ヲ講ジテ、可成ダケ多額ノ御尽力ヲ被下候儀ト奉存候、当方ニテハ此送金ハ寧ロ他銀行扱ト致候方便利ト存ジ候

Australian Bk of  
Commerce

へ交渉致シ参万£位ノ快諾ヲ得候ニツキ、直ニ其旨回答申上候処、不取敢一万一千£御電送ニ預リ、直ニ之レヲ無料送金ニテ「メルボルン」支払ヲ振り当テ申候

如此相場ノ開キ莫大ナル時ニ於テハ、全力ヲ挙ゲテ倫敦廻リニ努力セザル可カラズ候ヘトモ、一般的 D.C. L/C 発行難ト当地金融逼迫ノタメ、目下手ノ出シ様ナキハ返ス々々モ遺憾ニ御座候ヘトモ、是レモ震害ノ一打撃ト辛抱ノ外無御座候

当店ノ主義トシテ、苦シ紛レノ如ク到ル処ノ銀行へ交渉致候事ハ謹マザル可カラズ、啻ニ正金銀行へ対スルノミナラズ、当地ノ銀行へ対スル対面上トシテモ、宿場女郎的ノ行動ハ禁物ニ候ヘトモ、序ヲ以テ此 A B C 銀行ノ意向ヲ探リ候処、或ハ寧ロ「ナシヨナル」銀行以上ノ融通モ聞キ兼間敷模様ニ候

後日 D/C 発行モ比較的緩和致サレ候ハ、或ハ「ナシヨナル」ヲ A B C へ乗リ替へ候事、寧ロ得策ナルヤニモ存ジ居リ候、只今ノ場合 Y S B ニ対シ又復他銀行ヲ口説キ付ケ、切り売りデモスルカノ如ク誤解サレ候事ハ、商店全体ノ立場ヨリシテ為シ得ザル事ニ候ヘトモ、若シ正金ノ

手ヲ経ズシテ、倫敦廻リ信用状発行ノ特種ノ方法ニテモ講ジラレ候ハ、御研究被下度候  
他銀行トシテ此望アルハ第一銀行ナル可キモ、第一ハ倫敦廻リL/C（ロンドンニ支店ナキ由  
ニツキ）ヲ発行シ得ザル事ナル可ク、此計画ハ見込薄ト存候ヘトモ、御含ミオキ被下度願上候、  
当方ニテモ一層輸入品掛金ノ迅速取立ニ意ヲ用ヒ、無為替交換ヲ利用スル事ニ最善ヲ尽シ可申  
候

ナシヨナルバンクノ小麦用四万£ヲ六万二千£ニ増加ニ就テハ、再三M市本部へ交渉シタルモ  
不成功ナリシタメ、直ニ重テ「オーストラリア」へ之レガ承諾強要致候処、支配人「ノーマン」  
氏ハ大ニ同情ヲ以テ急電、M市本部ヲ促シクレ候ヘトモ容レラザル処ト相成リ候、濠洲内金  
融逼迫難ノ事実ナルハ疑ナク候ヘトモ、而カモ今回ノ「オーストラリア」ノ仕向ケハ筆者モ甚  
ダ不満ニ有之、今後D.C. L/C発行可能ニシテ、依然同行ノ態度不満ノ時ハ其結果ハ別トシテ  
筆者ハ直ニM市へ飛行シ、「オーストラリア」本部ニ当テ見ル覚悟ニ有之、今後モ近キ将来ニ  
於テ相当L/C発行可能ニシテ倫敦廻リ御希望ニ候ヤ、一電御照会申上ル積リニ候

### 半季仮決算

九月末日ヲ以テ了ル六ヶ月間分書類入手致候

未ダ熟覽ノ機御座ナク候ヘトモ、於大体御予算ニ近ク五拾萬余円ノ利益ヲ計上致サレ候事、御  
同慶申上候、今仮決算ハ震災損害ヲ全然別物ト致サレ候由拝承致候、結局、該半季利益額ガ於

大体震災損害填補ニ充テラル、位ノ処ナランカト予測致サレ候

当店 EXPT No2

a/c

内容ハ行違ヒ仮決算説明書ニ記述致候如ク、75俵 Secd Wool ニシテ最近都合克ク転売済ニ御座候

モラトリアム利息

問題ハ前便貴方ト我等ノ意見モ一致致候事トテ幾分樂觀致居候処、東洋モスガ一番ニ寝返リヲ打チ、林重役頗ル御骨折リノ御様子、困タモノニ御座候、支払延期ノタメ銀行ヘハ利息ヲ支払ヒ乍ラ、一方債務者ヨリハ採レヌ事ト相成候ハ、最モ不公平ニ候ヘトモ、此場合理屈詰メ計リニハ参ラス候

人事

日毛出張員山口・田母神・永井三氏ハ又復牧場視察希望ノタメ、網谷店員ヲ案内者トシテ昨夜ヨリ約一週間ノ予定ニテ「ボンバラ」地方へ出発致候

多忙ヲ極メ居候折柄、人手ヲ抜き候事苦痛少カラズ候ヘトモ、此位ノ犠牲ハ覚悟セザル可カラズ、且ツ網谷店員教育ノ補ケトナル事モ少カラザル筈ニ候

輸入部 Mr. Turner ハ入店以来未ダ他州ノ土ヲ踏ミシ事ナク、必要条件トシテ機会ヲ待チ居リ候次第ナリシガ、過般一週間掛リニテ「メルボルン」へ出張致候、具体的ニ新商売ノ援ケニハ成ラザリシモ、直接間接自他ノタメニ得ル処少カラザリシ儀ト信ジ候

小麦備船ヲ貴方ニテ仮約サレタルモノヲ当方ニテ取計ヒ備船シタル事、而カモ一千屯増量ヲ押シ付ケタル事、又松本ノ 1500 tons 一月 O S K 積注文ニ対シ、勝手ニ二月積当方ニテ取計ヒタルナド其他行キ違ヒ少カラザリシタメ頗ル不都合ナルノミナラズ、「シドニー」当局心理状態ヲモ疑ハレ厳シキ御注意ヲ蒙リ候事、御前部長御認メ特別部状ヨリ敬承致候

前者備船ヲ当地ニテ取極メタルハ、夫レ程貴方ニ御迷惑ヲ来シ候モノトハ思ハズニ幾分具合ノ悪キ立場ニ置カレ候事免レザルモ、「ミスタ々」当方ニテ有利ノ運賃ヲ得ラレ候事トテ斯クハ取計ヒ候事、一二商店全体ノ利益ヲ思ヒタルタメニ外ナラザル事ハ、其後自然御合点被下候様祈居リ候

又後者松下注文ハ当方發電一語脱字致候タメ貴方ノ誤解ヲ招キ、直ニ正誤致候事モ其後御諒解被下候儀ト奉存候

如斯成行ニシテ、貴方ニテハ我々ガ小麦免税期間内ニ到着ノ要アル大事件ヲモ輕視致候カノ如

ク御心配相掛ケ、御入念ノ貴電数回ニ及ビ候事面目次第モ無之、恐縮ノ至リニ御座候

当方ノ手落ち又ハ誤解ノタメニ貴方ニ御迷惑御心配ヲ相生ジ候事ハ、深ク御詫申上候外無御座候ヘトモ、我等誠意ヲ以テ最善ノ努力ヲ尽シ居リ候事ハ御認識ノ上、漸次水解致サレ候事ト奉存候

殊ニ小麦商談、備船ニ就テハ其後モ昼夜ノ別ナク対人方ト折衝ヲ保チ、日曜日ニテモ終日貴方ヨリノ来電ヲ待ツトカ、或ハ倫敦トノ電報往復ニ携ハルナド、恐ラクハ貴方御想像以上ノ苦心ヲ重ネ居リ、中々悠長処ニハ無御座候

當ニ今回ノ小麦問題ノミナラズ、近来、兎角当方ノ仕向ケガ屢々貴意ニ添ハザルガ如ク先入主ト相成リ居候様ノ事ナキカヲ疑ハシメ申候、或ハ筆者持病ノ老婆心ニ過ギザルヤヲ難計候ヘトモ、不幸ニシテ度々行キ違ヒノ重ナリ候様ノ時ハ、お互ニ不知不識ノ間ニ意志ノ疏通ヲ欠クガ如キ事ナキニシモ非ズ、若シ聊カタリトモ貴方ニ如斯傾向アリトスレバ全然之レヲ水解シ、先入主ヲ去リテ双互ノ意志ヲ充分ニ完通致候様御高配奉願上候ト同時ニ、当方ニ於テモ常ニ其心掛ケヲ以テ一層注意ヲ重ネ粗洩ナキ様最善ヲ尽シ、貴方ノ御意志ヲモ充分ニ尊重致候事申ス迄モ無御座候

トムソン未亡人

宛藤井取締役ヨリノ御一封ハ早速転送致オキ候



右

追伸

為替愈々乱調

此際当分乱高下ヲ免レザル事ハ期待シ居タルモ、今朝又復 $\frac{5}{16}$ 下リニハ驚キ入り申候、結局一昨日先約セル二一〇〇〇£モ慰メラレ申候

昨日 $\frac{1}{8}$ 上リニテ当地正金ガ引受ケタル吉野丸積為替ノ全部ガ、日本ニテハ行キ違ヒ暴落セル $\frac{5}{16}$ 下リニテ切り替ヘラレ候事トテ、此場合シドニー正金ハ $\frac{5}{16}$ ノ損失ト相成リ候、如此大違算ヲ生ズル実例ヲ明カニ致シ候ハ、シドニー正金トシテハ如此混乱ノ際ハ非常ノ余裕ヲ見テ相場ヲ建テ、オカネバナラヌ訳ナラズヤト強キ説明材料ヲ与ヘル破目ト相成リ、閉口ニ御座候

何レニシテモ相場足取り幾分安定致候ハ、松島氏トシテモ現今ノ如キ大ナル開キハ設ケザル筈ニテ、当分ノ辛抱ハ致方ナク、其間我等ハ必死努力シテ倫敦廻リ取組又ハ送金ノ外無御座候

Gsy Wool 40  $\frac{1}{2}$  %  
ハズ Record Price

電報申上候如ク、去ル二十一日ニハ W. C. Ltd 扱 Yass 産毛五俵ハ実ニ 40  $\frac{1}{2}$  %ノ高値ニテ米国筋ニ買取ラレ候、歩留リ 56—58%カ、或ハ 60%ニ見積ルルモノモアル如クニシテ、同牧場ノ

大正十二(一九三三)年

三〇三

nd lot 112 B/S ハ 40 ¼ ニ売行キ候、此レコードハ昨年ノ最高ヲ越ユル事2ペンスニ候  
全般ニ涉リ相場益々向上致候事ハ、其都度電報ニテ御承知ノ如クニ有之、実ニ驚クベキ勢ニ御  
座候

去ル十九日ハ日毛注文品ニ対シ、手グスネ引イテ戦機ヲ目掛ケ居リ候処、恰モ同日ハ仏国筋買  
控ヘノ模様ナリシタメ、突進千四百俵ヲ買取り候事ハ斯界ノ評判ト相成リ、其後ノ市況ヨリシ  
テモ幸ニシテ成功ナリシヲ思ハシメ候、以上

取五〇号信 大正12年12月10日 三島丸便

豪社守田治平↓神戸及東京取締役及部長

拝啓

貴信 十一月一日附 No.161 北村重役御携帯十二月八日午後入手、同十三日附追信及林重役御認状 A

38ヨリ A 40マデハ十日午前書留便ニテ落掌致候

北村取締役安着

安芸丸ハ予定ヨリ一日早着、一昨土曜日午後四時頃棧橋着、神戸出發後暫時荒模様ナリシモ、其後ハ海上砥ノ如クニ平穩ナル航海ヲ続ケラレ候タメ、北村重役ニモ御休養ノ機ヲ得ラレ、頗ル御健康状態ニテ御帰任被遊候間、御休神被下度候

前田取締役

御不快ノ由拝承、御案ジ申上居り候、不時ノ災害ニ方り御心勞尠カラザル上ニ又社交的御勤メ  
モ少カラズ御健康ニ影響致シ候タメニモ可有之ト高察罷在り候、其後漸次御全快ノ事トハ存上  
ゲ候ヘトモ、折角御自愛奉祈上候

安キ丸便

御来旨及南阿問題ニ関スル中井・富森両店員及前田・藤井両重役御意見書ハ未ダ充分拝読ノ機  
無御座、追テ北村重役ヨリノ御高話ヲモ拝聴致候上ニテ、必要ニ応ジ次便御受ケノ事ト可致候

日毛送金案

十一月廿七日發貴電ニテ、日毛ニテハ資金ヲ倫敦ヲ通ジ、又ハ「シドニー」へ直送計画中ニテ  
其実行方法研究及取扱依頼アリ、同時ニ日毛ヨリ直接神戸正金及 Chartered Bank へ交渉中ニ  
シテ、「シドニー」ノ銀行ガ承諾スルナレバ成行上不得止引受ケノ外ナシト思フ、此旨神戸正  
金ヨリ「シドニー」支店へ電報セル趣拝承致候

近來ノ為替相場ノ出合ヒヨリシテハ、何人モ此送金問題ニ思ヒ及ビ候事無理モ無御座、而シテ  
是レガ実行可能ナル以上、是レガ実行ニ努メ候事ハ銀行家トシテモ妨止シ難キモノニ有之候ヘ  
トモ、銀行ニ対スル我等ノ立場ハ理攻メノミニハ參リ不申、頗ル「デリケート」ノ物ニ有之、

此問題ヲ持チ込マレ候（本店の票か）帰店ニテハ、定メシ御当惑相成候事ト御同情申上候

如此立案ガ全然能動的ナリシカ、或ハ何人カ、御機嫌取リノ意味ニテ口ヲスベラシタルモノガ災ヲ為セルニ非ルカ、何レニシテモ此問題ハ当店ノミニ非ズシテ、他店ニテモ交渉ヲ受ケ居ル事ナランカトモ察シラレ候

今回此問題ニ関スル御来意ハ、当方ニ対シ正金又ハ他ノ銀行ト交渉ノ御命令ニハ非ズシテ、実情御報告ニ預リ候ト同時ニ適宜必要ノ事ハ取調べ上伸可致事ト諒解致候ヘトモ、正金シドニー支店ガ送金問題ニ耳ヲ貸サ、ルノミナラズ、之レガ非常ニ感情ヲ害スル性質ナルハ火ヲ見ルヨリモ明カニシテ、貴地ニテハ何故外国銀行本位トシテ之レヲ正金ヘハ内密ニスル事ニ意ヲ用ヒザリシカ、聊カ不審ニ候

〔欄外書込〕

但シ外国銀行ニテハ其率正金ヨリモ遙カニ不利ナルタメ、出来レバ正金希望トノ採算ニ因ルタメカトモ存候

併シ正金ヘ交渉スル以上、神戸・シドニー両正金支店間ニテ直接交渉ト相成リ居リ候事頗ル好都合ニシテ、常ニ当店ノミガ此種ノ「デリケート」ナル問題ノ衝ニ当リ候事ハ、必ズシモ成功ノ秘決トハ難申候

依テシドニー正金ニ対シテハ暫時様子ヲ究フ事トシ、Aust Bank of Commerce ハ未ダ幾分引受け

ノ見込有之候ヘトモ、何レニシテモ既ニ御存知ノ如ク、濠洲一般金融逼迫ノ折柄、到底纏リタル事ハ難期待、実状ヲ報ズルト共ニABC銀行引受額位ハ当店ノ抜ケ道位ニ備ヘオク方可然哉  
二一電申オキ候

其後機ヲ見テ後記為替ノ開キ問題交渉ノ後ニ、日毛送金問題ニ就テノ入電ノ有無ヲ尋ネ候処、松島氏ノ鼻ノ先ハ忽チ汗ガ流レ出シ、其要ニ曰ク、シドニー正金トシテハ正金銀行間ノ送金ハ謝絶シタリ、又外国銀行トノ送金取引ニ就テ苦情ヲ可申立場ニモアラザレバ、又権利ヲモ有スルモノニ非ズ、然レトモ当地一般の金融逼迫ノ時ニ方リ、羊毛ニ対スル資金ヲ充分ニ調達シテ、取引先ガ面喰ハザル様ニ準備スル事ハ、ソシテ簡単ナモノニ非ズ、然ル時ニDOLLARヲ使用サル、タメ此予算ニ狂ヲ生ジ、自然為替相場モ不利トナルヲ免レズ、銀行トシテハ非常ニ苦痛トスル処ナレトモ、其上送金其他ノ方法ヲ講ジテ、止ムヲ得ザル時ノミ正金ニ依ラントスルガ如キ態度ナルニ於テハ、銀行トシテモ安心シテ且ツ危険ヲ冒シテ迄モ充分ノ資金準備ヲナス能ハズ、此種ノ得意先ニ対シテハ金融関係上、為替買取り不可能ノ場合ヲ生ズル事ナキニシモ非ル事ヲ覚悟願ハザル可カラズ、大塚支店長トシテモ此種ノ電信取次ギニ対シ、今一段ノ考慮ヲ用イクレザルハ「シドニー」ノ苦心ニ対スル同情モ認メラレズ、遺憾千萬ナリトノ立腹ニ有之候事ハ総テ筆者ノ期待シ居リタル処ニ御座候  
而シテ相場ノ基準ニ就テハ、局外者ヨリ之レヲ深く追究サル、事ヲ望マズ、得意先ノ希望及要求ハ常ニ拝聴考究ノ資トハ可致候ヘトモ、銀行トシテハ説明シ能ハザル苦シキ立場ニアリ、相

場ナドハ決シテ不当ノモノニ非レトモ、為之取引減少致候ハ、止ムヲ得ザル事ト諦ムルノ外ナシト頗ル強硬ニ候

近來ノ「シドニー」相場ハ如何ニ申サル、トモ、其開キ大キニ過グルトハ存候ヘトモ、此場合我等トシテハ如何トモ施スニ術ナキヲ遺憾ト致候

依テ此旨簡單ニ御送電申上候処、行キ違ヒニ日毛ニテモ一時送金計画断念相成候御來電拝承致候、此問題モ結局藪蛇ニ終リ候憾有之候

Exchange Rate Cr  
ト Paper ノ差

ニ就テハ 90 days ノ開キガ  $\frac{1}{8}$  ペンス以上ナレバ、得意先ニ対シテ Cr Rate 適用セネバナラズ、神戸正金ヨリ聞ク処ニヨレバ第一銀行ノ L/C ヲ奨励スル意ナク、兼松ニテモ第一 L/C ヲ避ケタク、「シドニー」正金ニ於テ C Form ニ対シテモ Cr Rate 適用、又ハ其開キ  $\frac{1}{16}$  ペンス以下ニ変更サレタシトノ希望御來旨、前項ト同時ニ廿八日着拝承致候

依テ松島正金支店長ニ此立場ヲ説明シテ同意ヲ需メ候処、松島氏トシテハ充分考慮ノ結果、斯ク更メタルモノニシテ、其主論ハ聊カ神戸正金支店長ト異ルモノニシテ、松島氏トシテハ正金銀行全体ノ立場ヨリシテ、相当他銀行ノ L/C ヲ奨励スベキモノト思考サルトノ意見ニ基クタメニ外ナラズ、此度当店ヨリノ希望ニ対シテハ之レ亦全然拒絶スベキモノニ非ズ、松島一個ノ考ヘガ必ズシモ至当ナリトハ難申ニ付キ、詳細其理由ヲ正金総務部ヘ具伸シ、其返電ヲ待ツ事

トシ、其上ニテ可成丈ケ大切ナル得意タルヘKノ希望ヲ容ル、事ニ考究スベシトノ返答ニツ  
キ、其俣十二月四日發御返事申上才キ候

郵便締メ切ニ迫リ候タメ、乍遺憾不備摺筆致候ヘトモ、不日出帆Stアルバンス便ニテ追  
伸可申上候

右



取五一号信 大正12年12月15日 セント・アルバンス号便

豪社守田治平↓神戸及東京取締役及部長

拝啓

金融及信用状難 十二月五日發貴電ニテ

輸入超過打続キ在外資金欠乏、遂ニ米国向為替下落、本日売  $\text{L} / \text{L} \text{ } \$48 \frac{3}{4}$  ニシテ、正

金頭取席ニテハ漸次一般輸入  $\text{L} / \text{C}$  發行極力引締リ方針

特ニシドニ一正金羊毛資金難ヲ考慮シ、小麦ノ如キハ  $\text{C} / \text{L} \text{ } \text{Form}$  スラ当分見込無之、シド

ニ一無為替資金一層大事ニセヨ

トノ御警報拝承致候

日本ニ於ケル銀行方針ガ如右相成リ候事ハ事情止ムヲ得ザル事ニシテ、寧口当然ノ事ニ有之、  
国家の大損害後モ当店ノ如キハ比較的好調ニシテ、小麦ノ如キモ先以テ遺憾ナク信用状ノ發行

大正十二(一九三三)年

三一

便宜ヲ得、商談ヲ成立シ得タリシノミナラズ、羊毛・Top 等ニ就テモ so far 聊カモ無故障進行致居候事、一二当店ノ堅実ナル主義方針ニ基キ齋チ得タル信用ニ頼ルノ外ナキ感ヲ強カラシメ申候

今季羊毛シーズン開始當時ハ、シドニー正金モ相当ノ資金準備ヲ握リ居リタルタメ、比較的一般の金融難ニ悩マサル、事少ク、樂觀ヲ許サ、ル時ナリシニハ相違ナケレトモ、当店ノ小麦用額等モ引受ケ居レル間ニ、他銀行ノ金融意ノ如ク成ラザル三井ヨリ正金へ流レ込ム取引高ノ増加モ少カラズ、夫レ是レニテ予想以上ノ資金ヲ要スル事ト成レル間ニ、当地ノ一般の金融引締り程度ハ益々悪化シ来リ、全濠銀行ノ如キ大銀行サヘモ市場ノ資金ヲ浚ヒ集メツ、アル有様、是レニ對抗セントスル正金ハ昨年以上ノ苦境ニアリ、從テ多額ノ信用状発行ハ暫時見合セ候様総務部へ電報スルノ止ムナキ立場ニ陥リ、松島氏又復大頭痛ニ御座候

昨日モ此問題ニ関シ、長時間松島氏ト熟談ヲ重ネ候、一月以後ノ入用資金ニ対シテハ未ダ安心成リ難キ立場ナレドモ、本月末ヨリ一月ヘカケ何トカシテ整ヘネバナラズ、又如何ニ何デモ全然行キ詰リトナル程ノ事モ非ルベキモ、相当ノ目安立チタル上ニテL/C発行ノ電報ヲ発スルノ外ナケレトモ、当店ノ予想入用額位ハ故障ナカル可シトノ内諾丈ケハ得オキタル次第付キ、此趣昨夜發電御報申上オキ候

英米欧一般ノ羊毛買方モ同様金融難ヲ口ニスルモノ多ク、濠洲銀行及政府トシテモ羊毛資金ハ特別扱トシテ最善ノ努力ヲ尽シ居リ候ニツキ、真逆ニ之レモ行キ詰ル様ナ事アルベシトモ思ハ

レズ候ヘトモ、究境ニアルハ疑ヒナク、是レガタメ近キ将来ニ於テ或ハ一時的ニモ羊毛市況ノ沈静ヲ觀ルガ如キ事ナキニシモ非ズト杞憂注意罷在リ候

現在ニ於ケル羊毛買付手持船待中ニシテ、代金支払済及未払ノモノ合計約二〇〇、〇〇〇£  
注文、未買付額      ♪      ♪      一一〇、〇〇〇£

♪      ♪      Top・ノイル      ♪      八〇、〇〇〇£

総計予算      三十九万£ニ対シ

有効L/C残高約二十五萬£ニシテ、既ニ約拾四萬£ノ不足ヲ生ジ居リ候事、安心ヲ許サ、ル立場ニ有之候事ハ、貴方ニテモ御心附キ御配慮被下居リ候儀ト奉存候、三島丸積出案内ト共ニ信用状残高ヲモ為念電報申上オキ候

〔欄外書込〕

現在当地正金ノ手ニアル信用状ハ合計約四十萬£ニシテ、夫レ丈ケニ対スル準備金略ボ整ヒ居ル様子ニ御座候

Wool Payment

若シ来週ニ於テ「シドニー」其他ノ買付高多額ニ達シ候ハ、年ノ改マルヲ待タズシテ羊毛支払金（積出シハ来年ノモノ多ケレトモ）ニ差支ヘヲ生ズル事ガ心配ニ御座候ヘトモ、此際余リ

早目ニ之レヲ松島氏ニ談ジ候事ハ不得策ト存ジ、暫時形勢ヲ注視致シ居ル不安状態ニ候、而シテ愈々ノ場合ハ何トカ松島氏ヲ説キ付ケルノ外無御座候

殊ニ近來着致シ居リ候「Form」ノCニハ代金先払条件記載無之、或ハ当地正金ノ書キ洩シカトモ存候ヘトモ、貴方ニテ斯克押シ付ケラレタル場合ニハ藪蛇ト相成候ニ付、敢テ之レヲ確メントセズ、其俣ニテ前払ヲ続行致シ居リ候

小麦ハ其都度L/C発行、為替モ先約済ニ付キ金融心配無之事、当然ニ御座候

〔欄外書込〕

小麦先約ノ如キ重ニ一・二月入用ノ約ニ候ヘトモ、其大部分ガ結局一月早々入用ノ破目ト相成候事モ、銀行トシテハ苦痛ニ御座候

### 政府關係羊毛

則チ被服廠及千住注文羊毛モ、為之手出シノ出来ザルガ如キハ遺憾ニ付キ相談致候処、松島氏トシテモ政府關係ハ又特別扱トシテ何トカ尽力シタキ意味ニ於テ、之レハ日本ニテ正金ニ事情ヲ説明スレバ拒絶スル事モ非ルベク、其暁ハL/C発行及必要ナレバ為替相場先約モ何トカシテ応ズル事ニ最善ヲ尽スベシトノ挨拶ニツキ、其旨昨夕電報申上候

政府用品ハ日本貨取極メノ如クニツキ、此頃ノ如ク為替動揺甚シキ時ハ予メ相場ノ取極メ肝要

ト認メ、特ニ此点ヲ交渉セル次第ニシテ正金トシテハ相場ニ拘ラズ、目下先物約束ニ応ゼザル方針ト相成リ居リ候

〔欄外書込〕

此頃再三、三井ヨリ小麦用大額先約交渉熱心ナルアリシモ、皆謝絶シタル由ニ候

日毛ニテ相場先約希望？

過日三井ヨリ日毛希望ニテ相場先約出来ルカトノ照会ニ接シタルモ謝絶シタル処、然ラバ他店ヨリ同様交渉アルトモ引受ケラレザル事ト思フト駄目ヲ押シタル由、松島氏ヨリ内聞致候  
松島氏ノ筆者ニ対スル説明ニ曰ク、為替先約ヲ懲漣ニ努メタル正金トシテ甚ダ矛盾セル如キモ、今日ノ場合ハL/C発行サヘモ中止シ居ル際ナリ、加之羊毛資金先約方針ニ決セバ総テヲ其主義ニ則リ、give + take ノ意味ニシテ、有利且ツ都合克キ時ニノミ拾ヒ喰ヒ的ノ先約ニハ応ジ難シ、且ツ此種ノ交渉ハ常ニ君ノ方カラ来ルモノナルヲ、左ハナクテ三井ヨリノミナレバ、自分ハ寧ロ不審ノ思ヒヲ為シ居レリトノ事ニ候

大坂モス長期前貸

昨年ノ特別扱ヒヲ繰リ返シ候様三井ヨリ交渉アリタレトモ、是レハ今日ノ場合、全然問題ニ成ラズ、拒絶シタル時モ、亦三井ハ他店ヨリ頼ミ来ルトキモ引受ケラレザル様ニト下駄ヲ預ケ候

ニ対シ、松島氏トシテハ大ニ叱リ付ケンカト思ヒシモ、ソウモナラズ、「今日ノ場合ハ何人タリトモ如此相談ニ応ジ得ザル立場ナレトモ、三井ニ断リシ事ハ決シテ他店モ同様ニ断ルベキモノナリナド、ノ諒解ハ約束シ得ベカラザルモノナリ」トハ申シ返シオキタル由ニシテ、正金トシテハ可成公平主義ヲ尊重スレトモ、自分ノ都合本位ナル三井ト正金本位ナル兼松ト全然同視スベキナド、矛盾セル口約ナドガ出来ルモノニ非ズト力味居リ候処ハオ世辞ニハ無御座候

前記二件ハ已ニ貴店ニテモ御存知ナルヤ否想像難致候ヘトモ、御含ミ迄ニ電報申上ゲオキ候、而シテ此種ノ内報ガ松島氏ヨリ聞取りシナド、ハ全然口外無用ナル事、御注意申上候迄モ無御座候

為替相場ノ開キニ  
ヨル取組法変更

本月七日附貴電信、如左拝誦

正金 DC L/C (残高) 全部 (一万五千余 $\text{£}$ ) 日毛宛

第一 L/C ハ大坂モス宛ニ最初使用セヨ (過日出帆三島丸積大毛羊毛多額ナリシタメ全額使用済ナル事既電ノ通り)

之以外日毛ニ限り一ヶ月間ノ開キ $\frac{1}{4}$ ペンスナレバ30払ニ取組メ、夫レガタメ十一月七日附 C Form 条件変更シタ (30・60・90日ニ変更ノ旨 Y S B ヨリ承知セリ)

(一ヶ月毎ノ開キハ依然 $\frac{1}{4}$ ニ付キ 30 days 取組 $\text{ミ}$ 候、短期支払可能ノ者ハ此際可成短期ヲ希望サル、事至当ノ事ニ御座候)

日毛以外ニ対シテハ第一L/C発行可能ナレトモ、神戸正金相談ノ上、羊毛及 Top L/C 90日払電送シタ百五十萬円

Cr. t Paper ノ開キ $\frac{1}{16}$ ペンストスル問題ハ正金頭取席ノ決定後ル、ニツキ、今回発行C Form ノ分、特ニ $\frac{1}{16}$ ペンズ開キニテ買入、神戸正金ヨリ「シドニー」正金へ電信シタ  
其積リニテ交渉セヨ、従前発行C Form 後廻シ使用セヨ

ト貴方ニテモ種々得意先ノ要求ニ応ズ可ク、且ツ同業者ノ人後ニ落チザル様御骨折リノ程拝察ニ難カラズ、正金松島氏へモ懇談致候へトモ、 $\frac{1}{16}$ ペンズニ復旧スベキヤ否 (Cr. t Paper ノ開キヲ) ノ問題ハ弊信前便ニモ認メ候如ク、折角自分ノ意見ヲ詳細ニ日本へ電報セルニ対シ、何等ノ回答ニハ接セズシテ、一時的タリトモ之レヲ変更致シ候事ハ「シドニー」正金トシテモ如何ニモ無方針ノ如クニシテ心苦シク、且ツ兼松 $\text{ニ}$ ノ $\text{特}$ ニ $\text{C Form}$ ニ $\text{對}$ シ $\text{ン}$  Cr. Rate ヲ用イ候事ハ、羊毛ノ如キ筒拔ケノモノニ対シ、他店ノ究知スル事ナルヲ期セザル可カラズ、又日毛へ対シテモ時ニハ正金ト此種ノ特別扱ヲ受クル事アルヲ知ラシムル如キハ、益々猜疑心ヲ增長セシムル恐レアリ、兼松将来ノタメニモ不利ト思ハル、又君ノ云フ如ク、此度ニ限り或ハ日毛へ対シテハ第一L/Cヲ使用セル如ク通知スルヤモ知レズトシテモ、如此諒解ノ下ニ此種ノ特別扱ハ乍遺憾難応

加之 Paper ト Cr ノ開キガ多クナリタルガ為メ、特ニ Cr Rate ヲ使用スルモノ、増加セルナク、他商ハ文句ナシニ C Form ヲ大部分使用シ居ルノミナラズ、三井ノ如キモ金融引締リノ結果ハ C Form ヲ用フルモノ増加シ居リ、兼松トシテモ相当ノ Cr Rate 取組ミモアリ、他商ニ比シテ決シテ遜色アル立場トハ思ハレズ、又三井・三菱ノ如キモ決シテ無制限ニ希望ノ L/C ヲ得ラル、モノニ非ズ、又日本財界実状ヨリシテ如此吞氣ナ境遇ニ非ズト信ズ、從テ此種ノ問題モヘK<ガ抜レ出テ忠義振りヲ見セントスルカ、或ハ日毛其他ヨリ驚カサレズ居ルニ非ザル歟

「シドニー」正金ノ態度乃至方針ガ、兼松商店ヲノミ不利ノ立場ニ苦シムルガ如キ結果ト成ルモノアラバ、之レヲ改善セザル可カラザル事ハ当然ニシテ、正金ノ根本方針ニ変リハ非レトモ、此問題ニ関シテハ目下ノ場合辛抱願フノ外ナク、後日総務部ヨリノ回答ニ接シタル上ニテ、又充分ニ考慮スルノ外ナシトノ説明ハ敢テ不当トモ難申、是レ以上説破余地無御座、不得止其趣折返シ返電申上候ト同時ニ目前ニ迫リ居リ候三島丸積ニ対シテハ、従前ノ通り取組ノ外ナキ事併報、貴意ヲ得オキ申候

〔欄外書込〕

最近大倉組石田君ヨリノ談ニモ「日毛ヨリハ D.C. 要求更ニナシ」トノ事ニ候、注文高比較的小ナルタメカトモ存候ヘトモ、而カモ三菱ハ D.C. ヲ幾分使用シ居ル如クニ有之、不可解ニ候



為替相場益々乱調

大英国総撰挙ハ遂ニ政府党ノ大敗ニ帰シ、或ハ一時的タリトモ労働党ノ物ト成ルヤモ難計形勢ニテ、愈々不穩ノ如クニ候、其原因ノ何レニアルカ何人モ確知困難ニ候ヘトモ、*Exchange rate* ハ依然變動上下定マリナク、從テ日濠相場モ上下等シカラズ候ヘトモ、大体ニ於テ下向キノ傾向ナルハ明カナル如ク、貴地正金ノ如キモ相場ハ殆ド「ノミナル」同様ニシテ、先約ハ余程ノ不利率ニ非レバ引受ケズ、外国銀行ノ如キハ一層悪キ率ヲ建テ居リ候事貴電ニテモ拝承、又当地正金ヨリモ承知致候

而シテ当地正金トシテハ其以上ニ相場ノ建テ方得意先ニ不利ナルガ如キモ、今後相場下落ノ時ニ於ケル日本ヨリノ輸出為替ノ振り合ヒモ考慮ニ容レザル可カラズ、其上金融大逼迫ノタメ相場割高トナル事ハ正金支店トシテモ苦痛ニ堪ヘザル処ナレトモ、之レ以上ノ方法ナク、之レガ為メニ松島ニ対スル非難アラバ甘受スルノ外ナシトノ松島氏ノ説明ニ候

此際当店トシテ一層無為替資金ノ活用ニ意ヲ用ヒザル可カラザル事当然ニシテ、日本ヨリノ輸入品ニ対シテモ資金ノ固定セザルモノハ時ニ無口錢ニテモ取扱額ノ増大ニ努メ、為替差益ノミニテモ充分ナル可キ覚悟ニテ必死努力罷在リ候

## 人事紹介

「マケロン」氏ヨリノ依頼ニテ、同氏ノ親友ニシテ当地知名ノ「バリスター」W. J. Curtis 氏ノ本船ニテ貴地へ赴カル、ニ当リ紹介状ヲ発シオキ候間、御多用中恐縮ニ候ヘトモ、充分ノ御便宜御高配奉願上候、紹介状ハ北村取締役御存知ニ候ヘトモ、御不在ノタメ筆者署名致シ候井垣店員ハ本月廿四日 (Xmas 前夜) 当地発足、南濠ニ到リ、「モナドノック」ト出来得ベクンバ「ロクスン」積荷ヲ終リ、「メルボルン」積荷ヲモ監督シテ帰店ハ一月中旬頃ナルベク、一月勿々例ノ軍人來客アリ、筆者モ幾分時間ヲ採ラレベク候ヘトモ、丹後着ヨリ発マデ沢辺店員ハ全然没頭ノ外ナカル可キ当方ノ立場ニ御座候、自然井垣店員離濠延期モ止ムヲ得ザル処ト御賢察願上候

## 戦時中政府買上ゲ

殖民地全体ノ羊毛残高明年五月ヲ以テ皆済見込ニシテ、依之生ズル純利益額六千四百万 $\text{£}$ ノ巨額ニ達セル由ニ候

## 英濠間為替

英国ヨリ濠洲向買相場ハ本月十三日ヨリ又々5/1% 下リト改メ、D/D 1%, 30 days 1 1/2%, 60 days 2%, 90 2 1/2% ト相成リ候、之レハ輸出補助ノ意味ニシテ、去ル十一月ニモ同様引下ゲタルヲ再ビセルモノナレトモ、当地ノ買相場ハ依之影響ナク不変ニ御座候

当地ノ金融逼迫難ニモ拘ラズ、英国向ケ買相場ヲ引上ゲザル事ハ寧ロ不思議ニシテ、之レガ引上ゲヲ希望スル銀行少カラザレトモ、三四ノ大銀行ニ押サヘ付ケラレ居ル内情ノ由ニ候、我々ハ小麦為替關係モアリ、為替不変ヲ祈リ居リ候ヘトモ、今後モ恐ラクハ変更セザルヤニ觀測致サレ候

右

取五二号信 大正12年12月23日 安芸丸便

豪社守田治平↓神戸及東京取締役及部長

拝啓

前報後OSKまどらす及すまとら丸到着致候へトモ、貴信に不申接候

藤井重役

〔病氣療養見舞いについて翻刻省略〕

前田重役

〔病氣回復祝いについて翻刻省略〕

## 第二次奨励

に關しては最初特に我々部長に経過の御報告有之、続いて旧株主への増株及新株主へ夫々御贈与の御沙汰と共に一々御訓示有之、旧新株主共に一同感鳴罷在候事は申す迄も無之、未だ其機に達し居らざる従業員、殊に外人に対しても愈々当商店特種の厚遇の実蹟を見聞し、益々商店の爲めに献身的努力す可き物たるの印象を強からしめ候事と信じ候

外人会員の年数計算ニ關しては予め筆者に於ても算出致しをき候処、大体附合致し居り、頗る至当の御算当と奉存候

外人旧会員に対しては、既に奨励会規約訳文を交附致候へとも、新会員に対しても訳文追製交附致し候と同時に、其他必要の説明は充分筆者よりも是れを諒解せしめる様に致し、重役諸賢の御高意に戻らざる事を可申期候

奨励会規約英訳文は其後重て「マケロン」氏最後の検閲を乞ひ、一二更め候処有之候へとも、本文には何等異動無之、如別紙説明書の如くに御座候間、御諒承被下度御願申上候  
外人株主の英文入会契約及全権委任書は各会員の署名を採り、当方にて保管可致置候

シドニー会社持株

ニ関スル御来旨拝承仕り候、日本ニ於ケル株主名義を増加致候事は今日にては敢て故障なかる

登記

べき「マケロン」氏の意見にも有之候に付、此際寧ろ一步を進めて奨励会持株以外の株は全部實際の株主名義に更め、奨励会持株のみを北村・前田両重役及外二三の株主名義に加へをく事に留めをき候方可然哉の私案に有之、近々北村重役の御意向を伺ひ立案の考へに有之候間、御承引被下度御願申上候

年末給与

に關しては北村重役より御報告の事と奉存候へとも、外人に対する分は如別紙に有之候  
今上半季仮決算は当方輸入成蹟、不幸にして頗る不振なりしにも拘らず、商店トシテハ世間並以上の好成蹟を挙げ得たるも、不幸にして日本大震災の厄に遭ふあり、未だ其損害負担額決定を觀るに至らざれとも、其額少からざる可きは疑なきの時に於て、今年末の給与御沙汰に預り候事、日本人従務員は勿論外人も予想外に有之、感謝措く能はざる処に御座候、殊に日本人中には身は海外に在り、又家族の大部分は幸にして無事なるを得たりしも、而かも震災のために受くる出金の多きも免れざる者少からず、此特別の御高配に対し感謝の念愈々強き次第に有之、常に健実用心深き商店の主義方針が如此非常の時に酬ひられ候有難味を内外人共に其感を深ふ致し候次第に御座候

（本紙を拝借致候事甚だ失礼に御座候へとも、御容赦被下度願上候、守田に対しても今回は

過分の増株と年末給与の御恵みを蒙り、重役諸賢の御高配に対し深く感謝の意を奉表候

守田 拝

シドニー下給外人  
増給

今日の場合、増給等は問題外に候へとも、下給員の一部に對してのみは当地最低生活費標準を考慮に容れられ、北村取締役御裁定相成候者別表の如くにして、一月一日より改給の御沙汰有之候に付き御諒承被下度奉願上候

南阿問題

将来の方針に就ては、当局中井店員及富森店員の御意見に對し、前田・藤井両重役の御意見の一致し得ざる物有之候、内容の詳細は前便御來書に依り逐一敬承致し、又北村重役御意見も前田・藤井両重役の夫れと於大体同一なる事をも拝承致し候、我等当地に遠ざかりて其実狀に精通し難き境遇に有之候者は貴方幹部の御詳述相成候以上の意見も建て難く、一二重役及部長諸賢の御裁斷に俟つの外無御座愚考罷在り候

L/C 発行杜絶

十二月十七日附貴電、翌十八日着

大正十二(一九三三)年

三五

神戸正金ノ了解ヲ得、一ヶ月¼ペンス開キナレバ、小麦以外一切30日払十二月七日附L  
／C条件変更

(当地ヨリ此変更指図ヲ受ケ申候)

新二十二・一月 百拾萬円 二・三月 六拾萬円

発行申込タリ、神戸正金ヨリシンドニー正金照会中

との御来意拝承致候

当方より前便弊信にも詳述申上候如く、既注文羊毛其他のみに対する本年内支払を要する金額のみにても既発L／C残高にては不足なる上に、本月積 100 の注文の新に加はるあり、金融の方は何とか押し付ける外なしとして、「ウイドン」「ヒュース」偕ては Port ヒルプ等も御注文に応じ候丈け買約致し居り候折柄、貴方にも御憂慮の結果、重て大塚神戸支配人を説き付け、新信用状発行同意を求めべく当地正金へ交渉さる、運びと相成候事に外ならずと存候此機会に於て筆者も早速松島支店長に面会し、是れが承諾方を頼み込み候へとも、松島氏の談に依れば金融硬塞は実に予期以上極端なる悲境にあり、其率に拘らず極力資金調達に力を用ふると雖、茲七八日間には一文をも得ざる事、実に正金開店以来未だ聞かざる処にして、既二引受け居るL／C入用額位は整ひ居る様前回の会見にての談も実は未だ纏らざる苦境にあり、年末より年始に掛けては幾分進化すべく、然らざれば正金としては一大事なれとも、全然見定め付かず、新信用状発行は当分謝絶の外なく、啻に正金L／Cのみならず、他行L／Cをも引受



け得ざる意味なる事、当然に御座候  
於茲当店が今月中に要する仕払額不足分が如何相成候歟、益々不安状態と相成候に付き、詳細の数字を具して重て提案すべきも、既に手配済の物に対しては是非共承諾を乞ふ旨を告げをき候事、十八日發弊電の如くに御座候

〔欄外書込〕

羊毛・ $\text{L/C}$  資金も早くより相当為替先約を取極め得たるなれば、我等も此苦勞を免れ、  
正金も楽な立場なりし事と存候

L/C超過額過  
振り特別扱ヒ

翌十九日は「シドニー」セール最後の日取りにして、日毛#19の如きは或は数百俵買付け不能ならざる意気組にも有之折柄、入手せる $\text{L/C}$ 新注文等も算入し、本年末乃至来年初頭迄無くて成らぬ金額（L/C以外）参萬四千 $\text{L}$ と仮定し松島氏へ交渉を続け、其承諾を明かにして同日午後の羊毛買付けに殆ど無制限の自由を得度き腹案を以て折衝し、漸く快諾を得申候、尚ほ夫れ以上、既に先積 $\text{L/C}$ の買ひ極めたる物もあり、一・二・三月積に対し神戸本店よりの申込額は是非共同意方重て交渉致候処、一・二月用として為替先約せる小麦用資金の大部分は予期以外に早められ、其大額は一月早々入用の廻り合せと成りしたため、小麦に対し準備せる資金を一時利用するなどの活路をも需め得ず、L/C発行の交渉切望は神戸支店よりのみなら

ずして、大坂支店其他各得意先の為め矢釜敷申込みあり、何れも此際拒絶の外なき立場なる折柄、仮令三、四万 $\text{円}$ の物に対しても新L/C発行の再開致され候如く、諸方面の誤解を招きなば正金（シドニー）は愈々苦境に置かる、事と成るに付け、該超過額は「シドニー」丈けの含みとして、L/C発行は後日或時機の来るを待て神戸正金へ電報すべしとの説明に付き、此旨十九日發電御報申上候と同時に、正金としては資金調達必死尽力中なるは申迄もなく、形勢進化次第、当方へ知らしくる、事と相成居り候に付、愚念の如く成りしも此趣加電致しをき候

送金  $\text{¥}21,000$

貴方にて当方の立場を御心配相成り候と、幸にして資金御都合相付き候由にて、ABC銀行經由弍萬 $\text{円}$ 千 $\text{円}$ 御電送被下候事、弊電と行き違ひに拝承頗る好都合に有之、御配慮奉謝候、依之得る為替差益も莫大と可相成、引続き小額にても送金御繰廻し相付き候様祈り居り候、該送金は安き丸用との御指図に候へとも、前記十九日の羊毛は相場の関係上、遂に買付其半ばにも達せず少量に終りしたため、已に正金へ買付済なりしとして報告せる額に不少異動を生じ、且つ安き丸積荷額の如きは已に正金へ報告済にあるのみならず、此際正金の同意を得たる額は充分に利用の要あり、種々の事情を綜合して約 $\text{円}$ 萬 $\text{円}$ を安き丸に用ひ、残り一万一千 $\text{円}$ は他の無為替資金と共に一月十日頃出帆予定なる主基丸積に利用の事と決し、此旨電報申上をき候、主基丸は「ブリスベン」よりの直航にして、航海日数少き丈け無為替には利息徳と相成候意味

も考慮に容れ候次第にして、其時迄は当地羊毛支払に活用、利息損は無之様調節可致候

#### 英国ヨリ金貨輸入

英濠間の資金難は昨年の夫れ以上なる如きのみならず、何等かの救済調節方針を建つるに非れば、濠洲は富を持ち乍ら毎年金融難に苦しめらるゝ事を免れざる可きは、已に識者の杞憂措く能はざる処にして、最近英国へ赴きたる濠洲首相「ブルース」氏も此問題を最も重要視致し居り候事は初めより声明せる如くなりしが、英国より濠洲への輸入を増進し得ば最も理想的にして、之れが一策として濠洲向買相場を再び引下げたる事も前報の如くに候へとも、之れ等は容易に其効果を期待し得ず、最近「ブルース」氏の報告に依れば Bank of NSW 及其他二、三の大銀行は多大の犠牲を供して金貨の輸入を實行して、濠洲金融難の急に備へたるも、其犠牲大に過ぎる為め到底満足に之れを勵行し得ずと有之候、Bank of Austria を初め「ナシヨナル」其他も日本向為替商談に応じ得ざるも、亦必ずしも我等のみに対する硬塞とは難申、況んや外国銀行たる正金に於てをや、資金難も当然の結果たるを覚へしめ候

#### Y S B 金利引上げ 7%

輸出羊毛貸越金の利息を本月廿八日頃より  $6\frac{1}{2}\%$  を  $7\%$  P. a. に引上げの事に決定致候に付、此旨電報申上オキ候、此場合止むを得ざる次第にして、羊毛利息計算書作製には余分の手数を

免れざる事と相成り候

London 廻り L/C 交渉の覚悟にて照会中に御座候

日豪間通信 大正期シドニー来状 第V巻 兼松資料叢書(大正編) 5

平成21年3月25日 印刷

平成21年3月25日 発行

(非売品)

編 著 神戸大学経済経営研究所

発行所 神戸市灘区六甲台町2-1

神戸大学経済経営研究所

印刷 神戸市兵庫区西柳原町3-29

岸本出版印刷  
有限会社

